

沖縄県立博物館・美術館年報

(令和5年度 実績報告)

No. 17

2024

沖縄県立博物館・美術館

目 次

概要

I 沿革

2

II 日誌抄

10

III 施設・設備

12

IV 組織

15

V 沖縄県立博物館・美術館協議会

21

VI 予算

22

VII 収蔵資料現在高

23

利用統計

I 入館者統計

25

1. 総入館者集計

2. 団体別入館者集計

3. 展覧会別入館者集計

4. 2023年度（令和5）月間別入館者数

5. 年間入館者数の年次推移

6. 減免申請集計

7. 団体入館内訳

II 施設利用者統計

30

1. 月別施設利用集計

2. 当館主催事業及び施設貸出内訳

3. 県民ギャラリー貸出件数

博物館

I 調査研究等の活動

55

1. 調査研究の概要

2. 博物館総合調査 ー宮古諸島総合調査ー

3. 「一括交付金」活用事業

4. 在外琉球王国文化財調査研究事業

5. 博物館・美術館費事業

6. 調査・研究・講演・著作論文等

7. 職員研修

II 展示活動

75

1. 展示活動概要

2. 常設展

3. 常設展 部門展示替え／ミニ企画／エントランスホール展示

4. 企画展 「令和4・5年 大嶺薫コレクション展 琉球歴史探訪〜コレクションに秘められた想い〜」

5. 企画展 「新収蔵品展 令和3・4年度収蔵資料」

6. 企画展 「海を越える人々（前期） 琉球と倭寇のもの語り」

7. 特別展 「海を越える人々（後期） 旧石器時代の人類」

8. 出張展示会

III 教育普及活動

91

1. 博物館教育普及活動の概要

2. 学校連携事業

3. 博物館体験学習教室

4. 博物館文化講座

5. 学芸員講座

6. 学芸員による常設展示解説会

7. 学芸員によるバックヤードツアー

8. 夏休み！子どもフェスタ2023

9. 博物館ボランティア活動

10. ふれあい体験室

11. 常設展に関する取り組み

12. 普及資料の活用

13. ボランティア及び、指定管理者による展示ガイド

IV 資料の収集・保存管理

99

1. 収蔵資料現在高

2. 2023年度（令和5）新収蔵資料高

3. 2023年度（令和5）新収蔵資料目録

4. 所蔵指定文化財

5. 修理事業

6. 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作（生物資料）

7. 資料収集事業

8. 資料貸出

9. 写真貸出

美術館

I 調査研究等の活動

111

1. 調査研究の概要

2. 調査・研究・講演・著作論文等

II 展示活動

114

1. 展示活動概要

2. コレクション展（常設展）

3. 企画展 「YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP（照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィー・ポップ）」

III 教育普及活動

118

1. 美術館教育普及活動の概要

2. 鑑賞活動支援

3. ミュージアムツアー

4. コレクション・企画展関連催事

5. ワークショップ

6. アートコンクール

7. 慰霊の日関連催事

8. ボランティア活動

9. 教職員等、研修の受け入れ

IV 資料収集・保存管理

128

1. 収蔵作品現在高

2. 2023年度（令和5）新収蔵作品高

3. 2023年度（令和5）新収蔵作品目録	4. 作品収集事業	5. 保存管理事業
6. 作品貸出		

一般財団法人 沖縄美ら島財団（指定管理者）・・・・・・・・・・ 132

I 沖縄美ら島財団概要	133
II 運営方針	133
1. 管理運営の基本方針	2. 管理運営方針
III 組織図	135
IV 展示活動	135
1. 展示活動概要	
V 教育・イベント活動	142
1. ワークショップ・イベント等	
VI 広報事業に関する業務	147
VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動	149
1. 調査・研究等	2. 職員研修（研修会）

全館共通事業・・・・・・・・・・ 151

I	学芸員実習	152	
	1. 博物館実習		2. 美術館実習
			3. 職場体験
II	国際博物館の日	154	
III	移動展	155	
IV	改正博物館法による登録博物館の承認	159	
V	燻蒸・消毒処理	159	
VI	全体研修	159	
VII	刊行物	160	
VIII	展示会一覧	161	

その他の活動・・・・・・・・・・ 164

I	沖縄県博物館協会	165	
II	全国の組織との関わり	165	
	1. 日本博物館協会	2. 九州博物館協議会	3. 全国歴史民俗系博物館協議会
	4. 全国科学博物館協議会		
III	沖縄県立博物館友の会	166	

関係法規抄録・・・・・・・・・・ 169

○博物館法（抄）	170
○博物館法施行令	174
○博物館法施行規則（抄）	174
○博物館の登録に関する規則（抄）	178
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及び その管理に属する行政機関の長に委任する規則（抄）	180
○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための 組織に関する規則	181
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例	182
○沖縄県立博物館・美術館管理規則	186
○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領	191
○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領	195
○沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱	196

概 要

- I 沿革
- II 日誌抄
- III 施設・設備
- IV 組織
- V 沖縄県立博物館・美術館協議会
- VI 予算
- VII 収蔵資料現在高

I 沿革

【前史】

1936年（昭和11）、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。終戦後、米国海軍政府ウィラード・A・ハンナ少佐とJ・T・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年（昭和20）8月石川市（現うるま市）東恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年（昭和21）3月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

【創設】

1946年（昭和21）4月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年（昭和22）12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

【発展】

1953年（昭和28）、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。5月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年（昭和30）9月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年（昭和41）には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年（昭和47）の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年（昭和48）に2階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末（昭和60年代）頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。

2004年（平成16）、那覇新都心（おもろまち）に新館の建設を着工した。首里在の博物館（旧博物館）は新館への移転準備のため、2006年（平成18）3月に閉館した。

2007年（平成19）11月1日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

【あゆみ】

- | | | |
|------------|-----|--|
| 1946（昭和21） | 4月 | 沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。（24日） |
| 1947（昭和22） | 12月 | 前年3月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。 |
| 1953（昭和28） | 3月 | 「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。 |
| | 5月 | 「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。
米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設して落成、贈呈される。
落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が返還された。（26日） |
| 1954（昭和29） | 8月 | ハワイから三線「江戸与那」が返還される。 |
| 1955（昭和30） | 9月 | 「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。 |
| 1963（昭和38） | 4月 | 米国民政府から河島コレクションが贈呈される。 |
| 1965（昭和40） | 9月 | 大中町の旧尚家屋敷跡（中城御殿）を購入する。 |
| 1966（昭和41） | 10月 | 米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。 |
| | 11月 | 新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。（3日） |
| 1968（昭和43） | 9月 | 太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。（30日） |
| 1970（昭和45） | 10月 | 沖縄タイムス社及びG. H. カー博士より前庭に花園を贈呈される。 |
| 1971（昭和46） | 2月 | 八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。 |
| 1972（昭和47） | 2月 | サントリー美術館との共催で、『50年前の沖縄』写真展が開催される。
サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。（27日） |
| | 5月 | 琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。（13日）
日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。 |
| 1973（昭和48） | 2月 | 国庫補助により2階部を増築し、展示室を3室増設する。 |
| | 5月 | 「田名家文書」の寄託をうける。（9日） |
| | 7月 | 琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。（16日） |
| | 12月 | 琉球新報社から映画フィルム「沖縄」「海の民・沖縄島物語」「南の島・琉球」の3巻を寄贈される。（17日） |

1973 (昭和48)	12月	多和田真淳氏考古資料の寄託をうける。(19日)
1974 (昭和49)	11月	大阪天満宮から浦添王子朝熹書「徳馨」の寄託をうける。(27日) 糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。
1976 (昭和51)	4月	創立30周年記念式典を行う。(24日)
	7月	大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。
	12月	『博物館30年の歩み展』開催。
1977 (昭和52)	9月	玉陵石獅子を玉陵へ移管。
	11月	円覚寺の鐘、前庭に展示。
1978 (昭和53)	3月	G. H. カー博士より資料寄贈。
	7月	円覚寺の鐘楼が前庭に完成。
1979 (昭和54)	2月	尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ 2 体が寄贈される。
	6月	特別展『沖縄の洞穴と洞穴生物』開催。
1980 (昭和55)	1月	特別展『日本の美－救世熱海美術館名品展－』及び『沖縄県立博物館名品展』開催。
	2月	「移動博物館」を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実施する。(2008年度からは「移動展」に改称)
	8月	特別展『琉球のシダ植物』開催。
	11月	特別展『失われた生物たち－大恐竜展』開催
1981 (昭和56)	3月	博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。(3月30日付け)
	5月	仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。
	8月	G.H. カー博士より図書、写真等が寄贈される。
	10月	特別展『沖縄の美－日本民芸館蔵－』及び『戦前の沖縄写真展』開催。
1982 (昭和57)	5月	新たに常設展として自然部門を設置。
	7月	企画展『沖縄の昆虫』開催。
	10月	特別展『熊本県・沖縄県交流展－熊本の歴史と文化』開催。
1983 (昭和58)	5月	企画展『琉球の漆工芸』開催。
	11月	特別展『沖縄県・熊本県交流展－沖縄の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて開催。
1984 (昭和59)	6月	企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展－琉球芸能の世紀』開催。
	7月	企画展『沖縄のシダ・貝・昆虫標本展』開催。
	10月	企画展『今帰仁グスク展』開催。
1985 (昭和60)	2月	企画展『紅型衣装と型紙展』開催。
	3月	大嶺薫コレクションが贈呈される。
	11月	特別展『グスクグスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。
1986 (昭和61)	2月	特別展『大嶺薫コレクション－美術工芸の美を求めて』開催。
	12月	天野鉄夫コレクション1,588点の寄贈をうける。
1987 (昭和62)	7月	「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。 天野ハル氏より亡夫鉄夫氏収集コケ類1,562点が寄贈される。
	10月	スポーツ芸術・特別展『沖縄の自然・歴史・文化』『沖縄近代の絵画－物故作家』開催。 企画展『田名家収蔵品展－ある首里士族の400年』開催。
	12月	企画展『現代沖縄の陶芸－天野鉄夫コレクション』開催。
1988 (昭和63)	8月	特別展『ヤンバルの自然』開催。
	11月	特別展『三線名器100挺展』開催。
1989 (平成元)	11月	特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。
	12月	企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。
1990 (平成2)	1月	特別展『大アンデス文明展』開催。
	6月	湧田窯搬入。
	8月	企画展『沖縄の野鳥』開催。
	11月	企画展『沖縄の祭り』開催。
1991 (平成3)	2月	企画展『技と美－大城志津子の世界－』開催。
	8月	企画展『沖縄のチョウ展』開催。
	9月	企画展『壺屋陶工遺作展』開催。
	10月	特別展『アジアの祭りと芸能』開催。
1992 (平成4)	2月	企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。
	3月	仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。
	4月	旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第1次埋蔵文化財発掘調査開始。(～7月3日)
	6月	特別展『古代メキシコ至宝展』開催。

- 1992（平成4） 8月 特別展『沖縄の貝類―海からの贈りもの』開催。
10月 復帰20周年記念特別展『琉球王国―大交易時代とグスク』開催。
- 1993（平成5） 1月 特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。
2月 企画展『謝花雲石展』開催。
3月 ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクションが寄贈される。
7月 旧中城御殿石垣工事にかかる第2次発掘調査開始。（～9月2日）
企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。
8月 特別展『沖縄の川と生きもの』開催。
10月 企画展『刻まれた歴史―沖縄の石碑と拓本』開催。
企画展『琉球王朝時代の楽器―三線と御座楽』開催。
- 1994（平成6） 7月 特別展『子どもの世界』開催。
旧中城御殿石垣工事にかかる第3次発掘調査開始。（～8月20日）
- 1995（平成7） 3月 横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。
6月 戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。
- 1996（平成8） 3月 栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。
7月 特別展『大久米島展―しぜん・ひと・もの』開催。
10月 『新収蔵品展・ワラザン展』開催。
福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈
12月 企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。
- 1997（平成9） 4月 特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。
- 1998（平成10） 7月 企画展『琉球王国時代の植物標本―ペリーが持ち帰った植物たち』開催。
11月 特別展『包むころ ふろしき』開催。
- 1999（平成11） 8月 特別展『三線のひろがり可能性』開催。
10月 企画展『日本の技―伝統のかたち』開催。
（第7回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展）
11月 ホノルル美術館からG.H.カー博士コレクション（考古資料6,000点余）寄贈。
- 2000（平成12） 2月 企画展『工芸王国―きらめく手わざの世界を沖縄から』開催。
7月 サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。
11月 ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民1世紀展―From Bento to Mixed Plate』開催。
- 2001（平成13） 2月 企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。
3月 企画展『工芸王国―人・技・心』開催。
11月 特別展『かざりとかたち』開催。
- 2002（平成14） 8月 特別展『港川人展』開催。
10月 企画展『沖縄の文化財展』開催。
- 2003（平成15） 2月 企画展『おきなわナースものがたり』開催。
7月 企画展『旅する種子―運ばれるための巧妙なしかけ』開催。
10月 企画展『あじまゝ 沖縄の伝統とくらし―沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学博物館で開催。
特別企画展『沖縄織物へのメッセージ―田中俊雄の研究』開催。
- 2004（平成16） 2月 企画展『戦前・戦後の文化財保護―仲座久雄の活動をとらえて』開催。
3月 企画展『工芸王国―てわざの今、そして未来へ』開催。
8月 企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』（沖縄コレクター友の会主催）開催。
11月 企画展『自然界のエイリアン―海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。
- 2005（平成17） 2月 特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会―入江正彦 児童文化史コレクション』開催。
- 2006（平成18） 2月 閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼―柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。
3月 『ありがとう・さよなら』キャンペーン。（22日～31日 無料入館）
企画展『わたしの宝もの展』（博物館友の会主催）開催。
4月1日から博物館新館移転準備のため2007年（平成19）10月末まで休館する。
7月 博物館新館展示工事安全祈願祭。（於：波之上）
8月 宮城宏友氏より鳥籠7点寄贈。（11日）
10月 尚順男爵関係資料寄贈。（19日）
謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈。（26日）
12月 稲嶺一郎関係資料寄贈。（26日）
- 2007（平成19） 2月 坂口總之輔氏カメラ寄贈。（16日）

2007（平成19）	3月	新館へ事務所移転(29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式(30日)を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ(31日)。
	4月	新館での事務を開始する。（1日）
	7月	沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
	8月	指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめ。
	11月	那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。（1日） 同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅ー港川人の来た道ー』と美術館開館記念展『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。
2008（平成20）	2月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成17・18年度収蔵資料』開催。
	3月	指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。 美術館常設展開会式。（25日）
	5月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成19年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間でー無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。 美術館企画展『新収蔵品展 ポリエドールー沖縄・アジアの多様性』開催。
	7月	指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。 指定管理者企画展『しまくとぅば』開催。
	9月	博物館企画展『ずしがめの世界』開催。 開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
2009（平成21）	11月	美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。
	1月	博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。 博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。 美術館企画展『移動と表現ー変容する身体・言語・文化』開催。
	4月	指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ in 沖縄』開催。
	5月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成20年度資料』開催。 指定管理者自主事業『王昭展』開催。
	7月	指定管理者企画展『豊潤の美を求めてー金城安太郎と高島華宵』開催。 指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
2010（平成22）	9月	指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
	10月	博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く！』開催。 美術館企画展『名渡山愛順展ー名渡山愛順が愛した沖縄』開催。
	12月	博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
	1月	美術館企画展『タカエズトシコ展』開催。
	2月	博物館企画展『造礁サンゴ展ー楽園をつくった偉大な建築家』開催。 博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
2011（平成23）	4月	総務班が設置され、3班体制となる。 指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。 指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
	5月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成21年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『遠き道ーはて無き精進の道程』開催。
	7月	指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
	9月	指定管理者企画展『風土と建築』開催。 博物館特別展『海のクロスロード 八重山展』開催。
	11月	美術館企画展『母たちの神ー比嘉康雄』展開催。
2011（平成23）	12月	博物館・指定管理者企画展『アイヌー美を求める心』開催。
	1月	美術館企画展『安谷屋正義』展開催。 博物館企画展『琉球陶器の来た道』開催。
	2月	博物館企画展『骨の科学』開催。
	3月	博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。
	4月	博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。 指定管理者企画展『國古清尚』開催。
2011（平成23）	5月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成22年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『生誕100年記念展 岡本太郎と沖縄ーここが世界の中心だ』開催。
	7月	指定管理者企画展『ロボット展』開催。 指定管理者企画展『印象派の誕生展』開催。
	9月	美術館企画展『東松照明展<太陽へのラブレター>』開催。

2011（平成23）	10月	博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。 博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国ー受けつがれる琉球のわざと美」』開催。
	11月	博物館特別展『宇宙ー遙かなるロマンを求めて』開催。
2012（平成24）	1月	博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人ーエイサーの起源をさぐる」』開催。 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ3 玉那覇正吉』開催。
	3月	指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展ー琉球弧で開花した美の世界」』開催。
	4月	博物館企画展『沖縄復帰40周年記念「紅型BINGATA 琉球王朝のいろとかたち」』開催。
	5月	指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。
	6月	博物館企画展『新収蔵品展ー平成23年度収蔵資料』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
	7月	指定管理者企画展『旅する仮面』開催。 指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。（沖縄テレビ共催）
	9月	美術館企画展『山田實展ー人と時の往来』開催。 博物館特別展『本土復帰40年記念「OKINAWAから沖縄へ」』開催。
	11月	美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐー境界を生きる女たち1984-2012」』開催。
	12月	博物館企画展『大山盛保生誕100年記念 発見への情熱』開催。
2013（平成25）	2月	指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。（沖縄タイムス共催） 指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。
	5月	博物館企画展『大嶺薫コレクションー探求する心とその世界ー』展開催。 博物館企画展『新収蔵品展ー平成24年度収蔵資料』開催。 指定管理者企画展『佐川美術館蔵 平山郁夫ー大唐西域画への道ー』開催。
	7月	博物館特別展『海山川のおくりもの 目からウロコの大生き物展ー生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。 指定管理者自主事業『ジミー大西作品展ー挑戦と革新ー』開催。
	9月	美術館企画展『沖縄の美術シリーズ4 安次嶺金正展ー緑の抒情ー』開催。
	11月	指定管理者企画展『京都 清水寺展』開催。
2014（平成26）	1月	美術館企画展『森山大道 終わらない旅 北/南』開催。
	2月	博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。 博物館企画展『三線のチカラー形之美と音の妙ー』開催。
	4月	指定管理者企画展『木下晋展 生命の旅路』開催。
	5月	指定管理者企画展『麗しき琉球の記憶ー鎌倉芳太郎が発見した“美”』開催。 博物館企画展『新収蔵品展ー平成25年度収蔵資料』開催。
	7月	指定管理者企画展『20世紀フランス絵画展ー山形美術館 服部コレクションー』開催。
	9月	博物館企画展 久米崇聖会創立100周年記念『久米村（クニンダ）ー琉球と中国の架け橋ー』開催。 美術館企画展『色彩と風のシンフォニー 内間安理の世界』開催。
	11月	博物館企画展『大嶺薫コレクションーアジアへの眼差しー』開催。 博物館特別展『水中文化遺産ー海に沈んだ歴史のカケラー』開催。
2015（平成27）	1月	美術館企画展『ゴー・ビトゥイーンズ展 こどもを通して見る世界』開催。
	2月	博物館企画展『イノシシとブタと私たち』開催。
	3月	指定管理者企画展『報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展ー二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後』開催。
	4月	博物館企画展『うちくー沖縄のふろしきー』開催。 指定管理者企画展『ディズニー 夢と魔法の90年展ーミッキーマウスからピクサーまで』開催。
	6月	美術館特別企画展『戦後70年 特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンバス』開催。
	7月	指定管理者企画展『深海探検 海底二万里の世界』開催。 指定管理者自主事業『大哺乳類展 ぼくらのなかまたち』開催。
	9月	美術館企画展『石田尚志 渦まく光』開催。 博物館特別展『琉球弧の葬墓制ー風とサンゴの吊いー』開催。

2015（平成27）	11月	美術館企画展『沖縄の美術シリーズ5 大嶺政寛展－情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて－』開催。
	12月	博物館企画展『新収蔵品展－平成26年度収蔵資料－』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』開催。
2016（平成28）	1月	博物館企画展『大気と気象～見えない空気の“力と技”～』開催。 九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館 企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』を九州歴史資料館にて開催。
	2月	美術館企画展『木梨憲武展×20years』開催。 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展『芸大の御宝展～ものとひとをつくる～』開催。
	3月	美術館企画展『パブロ・ピカソ ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後70年、今ゲルニカで考える－』開催。
	4月	沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として一般財団法人沖縄美ら島財団が指定を受ける。 美術館企画展 文化勲章受章記念『志村ふくみー母衣への回帰－』開催。
	5月	博物館企画展『大嶺コレクション展－美をもとめて－』開催。 博物館企画展『新収蔵品展－平成27年度収蔵資料－』開催。
	7月	博物館企画展『目からウロコの生物実験展～今年の夏は、ジッケン、タイケン、大ハッケン！』開催。
	9月	博物館企画展 日本民藝館80周年『沖縄の工芸展－柳宗悦と昭和10年代の沖縄』開催。
	11月	博物館特別展『港川人の時代とその後－琉球弧をめぐる人類の起源と展開－』開催。
	12月	美術館企画展『夢の美術館－めぐりあう名画たち－ 福岡市美術館・北九州市立美術館名品コレクション』開催。
2017（平成29）	1月	博物館企画展『琉球・沖縄の地図展～時空を超えて沖縄がみえる～』開催。
	2月	博物館常設展示の充実強化を図るため、県指定文化財の梵鐘7口を加えて展示をリニューアル。屋外に大聖禅寺鐘（実物）を設置。
	3月	美術館企画展 沖縄の美術シリーズVI『山元恵一展－まなざしのシュルレアリスム－』開催。
	4月	美術館特別展『写真家が見つめた沖縄1972～2017』開催。 美術館特別企画展『開館十周年企画 安次富長昭展』開催。
	5月	指定管理者企画展『やんばるの森の美』開催。 博物館企画展『新収蔵品展－平成28年度収蔵資料－』開催。 博物館企画展『博物館70年のあゆみ』開催。 美術館『《今帰仁城盛衰記》－知られざる金城安太郎の仕事』開催。 指定管理者企画展『やんばるの森の美－写真展－』開催。
	7月	美術館『ベトナム絵画展』開催。 指定管理者企画展『Learn&Play！ TeamLab Future Park－チームラボアイランド 学！未来の遊園地－』開催。 指定管理者企画展『水族館でも出会えない、海のビックリ生物展』開催。 大阪府立弥生博物館共催『沖縄の旧石器人と南島文化』（場所：弥生博物館）開催。
	9月	指定管理者企画展『首里城公園開園25周年 博物館・美術館開館10周年記念特別展－首里城の25年 平成の復元－』開催。 博物館企画展『ウィルソンが見た沖縄』開催。
	11月	博物館特別展『開館10周年特別展 海の沖縄』開催。 美術館企画展『開館10周年特別企画展 彷徨の海－旅する画家・南風原朝光と台湾、沖縄』開催。
	12月	美術館企画展『開館10周年特別企画展 邂逅の海－交差するリアリズム』開催。
2018（平成30）	1月	人間国宝島袋正雄氏より県指定有形文化財「三線 与那城型 名玉城與那」の寄贈を受ける。
	2月	博物館企画展『大嶺コレクション展－かざる－』開催。 美術館『大和コレクションⅧ』開催。
	4月	美術館企画展『涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展』開催。
	5月	博物館企画展『新収蔵品展－平成29年度収蔵資料－』開催。 指定管理者企画展『懐かさん戦前の首里城～森政三コレクション古写真展～』開催。
	7月	美術館『儀間比呂志の世界』開催。 指定管理者企画展『追悼水木しげる ゲゲゲの人生展』開催。

		指定管理者企画展『ティラノサウルス展－進化の謎に迫る』開催。
	9月	美術館企画展『宮城健盛展』開催。
	10月	指定管理者企画展『MONGOL800 go EXHIBITION モンパチ展』開催。
	11月	博物館特別展『縄文と沖縄－火焰型土器のシンボリズムとヒスイの道』開催。 サキタリ洞遺跡の発掘調査で、県内最古となる5500年前（縄文時代前期）の赤色顔料を確認。
	12月	新島ユキ氏より、亡き夫で植物学者の新島義龍氏の植物関係写真資料9,881点が寄贈される。 指定管理者企画展『新海誠展－『ほしのこえ』から『君の名は。』まで－』開催
2019（平成31）	1月	美術館『伊志嶺隆と平敷兼七』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション展－吉祥－』開催。
2019（平成31）	2月	博物館企画展『琉球三線楽器保存・育成会創立30周年記念事業 沖縄が誇る家宝の三線展』開催。
	4月	指定管理者企画展『ホキ美術館名品展』開催。 博物館企画展『新収蔵品展－平成30年度収蔵資料－』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション展－探求する心とその世界－』開催。
2019（令和元）	7月	美術館コレクション展『金城安太郎展』、『沖縄を描いた画家 1930 - 1950's』開催。 博物館収蔵資料、琉球国時代石碑22基が国の重要文化財として指定を受ける。（23日）
	9月	博物館企画展『台湾－黒潮でつながる隣（とうない）ジマー』開催。 美術館企画展『上條文穂と波多野泉 現代彫刻展』開催。 美術館コレクション展『真喜志勉 ドローイング展』開催。
	10月	美術館コレクション展『作家の視点、作品の視点』開催。
	11月	博物館特別展『グスク・ぐすく・城－動乱の時代に生み出された遺産－』開催。
	12月	美術館企画展『作家と現在』開催。
2020（令和2）	2月	博物館特別展『手わざ－琉球王国の輝き－』開催。 美術館コレクション展『石田尚志展』開催。 美術館コレクション展『大城精徳の仕事』開催。 指定管理者企画展『みんなのレオ・レオーニ展』開催。
	4月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、4月10日から臨時休館。（～5月20日）
	5月	博物館企画展『激動の明治・大正の沖縄 第11代斎藤用之助の足跡から』開催。 博物館企画展『新収蔵品展－令和元年度収蔵資料－』開催。
	7月	指定管理者企画展『描かれた首里城』開催
	8月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、8月2日から臨時休館。（～9月5日）
	9月	博物館特別展『岩石 THE ROCK －石ころから見える地球のダイナミズム－』開催。 美術館企画展『稲嶺成祚 The Exhibition of INAMINE Seiso』開催。 博物館所蔵資料「中山世鑑」、「蔡鐸本 中山世譜」、「蔡温本 中山世譜」の3件が国の重要文化財として指定を受ける。（30日）
	12月	博物館企画展『沖縄の藍 －自然と人の織りなす製藍の技－』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
		指定管理者企画展『名画を読み解く－珠玉の東京富士美術館コレクション－』開催。
2021（令和3）	2月	指定管理者企画展『よみがえる正倉院宝物 －再現模造にみえる天平の技－』開催。
	3月	美術館企画展『石川真生展 醜くも美しい人の一生、私は人間が好きだ。』開催。
	5月	博物館企画展『新収蔵品展－令和2年度収蔵資料－』開催。 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、5月23日から臨時休館。（～7月11日）
	7月	博物館特別展『みんなの進化展～命はつながっている～』開催。 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、7月22日から臨時休館。（～9月30日）
	9月	琉球王国文化遺産集積・再興事業、模造復元品「円覚寺仁王像」（初公開）に関する記者発表。（17日）
	10月	博物館企画展『海とジュゴンと貝塚人』開催。 サキタリ洞遺跡調査成果記者発表「日本最古の着色された装飾品の発見について」。（21日）
	11月	釣鐘（米国フロリダ州）の返還式典。（2日） 美術館企画展『琉球の横顔－描かれた「私」からの出発』開催。 NPO法人琉米歴史研究会寄贈、「米国から返還された大黒様」に関する記者発表。

		(24日)
2022 (令和4)	12月	博物館企画展『かたつむり展ーラセン館巡回展ー』開催。
	3月	今良子氏より、今英男資料(平成の首里城復元資料〈木彫〉)が寄贈され、感謝状贈呈式を行う(知事出席)。(6日)
	4月	指定管理者企画展『悠久のシルクロード展』開催
	7月	博物館特別展『復帰50年 沖縄、復帰後。展ーいちまでいん かなさ オキナワー』開催。 美術館『復帰50年コレクション展 FUKKI QUALIA 「復帰」と沖縄美術』開催。 指定管理者企画展『スケスケ展』開催。 指定管理者企画展『さがそう！自由研究のタネ～あなたの好奇心の花を咲かせます～』開催
2022 (令和4)	8月	「現存最古の附胴三線」の寄贈について、記者発表。(24日)
	10月	博物館企画展『復帰50年展 琉球ー美とその背景ー』開催。
	11月	美術館企画展『平良孝七展』開催。
	11月	「沖縄武徳殿開殿式関係資料」寄贈について、記者発表。(29日)
2023 (令和5)	12月	『平良孝七展』について、「平良孝七展の修正を求める会」から展示に対する抗議・修正要請を受ける。(21日)
	1月	博物館企画展『宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室の美と沖縄ゆかりの品々』開催。 博物館企画展『大嶺薫コレクション 琉球歴史探訪』開催。 「よみがえる沖縄1935」写真パネル等寄贈に係る記者発表。(30日)
	3月	指定管理者企画展『奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 世界自然遺産展』開催。
	4月	博物館企画展『新収蔵品展ー令和3・4年度収蔵資料ー』開催。 指定管理者企画展『ジミー大西 画業30年記念作品展「POP OUT」』開催。
2024 (令和6)	6月	指定管理者企画展『みんなの進化展～命はつながっている～』開催。 博物館所蔵資料「銘苅家文書(四通)」、「琉球国王朱印状」が国の重要文化財として指定を受ける。(27日)
	7月	指定管理者企画展『MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界』開催。
	9月	博物館企画展『海を越える人々(前期)琉球と倭寇のもの語り』開催。
	11月	美術館企画展『照屋勇賢展』開催。
	12月	博物館特別展『海を越える人々(後期)旧石器時代の人々』開催。
	2月	恐竜化石(カムイサウルス)骨格レプリカ寄贈にかかる感謝状贈呈式。(20日)
	3月	指定管理者企画展『キングダム展 ー信ー』開催。

【歴代館長】

東恩納博物館

大嶺 薫(1946年4月～1953年3月)

首里博物館

豊平 良顕(1947年12月～1948年3月)

原田 貞吉(1948年8月～1953年3月)

沖縄民政府立首里博物館

原田 貞吉(1953年3月～1955年5月)

琉球政府立博物館

山里 永吉(1955年5月～1958年8月)

大城 知善(1962年2月～1969年11月)

金城増太郎(1958年9月～1961年12月)

外間 正幸(1969年12月～1972年4月)

沖縄県立博物館

外間 正幸(1972年5月～1981年3月)

大城 立裕(1983年4月～1986年3月)

宜保榮治郎(1992年4月～1994年3月)

當間 一郎(1996年4月～1999年3月)

平田 興進(2000年4月～2002年3月)

名嘉 政修(2005年4月～2006年3月)

新垣 隆雄(2007年4月～2007年10月)

大城徳次郎(1981年4月～1983年3月)

大城 宗清(1986年4月～1992年3月)

糸数 兼治(1994年4月～1996年3月)

大城 将保(1999年4月～2000年3月)

當眞 嗣一(2002年4月～2005年3月)

宮城 清志(2006年4月～2007年3月)

沖縄県立博物館・美術館

牧野 浩隆(2007年11月～2011年3月)

安里 進(2013年5月～2016年3月)

里井 洋一(2023年4月～)

白保 台一(2011年4月～2013年2月)

田名 真之(2016年4月～2023年3月)

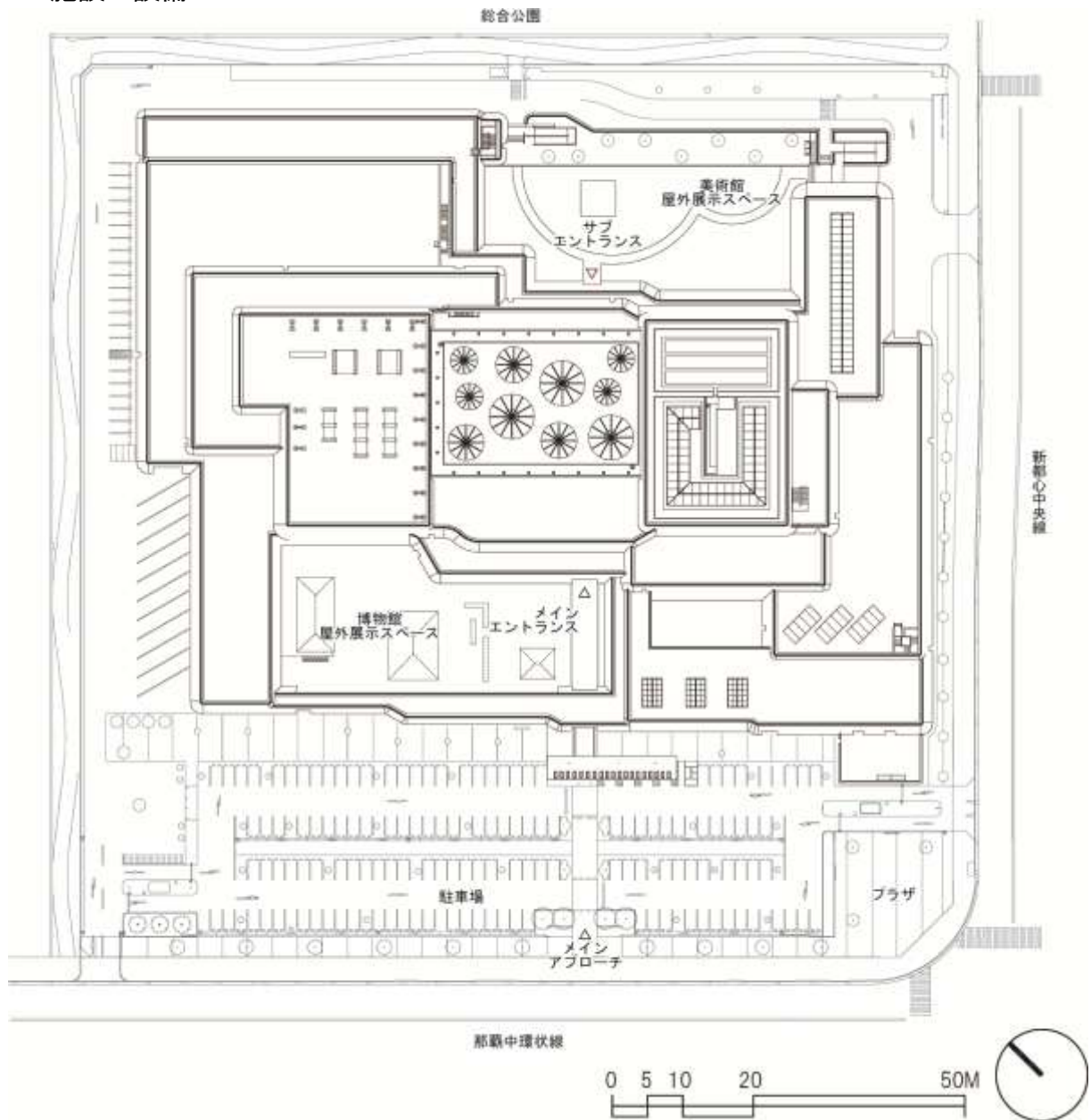
II 日誌抄（2023年4月1日～2024年3月31日）

2023年（令和5）

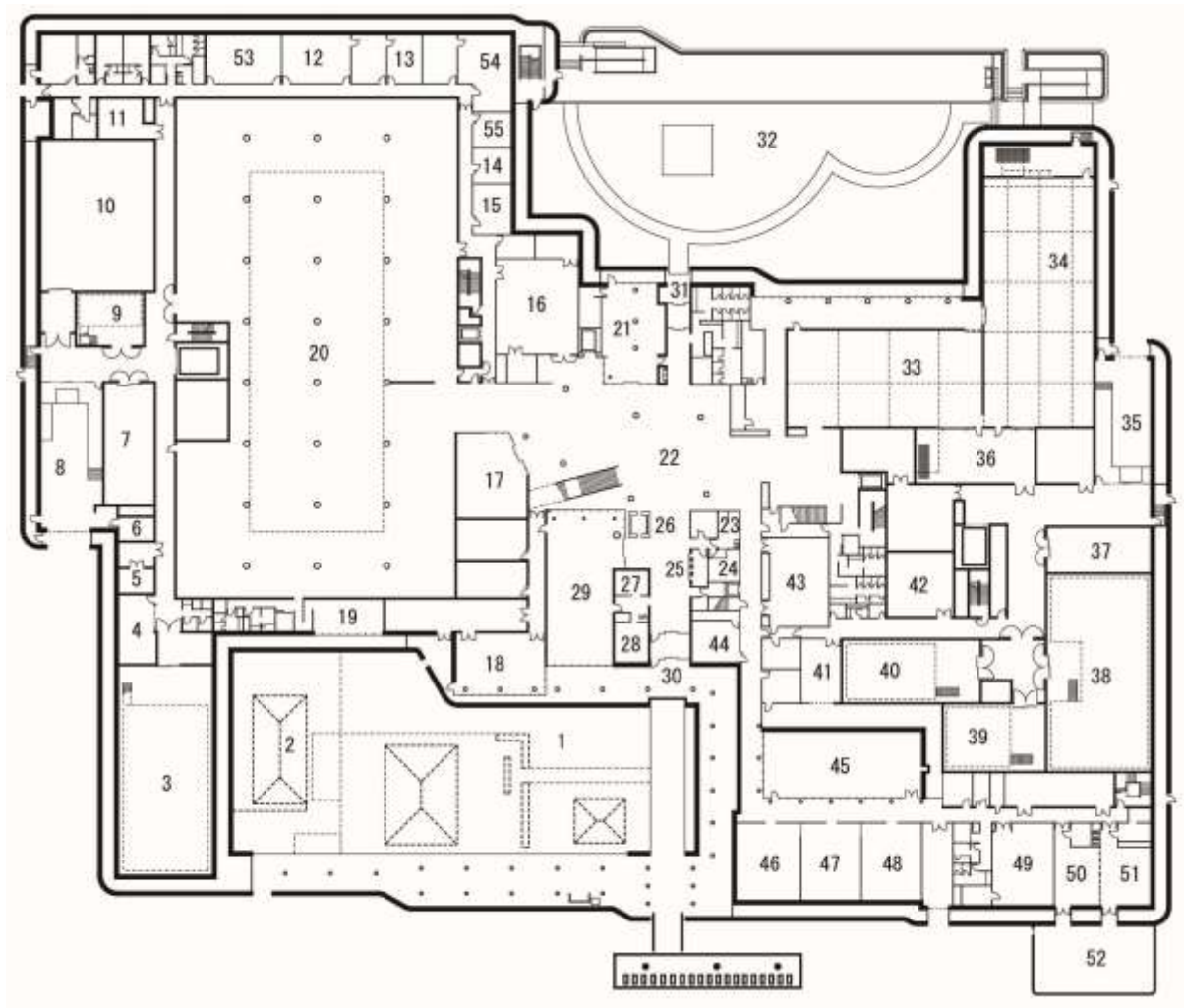
- | | | |
|-----|-----|---|
| 4月 | 3日 | 定期人事異動発令式（博物館講座室） |
| | 10日 | 職員全体顔合わせ、消防設備等の説明会、IPM研修会（講堂） |
| | 18日 | 博物館ボランティア全体会（講堂） |
| | 28日 | 指定管理者企画展「ジミー大西画業30年記念作品展「POP OUT」」（美術館エリア/～6月4日） |
| | 28日 | 博物館企画展「新収蔵品展」（～6月4日） |
| 5月 | 8日 | 国際博物館の日パネル展（エントランスホール）開催 |
| | 16日 | 県委員監査受検 |
| | 18日 | 「国際博物館の日」博物館常設展示・美術館コレクション展無料開放実施 |
| | 18日 | 九州博物館協会総会（～19日、於：宮崎県） |
| | 23日 | 夜間消防訓練（伝達訓練等）の実施 |
| | 25日 | 漆喰シーサー贈呈式（OKINAWAアートワークショップ2022で制作された漆喰シーサー3体） |
| 6月 | 6日 | 博物館 学芸員実習（前期）（～19日） |
| | 14日 | 文化庁調査官（工芸品部門）来館 |
| | 15日 | 平良孝七展検証チーム会議（第1回）実施 |
| | 16日 | 文化庁調査官（書跡・典籍、古文書部門）来館 |
| | 18日 | 韓国済州道 キム・ヒヒョン副知事一行来館・視察 |
| | 21日 | 指定管理者企画展「みんなの進化展－命はつながっている－」（～9月3日） |
| | 23日 | 内閣府 岡田直樹沖縄担当大臣一行来館・視察 |
| | 26日 | 総合消防訓練 |
| | 28日 | 全館燻蒸・消毒の実施（～7月6日） |
| 7月 | 4日 | 日本博物館協会参与会（東京） |
| | 5日 | 全国博物館 館長会（東京） |
| | 12日 | 指定管理者企画展「MINIATURE LIFE展2－田中達也見立ての世界」（美術館エリア/～9月3日） |
| | 13日 | 全国歴史民俗系博物館協議会 |
| | 27日 | 令和5年度指定管理者制度運用委員会の開催 |
| 8月 | 9日 | 米国スミソニアン博物館 知念淳子氏来館 |
| | 12日 | 指定管理者自主事業「美ら海・トワイライトゾーン～知られざる深海生物のワンダーランド」出版記念講演会（講堂） |
| | 14日 | 美術館 学芸員実習（～28日） |
| | 15日 | 博物館 学芸員実習（後期）（～26日） |
| | 29日 | ジャスティン・ヘイハースト駐日オーストラリア大使一行来館・視察 |
| 9月 | 6日 | 平良孝七展検証チーム会議（第2回）実施 |
| | 14日 | 九州山口ミュージアム連携事業実行委員会（文化振興課） |
| | 22日 | 博物館企画展「海を越える人々（前期）琉球と倭寇の物語り」（～11月19日） |
| 10月 | 13日 | ハワイ大学図書館司書 照屋氏来館 |
| | 27日 | 指定管理者企画展「沖縄の染と織の至宝展～桃原用昇コレクション」（博物館エリア/～11月26日） |
| 11月 | 1日 | 指定管理者事業「おきみゅー誕生祭2023」（～3日） |
| | 1日 | 琉球歴史文化の日 博物館常設展・美術館コレクション展無料開放 |
| | 3日 | 文化の日 博物館常設展・美術館コレクション展無料開放 |
| | 3日 | 美術館企画展「YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP」（～1月21日） |
| | 3日 | 美術館アートコンクール表彰式 |
| | 5日 | カンボジアCMAC長官一行来館・視察 |
| | 21日 | 博物館・美術館収集委員会（美術作品）の開催 |
| | 27日 | 総合消防訓練 |
| | 28日 | フランス大使館参事来館 |
| 12月 | 6日 | シビ・ジョージ駐日インド大使一行来館・視察 |
| | 12日 | 博物館企画展「海を越える人々（後期）旧石器時代の人類」（～2月12日） |
| | 21日 | 沖縄博物館協会 秋の研修会（名護博物館）（～22日） |
| 12月 | 20日 | 韓国済州島博物館一行来館 |

12月	28日	仕事納め
2024年（令和6）		
1月	4日	仕事始め
	11日	沖縄・中国山東省文化観光交流会一行来館・視察
	18日	カンボジア研修生 館長表敬訪問
	26日	令和5年度移動展（国頭村）（～28日）
	31日	福岡県議会 国際化・多文化共生社会調査特別委員会一行来館・視察
2月	6日	令和5年度沖縄県立博物館・美術館協議会の開催（博物館講座室）
	20日	恐竜化石（カムイサウルス）骨格レプリカ寄贈に係る感謝状贈呈式・オープニングセレモニー（玉城知事臨席）
	26日	業務停止（高圧ケーブル改修工事に係る全館停電作業等のため）
	27日	臨時休館（高圧ケーブル改修工事のため）
3月	7日	県定期監査受検
	22日	指定管理者企画展「キングダム展ー信ー」（美術館エリア/～5月12日）
	25日	臨時開館（2月27日臨時休館の代替措置）

Ⅲ 施設・設備



●敷地面積……………	31,287㎡	●展示施設		●収蔵施設（ダブルデッキ含む）		●展示施設	
●建築面積……………	13,452㎡	総合展示室……	1,252㎡	自然史収蔵庫……………	417㎡	企画ギャラリー1……………	394㎡
●延床面積……………	23,721㎡	部門展示室……	1,344㎡	化石収蔵庫……………	245㎡	企画ギャラリー2……………	490㎡
博物館専有面積……	10,478㎡	自然史部門……	360㎡	考古・陶磁器収蔵庫……	613㎡	コレクションギャラリー1……	164㎡
美術館専有面積……	7,537㎡	考古部門……	262㎡	特別収蔵庫……………	439㎡	コレクションギャラリー2……	284㎡
共有面積……………	5,708㎡	美術工芸部門……	180㎡	民俗収蔵庫……………	668㎡	コレクションギャラリー3……	370㎡
●高さ・最高高さ……	GL+21.8m	歴史部門……	120㎡	大型収蔵庫……………	358㎡	県民ギャラリー（1～3）……	277㎡
●駐車場		民俗部門……	421㎡	液浸標本室……………	97㎡	県民ギャラリー（スタジオ）	111㎡
一般駐車場……………	158台	屋外展示場……	1,425㎡	一時保管庫……………	119㎡	県民アトリエ……………	65㎡
（うち身障者用4台）		企画展示室……	351㎡	●調査研究施設		こどもアトリエ……………	70㎡
大型バス駐車場……	10台	特別展示室……	459㎡	研究室……………	176㎡	屋外展示場……………	1,368㎡
駐輪場……………	25台	●教育普及施設		研究資料室……………	111㎡	●教育普及施設	
関係者駐車場……	22台	ふれあい体験室……	110㎡	会議室……………	72㎡	美術館講座室……………	109㎡
		博物館講座室……	191㎡			●収蔵施設（ダブルデッキ含む）	
供用施設		実習室……………	108㎡			収蔵庫A……………	683㎡
●エントランスホール……	724㎡					収蔵庫B……………	248㎡
●情報センター……	217㎡					収蔵庫C……………	204㎡
●講堂（212席）……	349㎡					●調査研究施設	
						研究室……………	98㎡
						研究資料室……………	98㎡
						会議室……………	58㎡



1 階

1 階

(博物館)

- 1 博物館野外展示
- 2 湧田古窯
- 3 民俗収蔵庫
- 4 写真撮影室
- 5 冷凍庫
- 6 石工室
- 7 一時保管庫
- 8 トラックヤード
- 9 液浸標本室
- 10 大型収蔵庫
- 11 修理修復室
- 12 博物館・美術館庶務室
- 13 館長室
- 14 支援会室
- 15 博物館ボランティア室
- 16 博物館講座室
- 17 博物館ふれあい体験室
- 18 博物館実習室
- 19 博物館常設展示休憩室
- 20 博物館常設展示室

(共有)

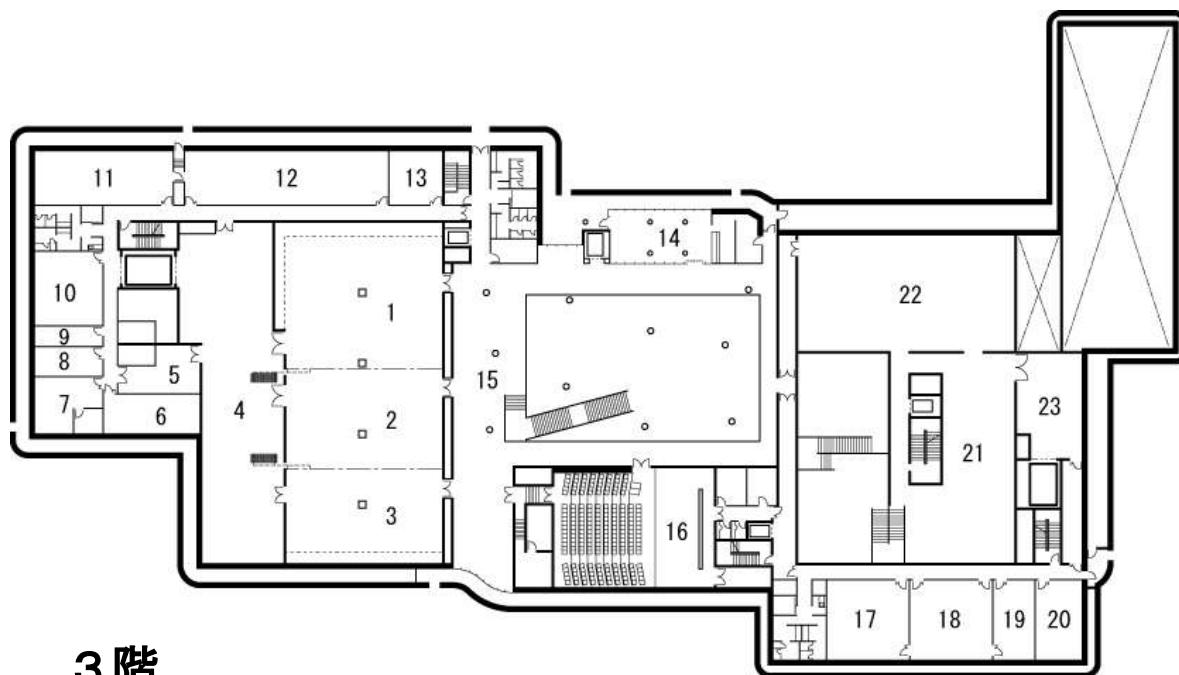
- 21 ミュージアムショップ
- 22 エントランスホール
- 23 授乳室
- 24 託児室
- 25 券売
- 26 総合案内
- 27 救護室
- 28 コインロッカー
- 29 情報センター
- 30 メインエントランス
- 31 サブエントランス

(美術館)

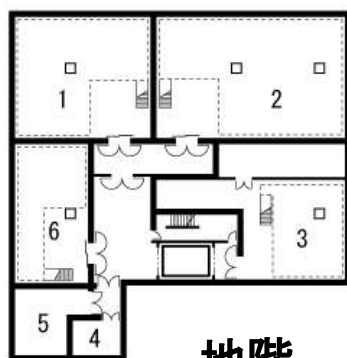
- 32 美術館野外展示
- 33 美術館企画ギャラリー1
- 34 美術館企画ギャラリー2
- 35 トラックヤード
- 36 展示準備室
- 37 一時保管庫
- 38 収蔵庫A
- 39 収蔵庫B
- 40 収蔵庫C
- 41 保存修復室
- 42 工作室
- 43 美術館講座室
- 44 美術館ボランティア室
- 45 中庭
- 46 県民ギャラリー1
- 47 県民ギャラリー2
- 48 県民ギャラリー3
- 49 県民ギャラリー (スタジオ)
- 50 県民アトリエ
- 51 こどもアトリエ
- 52 屋外活動スペース

(指定管理者)

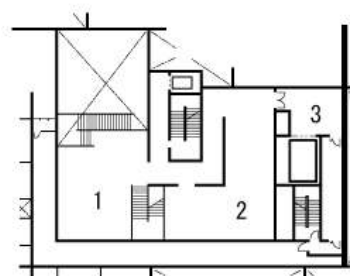
- 53 会議室
- 54 事務室
- 55 展示交流員控室



3階



地階



2階

3階

(博物館)

- 1 企画展示室
- 2 特別展示室 1
- 3 特別展示室 2
- 4 展示準備室
- 5 工作室
- 6 自然史実験室
- 7 保存科学室
- 8 フィルム保管庫
- 9 映像編集室
- 10 学芸員会議室
- 11 研究資料室
- 12 学芸員研究室
- 13 研修室

(共有)

- 14 喫茶室
- 15 ホワイエ
- 16 講堂

(美術館)

- 17 研究資料室
- 18 学芸員研究室
- 19 情報処理室
- 20 学芸員会議室
- 21 コレクションギャラリー 2
- 22 コレクションギャラリー 3
- 23 展示準備室

地階

(博物館)

- 1 特別収蔵庫
- 2 考古陶磁器収蔵庫
- 3 自然史収蔵庫
- 4 劣化フィルム収蔵庫
- 5 写真パネル収蔵庫
- 6 化石収蔵庫

2階

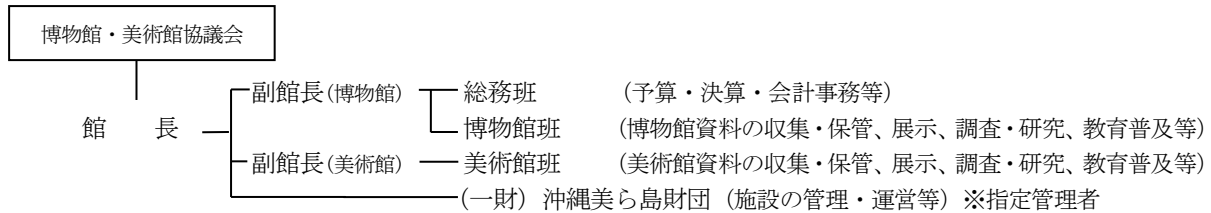
(美術館)

- 1 ホワイエ
- 2 コレクションギャラリー 1
- 3 展示準備室

IV 組 織

【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団の4つにより構成されている。なお、（一財）沖縄美ら島財団に関しては別項にて記述しているので参照いただきたい。



【職員構成】※◎は主担当業務、○は副担当業務。

2023年5月1日現在

職 名	氏 名	担 当 業 務
館 長	里井 洋一	◎博物館・美術館の総括に関すること。
博 物 館 副 館 長	中里 智子	◎博物館業務の統括に関すること。 ◎総務班・博物館班の指揮監督に関すること。
副 館 長 兼美術館班長	大川 剛	◎美術館業務の統括に関すること。 ◎美術館班の総括に関すること。

(総務班)

職 名	氏 名	担 当 業 務
総 務 班 長	具志 幸昌	◎総務班の総括に関すること ◎出納員に関すること ◎指定管理者との調整に関すること ◎組織・定数に関すること ◎沖縄振興推進特別交付金の計画・評価の取りまとめ ◎21世紀ビジョン、教育基本計画等施策とりまとめに関すること ◎博物館・美術館協議会に関すること ◎視察対応の総括に関すること ◎博物館・美術館広報宣伝に関すること ◎防災・危機管理に関すること ○その他、特に上司が命ずる事項に関すること
主 査	松永 利絵子	◎出納業務に関すること ◎職員の給与、福利、服務及び研修業務に関すること ◎会計年度任用職員に関すること ◎博物館班の会計業務に関すること ◎監査に関すること ◎文書の管理業務に関すること ◎労働安全衛生業務に関すること ◎物品に関すること ○予算（歳入・歳出）及び決算に関すること（副） ○その他、特に上司が命ずる事項に関すること
主 任	比嘉 友章	◎予算（歳入・歳出）及び決算に関すること（正） ◎博物館・美術館保全・修繕事業に関すること ◎美術館班の会計業務に関すること ◎施設・財産関連業務に関すること（施設利用許可、使用料関係） ◎公印の管理に関すること ◎公用車の管理業務（支出含む）に関すること ○その他、特に上司が命ずる事項に関すること
会計年度職員 (事務補助)	西川 美由紀	○文書受付に関すること。 ○業務補助に関すること。

(博物館班)

職 名	氏 名	担 当 業 務
班 長 (地 学)	宇佐美 賢	◎博物館班の総括に関する事 ◎令和5年度博物館班予算に関する事 ◎県議会対応に関する事 ◎視察対応に関する事 ◎博物館活動の全体計画に関する事 ◎学芸員実習・県職員研修等の受け入れに関する事 ◎博物館特別展示室・企画展示室の管理・運営、常設展・各部門展示室メンテナンスに関する事 ◎指定管理者との調整に関する事 ◎沖縄県博物館協会に関する事 ◎博物館協会（日博協・九博協・歴民協等）に関する事 ◎文化観光拠点計画に関する事 ○毒物劇物管理責任者（博物館班）に関する事 ○首里城被災資料の管理に関する事 ○学芸員ゼミの運営に関する事 ○一括交付金事業「琉球王国文化遺産集積・再興事業」に関する事 ○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関する事 ○博物館友の会に関する事 ○その他、上司が特に命ずる事項に関する事
主任学芸員 (生 物)	菊川 章	◎自然史（生物・地学・人類）グループの総括に関する事 ◎生物資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事 ◎博物館総合・部門展示（生物分野）に関する事 ◎屋外展示（植生）に関する事 ◎令和5年度特別展「進化展」に関する事 ◎「坂口総一郎等当館植物標本整理・発信事業」に関する事 ◎博物館総合調査に関する事 ◎S-NETの登録に関する事 ◎毒物劇物管理担当者（博物館班担当） ○文化観光拠点計画に関する事 ○博物館協会（沖博協・科博協）に関する事 ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関する事 ○博物館紀要の編集・発行に関する事 ○学芸研究資料室の図書に関する事 ○IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事 ○その他、上司が特に命ずる事項に関する事
主任学芸員 (人 類)	山崎 真治	◎人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事 ◎博物館総合・部門展示（人類学分野）に関する事 ◎図書の受入・整理に関する事 ◎写真資料等の整理に関する事 ◎博物館ホームページに関する事 ◎港川人骨の管理に関する事 ◎科学研究費受託機関の認定に関する事 ◎「国際博物館の日」関連事業に関する事 ◎広報連絡会議に関する事 ○令和5年度特別展「旧石器時代の人類」に関する事 ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関する事 ○共同研究事業に関する事 ○公開承認施設申請に関する事 ○IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事 ○その他、上司が特に命ずる事項に関する事
主 任 (人 類)	澤浦 亮平	◎人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事 ◎博物館総合・部門展示（人類学分野）に関する事 ◎収蔵品データの総括管理（データベース、収蔵品台帳）に関する事 ◎博物館紀要の編集・発行に関する事 ◎令和5年度特別展「旧石器時代の人類」に関する事 ◎共同研究事業に関する事 ○IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事 ○移動展（国頭村）に関する事 ○港川人骨の管理に関する事 ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関する事

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 任 (人 類)	澤浦 亮平	○博物館ホームページに関する事 ○新収蔵品展に関する事 ○その他、上司が特に命ずる事項に関する事
学 芸 員 (地 質)	新山 颯大	◎自然史資料（地質・化石）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事 ◎博物館総合・部門展示（地質化石等）・屋外展示に関する事 ◎化石資料整理事業に関する事 ◎IPM 及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事 ◎岩石鉱物 WEB 図鑑に関する事 ◎屋外展示（岩石）に関する事 ◎博物館情報化推進リーダー（正）に関する事 ◎令和 6 年度企画展に関する事 ○「国際博物館の日」関連事業に関する事 ○移動博（国頭村）に関する事 ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関する事 ○博物館ホームページに関する事 ○広報連絡会議に関する事 ○毒物劇物管理担当者（博物館班担当） ○収蔵品データの総括管理（データベース、収蔵品台帳）に関する事 ○沖縄県博物館協会に関する事 ○博物館協会に関する事 ○その他、上司が特に命ずる事項に関する事
主任学芸員 (歴 史)	宮城 修	◎歴史資料（近・現代）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事 ◎博物館総合・部門展示（歴史分野）に関する事 ◎常設総合展示室に関する事 ◎新収蔵品展に関する事 ◎慰霊の日関連催事及び兵庫・沖縄友愛締結 40 周年事業に関する事 ◎博物館協会（沖博協・日博協・九博協）に関する事 ◎劣化フィルム保管庫の空調設備の修理及び映像資料の管理に関する事 ○令和 5 年度企画展「琉球と倭寇の物語り」に関する事 ○写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関する事 ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関する事 ○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関する事 ○大嶺薫コレクション展に関する事 ○IPM 及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事 ○その他、上司が特に命ずる事項に関する事
主任学芸員 (歴 史)	崎原 恭子	◎人文系（歴史・美工）グループの統括に関する事 ◎歴史資料（古琉球・近世）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事 ◎博物館総合・部門展示（歴史分野）・屋外展示（鐘楼）に関する事 ◎常設総合部門展示室に関する事 ◎資料収集事業に関する事 ◎重要文化財保存管理（修理修復）事業に関する事 ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（R 5 予算管理、照会関係）に関する事 ○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関する事 ○文化観光拠点計画に関する事 ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関する事 ○大嶺薫コレクション展に関する事 ○沖縄県博物館協会に関する事 ○IPM 及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事 ○その他、上司が特に命ずる事項に関する事
主 任 (美術工芸)	篠原 あかね	◎美術工芸資料（染織・陶芸・三線）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事 ◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）に関する事 ◎博物館資料収集事業（博物館美術品購入基金）に関する事 ◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影に関する事 ◎在外琉球王国文化財調査研究事業に関する事 ◎琉球三線楽器保存・育成会に関する事 ○令和 6 年度特別展に関する事 ○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関する事 ○博物館資料修復事業に関する事 ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関する事 ○首里城被災資料の管理に関する事 ○新収蔵品展・大嶺薫コレクション展に関する事

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 任 (美術工芸)	篠原 あかね	○IPM 及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主 任 (美術工芸)	伊禮 拓郎	◎美術工芸資料（絵画・書跡・彫刻・漆芸）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（美術工芸等）に関すること ◎大嶺薫コレクション展に関すること ◎博物館資料修理事業に関すること ◎首里城被災資料の管理に関すること ◎公開承認施設申請に関すること ◎琉球王国文化遺産集積・再興事業（R 6 予算要求、工程会議等の運営）に関すること ○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関すること ○情報化推進リーダー（副）に関すること ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関すること ○IPM 及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒、施設管理に関すること ○博物館資料収集事業（博物館美術品購入基金）に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (考 古)	山本 正昭	◎民俗・考古・教育普及グループの総括に関すること ◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（考古分野）・屋外展示（湧田窯）に関すること ◎令和 5 年度企画展「琉球と倭寇のもの語り」に関すること ◎考古資料の複製・修復に関すること ◎博物館『年報』の編集・発行に関すること ○令和 5 年度特別展「旧石器時代の人類」に関すること ○移動展（国頭村）に関すること ○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること ○兵庫・沖縄友愛締結 40 周年事業に関すること ○博物館友の会に関すること ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関すること ○大嶺薫コレクション展に関すること ○情報センターの図書・データに関すること ○IPM 及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒、施設管理に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
学 芸 員 (民 俗)	大城 沙織	◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること ◎博物館総合・部門展示（民俗資料）に関すること ◎屋外展示（民家・高倉）に関すること ◎デジタルミュージアム事業の管理・運営に関すること ◎民俗文化財調査（厨子甕）に関すること ◎企画展示室・特別展示室の不具合カ所の修繕に関すること ◎屋外展示有用植物園の管理に関すること ◎令和 6 年度特別展に関すること ○文化観光拠点計画に関すること ○IPM 及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒、施設管理に関すること ○沖縄県博物館協会に関すること ○琉球三振楽器保存・育成会に関すること ○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること ○常設展・各部門展示室のメンテナンスに関すること ○大嶺薫コレクション展に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (教育普及)	平川 信幸	◎教育普及の統括に関すること ◎教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理に関すること ◎博物館学習等の調査研究に関すること ◎常設・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること ◎博物館友の会に関すること ◎ボランティア活動に関すること ◎展示ガイド養成に関すること ◎体験学習教室・夏休み子ども教室の企画及び野外展示の活用に関すること ◎文化講座・学芸員講座の企画調整に関すること ◎ふれあい体験室の運営に関すること ◎学校連携及び博物館教育普及モデル事業に関すること ◎移動展（国頭村）に関すること ○文化観光拠点計画に関すること

職 名	氏 名	担 当 業 務
主任学芸員 (教育普及)	平川 信幸	○IPM 及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒、施設管理に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (再任用・ 学芸業務補佐)	與那嶺 一子	○公文書（旧博物館資料）の整理に関すること ○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること ○博物館班業務全般の支援に関すること ○美術工芸資料の収集・保管・整理・調査研究・展示公開等の支援に関すること ○写真資料等の整理の支援に関すること ○博物館資料修理事業の支援に関すること ○博物館資料収集事業（博物館美術館購入基金）の支援に関すること ○「在外琉球王国文化財調査研究事業」の支援に関すること ○企画展示室・特別展示室・常設展メンテナンスの支援に関すること ○令和6年度特別展の支援に関すること ○首里城火災資料の管理に関すること ○学芸員ゼミに関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (再任用・ 学芸業務補佐)	園原 謙	○公文書（旧博物館資料）の整理に関すること ○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること ○博物館班業務全般の支援に関すること ○民俗・美工・歴史分野資料の収集・保管・整理・調査研究・展示公開等の支援に関すること ○写真資料等の整理の支援に関すること ○「在外琉球王国文化財調査研究事業」に関すること ○企画展示室・特別展示室・常設展メンテナンスの支援に関すること ○カンボジア地雷博物館の支援に関すること ○首里城火災資料の管理に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
主任学芸員 (再任用・ 学芸業務補佐)	大湾 ゆかり	○民俗資料の保管・整理に関すること ○全国歴史民俗系博物館協議会に関すること ○民俗資料の収集・調査研究・公開等の支援に関すること ○博物館総合・部門展示（民俗資料）及び屋外展示（民家・高倉）等の支援に関すること ○琉球三線楽器保存・育成会に関すること ○「デジタルミュージアム事業」の管理・運営の支援に関すること ○民俗文化財調査（厨子甕）の支援に関すること ○企画展示室・特別展示室・常設展メンテナンスの支援に関すること ○屋外展示有用植物園の管理の支援に関すること ○琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること ○令和6年度特別展の支援に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
会計年度職員 (学芸業務補助)	渡真利 耕平	○博物館『年報』の編集・発行に関すること ○寄贈図書類の回覧に関すること ○写真資料の貸出、博物館資料の撮影等に関すること ○公文書の整理に関すること ○写真資料等の整理に関すること ○発送業務等の集約に関すること ○展示公開事業の補佐に関すること ○学芸員業務の補佐に関すること ○学芸研究資料室の図書に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
会計年度職員 (教育普及業務 補助)	照屋 杏奈	○ボランティア活動の連絡調整に関すること ○視聴覚機器の整理・保管に関すること ○博物館学習への各種照会事項対応に関すること ○教育普及担当学芸員の補佐に関すること ○教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関すること ○博物館学習等の調査研究に関すること ○文化講座の企画等に関すること ○ふれあい体験室の運営に関すること ○常設・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること
会計年度職員 (事務補助・ 一括交付金業務)	大底 ひろみ	○一括交付金事業「琉球王国文化遺産集積・再興事業」の事務補助（巡回展関連の旅費、需用費の執行補助等）に関すること ○その他、上司が特に命ずる事項に関すること

(美術館班)

職 名	氏 名	担 当 業 務
副館長 兼美術館班長	大川 剛	◎美術館業務の総括に関すること ◎館長の補佐に関すること。 ◎外郭団体等への対応に関すること ◎指定管理者との連絡調整に関すること ○その他、特に上司が命じる事項に関すること
主任学芸員	玉城 早苗	◎教育普及活動に関すること ◎教育普及活動の調査・研究に関すること ◎移動展、「沖縄美術の流れ展」に関すること ◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等に関すること ○その他、特に上司の命じる事項に関すること
主 任	梶原 正史	◎資料保存管理活動に関すること ◎保存修復の研究に関すること ◎「沖縄美術の流れ展」に関すること ○展示公開活動に関すること ○共催、協力、後援事業に関すること ○展覧会計画策定に関すること ○その他、特に上司が命じる事項に関すること
主 任	亀海 史明	◎資料収集活動に関すること ◎コレクション展(写真)「アジアを見る眼」「Color」に関すること ◎写真・映像の研究に関すること ◎美術館資源発信基盤整備事業に関すること ○その他、特に上司が命じる事項に関すること
学 芸 員	大城 さゆり	◎調査研究活動に関すること ◎近現代美術の研究に関すること ◎企画展「照屋勇賢展」に関すること ◎調査研究の照会に関すること ○その他、特に上司が命じる事項に関すること
会計年度職員 (美術品調査員)	喜納 祥子	○作品の調査に関すること ○収蔵品のデータベース及び画像管理・貸出に関すること
会計年度職員 (学芸業務補助)	又吉 貴美子	◎展示公開事業の補佐に関すること ◎教育担当学芸員の補佐に関すること ◎保存修復担当学芸員の補佐に関すること ○美術館資料調査、収集及び整理に関すること
会計年度職員 (事務補助)	奥平 こずえ	◎文書の収受、発送に関すること ◎図書の受付、整理に関すること ○文書等の整理、保管に関すること ○業務補助に関すること
会計年度職員 (事務補助)	玉利 咲	○美術館二次資料の整理、データ化に関すること

【人事異動】

2023年5月1日 現在

	班 名	職 名	氏 名	摘 要
転出	総務班 博物館班 博物館班 美術館班	館長 主査 班長 主任学芸員 主任学芸員	田名 真之 當間 千春 外間 一先 大城 久表 豊見山 愛	退職(※3月31日) 港湾課(那覇港管理組合) 沖縄水産高校 松城中学校 文化財課
転入	総務班 博物館班	館長 主査 主任学芸員	里井 洋一 松永 利絵子 平川 信幸	任期付採用(令和5年4月1日付) 保健医療総務課 文化財課

	班 名	職 名	氏 名	摘 要
転入	博物館班	学芸員	大城 沙織	新採用（令和5年4月1日付）
	博物館班	学芸員	新山 颯大	新採用（令和5年5月1日付）

V 沖縄県立博物館・美術館協議会

日 時：2024年2月6日（火）14:00～15:30

議 題：令和5年度事業報告及び、令和6年度事業計画について（指定管理者、県博物館班、県美術館班）、その他

沖縄県立博物館・美術館協議会委員名簿

（任期：2022年7月10日～2024年7月9日）

分 野	氏 名	所 属	職 名
学識経験者	◎濱口 寿夫	中城村護佐丸歴史資料図書館	館 長
	秋山 道宏	沖縄国際大学総合文化学部	准 教 授
	上原 静	元沖縄国際大学	名誉教授
	稲福みき子	元沖縄国際大学	名誉教授
	石田 肇	元琉球大学医学部	元医学部長
	宮里 正子	元浦添市美術館	元 館 長
	西村 貞雄	元琉球大学	名誉教授
	○仲本 賢	沖縄県立芸術大学美術工芸学部	教 授
	下地 芳郎	沖縄観光コンベンションビューロー	会 長
学校教育関係者	川満 恵昌	沖縄県小学校長会	副 会 長
	與那覇 直樹	沖縄県中学校長会	副 会 長
	仲宗根 勝	沖縄県高等学校長会	副 会 長
社会教育・家庭教育関係者	田端 一正	沖縄県社会教育委員連絡協議会	会 長
	下地 イツ子	沖縄県高等学校PTA連合会	会 長

（◎会長、○副会長 2024年3月31日現在）

VI 予 算

2023年度 歳出状況（決算）

単位：千円

	博物館・美術館指定管理費	博物館・美術館費	博物館・美術館保全修繕事業	琉球王国文化遺産集積・再興事業	映像フィルム作品の修復・デジタル化事業	美術館資源発信基盤整備事業	在外琉球王国文化財里帰り事業	沖縄県立博物館・美術館重要文化財保存管理（修理修復）事業	合 計
報 酬		11,536		1,925		1,926			15,387
職員手当等		2,229		271		412			2,912
報償費		508		42					550
旅 費		6,412		827		92	990	188	8,509
需用費		16,684		60		56	14	5	16,819
役務費		2,047							2,047
委託料	346,500	42,341	2,497	15,047	632		3,126	2,064	412,207
使用料及び賃借料		2,679							2,679
備品購入費		9,099							9,099
負担金、補助及び交付金		85							85
公課費		25							25
繰出金		1							1
合 計	346,500	93,646	2,497	18,172	632	2,486	4,130	2,257	470,320

※本庁執行分を含む

2023年度 歳入状況（決算）

単位：千円

	収入金額	説 明
土 地 使 用 料	33	自動販売機土地使用料等
建 物 使 用 料	1,329	喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料等
国 庫 補 助 金	16,343	沖縄振興特別推進交付金、文化庁補助金
雑 入	2,158	土地使用に係る電気料金、雇用保険料等
合 計	19,863	※本庁収納分を除く

VII 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2024年3月31日 現在

	分 類	件 数	小 計
博 物 館	自 然 史	58,935	102,912
	人 類	132	
	美 術 工 芸	11,116	
	歴 史	14,964	
	考 古	9,777	
	民 俗	7,988	
美 術 館	平 面	1,948	4,858
	立 体	283	
	写 真 ・ 映 像	2,598	
	そ の 他	29	
総 計			107,770

(注) 2016 (H28) 年度の自然史収蔵資料に集計漏れがあったため、数値を修正しました。

利用統計

I 入館者統計

1 総入館者集計

(単位：人)

年	月	博 物 館									美 術 館									全 体				総入館者
		常 設 展			企画展／特別展			全 体			コレクション展			企 画 展			全 体			展示室合計			展示以外 (共有)	
		有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	合計		
2023 (令和5)	4	5,938	2,018	7,956	259	137	396	6,197	2,155	8,352	2,751	971	3,722	2,039	114	2,153	4,790	1,085	5,875	10,987	3,240	14,227	8,948	23,175
	5	5,297	2,376	7,673	1,984	602	2,586	7,281	2,978	10,259	1,999	1,168	3,167	14,197	1,341	15,538	16,196	2,509	18,705	23,477	5,487	28,964	10,175	39,139
	6	5,137	1,975	7,112	1,914	439	2,353	7,051	2,414	9,465	2,299	727	3,026	3,414	549	3,963	5,713	1,276	6,989	12,764	3,690	16,454	9,287	25,741
	7	5,129	1,951	7,080	7,261	1,135	8,396	12,390	3,086	15,476	1,524	417	1,941	20,389	866	21,255	21,913	1,283	23,196	34,303	4,369	38,672	10,047	48,719
	8	7,785	2,905	10,690	15,669	2,095	17,764	23,454	5,000	28,454	3,615	838	4,453	44,568	1,397	45,965	48,183	2,235	50,418	71,637	7,235	78,872	4,682	83,554
	9	5,640	1,750	7,390	4,836	881	5,717	10,476	2,631	13,107	2,915	776	3,691	9,554	390	9,944	12,469	1,166	13,635	22,945	3,797	26,742	16,492	43,234
	10	6,686	2,229	8,915	2,309	409	2,718	8,995	2,638	11,633	2,899	1,089	3,988	0	0	0	2,899	1,089	3,988	11,894	3,727	15,621	17,815	33,436
	11	6,894	6,895	13,789	1,757	409	2,166	8,651	7,304	15,955	2,351	2,945	5,296	2,123	211	2,334	4,474	3,156	7,630	13,125	10,460	23,585	21,759	45,344
2024 (令和6)	1	5,909	3,320	9,229	2,665	253	2,918	8,574	3,573	12,147	1,962	1,254	3,216	2,557	397	2,954	4,519	1,651	6,170	13,093	5,224	18,317	14,301	32,618
	2	7,353	2,827	10,180	1,970	252	2,222	9,323	3,079	12,402	3,112	1,189	4,301	0	0	0	3,112	1,189	4,301	12,435	4,268	16,703	23,225	39,928
	3	9,084	2,321	11,405	0	0	0	9,084	2,321	11,405	3,123	1,184	4,307	4,385	198	4,583	7,508	1,382	8,890	16,592	3,703	20,295	21,782	42,077
合 計		77,929	32,973	110,902	42,606	6,759	49,365	120,535	39,732	160,267	31,049	13,469	44,518	105,361	5,636	110,997	136,410	19,105	155,515	256,945	58,837	315,782	172,637	488,419
目 標		54,080			12,851			66,931			27,920			6,336			34,256			101,187				
達成率(%)		144.10%			331.54%			180.09%			111.21%			1662.89%			398.21%			253.93%				

※昨年度まで博物館企画展、特別展の項目ごとに数値を出していたが、企画展と特別展の振り分けは手計算で行っており統計ミスが起きやすくなるため、令和5年度統計より博物館企画展・特別展の集計数値をまとめることとする。

2 団体別入館者集計

(単位：人)

項目	県内										県外										国外								合計	
	小中生		高大生		特別支援		その他		小計		小中生		高大生		特別支援		その他		小計		小中生		高大生		特別支援		小計			
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	1	152	2	132	0	0	1	40	4	324	0	0	3	195	1	13	0	0	4	208	0	0	0	0	0	0	0	0	8	532
5月	4	85	1	40	0	0	3	89	8	214	4	376	0	0	0	0	0	0	4	376	0	0	1	182	0	0	1	182	13	772
6月	7	291	1	27	0	0	1	13	9	331	1	104	1	227	1	12	0	0	3	343	1	25	0	0	0	0	1	25	13	699
7月	1	35	5	133	2	64	21	707	29	939	0	0	1	21	0	0	0	0	1	21	1	61	1	10	0	0	2	71	32	1,031
8月	0	0	0	0	0	0	51	1,687	51	1,687	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	1,687
9月	9	865	1	17	0	0	2	38	12	920	1	61	3	90	0	0	0	0	4	151	0	0	1	24	0	0	1	24	17	1,095
10月	10	693	4	363	2	31	1	15	17	1,102	2	222	10	809	0	0	0	0	12	1,031	0	0	0	0	0	0	0	0	29	2,133
11月	24	1,765	5	427	0	0	0	0	29	2,192	2	314	10	1,216	1	4	0	0	13	1,534	1	60	0	0	0	0	1	60	43	3,786
12月	13	868	7	216	1	13	1	19	22	1,116	1	72	6	978	0	0	0	0	7	1,050	3	108	0	0	0	0	3	108	32	2,274
1月	18	1,633	4	83	2	51	0	0	24	1,767	1	30	0	0	0	0	0	0	1	30	2	47	1	24	0	0	3	71	28	1,868
2月	15	984	3	83	1	6	3	100	22	1,173	1	92	3	161	0	0	0	0	4	253	0	0	0	0	0	0	0	0	26	1,426
3月	4	165	1	55	0	0	3	81	8	301	0	0	4	557	0	0	0	0	4	557	3	89	1	28	0	0	4	117	16	975
合計	106	7,536	34	1,576	8	165	87	2,789	235	12,066	13	1,271	41	4,254	3	29	0	0	57	5,554	11	390	5	268	0	0	16	658	308	18,278

※「その他」の団体に含まれるのは、保育園、幼稚園、学童クラブなどの教育施設団体。

3 展覧会別入館者集計

(単位：人)

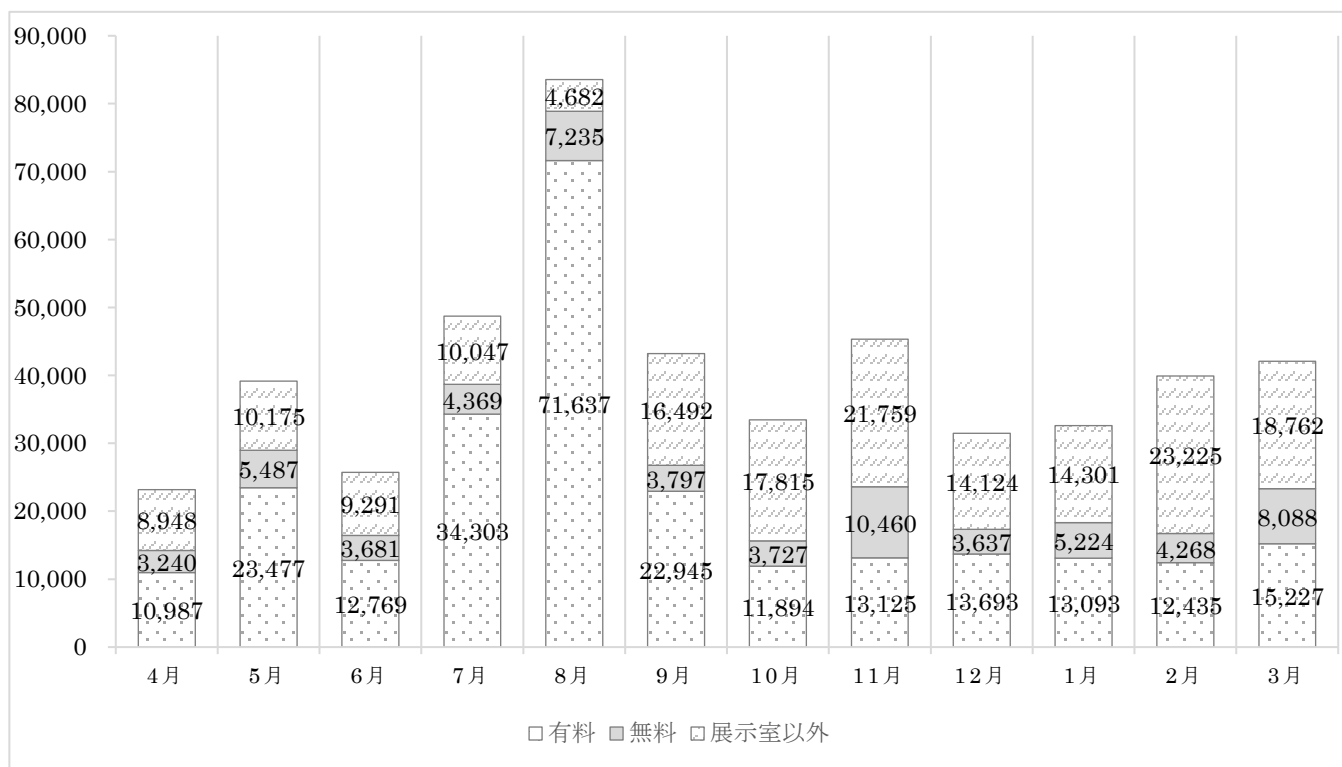
展覧会名		開催期間	一日平均 入場者数	有料 入場者数	無料 入場者数	合計 入場者数
博物館	企画展「大嶺薫コレクション展 琉球歴史探訪～コレクションに秘められた想い～」	1月31日～5月7日 会期：84日間	90	2,426	463	2,889
	企画展「新収蔵品展 令和3・4年度収蔵資料」	4月28日～6月4日 会期：33日間	101	2,491	832	3,323
	企画展「海を越える人々（前期） 琉球と倭寇の物語り」	9月22日～11月19日 会期：57日間	114	4,858	971	5,829
	特別展「海を越える人々（後期） 旧石器時代の人類」	12月12日～2月12日 会期：50日間	145	6,617	652	7,269
美術館	企画展「照屋勇賢展」	11月3日～2024年1月21日 会期：64日間	119	6,815	781	7,596
指定 管理者	企画展「ジミー大西展」	4月28日～6月4日 会期：33日間	656	19,650	2,004	21,654
	企画展「みんなの進化展－命はつながっている－」	6月21日～9月3日 会期：57日間	497	28,640	4,323	32,963
	企画展「MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界」	7月12日～9月3日 会期：47日間	1,642	74,511	2,653	77,164
	企画展「沖縄の染と織の至宝展」	10月27日～11月26日 会期：26日間	271	0	7,049	7,049
	企画展「キングダム展」	3月22日～5月12日 会期：46日間	458	4,385	198	4,583
合 計				150,393	19,926	170,319

※券種と観覧者種別での振り分けは手作業で行っており、数値の正確さをきすため令和5年度から統計の仕方を変更し、「有料」、「無料」での集計方法に変更した。それに伴い集計表の内容を変更。

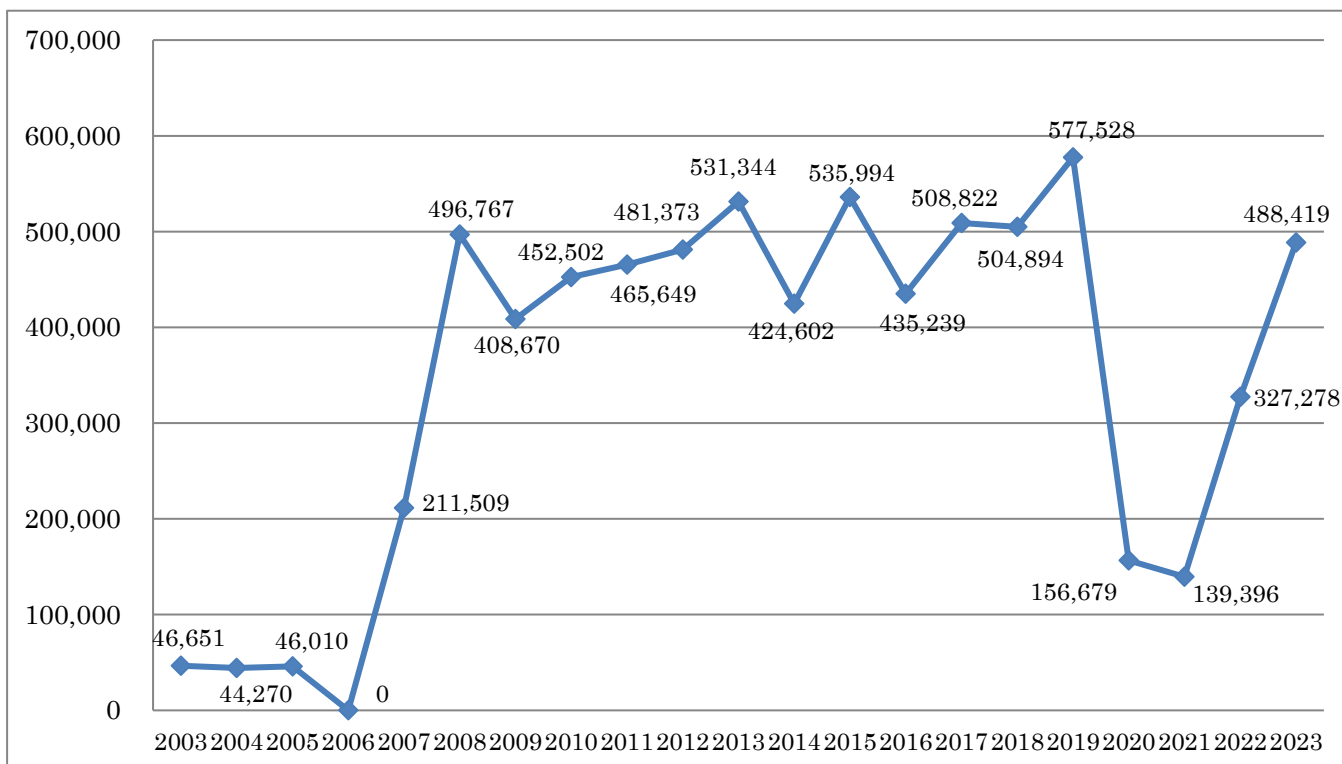
※企画展「キングダム展」については、2024年3月末日時点の実績。

※企画展「大嶺薫コレクション展」については、2024年4月1日～5月7日までの実績。

4 2023年度（令和5）月間別入館者数



5 年間入館者数の年次推移



6 減免申請集計

(単位：人)

項 目		学校関係 (下見)		旅行社関係 (視察・引率)		マスコミ関係 (視察)		福祉関係 (引率)		博物館・美術館 関係者 (視察)		その他		合計	
		団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
2023	4 月	3	8	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10
	5 月	4	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	13
	6 月	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4
	7 月	6	19	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	22
	8 月	21	74	1	1	0	0	0	0	0	0	1	39	23	114
	9 月	5	11	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14
	10 月	9	27	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	11	30
	11 月	2	7	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	3	12
	12 月	12	33	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	13	34
2024	1 月	13	36	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	14	39
	2 月	2	5	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11
	3 月	5	8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	9
合 計		82	241	15	26	0	0	0	0	1	5	2	40	100	312

7 団体入館内訳

県内 小学校														のべ103校 7,500名			
No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数			
1	4	27	高良小学校	152	36	11	9	南原小学校	49	70	1	12	銘苅小学校	91			
2	5	16	オキナワインターナショナルスクール	17	37			高嶺小学校	46	71			16	浦城小学校	143		
3		19	上野小学校	42	38			南風原小学校	151	72			西崎小学校	138			
4		25	城辺小学校	15	39		10	座安小学校	83	73			17	城岳小学校	84		
5	31	若夏学院	11	40				安和小学校	16	74			18	東風平小学校	178		
6	6	4	東小学校	90	41		15	大里南小学校	125	75				城東小学校	81		
7		8	学校法人トリガ学園 海星小学校	18	42		17	南大東小学校	16	76				奥間小学校	17		
8		9	ホプ インターナショナルアカデミーオキナワ	40	43			屋部小学校	117	77		19	松川小学校	76			
9		13	北小学校	49	44			伊良波小学校	94	78		23	城北小学校	125			
10		16	オキナワインターナショナルスクール初等科	18	45		21	白保小学校	28	79		25	真嘉比小学校	99			
11		22	下地小学校	50	46		22	内間小学校	94	80			喜屋武小学校	21			
12		27	西辺小学校	26	47			普天間小学校	96	81		26	大原小学校	15			
13		7	新城小学校	35	48			屋我地ひるぎ学園	27	82			東江小学校	82			
14		9	15	城東小学校	77	49	24	上田小学校	168	83		31	上間小学校	94			
15			中城南小学校	161	50	28	豊崎小学校	121	84			東風平小学校	166				
16	21		ゆたか小学校	130	51		泡瀬小学校	132	85	2	1	垣花小学校	39				
17	22		金城小学校 3 年生	105	52	29	真地小学校	77	86				中川小学校	17			
18			金城小学校 4 年生	127	53	30	古蔵小学校	126	87				さつき小学校	86			
19			曙小学校	36	54	12	1	西原小学校	112	88		2	小緑南小学校	107			
20	26		比屋根小学校	125	55		3	石垣小学校	49	89		6	泊小学校	68			
21	27		糸満小学校	91	56		6	天久小学校	122	90			浦添小学校	16			
22	10	5	佐敷小学校	81	57			玉城小学校	76	91		8	泊小学校	76			
23		7	鳩間小学校	5	58		7	天願小学校	49	92		9	宇栄原小学校	106			
24		13	翔南小学校 3 年	90	59		8	羽地小学校	65	93		14	開南小学校	56			
25			翔南小学校 5 年	96	60		15	与那国小学校	11	94		16	安謝小学校	92			
26		20	阿波連小学校	5	61				津覇小学校	18	95			若狭小学校	60		
27		25	古堅南小学校	99	62				久部良小学校	12	96			北谷小学校	68		
28			仲里小学校	22	63		20	天久小学校	122	97		17	古堅小学校	18			
29		26	銘苅小学校	128	64		21	小緑小学校	65	98		20	城西小学校	82			
30			北美小学校	105	65		22	天久小学校	127	99		29	天久小学校	93			
31		27	大里北小学校	62	66			石嶺小学校	40	100	3	1	天久小学校	32			
32	11	1	宮良小学校	20	67		1	10	天妃小学校	72		101	5	安富祖小学校	15		
33		2	本部小学校	90	68					大里南小学校		33	102	8	那覇小学校	72	
34		8	高嶺小学校	56	69					前田小学校		118	103		12	山内小学校	46
35		9	北大東小学校	10													

県内 中学校											のべ3校 36名				
No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	
1	9	3	沖縄三育中学校	13	2	11	1	座間味中学校	6	3	11	3	北谷中学校	17	

県内 高校

のべ24校 1,271名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	20	つくば開成国際高校	108	9	11	7	真和志高校	12	18	12	20	石川高校	4
2		27	陽明高校	24	10		10	首里高校染色デザイン科	40	19	1	18	開邦高校	21
3	7	7	陽明高校	26	11		28	読谷高校	20	20		26	小禄高校	23
4	9	28	泊高校	17	12	12	6	小禄高校	50	21		31	沖縄水産高校	21
5	10	6	陽明高校	22	13		7	読谷高校	19	22	2	4	球陽高校	18
6		29	第47回沖縄県高等学校総合文化祭	123	14		8	小禄高校	30	23		15	真和志高校	20
7		31	昭和薬科大学付属高校	201	15		14	浦添工業高校	78	24	3	19	浦添商業高校	55
8	11	2	前原高校	334	16			真和志高校	5					

県内 専門学校・大学

のべ10校 275名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	24	沖縄大学	40	5	7	14	琉球大学	34	8	11	10	沖縄大学	21
2	6	7	沖縄こども専門学校	27	6		29	KBC学園エカ7医療保育専門学校	25	9	1	4	沖縄国際大学(砂川ゼミ)	18
3	7	11	沖縄国際大学グローバル教育支援センター	26	7	10	12	沖縄国際大学(山川ゼミ)	17	10	2	8	沖縄こども専門学校	45
4		13	尚学院国際ビジネスアカデミー	22										

県内 特別支援学校

のべ8校 204名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	7	14	大平特別支援学校	56	4	10	6	那覇みらい支援学校	34	7	1	26	那覇みらい支援学校	37
2		19	沖縄市立教育研究所通応指導教室たち	8	5	12	22	沖縄ろう学校	25	8	2	8	沖縄盲学校	6
3	10	5	大平特別支援学校	24	6	1	17	那覇みらい支援学校	14					

県内 幼稚園・保育園・その他

のべ87校 2,789名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	19	ガジュマル保育園	40	30	8	8	放課後等デイサービスあうる	21	59	8	18	放課後等デイサービストリプルイン	20
2	5	18	よなは保育園	19	31		9	ゆうゆう児童クラブ	57	60			高良児童クラブ	14
3		27	こども支援ハウス Racucuru	16	32			こどもの家船越クラブ	25	61		22	伊良波こども園	55
4		30	浜田ハビネ認定こども園	54	33			放課後等デイサービス発達ラボ	26	62			しゅりの泉児童クラブ	58
5	6	3	児童心理治療施設「アズガ」デッ	13	34			ゆうゆう学童クラブ	28	63			ドューラボ	44
6	7	8	レイモンドあしびなー保育園	68	35		10	沖縄カリッパ小学校ベージック	38	64		23	いこい学童クラブ	20
7		20	ゆうわ認定こども園	20	36			うちま学童クラブ	32	65			はごろも保育園	24
8		21	首里当蔵保育園	16	37			泊児童クラブ	47	66			リトルグリーンバード	57
9			高良児童クラブ	17	38			ベストメイトフリースクール1.2.3.	28	67		24	ドレミ認定こども園	35
10			おたろけいほいくえん	30	39		11	デイサービスゆいすぽ	21	68			第二エミール保育園	25
11			ゆうわ認定こども園	18	40		15	サウナ学童	32	69			平安幼稚園	54
12			サニーハート児童クラブ	27	41			北丘・北丘第二学童クラブ	54	70			多機能型事業所レッツ	21
13	23		みらい児童館	25	42			はなぞの学童クラブ	112	71		25	伊良波こども園	29
14	25		アポロぎのわん	39	43			よなは学童クラブ	29	72			すず風こども園	30
15			石嶺保育園	27	44			放課後等デイサービスリンクエイト	11	73		26	嘉手納アッセ教会ミッションネット	26
16			いじゅの木みはら	15	45		16	育成学童クラブ	28	74		29	しゅりの泉こども園	58
17	26		かみもとが放課後児童クラブ	33	46			よなは学童クラブ	25	75			学童きりん	35
18			アサギ・ジ・アサギ 泉崎児童クラブ	47	47			こども支援ハウス Racucuru NEO	12	76		31	がじゅまるの樹林保育園	20
19			にこにこ児童クラブ	46	48			第三風の子学童	39	77			そらみらいの子保育園	19
20	27		若竹保育園	36	49			放課後等デイサービスハートフルの夢	14	78	9	1	大芽保育園	25
21			正道スマイリークラブ	49	50			放課後等デイサービスFOCUS	6	79		2	本部児童館	13
22			ゆたか児童クラブ	47	51		17	ドレミ認定こども園	43	80	10	25	おおな愛児保育園	15
23			放課後等デイサービスパティ	13	52			たばる児童クラブ	21	81	12	9	放課後児童等デイサービスデザイン	19
24	28		中城みなみ学童クラブ	47	53			BusyBeeSchool 沖縄	18	82	2	7	おおな愛児保育園	20
25	29		中城ひらやすこども園	52	54			さくらんぼ学童園	48	83		9	南保育園	18
26			ことぶき学童クラブ	35	55			むぎの穂こどもくらぶ	19	84		22	中城みなみ保育園・幼稚園	62
27	8	8	もみじ学童クラブ	42	56			放課後等デイサービスひよなばる	27	85	3	8	ぎのわんおひさま保育園	30
28			びっころ第2学童クラブ	31	57			学童塾琉童	39	86		12	小禄南保育園	13
29			ジョイジョイ保育園	37	58		18	いこい学童クラブ	33	87		22	あめく児童クラブ	38

県外 小学校

のべ3校 226名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	16	目黒青美小学校(東京都)	104	2	1	23	神之嶺小学校(鹿児島県)	30	3	2	6	雙葉小学校(神奈川県)	92

県外 中学校

のべ10校 1,045名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	9	北海道教育大学付属札幌中学校(北海道)	122	5	9	17	東京家政大学附属女子中学校(東京都)	61	8	11	4	愛知淑徳中学校(愛知県)	286
2		18	猪名川町立清陵中学校(兵庫県)	86	6	10	5	ラ・サール中学校(鹿児島県)	85	9		16	瑞穂中学校(島根県)	28
3		21	宝塚市安倉中学校(兵庫県)	154	7		31	近江兄弟社中学校(滋賀県)	137	10	12	6	城東中学校(広島県)	72
4		28	宝塚市西谷中学校(兵庫県)	14										

県外 高校学校														のべ37校 4,168名			
No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数			
1	4	4	晃華学園高校(東京都)	149	14	10	27	清風高校(大阪府)	20	26	12	2	宇都宮短期大学附属高校(栃木県)	282			
2		19	若葉高校(東京都)	35	15		31	栄徳高校(愛知県)	76	27		3	宇都宮短期大学附属高校(栃木県)	496			
3	6	20	明法高校(東京都)	227	16	11	3	栄徳高校(愛知県)	207	28		5	敬愛学園高校(千葉県)	29			
4	7	14	ルネッサンス豊田高校(愛知県)	21	17		7	浜松聖星高校(静岡県)	64	29		12	東住吉総合高校(大阪府)	32			
5	9	26	上田東高校(長野県)	35	18		8	前橋高等学校(群馬県)	43	30		21	香蘭女学校(東京都)	18			
6	10	4	竹園高校(茨城県)	83	19			高槻北高校(大阪府)	314	31		22	明治学院高校(東京都)	121			
7		5	福岡インターナショナルスクール(福岡県)	21	20		9	鎌倉女学院高校(神奈川県)	175	32	2	7	つばさ総合高校(東京都)	118			
8		6	太田第一高校(茨城県)	37	21			興譲館高校(岡山県)	77	33		29	バプティスト専門学校高等課程(愛知県)	23			
9			川越初雁高校(埼玉県)	153	22		23	岐阜聖徳学園高校(岐阜県)	7	34	3	5	京都暁星高校(京都府)	47			
10		17	岩村田高校(長野県)	210	23		24	岐阜聖徳学園高校(岐阜県)	4	35		7	白鷗大学足利高校(栃木県)	153			
11		21	アトミック清心高校(広島県)	181	24		28	尼崎高校(兵庫県)	82	36		8	白鷗大学足利高校(栃木県)	90			
12		25	清風高校(大阪府)	8	25		29	尼崎高校(兵庫県)	243	37		10	同志社女子高校(京都府)	267			
13		26	清風高校(大阪府)	20													

県外 専門学校・大学										のべ4校 86名				
No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	18	東洋きもの専門学校(大阪府)	11	2	9	5	日本大学(東京都)	31	3	9	13	立命館大学(京都府)	24
4	2	16	日本福祉大学(愛知県)	20										

県外 特別支援学校										のべ3校 29名				
No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	25	滋賀県立聾話学校(滋賀県)	13	2	6	8	奈良県立ろう学校高等部(奈良県)	12	3	11	24	筑波大附属寛政特別支援学校(茨城県)	4

国外 その他（基地内含む）										のべ16校 658名					
No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	
1	5	20	韓国海洋大学(韓国)	182	7	12	8	Kadena Middle School(基地内)	51	12	1	25	新竹市立建功高中高校(台湾)	24	
2	6	27	台湾南投縣延平小學(台湾)	25	8		9	聖公會主風小学(香港)	40	13		3	9	寶血會思源学校(香港)	26
3	7	7	金寧中学校(台湾)	61	9		17	ブリスベン・グランド・ハイスクール(韓国)	17	14			23	藍田循道衛理小學(香港)	38
4		14	ワシントン大学(アメリカ)	10	10		23	佳林国中学(台湾)	19	15			26	嘉手納 youth center(基地内)	25
5	9	22	輔仁高級中学(台湾)	24	11		25	Islamic Primary School(香港)	28	16		27	香港東華三院高校(香港)	28	
6	11	7	開瑄國小(台湾)	60											

Ⅱ 施設利用者統計

1 月別施設利用集計

(単位：日数)

項目	博 物 館					美 術 館												共有		その他				
	企画展示室	特別展示室	博物館講座室	博物館実習室	博物館屋外展示場	企画ギャラリー1	企画ギャラリー2	美術館講座室	県民アトリエ	こどもアトリエ	スタジオ		県民ギャラリー1	県民ギャラリー2	県民ギャラリー3	美術館屋外展示場	中庭	講堂	エントランス	3階回廊	講堂前ホワイエ	正面玄関雨端		計
4月	9	26	18	11	0	6	6	22	5	12	5	6	6	4	0	0	14	20	0	0	0	170	26	
5月	26	26	24	11	0	26	26	20	6	5	6	20	22	6	0	0	11	23	0	0	1	259	26	
6月	9	9	22	12	0	6	6	20	5	10	7	13	6	0	0	0	8	23	0	7	0	163	23	
7月	21	21	16	14	0	21	21	20	12	7	8	20	20	15	0	0	18	21	0	21	0	276	21	
8月	24	24	18	14	0	24	24	17	20	20	24	16	19	12	0	0	12	25	0	22	0	315	24	
9月	9	9	24	18	0	5	8	24	12	2	26	19	17	12	0	0	23	26	0	6	0	240	26	
10月	26	26	24	20	0	19	19	21	17	15	14	26	26	26	0	0	18	26	0	2	0	325	26	
11月	0	25	26	21	2	26	26	25	10	10	11	24	22	22	1	0	22	26	0	23	2	324	26	
12月	24	24	20	14	0	24	24	22	7	4	9	20	12	15	0	0	18	0	0	15	0	252	24	
1月	24	24	19	14	0	22	22	19	8	7	4	16	16	7	0	0	22	18	0	24	0	266	24	
2月	19	24	21	16	1	22	13	23	6	4	10	17	17	12	0	0	21	24	0	11	0	261	24	
3月	28	24	26	12	0	28	14	26	12	10	16	21	21	7	0	0	21	0	0	0	0	266	28	
貸出件数	219	262	258	177	3	229	209	259	120	106	140	218	204	138	1	0	208	232	0	131	3	3,117	298	
今年度稼働率	73.5%	87.9%	86.6%	59.4%	1.0%	76.8%	70.1%	86.9%	40.3%	35.6%	47.0%	73.2%	68.5%	46.3%	0.3%	0.0%	69.8%	77.9%	0.0%	44.0%	1.0%			

※3階回廊、講堂前ホワイエ、正面玄関、博物館屋外展示場、美術館屋外展示場、中庭は県主催、指定管理者主催イベントのみ稼働。

2 当館主催事業及び施設貸出内訳

【2023年4月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	土	県アトリエ	体軸コンディショニング協会 体軸セラピスト	37	15	土	講 堂	博物館班 博物館文化講座「沖縄における全基地撤去後の経済を考える」
2	1	土	講 堂	有限会社グリーンフィールド 入社式・第19期経営方針発表会	38	15	土	講 堂	東アジア共同体研究所 琉球・沖縄センター 「台湾の金門島から学ぶ」
3	1	土	博物館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非日常南国ミステリツアー	39	15	土	博物館室	学校法人 尚学院国際ビジネスアカデミー 2023年度 SIBA 留学説明会
4	1	土	美術館室	株式会社ビータイム 2023年度入社式	40	15	土	博物館室	琉球大学医学部皮膚科/日本皮膚科学会沖縄地方会 第98回 沖縄地方会
5	2	日	県アトリエ	体軸コンディショニング協会 体軸セラピスト	41	15	土	博物館実習室	琉球大学医学部皮膚科/日本皮膚科学会沖縄地方会 第98回 沖縄地方会 控室
6	2	日	講 堂	沖縄ブルーカーボン研究所 シーサーの日スペシャル<ブルーゾーン沖縄>島ぐるみのシーサー・キジムナー共和国の教育とは?	42	15	土	美術館室	ヒューマンライフ少額短期保険株式会社 2023 春のコンプライアンス研修
7	2	日	博物館室	一般社団法人表千家同門会 沖縄県支部 教授者連絡会議	43	16	日	県民アトリエ	ワールドピースキャンペーン ヨグマタ瞑想の集い
8	5	水	博物館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非日常南国ミステリツアー	44	16	日	講 堂	沖縄県平和大使協議会 平和大使講演会
9	5	水	美術館室	オム・ファム株式会社 第29期経営計画発表会	45	16	日	こどもアトリエ	ワールドピースキャンペーン ヨグマタ瞑想の集い
10	5	水	美術館室	株式会社ノイズ・バリュース 第1回勉強会（第6回共同・協業事業販路開拓支援事業）	46	16	日	博物館室	全厚済 会員向けセミナー
11	6	木	講 堂	明治安田生命保険（相）沖縄支社 そうぞくセミナー	47	16	日	博物館実習室	博物館班 芭蕉布勉強会
12	6	木	美術館室	明治安田生命保険（相）沖縄支社 税務相談会	48	16	日	美術館室	ヒューマンライフ少額短期保険株式会社 2023 春のコンプライアンス研修
13	7	金	スタジオ	ABCT(IVA)沖縄 資産運用セミナー	49	16	日	美術館室	全厚済 会員向けセミナー
14	7	金	博物館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非日常南国ミステリツアー	50	18	火	講 堂	博物館班 博物館ボランティア全体会
15	7	金	博物館室	フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー	51	18	火	博物館室	社・本郷税理士法人沖縄事務所 相続ミニセミナー
16	7	金	美術館室	株式会社ライフアカデミー 究極の若返り	52	18	火	博物館室	在沖米国総領事館 同性婚とは？私たちにできること
17	8	土	講 堂	沖縄県ママさんバレーボール連盟 令和5年度定期総会	53	19	水	博物館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ゴールデンウィークボランティアミーティング
18	8	土	講 堂	島ラブアカデミー運営事務局 島ラブアカデミー	54	19	水	博物館室	琉球ファンド1号投資事業有限責任組合/株式会社琉球キャピタル 第3期 琉球ファンド1号投資事業有限責任組合集
19	8	土	美術館室	コムジェスト・アセットマネジメント株式会社 コラボセミナー	55	19	水	美術館室	沖縄塾 定期勉強会
20	9	日	講 堂	いしかわピアノ教室 ピアノ発表会	56	19	水	美術館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 会議
21	9	日	博物館実習室	一般社団法人琉球フィルハーモニック 那覇ジュニアオーケストラ練習会	57	20	木	スタジオ	合同会社 SANGA サプリメントの勉強会
22	9	日	美術館室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	58	20	木	博物館室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 沖縄支店 サンコム沖縄支店 2023年度上期安全大会
23	9	日	美術館室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	59	20	木	美術館室	株式会社ノイズ・バリュース 第2回勉強会（第6回共同・協業事業販路開拓支援事業）
24	11	火	講 堂	アブラック沖縄県アソシエイツ会 2023年度定例総会・A&A コ活動発表会	60	22	土	講 堂	Ecole de musique de SOLEIL 第7回ソレイユピアノ発表会
25	11	火	美術館室	株式会社プレナスワールド 医療費削減協議会健康セミナー	61	22	土	スタジオ	NPO法人沖縄県マンション管理組合連合会 マンション管理講座
26	12	水	講 堂	株式会社ディック学園 マイン高等学院 入学式	62	22	土	博物館実習室	沖縄慶友会 講習・勉強会
27	12	水	博物館室	沖縄県立博物館友の会 理事会	63	22	土	美術館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト アートことはじめ
28	12	水	博物館実習室	美術館班 会議	64	22	土	美術館室	NPO法人サポートセンターゆめさき 令和5年度就学継続支援員オリエンテーション
29	12	水	美術館室	株式会社サン・エージェンシー 令和5年度経営計画発表会	65	23	日	講 堂	株式会社海燕社 海燕社の小さな映画会 2023/4月会 『利休の茶』『麒麟 千少庵の茶室』
30	13	木	講 堂	有限会社てっぺん塾 ホンワク合宿セミナー	66	23	日	スタジオ	株式会社E アフアン セミナー
31	13	木	博物館室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ゴールデンウィークボランティアミーティング	67	23	日	美術館室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
32	13	木	美術館室	株式会社OZALLY ベルズシステムズ勉強会	68	25	火	博物館室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR14 研修
33	14	金	博物館室	セブテムプロダクツ セブテムプロダクツの事業内容説明セミナー	69	25	火	博物館実習室	美術館班 岡山市立山南学園レクチャー
34	14	金	博物館室	琉球民族独立総合研究学会 琉球の声を国連へ〜2023年度国連活動に向けて	70	25	火	美術館室	株式会社 虹ノ薬 沖縄次元風水セミナー
35	14	金	博物館実習室	一般財団法人沖縄芸術文化財団 沖縄語賛美歌の合唱練習	71	25	火	美術館室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 安全衛生協議会・総会
36	14	金	美術館室	株式会社 淡交カルチャー 沖縄 ゆったりなごみ旅〜琉球の工芸と茶を巡る	72	26	水	こどもアトリエ	イノス沖縄支部 支部総会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
73	26	水	博物館 講座室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR14 研修	89	29	土	博物館 実習室	琉球ハウジング／a. suo 坂下管理組合 第 11 回 通常総会
74	26	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会事務局／博物館班 三線 調査会	90	29	土	博物館 実習室	沖縄大学学生自治会 終わらない戦後処理と新たな戦前
75	26	水	美術館 講座室	株式会社ソフィア通信 令和 4 年度決算報告会	91	29	土	美術館 講座室	株式会社人事の味方 プログラミング体験会（無料）
76	26	水	美術館 講座室	㈱SUN／サンペール ムコ多糖のについての勉強会	92	30	日	博物館 実習室	サウスリンク株式会社 こどもパソコン組み立て ワークショップ
77	27	木	県民 アトリエ	日新火災海上保険株式会社 沖縄日新会総会	93	30	日	美術館 講座室	株式会社人事の味方 プログラミング体験会（無料）
78	27	木	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 高良小学校 オリエンテーション	94	1（土）～ 11（火）		こども アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 使用
79	27	木	講 堂	沖縄書店大賞実行委員会 第 9 回沖縄書店大賞発表会&授賞式	95	1（土）～ 9（日）		エントランス ホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 シーサー展
80	27	木	博物館 講座室	㈱SUN／サンペール ムコ多糖のについての勉強会	96	1（土）～ 20（木）		博物館特別 展示室 2	博物館班 大嶺薫コレクション展
81	27	木	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ピアノ（エントランス）保守点検	97	12（水）～ 13（木）		博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10 分ガイド 非日常南国ミステリツアー
82	27	木	美術館 講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 新新ビジネスセミナー	98	18（火）～ 30（日）		エントランス ホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 万国津梁の鐘プロジェクト
83	28	金	博物館 実習室	一般財団法人沖縄芸術文化財団 沖縄語賛美歌の練習	99	19（水）～ 20（木）		博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10 分ガイド 非日常南国ミステリツアー
84	28	金	美術館 講座室	株式会社りゅうせき 第 4 回ブランドセッション	100	21（金）～ 22（土）		博物館 講座室	ATR 研修
85	29	土	県民 アトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ 2023「ステンドグラスでオーナメント」	101	21（金）～ 30（日）		博物館特別 展示室 1・2	博物館班 大嶺薫コレクション展／新収蔵品展－令和 3・4 年度収蔵資料－
86	29	土	こども アトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ 2023「ステンドグラスでオーナメント」	102	21（金）～ 30（日）		博物館 企画展示室	博物館班 大嶺薫コレクション展／新収蔵品展－令和 3・4 年度収蔵資料－
87	29	土	スタジオ	沖縄自主の会 美ら島講座	103	25（火）～ 30（日）		美術館企画 ギャラリー 1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団／沖縄タイムス社 ジミー大西 画業 30 年記念作品展 「POP OUT」準備
88	29	土	博物館 講座室	久米島研究会 2023 年度年次総会及び第 1 回研究会					

【2023年 5 月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	3	水	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 世高通宝（せこうつうほう）をつくろう	21	12	金	講 堂	日本民間放送労働組合連合会（民放労連）平和と憲法を考えるフォーラム in 沖縄
2	4	木	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 楽しくあそんでさわって学ぶ おきみゅーのゴールデンウィーク 2023 準備	22	12	金	博物館 講座室	博物館ガイド基礎①ボランティア養成講座
3	5	金	正面 玄関 雨 端	一般財団法人沖縄美ら島財団 楽しくあそんでさわって学ぶ おきみゅーのゴールデンウィーク 2023「クバオージをつくろう」	23	12	金	博物館 講座室	㈱Ridilover スタディツアー
4	5	金	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 楽しくあそんでさわって学ぶ おきみゅーのゴールデンウィーク 2023「クバオージをつくろう」（雨天時）	24	12	金	博物館 実習室	一般財団法人沖縄芸術文化財団 沖縄語賛美歌の合唱練習
5	6	土	美術館 講座室	㈱人事の味方 プログラミング体験	25	12	金	美術館 講座室	㈱Ridilover スタディツアー
6	7	日	博物館 講座室	一般社団法人マンション管理相談センター 知らない！と損をする大規模修繕工事の実態と管理改善セミナー	26	12	金	美術館 講座室	NPO 法人沖縄呼吸ケア研究会 総会
7	7	日	博物館 実習室	サウスリンク株式会社/フラデラ朝美 こどもパソコン組み立てワークショップ	27	12	金	美術館 講座室	フォーディズ株式会社 核酸栄養セミナー
8	7	日	美術館 講座室	㈱人事の味方 プログラミング体験	28	13	土	スタジオ	沖縄チュチェ思想研究会 研究会
9	9	火	こども アトリエ	生活協同組合コープおきなわ 5 月地域別総代会 議 託児室	29	13	土	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10 分ガイド 非日常南国ミステリツアー
10	9	火	博物館 講座室	生活協同組合コープおきなわ 5 月地域別総代会 議	30	13	土	博物館 講座室	博物館班 国際博物館の日 2023 記念事業 博物館学芸員講座「ネアンデルタールとクロマニヨン」
11	9	火	博物館 講座室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 小規模事業者等デジタル化支援事業 事業説明会	31	13	土	美術館 講座室	ABCT（IVA）沖縄 資産運用勉強会
12	9	火	博物館 講座室	全厚済 会員向けセミナー	32	14	日	県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ブロムナードコンサート控室
13	9	火	美術館 講座室	株式会社ライフアカデミー 究極の若返りとは	33	14	日	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 10 分ガイド 非日常南国ミステリツアー
14	9	火	美術館 講座室	ジブラルタ生命保険株式会社 教弘委員会	34	14	日	講 堂	PFAS 汚染から市民の生命を守る連絡会 平和で豊かな沖縄のために（PFAS 講演会）
15	10	水	博物館 講座室	沖縄県立博物館友の会 定例理事会	35	14	日	博物館 講座室	株式会社公文教育研究会那覇事務局 公文式認定テスト
16	10	水	美術館 講座室	沖縄塾 定期勉強会	36	14	日	博物館 実習室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
17	10	水	美術館 講座室	全厚済 会員向けセミナー	37	14	日	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 通常総会
18	11	木	講 堂	JAIFA 沖縄 報告会及び会員向けセミナー	38	16	火	博物館 講座室	博物館班 博物館ボランティア連絡会
19	11	木	博物館 講座室	株式会社プラスキャリア 採用力向上セミナー	39	16	火	博物館 講座室	㈱Ridilover スタディツアー
20	11	木	博物館 講座室	第一三共株式会社 第 9 回琉球 JET	40	16	火	美術館 講座室	県総務班 監査会場

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
41	16	火	美術館 講座室	株式会社 OZALLY ベルズシステムズ セミナー	79	26	金	スタジオ	岩崎電気労働組合 分会役員会議
42	17	水	こども アトリエ	ソニー生命保険株式会社沖縄営業所 人材の育成 研修	80	26	金	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非 日常南国ミステリー
43	17	水	博物館 講座室	博物館ガイド基礎②ボランティア養成講座	81	26	金	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ガイド練習
44	17	水	美術館 講座室	沖縄県立博物館友の会 2023 年度（令和 5 年）総 会	82	26	金	博物館 講座室	博物館ガイド基礎③ボランティア養成講座
45	17	水	美術館 講座室	美術館ボランティア研修会	83	26	金	博物館 実習室	一般財団法人沖縄芸術文化財団 沖縄語讃美歌合 唱練習
46	17	水	美術館 講座室	㈱SUN／サンペール 勉強会	84	26	金	美術館 講座室	公益財団法人日本国際問題研究所 2023 年度第 1 回尖閣資料検討会
47	18	木	こども アトリエ	ソニー生命保険 株式会社沖縄営業所 人材の育 成研修	85	26	金	美術館 講座室	公益社団法人日本建築家協会 沖縄支部 2023 年 楚（第 27 回）JIA 沖縄支部通常総会
48	18	木	博物館 講座室	㈱Ridilover スタディツアー	86	26	金	美術館 講座室	株式会社サンケイリビング新聞社 ハビマネカレ ッジ
49	18	木	博物館 講座室	㈱SUN／サンペール 勉強会	87	27	土	県民 アトリエ	美術師班 OKINAWA アートワークショップ 2023「お きなわの木で作る豆皿ワークショップ」
50	18	木	美術館 講座室	那覇市議会事務局 調査法制課 第 18 回那覇市議 会報告会及び市民との意見交換会	88	27	土	県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ジミーマジック関連イベント「ジミーマ ジックとアートでつながろう 大平支援学校・浦添工業高校 共同作品制作」
51	19	金	講 堂	沖縄県衛生業務課／沖縄県知事 令和 5 年度ハ ブ・ハブクラゲ等危険生物講習会	89	27	土	講 堂	沖縄県憲法共同センター／沖縄県労働組合連合会 沖縄県憲法共同センター定期総会・シンポジウム
52	19	金	博物館 講座室	沖縄県農業士等連絡協議会 令和 5 年度沖縄県農業 士等連絡協議会定期総会・就農アドバイザー研修会	90	27	土	こども アトリエ	美術師班 OKINAWA アートワークショップ 2023「お きなわの木で作る豆皿ワークショップ」
53	19	金	美術館 講座室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 大安全 衛生協議会	91	27	土	こども アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ジミーマジック関連イベント「ジミーマ ジックとアートでつながろう 大平支援学校・浦添工業高校 共同作品制作」
54	20	土	博物館 講座室	公益社団法人青年海外協力協会 沖縄事務所 2023 年度 JICA 海外協力隊春募集説明会	92	27	土	スタジオ	岩崎電気労働組合 分会役員会議
55	21	日	博物館 講座室	公益社団法人沖縄県柔道整復師会 令和 5 年度 定 時総会	93	27	土	博物館 講座室	自治労沖縄県本部 自治労九州地連社会福祉評議 会幹事会
56	21	日	美術館 講座室	株式会社ソシアス 会社説明会	94	27	土	博物館 実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ 理事会・総 会・報告会
57	23	火	講 堂	一般社団法人沖縄県那覇市倫理法人会 令和 5 年 度倫理経営講演会	95	27	土	美術館 講座室	株式会社サンケイリビング新聞社 ハビマネカレ ッジ
58	23	火	博物館 講座室	沖縄労働局/那覇公共職業安定所 ①年金・医療保 険セミナー ②求職活動マインドセミナー	96	28	日	講 堂	再び「青い目の人形」を沖縄へ実行委員会／一般財団法人沖縄美ら島財 団 再び「青い目の人形」を沖縄へ トーク&友情人形交流セミナー
59	23	火	博物館 講座室	沖縄県商工労働部雇用政策課 沖縄県雇用対策推 進協議会幹事会	97	28	日	スタジオ	富岡自治会 ジミーマジック大西面業 30 年記念作品鑑賞 会と学事奨励会
60	23	火	博物館 実習室	博物館ボランティアガイド	98	28	日	博物館 講座室	自治労沖縄県本部 自治労九州地連社会福祉評議 会 幹事会
61	23	火	美術館 講座室	株式会社海邦総研/かいぎんビジネス倶楽部 かい ぎんビジネスアカデミー	99	28	日	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター 出張・海洋文化 講座 太平洋と沖縄① 暮らしの変化 スマホ・洋酒・タトゥー
62	24	水	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 広報連絡会議	100	28	日	博物館 実習室	再び「青い目の人形」を沖縄へ実行委員会／一般財団法人沖縄美ら島財 団 再び「青い目の人形」を沖縄へ トーク&友情人形交流セミナー 控室
63	24	水	博物館 講座室	那覇市在宅医療・介護連携支援センターちゅういしー 那覇/那覇市医師会 ACP（人生会議）セミナー in 本庁	101	28	日	美術館 講座室	真和志遺族会 真和志遺族会・令和 5 年度定期総会
64	24	水	博物館 講座室	株式会社公文教育研究会 公文式の価値講座	102	28	日	美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！ プロジェクト アートことはじめ「西洋絵画入門」
65	24	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会事務局/博物館班 三線 調査会	103	30	火	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非 日常南国ミステリー
66	24	水	美術館 講座室	川前和香子 健康セミナー	104	30	火	博物館 講座室	辻・本郷税理士法人 沖縄事務所 相続ミニセミナー
67	24	水	美術館 講座室	第一三共株式会社 循環器疾患よろず会議	105	30	火	美術館 講座室	博物館ガイド基礎 ボランティア養成講座
68	25	木	講 堂	那覇地方方法務局/沖縄県人権擁護委員連合会 沖縄 県人権擁護委員連合会組合 総会・委員研修会	106	31	水	県民 アトリエ	イノス沖縄支部 会議
69	25	木	講 堂	那覇市 PTA 連合会 第 74 回定期総会	107	31	水	講 堂	日本瘦身医学協会 ハイサイセミナー事務局 日 本瘦身医学協会ハイサイセミナー
70	25	木	スタジオ	BNI 沖縄リージョン LEQUIOS チャプター レキオ スチャプター エディケーション	108	31	水	博物館 講座室	沖縄県文化協会 定期総会
71	25	木	博物館 講座室	株式会社アール・ビー・アイ沖縄営業所 沖縄県観 光コンテンツ開発支援事業説明会	109	31	水	美術館 講座室	美術館ボランティア研修
72	25	木	美術館 講座室	株式会社宣伝「スポーツアイランド沖縄」形成に 向けた付加価値構築支援補助金 公募説明会	110	31	水	美術館 講座室	社会福祉法人若竹福祉会/ゆいジョブ！実行委員 会 おしごと発見フェア 2023 連絡会
73	25	木	美術館 講座室	㈱国際ビル産業 管理職講演会	111	31	水	美術館 講座室	フリーベル大道セルカセントロセグンダ管理組合 ／有限会社松山ハウジング 総会
74	25	木	美術館 講座室	那覇新都市通商会 第 21 期定期総会	112	3（水）～ 5（金）		博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 楽しくあそんでさわって学ぶ おきみゅー のゴールデンウィーク 2023「気軽に参加してね♪おきみゅー工作ラボ」
75	26	金	県民 アトリエ	株式会社アール・ビー・アイ 沖縄営業所 令和 5 年 度沖縄県観光コンテンツ開発支援事業事個別相談会	113	3（水）～ 5（金）		エントランス ホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 ゴールデンウィー ク ふれあい祭り
76	26	金	講 堂	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 2023 年度 JIA 沖縄支部通常総会記念講演会「沖縄が創る建築」	114	6（土）～ 7（日）		県民 アトリエ	体軸コンディショニング協会 体軸セラピスト
77	26	金	講 堂	DDE 沖縄本社 WFCA プロジェクト沖縄セミナー	115	9（火）～ 31（水）		エントランス ホール	国際博物館の日パネル展
78	26	金	こども アトリエ	株式会社アール・ビー・アイ沖縄営業所 令和 5 年度 沖縄県観光コンテンツ開発支援事業事 個別相談会	116	9（火）～ 21（日）		エントランス ホール	愛鳥週間のミニ展示

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
117	23（火）～ 28（日）		エントランス ホール	青い目の人形展示	119	2（火）～ 31（水）		博物館特別 展示室 1	博物館班 新収蔵品展 令和3・4年度収蔵資料
118	2（火）～ 31（水）		博物館 企画展示室	博物館班 新収蔵品展 令和3・4年度収蔵資料	120	2（火）～ 31（水）		美術館企画 ギャラリー 1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団／沖縄タイムス社 ジミー大西 画業30年記念作品展 「POP OUT」

【2023年6月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	木	博物館 講座室	株式会社 国建 博物館所蔵資料の熟覧のため	35	11	日	講 堂	株式会社 海燕社 海燕社の小さな映画会 2023/6 月会『ふじ学徒隊』
2	1	木	美術 講座室	沖縄経営品質研究会 沖縄経営品質研究会	36	11	日	講 堂	沖縄眼科医会／バイエル薬品株式会社 第149回 沖縄眼科集談会
3	3	土	こども アトリエ	体軸コンディショニング協会 体軸セラピスト	37	11	日	スタジオ	根路銘安俊 ABCT (IVA) 資産運用セミナー
4	3	土	博物館 講座室	侏紅ノ葉/風水学協会 沖縄風水セミナー	38	11	日	博物館 講座室	都山流尺八沖縄県支部 尺八講習会
5	3	土	美術 講座室	藤原 幸治 相続・マネー セミナー	39	11	日	美術 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
6	4	日	講 堂	株式会社ライフアカデミー The New stage in Okinawa 究極の若返りとは	40	11	日	美術 講座室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
7	4	日	こども アトリエ	体軸コンディショニング協会 体軸セラピスト	41	13	火	博物館 講座室	明治安田生命保険相互株式会社 明治安田生命 夏メイクセミナー
8	4	日	スタジオ	女子美術大学同窓会沖縄支部 令和5年度総会	42	13	火	博物館 講座室	株式会社 SUN ムコ多糖の必要性
9	4	日	博物館 講座室	琉球古典音楽安富祖流絃聲会 師範教師研修会	43	13	火	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 沖縄 支店 緊急安全大会
10	4	日	美術 講座室	株式会社 人事の味方 プログラミング体験会	44	13	火	博物 実習室	安田陽ブランディング研究所 DTM ワークショッ プ&DTM コンテストの実施に向けた打ち合わせ
11	6	火	講 堂	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 外国人観光 客受入体制強化事業「インバウンドビジネス対応セミナー」	45	13	火	美術 講座室	株式会社海邦総研/かいぎんビジネス倶楽部 かい ぎんビジネスセミナー
12	6	火	博物館 講座室	博物館学芸員実習	46	14	水	こども アトリエ	ソニー生命保険株式会社沖縄営業所 PA 養成プロ グラム
13	7	水	こども アトリエ	公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合 南部ブロック理事長会議	47	14	水	博物 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非 日常南国ミステリー
14	7	水	博物館 講座室	博物館班 資料整理ボランティア作業	48	14	水	博物 講座室	辻・本郷税理士法人沖縄事務所 相続ミニセミナー
15	7	水	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非 日常南国ミステリー	49	14	水	博物 実習室	大和リース株式会社沖縄支店 大和リース株ミ ーティング
16	7	水	美術 講座室	SKK 住宅施工店会/エスケー化研株式会社 2023 年 度上期住宅安全大会及び職長研修会	50	14	水	美術 講座室	沖縄塾 定期勉強会
17	8	木	講 堂	那覇地区学校保健会 令和5年度那覇地区学校保 健会定期総会及び講演会	51	14	水	美術 講座室	株式会社 OZAKKY/長嶺知可羅 離ベルズシステム ズ セミナー
18	8	木	博物館 講座室	博物館班 資料整理ボランティア作業	52	15	木	こども アトリエ	ソニー生命保険株式会社 沖縄営業所 PA 養成プロ グラム
19	8	木	博物館 講座室	フォーディズ株式会社 核酸栄養セミナー	53	15	木	博物 講座室	博物館班 博物館ガイド基礎⑥ボランティア養成 講座
20	8	木	美術 講座室	藤原 幸治 相続・マネー セミナー	54	15	木	博物 実習室	沖縄経営品質研究会 勉強会
21	9	金	県民 アトリエ	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 令和5 年度沖縄 DX 促進支援事業プレゼンテーション審査委員会	55	15	木	美術 講座室	株式会社デマンド 貸貸管理実務研修 in 沖縄
22	9	金	こども アトリエ	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 令和5 年度沖縄 DX 促進支援事業プレゼンテーション審査委員会	56	16	金	県民 アトリエ	明治安田生命保険相互会社 そうぞくセミナー
23	9	金	博物館 講座室	株式会社パスコ 沖縄地区 固定資産セミナー	57	16	金	講 堂	明治安田生命保険相互会社 そうぞくセミナー
24	9	金	博物 実習室	一般財団法人沖縄芸術文化財団 沖縄語讃美歌合 唱練習	58	16	金	こども アトリエ	一般社団法人倫理研究所/大瀧綾馬 R.I.P 沖縄 令和6年度体制検討会
25	9	金	美術 講座室	株式会社パスコ 沖縄地区 固定資産セミナー	59	16	金	スタジオ	イノス沖縄支部 新規入会説明会
26	9	金	県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト アートことはじめ「日本の名画をたのしもう！《風神雷神図屏風》」	60	16	金	博物 講座室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 大和ハ ウス工業九州地区協力会 安全衛生協議会
27	9	金	県民 アトリエ	沖縄ウォーターセーフティ協会 沖縄ウォーター セーフティ協会理事会及び総会	61	16	金	博物 講座室	株式会社人事の味方 新卒採用セミナー 兼 人事 交流会
28	9	金	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非日 常南国ミステリー	62	16	金	博物 実習室	明治安田生命保険相互会社 そうぞくセミナー
29	9	金	講 堂	琉球補聴器 補聴器シンポジウム	63	16	金	美術 講座室	株式会社デマンド 貸貸管理実務研修 in 沖縄
30	9	金	博物館 講座室	博物館学芸員講座「琉球の染め・織り・繻（ぬ） い」	64	17	土	講 堂	博物館班 博物館文化講座「ある首里士族の 400 年 ～田名家文書・国指定から 50 年～」
31	9	金	博物 講座室	株式会社シーヴィ・コンベンション 第30回 初 級ソフトウェア品質技術者資格試験	65	17	土	エントランス ホール	慰霊の日関連催事
32	9	金	美術 講座室	コクバ幸之助後援会 コクバ幸之助後援会拡大役 員会	66	17	土	スタジオ	株式会社琉球新報開発 令和5年度「女性の就職総 合支援事業」合同企業説明会
33	10	土	こども アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト アートことはじめ「日本の名画をたのしもう！《風神雷神図屏風》」	67	17	土	博物 講座室	株式会社琉球新報開発 令和5年度「女性の就職総 合支援事業」合同企業説明会
34	9	金	美術 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト アートことはじめ「日本の名画をたのしもう！《風神雷神図屏風》」	68	17	土	博物 実習室	株式会社琉球新報開発 令和5年度「女性の就職総 合支援事業」合同企業説明会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
69	17	土	美術館講座室	税理士法人グローアップサポート 贈与税 改正セミナー	93	24	土	スタジオ	九州医療スポーツ専門学校 出張学校説明会 沖縄現地開催
70	18	日	博物館講座室	アルファステイツおもろまち管理組合 アルファステイツおもろまち管理組合第2期通常総会	94	24	土	博物館講座室	公益社団法人沖縄県理学療法士協会 協会指定管理者初級研修
71	18	日	博物館実習室	国際ソロプチミスト沖縄 ガールズカンファレンス オリエンテーション	95	24	土	博物館講座室	首里城公園友の会 定期総会及び総会記念講演会
72	18	日	美術館講座室	D'クラディア新都心マークブランカ管理組合 第16期通常総会	96	24	土	博物館講座室	沖縄県バレーボール協会 令和5年度 第1回 理事会
73	18	日	美術館講座室	株式会社Eアファン セミナー	97	24	土	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ピアノの調律
74	20	火	講 堂	朝日生命保険相互会社 沖縄支社 全職員打ち合わせ	98	24	土	美術館講座室	内間 幸子 健康セミナー
75	20	火	博物館講座室	博物館ボランティア連絡会	99	24	土	美術館講座室	琉球大学医学部第二内科同門会「温故知新会」
76	20	火	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非日常南国ミステリーツアー	100	25	日	県民アトリエ	ハビネス新都心Ⅲ管理組合 ハビネス新都心Ⅲ第20期通常総会開催
77	20	火	博物館実習室	公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合事業推進検討委員会	101	25	日	こどもアトリエ	全厚済 オーダーメイドスーツ採寸会
78	20	火	美術館講座室	株式会社大京アステージ 沖縄支店 MS 研修会	102	25	日	博物館講座室	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 第24回通常総代会
79	21	水	スタジオ	株式会社JTB 沖縄 沖縄県「令和5年度琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業」第1回有識者委員会	103	25	日	美術館講座室	沖縄女流美術家協会 総会
80	21	水	博物館講座室	株式会社琉球キャピタル 第3回定期株主総会	104	25	日	美術館講座室	有限会社ライブアップ iDeco・新制 NISA 活用術～資産所得倍増ではじまる資産形成～
81	21	水	博物館実習室	沖縄労働局 需給調整事業室 連絡会議	105	27	火	博物館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 台湾南投県延平小学
82	21	水	美術館講座室	美術館ボランティア研修会	106	27	火	博物館講座室	大阪中小企業投資育成株式会社 九州支社『最新・インボイスと電子帳簿』～国税庁DX化の影響とは？～
83	21	水	美術館講座室	沖縄県エステティック・スパ共同組合 沖縄県エステティック・スパ協同組合 勉強会	107	27	火	美術館講座室	株式会社地域科学研究所 MIA 固定資産評価全国実務研修会
84	22	木	博物館講座室	株式会社阪急交通社 海外旅行説明会（MSC クルーズ ベリッシマ）	108	1（木）～4（日）		エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館 国際博物館の日パネル展
85	22	木	博物館実習室	沖縄労働局 需給調整事業室 連絡会議	109	1（木）～7（水）		美術館企画ギャラリー1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団 沖縄タイムス社 ジミー大西 画業30年記念作品展「POP OUT」
86	22	木	美術館講座室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 令和5年度第1回生活支援サポーター養成講座	110	1（木）～10（土）		博物館企画展示室	博物館班 新収蔵品展－令和3・4年度収蔵資料－
87	22	木	美術館講座室	一般社団法人WAOTE 沖縄 講座	111	1（木）～10（土）		博物館特別展示室1	博物館班 新収蔵品展－令和3・4年度収蔵資料－
88	23	金	スタジオ	株式会社オプト 職務合宿	112	6（火）～27（火）		エントランスホール	博物館班 進化展開連展示
89	23	金	博物館講座室	大和ハウス工業㈱沖縄支部・大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 安全大会	113	13（火）～17（土）		エントランスホール	博物館班 学芸員実習展示会
90	23	金	博物館実習室	一般財団法人沖縄芸術文化財団 沖縄語讃美歌合唱練習	114	20（火）～27（火）		講 堂 前ホワイエ	博物館班 進化展ミニ展示会
91	23	金	美術館講座室	株式会社イオス コーポレーション EOS ビジネスセミナー	115	24（土）～25（日）		県民アトリエ	琉球楽器のワークショップ 三線・笛・胡弓実行委員会 「琉球楽器のワークショップ 三線・笛・胡弓」
92	24	土	こどもアトリエ	全厚済 オーダーメイドスーツ採寸会					

【2023年7月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	7	金	講 堂	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター データ活用推進に向けた事例発表会	13	8	土	美術館講座室	しまくとうばプロジェクト しまくとうば鼎談(第19弾、2023年度第1回)
2	7	金	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート楽器保管庫	14	9	日	講 堂	科研費基盤研究A・太田研究会 「グローバルな連結性を通じた未来の脱植民地化-返還、社会正義、倫理的研究
3	7	金	博物館講座室	フォーデイズ株式会社 核酸スタジオ	15	9	日	スタジオ	根路銘 安俊 ABCT(IVA) 沖縄 資産運用勉強会
4	7	金	博物館実習室	有限会社ギカン文化施設研究所 沖縄語讃美歌合唱練習	16	9	日	博物館講座室	一般社団法人表千家同門会沖縄県支部 教授者連絡会議
5	7	金	美術館講座室	株式会社アレックス 株式会社アレックス 第44期 経営方針発表会	17	9	日	県民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ミニチュアライフ展 控室
6	8	土	講 堂	WOO-EAST 株式会社 「腸内環境と水素」	18	9	日	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート
7	8	土	スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート楽器保管庫	19	9	日	美術館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
8	8	土	博物館講座室	博物館班 博物館学芸員講座	20	9	日	美術館講座室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
9	8	土	博物館講座室	ジブラルタ生命労働組合 沖縄分会大会	21	11	火	講 堂	沖縄県文化協会 令和5年度 事務局研修会
10	8	土	博物館講座室	公益社団法人沖縄県理学療法士協会 令和5年度沖縄県理学療法士協会講習会	22	11	火	博物館講座室	株式会社東京リーガルマインド/INPIT 沖縄県知財総合支援窓口 中小企業等支援機関連携会議
11	8	土	博物館実習室	有限会社ギカン文化施設研究所 琉球讃美歌リハーサル	23	11	火	美術館講座室	株式会社SUN 健康セミナー サンベール
12	8	土	美術館講座室	ロボロボの会 自律型ロボット・プログラミング初心者無料体験教室 in 沖縄	24	12	水	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 「MINIATURE LIFE 展2 ミニチュアライブ 田中達也 見立ての世界」関連催事 田中達也講演会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
25	12	水	博物館 講座室	株式会社琉球新報開発 沖縄県公共事業令和5年度女性の就職総合支援事業 合同企業説明会	63	20	木	美術館 講座室	株式会社エマエンタープライズ 令和5年度 第1回国際物流拠点産業集積地域連絡調整会議
26	12	水	博物館 実習室	株式会社琉球新報開発 沖縄県公共事業令和5年度女性の就職総合支援事業 合同企業説明会	64	21	金	博物館 講座室	公益財団法人日本国際問題研究所 2023年度第2回失関資料検討会
27	12	水	美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 非常日常南国ミステリーツアー	65	21	金	博物館 講座室	一般社団法人沖縄オープンラボラトリー OOL TECH CONNECT
28	12	水	美術館 講座室	株式会社 SUN 健康セミナーサンパール	66	21	金	博物館 講座室	タマホーム沖縄支店安全協力会 業者会・工程会議
29	12	水	美術館 講座室	内閣府沖縄総合事務局農林水産部 令和4年度「食料・農業・農村白書」、「食育白書」、「森林・林業白書」、「水産白書」沖縄ブロック説明会	67	21	金	美術館 講座室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 大和ハウス工業九州地区協力会 安全衛生協議会
30	13	木	県民アトリエ	一般社団法人創元会沖縄支部 絵画の実技研修	68	21	金	県民アトリエ	株式会社ライブアカデミー alpeon 波動機器の活用
31	13	木	講 堂	博物館班 歴史協定会及び研修会	69	22	土	講 堂	ホワイトハンドコーラス NIPPON 沖縄「ホワイトハンドコーラス NIPPON Friend! よろこびのうた」上映会
32	13	木	こどもアトリエ	一般社団法人創元会 沖縄支部 絵画の実技研修	70	22	土	スタジオ	NPO 法人沖縄県マニション管理組合連合会 情報交換会
33	13	木	博物館 講座室	博物館班 歴史協定会及び研修会	71	22	土	博物館 講座室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 酸素欠乏・硫化水素危険作業特別教育
34	13	木	博物館 講座室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター小規模事業者等デジタル化支援事業 事業説明会	72	22	土	美術館 講座室	㈱玄米酵素 食と健康セミナーin 那覇
35	13	木	博物館 実習室	博物館班 こどもフェスタ事前準備	73	23	日	講 堂	在日本大韓民国民団沖縄県地方本部 第17回韓国語弁論大会
36	13	木	美術館 講座室	公益財団法人沖縄県生活衛生営業指導センター令和5年度生活衛生営業経営特別相談員研修会	74	23	日	博物館 講座室	博物館班 ウチナーの民話上映会（仮称）
37	14	金	県民アトリエ	一般社団法人創元会 沖縄支部 絵画の実技研修	75	23	日	博物館 講座室	安田陽ブランディング研究所 DTM ワークショップ
38	14	金	講 堂	株式会社ジャンボツアーズ クルーズツアー説明会	76	23	日	博物館 実習室	サウスリンク株式会社 こどもパソコン組立ワークショップ
39	14	金	こどもアトリエ	一般社団法人創元会 沖縄支部 絵画の実技研修	77	23	日	美術館 講座室	アポロぎのわん 科学教室
40	14	金	スタジオ	株式会社 PRESENT2/P2 株式会社 PRESENT2/P2 説明会	78	23	日	美術館 講座室	ロボロボの会 ロボットプログラミング組立入門講座 2023 自分のロボットを作ってプログラミングに挑戦!
41	14	金	美術館 講座室	株式会社 RENT システム説明会	79	25	火	県民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター 平日だけのスペシャル企画1 専門家がかんがえた自由研究ワークショップ
42	14	金	美術館 講座室	特定非常活動法人キッズドア ゼロからはじめる子ども向け学習支援～地元団体の研修参加報告会や活動から学ぼう!～	80	25	火	講 堂	琉球大学病院 第一内科/日本肝臓学会沖縄支部 市民公開講座「肝臓の病気を正しく理解するために」リハーサル
43	15	土	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「つまみ細工 ～ブローチ・コサージュ・髪飾り～」	81	25	火	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 沖縄支店 2023年7月度安全衛生協議会
44	15	土	講 堂	博物館班 博物館文化講座「琉球の染織に見る、周辺地域との交遊ーその模様・技法・素材から探る」	82	25	火	博物館 実習室	博物館班 楽しく学べる5日間!「夏休み!こどもフェスタ 2023」 事前準備
45	15	土	講 堂	沖縄県労働組合総連合「公契約条例」シンポジウム	83	25	火	博物館 実習室	一般社団法人 CENOTE Zero Field の呼吸
46	15	土	講 堂	株式会社おきなわ edu 第17回エデュエ発表会	84	25	火	美術館 講座室	東京大学大学院文化資源学専攻 おきみゆー職員の方との面会
47	15	土	こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「つまみ細工 ～ブローチ・コサージュ・髪飾り～」	85	25	火	美術館 講座室	辻・本郷税理士法人沖縄事務所 相続ミニセミナー
48	15	土	スタジオ	沖縄テュチュエ思想研究会 学習会	86	26	水	講 堂	九州高等学校歴史教育研究協議会/沖縄県地理歴史科公民科研究協議会 令和5年度 第41回研究大会沖縄大会 準備
49	15	土	博物館 講座室	株式会社ケイオーパートナーズ 高度人材育成インターンシップ事前学習会	87	26	水	博物館 実習室	博物館班 楽しく学べる5日間!「夏休み!こどもフェスタ 2023」
50	15	土	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ブロムナードコンサート（控室）	88	26	水	美術館 講座室	九州高等学校歴史教育研究協議会/沖縄県地理歴史科公民科研究協議会 令和5年度 第41回研究大会沖縄大会 準備
51	15	土	美術館 講座室	株式会社ケイオーパートナーズ 高度人材育成インターンシップ事前学習会	89	27	木	講 堂	九州高等学校歴史教育研究協議会/沖縄県地理歴史科公民科研究協議会 令和5年度 第41回研究大会沖縄大会
52	15	土	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 ブロムナードコンサート	90	27	木	博物館 講座室	沖縄県文化振興課 指定管理者制度運用委員会
53	16	日	講 堂	具志 和佳子 ミュージックツリー音楽教室発表会	91	27	木	博物館 実習室	博物館班 楽しく学べる5日間!「夏休み!こどもフェスタ 2023」
54	16	日	講 堂	山本 由紀美 海からのメッセージ	92	27	木	美術館 講座室	九州高等学校歴史教育研究協議会/沖縄県地理歴史科公民科研究協議会 令和5年度 第41回研究大会沖縄大会
55	16	日	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター 出張・海洋文化講座 太平洋と沖縄②島の自然とくらし 山・川・海・人	93	28	金	講 堂	沖縄防衛局 第29回防衛セミナー
56	16	日	美術館 講座室	沖縄広告株式会社 沖縄鉄軌道機運醸成等委託業務	94	28	金	スタジオ	有限会社ギガン文化施設研究所 バッハ合唱リハーサル
57	17	月	博物館 実習室	博物館班 こどもフェスタボランティア勉強会	95	28	金	博物館 実習室	博物館班 楽しく学べる5日間!「夏休み!こどもフェスタ 2023」
58	19	水	博物館 講座室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	96	28	金	美術館 講座室	国際ソロプチミスト日本南リジョン 8/18 ガールズカンファレンス事前確認
59	19	水	美術館 講座室	松尾浩孝 究極の若返り	97	28	金	美術館 講座室	株式会社海邦総研 かいぎんビジネスセミナー
60	20	木	講 堂	一般社団法人沖縄海底資源産業開発機構 海洋政策研究会 海の記念日シンポジウム 船舶 MRO を沖縄に	98	29	土	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ「身近なものを描こう ～スケッチ・デッサン～」
61	20	木	博物館 講座室	沖縄県国民健康保険団体連合会 令和5年度 第三者行為求償事務管理者及び担当者研修会	99	29	土	講 堂	NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会 第26回全国大会 in 沖縄
62	20	木	美術館 講座室	株式会社 OZALLY 株式会社 ベルズシステムズ セミナー	100	29	土	こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ「身近なものを描こう ～スケッチ・デッサン～」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
101	29	土	スタジオ	保険マンモス株式会社 お子さまモデルオーディション撮影会&ライフプラン相談会	110	7（金）～ 30（日）		講 堂 前 ホ ワ イ エ	進化展ミニ展示会
102	29	土	美 術 館 講 座 室	NPO 法人全国精神障害者地域生活支援協議会 2023 年度あみ総会	111	7（金）～ 30（日）		博 物 館 企画展示室	一般財団沖縄美ら島財団/沖縄タイムス社 みんなの進化展一命はつながっているー
103	29	土	美 術 館 講 座 室	久米島研究会「2023 年度 第 2 回研究会」	112	7（金）～ 30（日）		博物館特別 展示室 1・2	一般財団沖縄美ら島財団/沖縄タイムス社 みんなの進化展一命はつながっているー
104	30	日	講 堂	日本肝臓学会沖縄支部／琉球大学医学部附属病院 第一内科 日本肝臓学会主催市民公開講座	113	7（金）～ 30（日）		美術館企画 ギャラリー 1・2	一般財団沖縄美ら島財団/沖縄テレビ MINIATURE LIFE 展 2 田中達也 見立ての世界
105	30	日	博 物 館 講 座 室	安田陽 DTM ワークショップ	114	9（日）～ 12（水）		こ ど も ア ト リ エ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ミニチュアライフ 展 控室
106	30	日	博 物 館 講 座 室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会 沖縄県地方部 会 市民公開講座 「頭頸部外科月間」講演会	115	11（火）～ 12（水）		県 民 ア ト リ エ	一般財団法人沖縄美ら島財団 ミニチュアライフ 展 控室
107	30	日	博 物 館 実 習 室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会 沖縄県地方部 会 市民公開講座「頭頸部外科月間」無料健康相談会	116	20（木）～ 21（金）		博 物 館 実 習 室	博物館班 こどもフェスタボランティア勉強会
108	30	日	美 術 館 講 座 室	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 審査会中継会場	117	26（水）～ 28（金）		県 民 ア ト リ エ	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 平日だけのス ペシャル企画 1 専門家がかがえた自由研究ワークショップ
109	7（金）～ 30（日）		エントランス ホ ー ル	進化展開連展示「小さなエイリアン展」「まねる展」					

【2023年 8 月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	5	土	エントランス ホ ー ル	一般財団法人沖縄美ら島財団「プロムナードコン サート」	28	15	火	講 堂	那覇市民生委員児童委員連合会 地区別合同研修 会（那覇地区）
2	8	火	博 物 館 講 座 室	那覇市民生委員児童委員連合会/真和志第二民生委 員児童委員協議会 真和志地区合同研修 防災教室	29	15	火	博 物 館 講 座 室	博物館班 博物館ボランティア連絡会
3	8	火	博 物 館 実 習 室	美術の先生がつくった作品展実行委員会 美術の 先生がつくった作品展ワークショップ	30	15	火	博 物 館 講 座 室	博物館班 博物館学芸員実習
4	8	火	美 術 館 講 座 室	全厚済 セミナー	31	15	火	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団「みんなの進化展一命はつながっているー」 関連催事 手羽先で骨格標本づくり～恐竜と鳥はどこが似ているの？～
5	9	水	講 堂	一般社団法人トロピカルテクノプラス 健康・医療 データサイエンス人材育成シンポジウム（仮称）	32	15	火	博 物 館 実 習 室	公益財団法人沖縄県シルバー人材センター連合 事業推進検討委員会
6	9	水	博 物 館 講 座 室	満喜株式会社 満喜株式会社 会計セミナー	33	15	火	美 術 館 講 座 室	美術館班 美術館学芸員実習
7	9	水	美 術 館 講 座 室	美術館ボランティア研修会	34	16	水	講 堂	沖縄県産婦人科医会 子宮頸がんから女性を守る 市民公開講座 リハーサル
8	9	水	美 術 館 講 座 室	沖縄塾 定期勉強会	35	16	水	博 物 館 講 座 室	株式会社日本ユニテック 株式会社日本ユニテッ ク 社員研修会
9	10	木	博 物 館 講 座 室	博物館班「みんなの進化展」関連イベント キリ ンの骨を並べてみよう！	36	16	水	博 物 館 講 座 室	辻・本郷理士法人 沖縄事務所 相続ミニセミナ ー
10	10	木	博 物 館 講 座 室	スカイネット・インターナショナル株式会社/ビュアク リスタル株式会社 リンパ健康セミナー「骨格とリンパ」	37	16	水	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団「みんなの進化展一命はつな がっているー」関連催事 ダンゴシのフシギに迫ってみよう！
11	10	木	美 術 館 講 座 室	美術館班 県民カレッジ関連	38	16	水	美 術 館 講 座 室	美術館班 美術館学芸員実習
12	11	金	講 堂	一般社団法人 from AQUA 感覚統合理論をいかした発達支援 2023 特別企画 当事者語る感覚や運動の困り事～講演&質疑応答～	39	17	木	博 物 館 実 習 室	国際ソロプチミスト日本南リジョン 2023 日本南 ガールズカンファレンス 準備
13	11	金	博 物 館 講 座 室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ	40	17	木	美 術 館 講 座 室	美術館班 美術館学芸員実習
14	11	金	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 こどもフェスタ準 備	41	18	金	博 物 館 講 座 室	大和ハウス工業㈱・大和ハウス工業九州地区協力 会沖縄支部 安全衛生協議会
15	11	金	博 物 館 実 習 室	有限会社ギガン文化施設研究所 パッパ合唱リハ ーサル	42	18	金	博 物 館 実 習 室	国際ソロプチミスト日本南リジョン 2023 日本南 ガールズカンファレンス
16	11	金	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートことはじめ 「『沖縄美術』～琉球王国時代から明治～」	43	19	土	エントランス ホ ー ル	一般財団法人沖縄美ら島財団「プロムナードコン サート」
17	12	土	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 『美ら海 トワイライトゾーン 知られざる深海生物のワンダーランド』出版記念講演会	44	19	土	講 堂	博物館班 博物館文化講座「ダーウィンの夏休み」
18	12	土	博 物 館 講 座 室	博物館班 博物館学芸員講座「みんなの進化論入門 ～ 進化の舞台 琉球列島」	45	19	土	博 物 館 講 座 室	自治医科大学 大学説明会
19	12	土	博 物 館 講 座 室	株式会社チャイナゲートウェイ 令和 5 年度 聖 地・沖縄空手ガイド養成事業	46	19	土	博 物 館 実 習 室	サウスリンク株式会社 こどもパソコン組立ワー クショップ
20	12	土	博 物 館 実 習 室	美術館班 美術館 夏休みこどもフェスタ	47	19	土	美 術 館 講 座 室	有限会社ライブアップ 親子で学ぶマネー講座 お 金の大切さ、使い方を親子で一緒に学びませんか。
21	12	土	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	48	20	日	講 堂	ソナーレピアノ教室 発表会
22	12	土	美 術 館 講 座 室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講 座	49	20	日	博 物 館 講 座 室	沖縄広告株式会社 沖縄鉄軌道機運醸成等委託業 務
23	13	日	講 堂	沖縄クイズ愛好会 RyuQ Youth 2023	50	20	日	エントランス ホ ー ル	一般財団法人沖縄美ら島財団「プロムナードコン サート」
24	13	日	博 物 館 講 座 室	安田陽 DTM ワークショップ	51	20	日	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団「みんなの進化展一 命はつながっているー」関連催事 サメの解剖教室
25	13	日	博 物 館 講 座 室	しまくとうばプロジェクト しまくとうば鼎談 第 20 弾	52	20	日	美 術 館 講 座 室	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 審査会中継会場
26	13	日	博 物 館 実 習 室	美術館班 夏休みこどもフェスタ	53	22	火	博 物 館 講 座 室	株式会社地域科学研究所 自治体経営セミナー
27	13	日	美 術 館 講 座 室	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 審査会中継会場	54	22	火	美 術 館 講 座 室	株式会社ルフト・メディカルケア お仕事案内・登 録会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
55	22	火	美術館 講座室	株式会社海邦総研 かいぎんビジネスセミナー	72	27	日	博物館 講座室	学生団体 OPE 進学応援 EXPO
56	23	水	博物館 講座室	(株)SUN 健康セミナー	73	27	日	博物館 講座室	安田福「アガ」研究所 令和5年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業「小学生から高校生を対象とした「DNAアート」および「DNAアート」の実施による県内若手音楽制作者人材の発掘・育成事業」
57	23	水	博物館 実習室	琉球三線楽器保存育成会事務局／博物館班 三線調査会	74	27	日	博物館 実習室	九州医療スポーツ専門学校 出張学校説明会 沖縄現地開催
58	23	水	美術館 講座室	株式会社パソナ農援隊 かりゆし食農スクール	75	27	日	美術館 講座室	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 審査会中継会場
59	24	木	博物館 講座室	(株)SUN 健康セミナー	76	29	火	講堂	沖縄県農林水産部営農支援課 令和5年度 農業危害防止講習会
60	24	木	博物館 実習室	保険マンモス株式会社 お子さまモデルオーディション撮影会&ライフプラン相談会	77	31	木	講堂	電子情報通信学会 スマートインフォメディアシステム研究会／SISA2023 国際ワークショップ SISA2023
61	24	木	美術館 講座室	上原昌仁 「ベルズシステムズ事業説明会」	78	31	木	博物館 講座室	「西表島の文化力」研究会 故 石垣金星さんをしのぶ集い
62	24	木	美術館 講座室	株式会社リモテ 第69回リモテセミナー「インボイス制度について」	79	3 (木) ～ 26 (土)	県民 アトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管	
63	25	金	講堂	一般社団法人沖縄しまたて協会 令和5年度 技術開発支援事業・技術環境研究所研究発表会	80	3 (木) ～ 26 (土)	こども アトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管	
64	25	金	博物館 講座室	沖縄県知事 沖縄県企画部統計課 令和5年度労働力調査 調査員合同指導会	81	3 (木) ～ 31 (木)	スタジオ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管	
65	25	金	美術館 講座室	美術館班 美術館学芸員実習	82	3 (木) ～ 18 (金)	エントランス ホール	進化展開連展示「小さなエイリアン展」「まねる展」	
66	25	金	美術館 講座室	NPO 法人 IT コーディネータ沖縄 IT コーディネータ沖縄 8月定例勉強会	83	3 (木) ～ 27 (日)	講堂前 ホワイエ	博物館班 進化展開連ミニ展示	
67	26	土	講堂	沖縄県立博物館友の会 沖縄県立博物館友の会主催 里井洋一新館長講演会	84	3 (木) ～ 31 (木)	博物館 企画展示室	一般財団法人沖縄美ら島財団/沖縄タイムス社 みんなの進化展一命はつながっているー	
68	26	土	博物館 講座室	国際交流 NGO ビースポート ビースポート地球一周の船旅説明会	85	3 (木) ～ 31 (木)	博物館特別 展示室 1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団/沖縄タイムス社 みんなの進化展一命はつながっているー	
69	26	土	博物館 実習室	博物館学芸員実習（教育普及）	86	3 (木) ～ 31 (木)	美術館企画 ギャラリー 1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団/沖縄テレビ MINIATURE LIFE 展 2 田中達也 見立ての世界	
70	26	土	美術館 講座室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	87	22 (火) ～ 27 (日)	エントランス ホール	博物館班 博物館学芸員実習展示会	
71	26	土	美術館 講座室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 沖縄版気候市民ブレ会議（仮称）	88	29 (火) ～ 31 (木)	エントランス ホール	博物館班 ロビー展（6月23日と9月7日）	

【2023年9月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	講 堂	電子情報通信学会 スマートインフォメディアシステ ム研究会/SISA2023 国際ワークショップ SISA2023	20	7	木	博物館 講座室	株式会社うむさんラボ「社会をより豊かにするイン パクト投資」の懇親会
2	1	金	博物館 講座室	沖縄県公共交通活性化推進協議会 第44回幹事 会	21	7	木	美術館 講座室	株式会社沖縄リレーションシップ 沖縄県委託訓 練 「簿記・パソコンスキル習得科」 選考試験
3	1	金	博物館 講座室	第一三共株式会社 沖縄営業所 第30回沖縄心 管エコー図研究会	22	8	金	講 堂	沖縄振興開発金融公庫 沖縄地域 PPP/PFI プラッ トフォーム第13回セミナー
4	1	金	博物館 実習室	株式会社レキサス ベーバーレスからはじめませんか？ kintone を使って未経験者でも3分でアプリ導入	23	8	金	博物館 講座室	沖縄タイムス社/沖縄タイムス住宅新聞社/（株）タイ ムスアドネクスト 第37回トータルリビングショウ
5	1	金	美術館 講座室	第一三共株式会社 沖縄営業所 第30回沖縄心 管エコー図研究会世話人会	24	8	金	博物館 実習室	株式会社ノイズ・バリュース社 沖縄県産黒糖需要拡 大・安定供給体制確立実証事業（関係者会議）
6	2	土	講 堂	沖縄県地域医療支援センター/琉球大学医学部琉球 大学病院 琉球大学医学部医学科 地域枠制度説明会	25	8	金	美術館 講座室	株式会社エマエンタープライズ おきなわ SDGs プラッ トフォームセミナー（脱炭素・カーボンニュートラル編）
7	2	土	講 堂	株式会社 海燕社 小さな映画会 2023/9月会『芭 蕉布を織る女たち-連帯の手わざ-』『奄美の泥染』	26	9	土	県 民 ア ト リ エ	新垣 元気 体を使いやすくするワークを行います。
8	2	土	博物館 講座室	博物館班 博物館学芸員講座「倭寇関連の史跡を読み解 くー企画展『琉球と倭寇のもの語り』開催に向けてー」	27	9	土	講 堂	博物館班 博物館学芸員講座「ものから読み解く沖 縄の歴史ー美術工芸の博物館案内ー」
9	2	土	博物館 講座室	一般社団法人日本樹木医会 沖縄県支部 沖縄の サクラを守ろう！外来カミキリの生体と防除対策	28	9	土	博物館 実習室	日本大学文理学部 科研(東アジア各国の「姓・生・性」 の変容の比較的研究ー(東アジアの裏側で)の研究会
10	2	土	博物館 実習室	D' グランセ天久エグゼコート管理組合 工事説明 会	29	9	土	美術館 講座室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講 座
11	3	日	講 堂	沖縄県眼科医会 第150回沖縄眼科集談会	30	10	日	県 民 ア ト リ エ	美術館班 OKINAWA アート WS「アクセサリ」予備 日
12	5	火	博物館 講座室	キャストネット東京株式会社 2023 東アジア無形 文化財及び伝統工芸展 展示開幕式	31	10	日	講 堂	沖縄尚学高等学校・附属中学校 学校説明会
13	5	火	博物館 実習室	株式会社 E アファン セミナー	32	10	日	講 堂	沖縄県産婦人科医会 子宮頸がんから女性を守る 市民公開講座
14	5	火	美術館 講座室	サンアイ株式会社 事業説明会	33	10	日	博物館 講座室	一般社団法人表千家同門会沖縄支部 教授者連 絡会議
15	5	火	美術館 講座室	全厚済 セミナー	34	10	日	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター 出張・ 海洋文化講座 太平洋と沖縄③ 仮面・仮装の来訪神
16	6	水	博物館 講座室	株式会社シーズリー/沖縄トレード学院 FX 自 動売買コース	35	10	日	エントランス ホ ー ル	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコン サート
17	6	水	美術館 講座室	美術館班 美術館ボランティア研修会	36	10	日	博物館 実習室	日本大学文理学部 科研(東アジア各国の「姓・生・性」 の変容の比較的研究ー(東アジアの裏側で)の研究会
18	6	水	美術館 講座室	一般社団法人日本家政学会 色彩・意匠学部会 2023 年度（一社）日本家政学会 色彩・意匠学部会夏季公開講演会・解説付き展示見学「色彩と意匠からみた琉球染」	37	10	日	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
19	7	木	講 堂	株式会社うむさんラボ 社会をより豊かにするイン パクト投資	38	10	日	美術館 講座室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
39	12	火	講 堂	株式会社ヴァリアス・ディメンションズ/アマゾン ウェブ サービス ジャパン SMBDX Roadshow	77	21	木	博 物 館 室	税理士法人グローアップサポート 「経理業務改善・DX化セミナー」
40	12	火	博 物 館 室	一般財団法人全国福利厚生共済会 事業説明会	78	21	木	博 物 館 室	博物館班 ゆたか小学校 自主民具体験
41	12	火	博 物 館 室	沖縄県公共交通活性化推進協議会 第 39 回沖縄県公共交通活性化推進協議会	79	21	木	博 物 館 室	サンアイ(株) 勉強会
42	12	火	博 物 館 室	博物館班 博物館ボランティア民具訓練	80	21	木	美 術 館 室	一般社団法人沖縄県労働基準協会 コミュニケーションスキル研修 (向上コース)
43	12	火	美 術 館 室	株式会社エマエンタープライズ 令和5年度 第2回 国際物流拠点産業集積地域連絡調整会議	81	22	金	講 堂	近畿日本ツーリスト株式会社 2023 年 上期税理士組織特別研修会
44	13	水	講 堂	学校法人KBC学園IDA IDAグラフィックデザインコース 卒業制作プレゼンテーション	82	22	金	博 物 館 室	一般社団法人沖縄県労働基準協会 雇用管理研修会 (基礎研修)
45	13	水	講 堂	奥島 徹也 齋藤エグゼ 勉強会	83	22	金	博 物 館 室	NPO 法人キャリアエイト 小淵沖縄教育研究プログラム (ハワイ留学) 説明会
46	13	水	博 物 館 室	株式会社 SUN サンパール健康セミナー	84	22	金	美 術 館 室	㈱ライブアカデミー 究極の若返りとは
47	13	水	博 物 館 室	ジブラルタ生命保険株式会社 選抜法人研修	85	22	金	美 術 館 室	一般社団法人プロモーションうるま/沖縄県地域・離島課 令和5年度沖縄県移住定住促進事業 第2回中間支援研修
48	13	水	博 物 館 室	博物館班 博物館ボランティア民具訓練	86	23	土	講 堂	株式会社日本旅行/ジョンソンエンドジョンソン 株式会社 第5回沖縄スポーツ健康塾
49	13	水	美 術 館 室	沖縄塾 沖縄塾 定期勉強会	87	23	土	博 物 館 室	株式会社琉球新報開発 10年後の未来へ残す「貴方だけの未来計画」
50	14	木	講 堂	学校法人KBC学園IDA IDAグラフィックデザインコース 卒業制作プレゼンテーション	88	23	土	博 物 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 大人のための植物講座3 「牧野富太郎と沖縄の植物」
51	14	木	博 物 館 室	沖縄県文化振興課 九州・山口ミュージアム連携事業 第27 回共同事業ワーキング会議	89	23	土	博 物 館 室	保険マンモス株式会社 お子さまモデルオーディション撮影会&ライフプラン相談会
52	14	木	美 術 館 室	大光電機株式会社 DIKO ライティングセミナー	90	23	土	美 術 館 室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 CO2ゼロのゆたかな島づくり会議
53	14	木	美 術 館 室	株式会社プレナスワールド 医療費削減協議会健康セミナー	91	23	土	美 術 館 室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座
54	15	金	こ どもアトリエ	株式会社 PRESENT2 商品勉強会	92	24	日	県 民 アトリエ	首里城実行委員会/一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理センター 令和5年度 首里城復興祭「国王・王妃選出大会」控室
55	15	金	博 物 館 室	美術館班 城東小学校オリエンテーション	93	24	日	講 堂	首里城実行委員会/一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理センター 令和5年度 首里城復興祭「国王・王妃選出大会」
56	15	金	博 物 館 室	株式会社 JTB 沖縄/プロ野球沖縄キャンプ 2024 事務局 令和5年度 第1回プロ野球キャンプ受入市町村意見交換会	94	24	日	こ どもアトリエ	首里城実行委員会/一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理センター 令和5年度 首里城復興祭「国王・王妃選出大会」控室
57	15	金	博 物 館 室	独立行政法人中小企業基盤整備機構 沖縄事務所 商工会・商工会議所・中央会経営指導員向け 実践型事業承継支援スキルアップワークショップ	95	24	日	博 物 館 室	株式会社琉球新報開発 10年後の未来へ残す「貴方だけの未来計画」
58	15	金	美 術 館 室	大和ハウス工業㈱・大和ハウス工業九州地区協力会 安全衛生協議会	96	24	日	博 物 館 室	強姦救援センター・沖縄 (REICO) 強姦救援センター・沖縄 28 年間の活動報告
59	16	土	講 堂	那覇地区 PTA 連合会 第 26 回那覇地区 PTA 研修会	97	24	日	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート
60	16	土	博 物 館 室	株式会社タイムスアドネクスト 女性のためのマネーセミナー	98	24	日	博 物 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート：琉球舞踊世舞流 控室
61	16	土	博 物 館 室	フリーベル天久新都心 臨時総会	99	24	日	美 術 館 室	ドローン検定協会株式会社/BDC 無人航空従事者試験
62	16	土	美 術 館 室	沖縄県マンション管理組合連合会 冲管連マンション管理セミナー	100	26	火	講 堂	美術館班 比屋根小学校 オリエンテーション
63	16	土	美 術 館 室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	101	26	火	講 堂	iTHAT 自分を知るプロジェクト
64	17	日	講 堂	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 しまくとぅばの日イベント (仮称)	102	26	火	博 物 館 室	辻・本郷税理士法人 沖縄事務所 相続ミニセミナー
65	17	日	講 堂	しまくとぅばプロジェクト しまくとぅばの日シンポジウム	103	26	火	博 物 館 室	日新火災海上保険株式会社 代理店業務連絡会
66	17	日	博 物 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 東京家政大学附属女子中 10 分ガイド	104	26	火	美 術 館 室	川前和香子 健康セミナー
67	17	日	博 物 館 室	医療法人 正清会 福祉、お笑い、教育の合同公演会	105	27	水	講 堂	学校法人三幸学園 飛鳥未来さずな高校 沖縄キャンパス 事前卒業式
68	17	日	美 術 館 室	玉木流 琉装からじ結い研究所 くしの日 美ら姿結い遊び	106	27	水	博 物 館 室	美術館班 糸満小学校 オリエンテーション
69	18	月	博 物 館 室	しまくとぅばプロジェクト しまくとぅば鼎談・第21 弾	107	27	水	博 物 館 室	那覇商工会議所 サイバー犯罪対策セミナー
70	18	月	美 術 館 室	フォーディズ株式会社 核酸健康セミナー	108	27	水	博 物 館 室	琉球三線楽器保存育成会事務局/博物館班 三線調査会
71	20	水	博 物 館 室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	109	27	水	美 術 館 室	株式会社ルフト・メディカルケア お仕事説明会
72	20	水	博 物 館 室	沖縄県商工労働部/株式会社うむさんラボ 沖縄県 DX 人材養成講座 オープンセミナー	110	28	木	講 堂	イノベスタ株式会社 EC で変わる実店舗の未来 新たな売上源を開拓するための戦略セミナー
73	20	水	博 物 館 室	博物館班 博物館ボランティア民具訓練	111	28	木	博 物 館 室	株式会社プラスキャリア 非正規労働者処遇改善事業労働環境課題改善セミナー
74	20	水	美 術 館 室	証券会員制法人福岡証券取引所「福証 IPO セミナー in 沖縄」	112	28	木	美 術 館 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 OIST・財団会議
75	21	木	県 民 アトリエ	ブルームーンパートナーズ株式会社 シンポジウム打ち合わせ	113	29	金	講 堂	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 南の島の再生可能エネルギー
76	21	木	講 堂	ブルームーンパートナーズ株式会社 沖縄型スタートアップ支援の在り方	114	29	金	博 物 館 室	株式会社シーズリー 沖縄トレード学院 FX 自動売買コース

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
115	29	金	美術館講義室	株式会社海邦総研 かいぎんビジネスセミナー	125	1（金）～6（水）		美術館企画ギャラリー1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団 県博管理事務所／沖縄テレビ MINIATURE LIFE 展2 田中達也 見立ての世界
116	29	金	美術館講義室	那覇市社会福祉協議会 令和5年度第2回生活支援サポーター養成講座	126	1（金）～10（日）		エントランスホール	博物館班 ロビー展（6月23日と9月7日）
117	30	土	講堂	博物館班 博物館文化講座「倭寇図巻を読む」	127	1（金）～10（日）		博物館企画展示室	一般財団法人沖縄美ら島財団/沖縄タイムス社 みんなの進化解展—命はつながっている—
118	30	土	博物館講義室	D'クラディア新都心センタープレイス管理組合 D'クラディア新都心センタープレイス 第18期通常総会	128	1（金）～10（日）		博物館特別展示室1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団/沖縄タイムス社 みんなの進化解展—命はつながっている—
119	30	土	博物館講義室	ニライ・カナイぬ会 琉球人遺骨「情報開示訴訟判決」報告シンポジウム	129	5（火）～10（日）		講義室前ホワイエ	博物館班 進化解展連ミニ展示 片付け
120	30	土	博物館実習室	博物館班 博物館文化講座「倭寇図巻を読む」第2会場	130	12（火）～30（土）		エントランスホール	博物館班 鎌倉芳太郎写真展
121	30	土	美術館講義室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	131	12（火）～20（水）		県民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 使用
122	30	土	美術館講義室	株式会社タイムスアドネクスト 女性にオススメ。初心者へのマナーセミナー	132	16（土）～18（月）		美術館企画ギャラリー2	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートを身近に！プロジェクト 美術館で yoga(ヨガ)
123	30	土	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート	133	18（月）～30（土）		エントランスホール	琉球古刺繍報告会
124	1（金）～30（土）		スタジオ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管					

【2023年10月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	日	エントランスホール	博物館班 鎌倉芳太郎写真展	27	7	土	講堂	Co-, fellowship volunteer 竹中俊 さんのお話 & Call-and-Response の会
2	1	日	県民アトリエ	株式会社 E アファン 非分解プラセンタ勉強会	28	7	土	博物館講義室	東京都下水道サービス株式会社 沖縄県下水道排水設備工事責任技術者 試験前講習会
3	1	日	講堂	山内盛杉翁「胸像建立」期成会 講演と謝恩の会	29	7	土	博物館実習室	沖縄県医療福祉労働組合連合会 沖縄県医労連大会議案討議
4	1	日	こどもアトリエ	株式会社 E アファン 非分解プラセンタ勉強会	30	7	土	美術館講義室	株式会社みらいのタネ お金のきほん講座
5	1	日	博物館講義室	プレミスト首里金城町管理組合／大和ライフネクスト株式会社 プレミスト首里金城町 設立臨時総会	31	7	土	美術館講義室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座
6	1	日	博物館講義室	㈱玄米酵素 食と健康セミナー in 那覇	32	8	日	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「漆喰シーサー」
7	1	日	博物館実習室	山内盛杉翁「胸像建立」期成会 講演と謝恩の会 控室	33	8	日	講堂	博物館班 博物館文化講座「令和5年度博物館企画展開催記念シンポジウム 琉球の海 倭寇の海」
8	1	日	美術館講義室	有限会社ライブアップ iDeCo・新制 NISA 活用術～資産所得倍増ではじまる資産形成～	34	8	日	講堂	琉球大学医学部先端医学研究センター 県民公開講座 琉球大学医学部の研究の紹介
9	1	日	美術館講義室	株式会社タイムスアドネクスト/マニユライフ生命保険株式会社 女性にオススメ。初心者へのマナーセミナー	35	8	日	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 プロムナードコンサート
10	3	火	博物館実習室	サンアイ株式会社 健康を考える会 勉強会	36	8	日	博物館講義室	脱植民地兵術研究会 沖縄の芸術と紹介
11	4	水	県民アトリエ	一般社団法人トータルウェルネスプロジェクトオキナワ 令和5年度職場の健康力アップ推進事業 担当者フォローアップ	37	8	日	博物館実習室	博物館班 博物館文化講座「令和5年度博物館企画展開催記念シンポジウム 琉球の海 倭寇の海」第2会場
12	4	水	博物館講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド EO Okinawa	38	8	日	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ピアノの調律
13	4	水	博物館講義室	株式会社 公文教育研究会 ビジョン講座	39	8	日	美術館講義室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
14	4	水	博物館講義室	沖縄県商工労働部／株式会社うむさんラボ 沖縄県 DX 人材養成講座 オープンセミナー	40	9	月	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「漆喰シーサー」保管
15	4	水	美術館講義室	美術館班 美術館ボランティア研修会	41	9	月	講堂	琉球大学 戦略的研究プロジェクトセンター 公開シンポジウム「シマクトゥバの持続可能な継承を目指して」
16	4	水	美術館講義室	沖縄県エステティック・スパ協同組合 エステティック瘦身理論勉強会	42	9	月	こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「漆喰シーサー」保管
17	5	木	講堂	土木学会西部支部沖縄会 2023 年度特別講習会	43	9	月	博物館実習室	サウスリンク株式会社 こども向けパソコン組み立てワークショップ
18	5	木	博物館講義室	明治安田生命保険(相) 沖縄支社 資産運用コトハジメ はじめての「お金の育て方セミナー」	44	9	月	美術館講義室	フォーディズ株式会社 核酸栄養セミナー
19	5	木	博物館実習室	沖縄県中小企業家同友会 合同企業説明会 参加企業会議	45	11	水	県民アトリエ	株式会社大原宅建 顔認証オートロックシステム説明会
20	5	木	美術館講義室	プラス株式会社 PLUS セミナー	46	11	水	博物館講義室	沖縄県行政書士会 文化講演会
21	6	金	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「漆喰シーサー」準備	47	11	水	博物館実習室	博物館班 こどもフェスタボランティア勉強会
22	6	金	講堂	一般社団法人おきなわ子ども未来ネットワーク 映画「遠いところ」から見てくるもの～そして今、何をすべきか～ 意見交換会	48	11	水	美術館講義室	沖縄塾 沖縄塾 定期勉強会
23	6	金	こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「漆喰シーサー」準備	49	12	木	県民アトリエ	株式会社 琉球新報開発 令和5年度「女性の就業総合支援事業」合同企業説明会
24	6	金	博物館実習室	ソニー生命保険沖縄営業所 23 年度 上期開拓情報交換会	50	12	木	こどもアトリエ	株式会社 琉球新報開発 令和5年度「女性の就業総合支援事業」合同企業説明会
25	6	金	美術館講義室	沖縄県社会保険労務士会 人を大切にする企業づくりのための働き方改革	51	12	木	博物館講義室	株式会社 国建 令和5年首里城復興基金制作検討業務 瓦葺ワーキング部会(第3回)
26	7	土	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「漆喰シーサー」	52	12	木	博物館実習室	株式会社ノイズ・パリュース社 沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業（関係者会議）

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
53	12	木	美術館講義室	株式会社海邦総研 かいぎんビジネスセミナー	91	22	日	美術館講義室	ライフエネルギーコーチング沖縄／なりたい私研究所「エネルギーを整える」出版記念 三上隆之先生 講演会
54	13	金	講義室	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 表彰式 準備	92	22	日	美術館講義室	沖縄・兵庫 秋期友援キャンプ/株式会社 国際旅行社 沖縄・兵庫 秋期友援キャンプ
55	13	金	こどもアトリエ	美術館班 アートコンクール2次審査	93	24	火	博物館講義室	りゅうぎんビジネススクラブ 第12期りゅうぎんマネジメントスクール
56	13	金	博物館講義室	一般財団法人沖縄 ITイノベーション戦略センター 「地域金融機関に求められるスタートアップ支援」セミナー	94	24	火	美術館講義室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 令和5年度那覇市生活支援訪問型サービス従事者養成研修
57	13	金	博物館実習室	博物館班 民具体験	95	25	水	スタジオ	沖縄県中小企業家同友会 女性経営者部会「碧の会」10月部会例会
58	14	土	県民アトリエ	沖縄国税労働組合 第2回中央執行委員会	96	25	水	博物館講義室	美術館班 読谷村古堅南小学校オリエンテーション
59	14	土	講義室	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 表彰式	97	25	水	博物館講義室	辻・本郷理士法人 沖縄事務所 相続ミニセミナー
60	14	土	講義室	平良孝七展の修正を求める会 復帰50年 平良孝七展を検証する	98	25	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会事務局/博物館班 三線調査会
61	14	土	博物館講義室	株式会社人事の味方 【オンライン視聴会】さかなクンの“海の自然”を守ろう！SDGs ギョギョッと講演会	99	25	水	美術館講義室	サントピアおもろまち管理組合 サントピアおもろまち管理組合 通常総会
62	15	日	講義室	合同会社i サボグループ 花蜜伸行講演会 in 沖縄	100	25	水	美術館講義室	社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 令和5年度那覇市生活支援訪問型サービス従事者養成研修
63	15	日	博物館講義室	沖縄戦継承プロジェクト実行委員会 沖縄戦の記憶・継承講座受講者発表会	101	26	木	講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 銘苅小学校 オリエンテーション
64	15	日	博物館実習室	サウスリンク株式会社 こども向けパソコン組み立てワークショップ	102	26	木	スタジオ	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部 第47回沖縄県高等学校総合文化祭 審査会
65	17	火	県民アトリエ	ソニー生命保険 株式会社 永山塾	103	26	木	博物館講義室	沖縄県高等学校文化連盟 美術工芸専門部 第47回沖縄県高等学校総合文化祭 顧問会議
66	17	火	講義室	博物館班 博物館ボランティア連絡会	104	26	木	博物館講義室	株式会社プラスキャリア 非正規労働者処遇改善事業労働環境課題改善セミナー
67	17	火	こどもアトリエ	ソニー生命保険 株式会社 永山塾	105	26	木	美術館講義室	社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 令和5年度那覇市生活支援訪問型サービス従事者養成研修
68	17	火	博物館実習室	公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合事業推進検討委員会	106	27	金	スタジオ	サノフィ株式会社 Diabetes Expert Meeting
69	18	水	博物館実習室	おきなわ建設フェスタ実行委員会 第5回おきなわ建設フェスタ	107	27	金	博物館講義室	株式会社シナジープラス SIPS 研修会
70	19	木	講義室	喜多條 裕重 APMC+EWC 平和創造国際シンポジウム リハーサル	108	27	金	美術館講義室	博物館班 自主民具体験「大里北小学校」
71	19	木	博物館講義室	沖縄県立博物館友の会 沖縄県立博物館友の会主催 海を越えた神々へ沖縄の土帝君を中心に～	109	27	金	美術館講義室	WAK メタバース 白 美希 メタバースの開発勉強会
72	19	木	博物館実習室	博物館班 子どもフェスタボランティア勉強会	110	28	土	講義室	園ピアノ教室 合同ピアノ発表会
73	19	木	美術館講義室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部/公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄支部 相続・不動産に関するFP研修	111	28	土	スタジオ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 10月度定例理事会
74	20	金	講義室	一般財団法人ヤマハ音楽振興会 システム講師全体説明会・新ぶらいまりー認定講習	112	28	土	スタジオ	沖縄チュチェ思想研究会 学習
75	20	金	博物館講義室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部/公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄支部 相続・不動産に関するFP研修	113	28	土	博物館講義室	博物館班 デジタルミュージアム推進事業 令和5年度「ウチナーの民話上映会」
76	20	金	美術館講義室	株式会社SUN 健康セミナー サンペール	114	28	土	美術館講義室	PFAS汚染から市民の生命を守る連絡会 小出裕章講演会のための学習会と実行委員会
77	21	土	講義室	イングリッシュフェスティバル実行委員会 第20回イングリッシュフェスティバル	115	29	日	県民アトリエ	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部 第47回沖縄県高等学校総合文化祭顧問会議
78	21	土	スタジオ	公益財団法人 沖縄科学技術振興センター 大学発ベンチャー創出志向型研究支援事業「第1回大学発起業家養成プログラム」	116	29	日	講義室	琉球大学 首里城再興学術ネットワーク 首里城再興学術ネットワークシンポジウム2023
79	21	土	博物館講義室	株式会社シーズリー 沖縄トロード学院 FX 自動売買コース	117	29	日	こどもアトリエ	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部 第47回沖縄県高等学校総合文化祭顧問会議
80	21	土	美術館講義室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 CO2ゼロのゆたかな島づくり会議	118	29	日	博物館講義室	琉球大学 首里城再興学術ネットワーク 首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2023
81	21	土	美術館講義室	NPO 法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	119	29	日	エントランスホール	一般財団法人沖縄美ら島財団 ブロムナードコンサート
82	21	土	美術館講義室	株式会社SUN 健康セミナー サンペール	120	29	日	美術館講義室	琉球大学 首里城再興学術ネットワーク 首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2023
83	22	日	県民アトリエ	合同会社島越事務所 島越事務所 打ち合わせ	121	31	火	講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 昭和薬科大学附属高等学校
84	22	日	講義室	APMC 設立構想委員会 APMC+EWC 平和創造国際シンポジウム	122	31	火	博物館講義室	三井住友海上火災保険株式会社 沖縄支店 白ナンバーのアルコールチェック検知器使用がいよいよ義務化企業に求められる実務対応のポイント解説セミナー
85	22	日	講義室	参天製薬株式会社 第5回沖縄眼科臨床懇話会	123	1（日）～15（日）		エントランスホール	琉球古刺繍報告会
86	22	日	こどもアトリエ	合同会社島越事務所 島越事務所 打ち合わせ	124	1（日）～9（月）		スタジオ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品受付・審査・保管
87	22	日	スタジオ	合同会社島越事務所 島越事務所 打ち合わせ	125	1（日）～31（日）		博物館特別展示室1	博物館班 海を越える人々 琉球と倭寇のものの語り
88	22	日	博物館講義室	glee style glee style 事業スペシャル説明会	126	1（日）～31（火）		博物館企画展示室	博物館班 海を越える人々 琉球と倭寇のものの語り
89	22	日	博物館講義室	株式会社人事の味方 プログラミング体験会	127	7（土）～8（日）		こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA アート WS「漆喰シーサー」
90	22	日	博物館実習室	沖縄県立博物館友の会 沖縄県立博物館友の会主催 琉球と倭寇のものの語り 関連イベント「交易で使われた琉球の銭『世高通宝』をつくってみよう』『お香を体験しよう』	128	9（月）～22（日）		エントランスホール	漆喰シーサー展示

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
129	9（月）～ 25（水）		美術館企画 ギャラリー1・2	公益財団法人 沖縄県文化振興会 第52回 沖縄 県芸術文化祭（会期：10/14～10/22）	135	24（火）～ 31（水）		エントランス ホール	アートコンクール作品展示
130	17（火）～ 18（水）		博物館室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR103 期	136	26（木）～ 31（水）		美術館企画 ギャラリー1・2	美術館班 YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 照屋 勇賢 オキナワ・ヘヴィー・ポップ 準備
131	17（火）～ 18（水）		美術館 講座室	ピーライフ・アシスト合同会社 GOD ATR12	137	26（木）～ 28（土）		県民 アトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 作品受付・審査・保管
132	17（火）～ 31（火）		エントランス ホール	世界ウチナーンチュパネル展	138	26（木）～ 28（土）		こども アトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 作品受付・審査・保管
133	22（日）～ 31（火）		講堂前 ホワイエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城写真展	139	26（木）～ 29（日）		博物館 実習室	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部 第47回 沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門作品展
134	23（月）～ 31（火）		博物館特別 展示室2	沖縄の染と織の至宝展 ～桃原用昇コレクション～					

【2023年11月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	水	博物館室	フォーディズ株式会社 核酸栄養セミナー	31	7	火	美術館室	社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 令和5年度 第1回那覇市社会福祉法人等施設連絡会
2	1	水	美術館 講座室	株式会社アール・ビー・アイ（沖縄県農林水産部流通・加工推進課） 6次産業化スタートアップ事業 第二回個別研修・第一回集合研修	32	8	水	スタジオ	合同会社 SANGA サプリメントの勉強会
3	2	木	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅー誕生祭 準備	33	8	水	博物館 講座室	株式会社マイファーム うちな～フードビジネス プロジェクト
4	2	木	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅー誕生祭 アート市 準備	34	8	水	博物館 実習室	博物館班 民具体験
5	2	木	博物館 講座室	公益社団法人沖縄県理学療法士協会 令和5年度市 町村地域包括支援センター職員等向け現任者研修	35	8	水	美術館 講座室	ジブラルタ生命保険株式会社 BTP・ATP 合同研修
6	2	木	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅー誕生祭 準備	36	8	水	美術館 講座室	沖縄塾 定期勉強会
7	2	木	美術館 講座室	沖縄県自治研修所 令和5年度 歴史・文化講座	37	9	木	県民 アトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 作品返却
8	3	金	県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅー誕生祭 控室	38	9	木	講堂	沖縄県文化振興課 令和5年度沖縄県文化功労者 表彰式典
9	3	金	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団解体梵鐘Vol.9 ウ チナーンチュは茶じょーぐー!お茶と「万国津梁」	39	9	木	講堂	沖縄県環境保全課 令和5年度赤土等流出防止交 流集会
10	3	金	こども アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅー誕生祭 控室	40	9	木	こども アトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 作品返却
11	3	金	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅー誕生祭 「アート市」	41	9	木	正面玄関 雨端	沖縄県文化振興課 沖縄県文化功労者表彰式典 生花預かりスペース
12	3	金	博物館 実習室	博物館班「旧石器時代の人類」ブレイベント 学 芸員と一緒に港川について調べてみよう！	42	9	木	博物館 講座室	株式会社 文芸社 出版企画部 出版相談会
13	3	金	美術館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅー誕生祭 「ライブイベント」	43	9	木	博物館 実習室	美術館班 うるま市立南原小学校オリエンテーシ ョン
14	4	土	博物館 講座室	沖縄土業ネットワーク協議会 くらしと事業「よろ づ相談会」	44	9	木	博物館 実習室	有限会社テレマーケティング沖縄 管理者研修
15	4	土	博物館 実習室	サウスリンク株式会社 こども向けパソコン組み 立てワークショップ	45	9	木	美術館 講座室	SE Sapporo/SE沖縄トレーニング SE沖縄トレ ニング 事前打ち合わせ
16	4	土	博物館 実習室	国立大学法人琉球大学 地域連携推進機構 親子で 考えよう、理系への道！	46	9	木	美術館 講座室	株式会社エマエンタープライズ 令和5年度 第3 回 国際物流拠点産業集積地域連絡調整会議
17	4	土	美術館 講座室	NPO法人沖縄県沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	47	10	金	県民 アトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 作品返却
18	4	土	美術館 講座室	国立大学法人琉球大学 地域連携推進機構 親子で 考えよう、理系への道！	48	10	金	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド（能美 防災）
19	5	日	県民 アトリエ	社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会 福祉機 器展・独演会・盲導犬啓発イベント	49	10	金	講堂	美術館班 YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィー・ポップ 舞踊公演+クロストーク
20	5	日	講堂	ラジオ沖縄「演歌の花舞台」実行委員会 ラジオ沖縄 「演歌の花舞台」～人生歌あり～公演 DVDの上映会	50	10	金	博物館 講座室	SE Sapporo/SE沖縄トレーニング SE沖縄トレ ニング
21	5	日	こども アトリエ	社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会 福祉機 器展・独演会・盲導犬啓発イベント	51	10	金	博物館 実習室	博物館班 民具体験
22	5	日	正面玄関 雨端	社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会 福祉機 器展・独演会・盲導犬啓発イベント	52	10	金	美術館 講座室	株式会社 文芸社 出版企画部 出版相談会
23	5	日	スタジオ	社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会 福祉機 器展・独演会・盲導犬啓発イベント	53	10	金	美術館 講座室	日本イーライリリー株式会社 日本イーライリ リー/糖尿病関連講演会
24	5	日	博物館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 出 張・海洋文化講座 太平洋と沖縄④ 船と航海術	54	11	土	県民 アトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化 祭 作品返却
25	5	日	博物館 講座室	社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会 福祉機 器展・独演会・盲導犬啓発イベント	55	11	土	講堂	SE Sapporo/SE沖縄トレーニング SE沖縄トレ ニング
26	5	日	博物館 実習室	社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会 福祉機 器展・独演会・盲導犬啓発イベント	56	11	土	博物館 講座室	博物館班 博物館学芸員講座「伊東忠太と鎌倉芳太 郎」
27	5	日	博物館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきぎい出前コンサート琉球舞踊公 演会【沖縄の染と織の至宝～桃原用昇コレクション】関連イベント	57	11	土	美術館 講座室	株式会社タイムスアドネスト/オリックス生命保険株式会社 今年こそ始めたい！上手な貯金の育て方 お金が貯まる3つの法則
28	5	日	美術館 講座室	おはなしの木の会 おはなしの木の会 第30回大 人のためのおはなし会	58	11	土	美術館 講座室	旭化成ファーマ株式会社 沖縄出張所 第3回 沖 縄Bone Conference
29	7	火	講堂	沖縄県生物教育研究会 第70回 高校生による生物 科学展	59	12	日	県民 アトリエ	SE Sapporo/SE沖縄トレーニング SE沖縄トレ ニング
30	7	火	博物館 講座室	沖縄県生物教育研究会 第70回 高校生による生物 科学展	60	12	日	講堂	藤田早苗さんを沖縄へ呼ぶ会 世界から見た日本 のヒューマンライツ

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
61	12	日	講 堂	琉球労働法研究会 戸谷 義治 琉球労働法研究会発足 10周年記念講演会「労働紛争の解決と予防について考える」	99	19	日	博 物 館 講 座 室	公益社団法人日本リウマチ友の会 沖縄県支部 医療講演会・相談会
62	12	日	スタジオ	朗読 Room れでいえんと 秋晴の朗読	100	19	日	博 物 館 講 座 室	リゾートクラブ NX 沖縄観光業に係る業務提携の 研修セミナー
63	12	日	博 物 館 実 習 室	沖縄・兵庫 秋期友援キャンプ 沖縄・兵庫 秋期 友愛キャンプ	101	19	日	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 琉球菓子イベント 控室
64	12	日	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 一般社団法人沖 縄県美術家連盟 理事会	102	19	日	美 術 館 講 座 室	株式会社ブルー・オーシャン沖縄 令和5年度沖縄 型産業中核人材育成
65	12	日	美 術 館 講 座 室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	103	21	火	県 民 ア ト リ エ	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センタ ー オープンデータ利活用勉強会
66	12	日	こ ど も ア ト リ エ	SE Sapporo/SE 沖縄トレーニング SE 沖縄トレ ーニング	104	21	火	こ ど も ア ト リ エ	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センタ ー オープンデータ利活用勉強会
67	14	火	講 堂	天久小4年生学年レク わった〜バス党 バスの 乗り方教室	105	21	火	博 物 館 講 座 室	博物館班 博物館ボランティア連絡会
68	14	火	美 術 館 講 座 室	株式会社ルフト・メディカルケア お仕事案内・登 録会	106	21	火	美 術 館 講 座 室	那覇商工会議所 英語を中心とした外国語人材育 成研修 中級編
69	14	火	美 術 館 講 座 室	株式会社海邦総研 かいぎんビジネスセミナー	107	22	水	講 堂	株式会社ノイズ・バリュー社 沖縄黒糖サミット（令和5 年度沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業）
70	15	水	講 堂	光文堂コミュニケーションズ株式会社 令和5年 度沖縄県地産地消シンポジウム	108	22	水	講 堂	一般財団法人日本女性財団 日本女性財団沖縄プ ラットフォーム連絡会
71	15	水	博 物 館 実 習 室	博物館班 民具体験	109	22	水	博 物 館 講 座 室	株式会社 AK 事業説明会
72	15	水	美 術 館 講 座 室	株式会社 Ridilover Ridilover スタディツア ー	110	22	水	博 物 館 講 座 室	辻・本郷税理士法人沖縄事務所 相続ミニセミナー
73	15	水	美 術 館 講 座 室	株式会社 Ridilover Ridilover スタディツア ー	111	22	水	博 物 館 実 習 室	琉球三線楽器保存育成会事務局/博物館班 三線 調査会
74	16	木	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 邑南町立瑞徳中学 校 10 ガイド	112	22	水	博 物 館 実 習 室	博物館班 内間小学校 自主民具体験
75	16	木	美 術 館 講 座 室	琉球大学病院 肝疾患相談室（第一内科） 令和5 年度沖縄県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会	113	22	水	美 術 館 講 座 室	株式会社マイファーム うちな〜フードビジネス プロジェクト
76	16	木	美 術 館 講 座 室	株式会社ノイズ・バリュー社 コネクトバ 「地域 ブランド構築プロデューサー」 育成スクール	114	23	木	講 堂	文教楽器株式会社【1部】文教ハーモニー那覇空港店 ピアノ発表会【2部】文教ミュージックサロン発表会
77	17	金	講 堂	JCD 沖縄支部事務局「SUGATA to KATACHI」2023 デ ザイン賞 贈賞式+「デザイナーネットワーク」イベント	115	23	木	博 物 館 講 座 室	国立大学法人東京工業大学生命理工学院山田研究室 子どもサイエンスカフェ「腸内細菌ってなんだ？」
78	17	金	スタジオ	一般社団法人全国医学部長病院長会議/地域の医療及び医師養成の在り 方に関する委員会 地域の医療及び医師養成の在り方に関する委員会	116	23	木	エントランス ホ ー ル	一般財団法人沖縄美ら島財団ブロムナードコンサ ート森の音楽館 秋の音楽フェスティバル
79	17	金	博 物 館 講 座 室	株式会社ブルー・オーシャン沖縄 令和5年度沖縄 型産業中核人材育成	117	23	木	博 物 館 実 習 室	旧美栄橋一丁目近隣会 総会
80	17	金	博 物 館 実 習 室	博物館班 民具体験	118	23	木	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートことはじめ 「沖縄美術」〜琉球王国時代から明治へ〜
81	17	金	博 物 館 実 習 室	株式会社 SUN サンパール ムコ多糖の必要性	119	24	金	講 堂	JAIF ソニー沖縄 沖縄分会
82	17	金	美 術 館 講 座 室	大和ハウス工業㈱・大和ハウス工業九州地区協 会沖縄支部 安全衛生協議会	120	24	金	スタジオ	JICA 沖縄 外国人研修員向け説明会
83	17	金	美 術 館 講 座 室	タマホーム沖縄支店安全協力会 業者会・工程会議	121	24	金	博 物 館 講 座 室	特定非営利活動法人沖縄平和協力センター 令和5年度 「平和への思い」発信・交流・継承事業 ディスカッション
84	18	土	講 堂	博物館文化講座「沖縄の美ら星〜豊かな星文化に ふれる〜」	122	24	金	博 物 館 実 習 室	博物館班 民具体験
85	18	土	講 堂	神河周一郎 anlot（アンロット） 3rd Live	123	24	金	美 術 館 講 座 室	一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協 議会 CCDS IoTセキュリティシンポジウム 2023
86	18	土	スタジオ	合同会社ワンダーミッション 腸内細菌講座	124	25	土	県 民 ア ト リ エ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 11 月度 定例理事会
87	18	土	博 物 館 講 座 室	博物館文化講座「沖縄の美ら星〜豊かな星文化に ふれる〜」第2会場	125	25	土	県 民 ア ト リ エ	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/日教組九州地 区協議会 日教組九州地区女性教育労働者研究集会
88	18	土	博 物 館 実 習 室	自由民主党沖縄県第一選挙区支部 越ふるさと対 話集会	126	25	土	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 10 分ガイド 総 合包装（株）
89	18	土	美 術 館 講 座 室	アンロット アンロット ミーティング	127	25	土	講 堂	沖縄から結婚の平等に YES！実行委員会/ていーだ あみ 機材設営・事前準備
90	18	土	美 術 館 講 座 室	株式会社 SUN サンパールムコ多糖の必要性	128	25	土	講 堂	沖縄広告株式会社 沖縄鉄軌道機運醸成等委託業 務
91	18	土	美 術 館 講 座 室	全日本年金者組合 那覇支部 定期総会	129	25	土	スタジオ	株式会社 E アフアン 非分解プラセンタ勉強会
92	19	日	県 民 ア ト リ エ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ 2023「着 なくなった服でつくる裂き布マット」	130	25	土	博 物 館 講 座 室	ライオンズマンション新都心管理組合 通常総会
93	19	日	講 堂	DDE FINTECH 沖縄本社 事業説明会	131	25	土	美 術 館 講 座 室	株式会社日本旅行/ジョンソンエンドジョンソン 株式会社 2023 年沖縄 Mitek セミナー
94	19	日	講 堂	高次脳リハビリテーション講習会実行委員会 高次脳リハ ビリテーション講習会（沖縄県高次脳機能障害支援普及事業）	132	25	土	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 CO2ゼロのゆ たかな島づくり会議
95	19	日	講 堂	公益社団法人沖縄県建築士会 だれもが安心できる 公共空間のデザイン 〜当事者参画を学ぶセミナー〜	133	26	日	県 民 ア ト リ エ	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/日教組九州地 区協議会 日教組九州地区女性教育労働者研究集会
96	19	日	こ ど も ア ト リ エ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ 2023「着 なくなった服でつくる裂き布マット」	134	26	日	講 堂	沖縄から結婚の平等に YES！実行委員会/ていーだあみ 沖縄 から結婚の平等に YES！〜YES！FOR MARRIAGE EQUALITY〜
97	19	日	博 物 館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 琉球菓子と琉球古 典音楽	135	26	日	博 物 館 講 座 室	沖縄から結婚の平等に YES！実行委員会/ていーだあみ 沖縄 から結婚の平等に YES！〜YES！FOR MARRIAGE EQUALITY〜第2会場
98	19	日	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10 分ガイド 三 日月会	136	26	日	博 物 館 実 習 室	九州医療スポーツ専門学校 沖縄出張学校説明 会・学費相談会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
137	26	日	美術館講義室	沖縄がん教育サポートセンター がん教育外部講師養成研修会	154	1（水）～12（日）		エントランスホール	アートコンクール作品展示
138	26	日	美術館講義室	沖縄県網膜色素変性症協会（JRPS 沖縄） ロービジョンケア講習会	155	1（水）～3（金）		エントランスホール	おきみゅー誕生祭「万国津梁の鐘」
139	28	火	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 豊崎小学校_オリエンテーション	156	1（水）～3（金）		エントランスホール	ゆらゆらオーナメントづくり
140	28	火	スタジオ	株式会社レジスタ 令和5年度県内有望農産物の産地化スタートアップ支援事業 第2回産地化検討委員会	157	1（水）～12（日）		エントランスホール	世界ウチナアンチュパネル展
141	28	火	博物館講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 尼崎高校	158	1（水）～26（日）		講義室前ホワイエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城写真展
142	28	火	博物館講義室	官署支出官 沖縄労働局長「令和5年度障害者就職ミニ面接会」	159	1（水）～29（水）		博物館特別展示室2	一般財団法人沖縄美ら島財団 琉球文化研究室 沖縄の染と織の至宝展 ～桃原用昇コレクション～
143	28	火	博物館実習室	株式会社JTB 沖縄 沖縄県「令和5年度琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業」第2回有識者委員会	160	1（水）～30（木）		美術館企画ギャラリー1・2	美術館班 YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィー・ポップ
144	28	火	美術館講義室	県総務班 工程会議	161	2（木）～3（金）		スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゅー誕生祭控室
145	28	火	美術館講義室	那覇商工会議所 知財セミナー	162	10（金）～11（土）		こどもアトリエ	公益財団法人沖縄県文化振興会 沖縄県芸術文化祭 作品返却
146	29	水	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 尼崎高校①、②	163	10（金）～11（土）		博物館実習室	SE Sapporo/SE 沖縄トレーニング SE 沖縄トレーニング
147	29	水	博物館講義室	（株）大京アスステージ MS 研修会	164	12（日）～16（木）		博物館講義室	SE Sapporo/SE 沖縄トレーニング SE 沖縄トレーニング
148	29	水	博物館講義室	公益財団法人日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部 令和5年度ブロック事務局長会議	165	14（火）～16（木）		博物館実習室	SE 沖縄トレーニング SE 沖縄トレーニング
149	29	水	美術館講義室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 令和5年度県及び市町村におけるオープンデータ公開等推進業務 説明会	166	14（火）～30（木）		エントランスホール	博物館班 星空写真展
150	30	木	講堂	一般社団法人ある 居場所設置促進関係業務シンポジウム	167	25（土）～26（日）		こどもアトリエ	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/日教組九州地区協議会 日教組九州地区女性教育労働者研究会
151	30	木	博物館講義室	沖縄労働局 第3回グジョブセンターおきなわ合同企業説明会	168	25（土）～26（日）		スタジオ	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/日教組九州地区協議会 日教組九州地区女性教育労働者研究会
152	30	木	美術館講義室	株式会社イオス コーポレーション ESO ビジネスセミナー	169	25（土）～26（日）		博物館講義室	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/日教組九州地区協議会 日教組九州地区女性教育労働者研究会
153	30	木	美術館講義室	一般社団法人琉球経済戦略研究会 日中の経済協力における沖縄の可能性	170	25（土）～26（日）		博物館実習室	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/日教組九州地区協議会 日教組九州地区女性教育労働者研究会

【2023年12月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	講堂	嬉野が丘サマリヤ人病院 2023 年度 認知症講演会	20	5	火	博物館講義室	沖縄労働局 在職者交流会
2	1	金	博物館講義室	沖縄労働局 公正採用選考妊産登推進員研修会	21	5	火	美術館講義室	那覇商工会議所 英語を中心とした外国人材育成研修
3	1	金	博物館実習室	博物館班 民具体験	22	6	水	県民アトリエ	KDo 自主研发でいだぬふあ 障害児指導 勉強会
4	1	金	博物館実習室	一般社団法人沖縄県産業資源循環協会 一般社団法人沖縄県産業資源循環協会 令和5年度第4回通常理事会	23	6	水	県民アトリエ	一般社団法人トータルウェルネスプロジェクトオキナワ 令和5年職場健康力担当者フォロー
5	1	金	美術館講義室	こころのケアとレジリエンス研究センター／一般社団法人ある 若年妊産婦支援とその実り～トラウマインフォームドケアの視点で～	24	6	水	講堂	ブルームーンパートナーズ(株) 株主総会 沖縄県信用保証協会主催シンポジウム「中小企業の稼ぐ力」
6	2	土	県民アトリエ	沖縄掃除に学ぶ会 日本を美しくする会沖縄ブロック総会	25	6	水	講堂	株式会社 918 音声ガイド・日本語字幕付沖縄映画祭
7	2	土	講堂	株式会社 海燕社 海燕社の小さな映画会 2023/12 月会 『モバイルハウスのつくりかた』	26	6	水	こどもアトリエ	KDo 自主研发でいだぬふあ 障害児指導 勉強会
8	2	土	講堂	安田陽ブランディング研究所 第1回スマホで音楽制作コンテスト IN 沖縄 事前準備	27	6	水	博物館講義室	金城達也税理士事務所 TKC 経営支援セミナー
9	2	土	講堂	医療法人天仁会 地域向け講演会「認知症・児童思春期精神病」	28	6	水	博物館講義室	株式会社公文教育研究会 公文式の価値講座
10	2	土	スタジオ	公益財団法人 沖縄科学技術振興センター 大学発ベンチャー創出志向型研究支援事業 「第3回大学発起業家養成プログラム」	29	6	水	博物館実習室	博物館班 民具体験
11	2	土	美術館講義室	九州芸術学会 第109回九州芸術学会	30	6	水	美術館講義室	株式会社シーズリー 沖縄トレード学院 FX 自動売買コース
12	3	日	県民アトリエ	一般財団法人沖縄美ら財団 旧正月イベント準備	31	7	木	講堂	幼保連携型認定こども園美ら夢 生活発表会 リハール
13	3	日	講堂	一般社団法人グランド・マザー 「いのちのまつり」 命のつながりや母子の未来を明るく健康に	32	7	木	講堂	ブルームーンパートナーズ株主総会 令和5年度沖縄県信用保証協会主催シンポジウム「中小企業の稼ぐ力」
14	3	日	講堂	安田陽ブランディング研究所 令和5年度沖縄文化芸術の創造発信支援事業「小学生から高校生を対象とした100ワークショップおよび100コンテストの実施による県内若手芸術家人材の発掘・育成事業」	33	7	木	博物館講義室	沖縄労働局 キャリアコンサルティング研修
15	3	日	博物館講義室	SAN 勉強会	34	7	木	美術館講義室	ベネシュ沖縄浦添 ウォーキングセミナー
16	3	日	博物館講義室	琉球遺骨返還請求訴訟支援全国連絡会 ワッダーヤ琉球先住民族ヤビドン：琉球民族遺骨返還請求訴訟控訴審判決報告集会	35	8	金	講堂	幼保連携型認定こども園美ら夢 生活発表会 リハール
17	3	日	博物館講義室	一般社団法人表千家同門会沖縄県支部 教授者連絡会議	36	8	金	こどもアトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートコンクール作品返却作業
18	3	日	美術館講義室	株式会社玄米酵素沖縄営業所 食と健康セミナー	37	8	金	博物館講義室	沖縄労働局 キャリアコンサルティング研修
19	5	火	講堂	株式会社 918 音声ガイド・日本語字幕付沖縄映画祭	38	8	金	博物館講義室	関西発達臨床研究所 障害のある子どもたちのための発達支援研修セミナー

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
39	8	金	美術館講義室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 業務用ヒートポンプ給湯システム設計研修会	77	16	土	スタジオ	株式会社 ティーケービー 学校法人順正学園（吉備国際大学、九州保健福祉大学）の入試
40	9	土	県民アトリエ	関西発達臨床研究所 障害のある子どもたちのための発達支援研修セミナー	78	16	土	博物館講義室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 沖縄県委託事業 令和5年度子ども科学技術人材育成事業
41	9	土	講堂	幼保連携型認定こども園美ら夢 生活発表会	79	16	土	博物館講義室	治安維持法同盟本部 治安維持法同盟沖縄県本部 総会
42	9	土	講堂	沖縄県ママさんバレーボール連盟 令和5年度臨時総会	80	16	土	博物館実習室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 沖縄県委託事業 令和5年度子ども科学技術人材育成事業
43	9	土	博物館講義室	博物館班 博物館学芸員講座「沖縄の生活における水と信仰」	81	16	土	美術館講義室	真喜志康忠 13回忌生誕 101年記念イベント 13回忌生誕 100年記念イベント「スクリーンで蘇る名優真喜志康忠」第2会場
44	9	土	博物館講義室	ZEN プラス『認知症高齢者の病態別食支援 ～治らない嚥下障害への対応～』	82	16	土	美術館講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 おきみゆーアートことはじめ「やさしいデザイン」
45	9	土	博物館講義室	関西発達臨床研究所 障がいのある子どもたちのための発達支援研修セミナー	83	17	日	講堂	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 沖縄県委託事業 令和5年度子ども科学技術人材育成事業
46	9	土	博物館実習室	関西発達臨床研究所 障がいのある子どもたちのための発達支援研修セミナー	84	17	日	博物館講義室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 沖縄県委託事業 令和5年度子ども科学技術人材育成事業
47	9	土	博物館実習室	幼保連携型認定こども園美ら夢 幼保連携型認定こども園美ら夢 生活発表会 園児控室	85	17	日	博物館実習室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 沖縄県委託事業 令和5年度子ども科学技術人材育成事業
48	9	土	美術館講義室	命どう宝！琉球の自己決定権の会 講演会「沖縄の自立を考える～政治・経済・文化と境界の意味」	86	17	日	美術館講義室	ピースボート 地球一周の船旅説明会
49	9	土	美術館講義室	関西発達臨床研究所 障がいのある子どもたちのための発達支援研修セミナー	87	19	火	県民アトリエ	建交労沖縄県本部 建交労九州支部沖縄分会総会
50	10	日	講堂	岡真理先生講演会実行委員会 現代世界とパレスチナ-岡真理先生講演会-	88	19	火	講堂	専修学校インターナショナルデザインアカデミー 令和5年度専修学校 IDA MD コース2年卒業制作プレゼンテーション
51	10	日	講堂	一般社団法人沖縄県発明協会 第40回未来の科学の夢絵画展（県内展）表彰式	89	19	火	博物館講義室	博物館班 博物館ボランティア連絡会
52	10	日	こどもアトリエ	ワールドピースキャンペーン ヨグマタ瞑想の集い	90	20	水	講堂	一般社団法人沖縄県労働基準協会 化学物質等管理セミナー
53	10	日	博物館講義室	岡真理先生講演会実行委員会 「ガーダーパレスチナの詩」上映会	91	20	水	博物館実習室	美術館班 石川高校オリエンテーション
54	10	日	博物館講義室	しまくとうばプロジェクト しまくとうば鼎談・第22弾	92	20	水	美術館講義室	美術館班 美術館ボランティア研修会
55	10	日	美術館講義室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	93	20	水	美術館講義室	川前 和香子 健康セミナー
56	10	日	美術館講義室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	94	21	木	博物館講義室	リゾートクラブ NX
57	12	火	講堂	アフラック沖縄県アソシエーツ会 アフラック沖縄県アソシエーツ会 冬季研修会	95	21	木	博物館講義室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 令和5年度第1層協議体
58	12	火	博物館講義室	全日本年金者組合沖縄県本部 全日本年金者組合沖縄県本部第35回定期大会	96	21	木	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 体験学習教室 準備
59	12	火	博物館講義室	辻・本郷税理士法人 沖縄事務所 相続ミニセミナー	97	21	木	博物館実習室	博物館班 民具体験
60	12	火	美術館講義室	フォーデイズ株式会社 核酸栄養セミナー	98	21	木	博物館実習室	玉城晋也 VEIN-X 説明会
61	13	水	講堂	株式会社シーエアドバンス CA Advance Tech Award 2023 準備・リハーサル	99	21	木	美術館講義室	株式会社Eアファン 非分解プラセンタ勉強会
62	13	水	美術館講義室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 観光協会・DMO 向けセミナー	100	22	金	博物館講義室	博物館班 自主民具体験「天久小学校」
63	14	木	講堂	株式会社シーエアドバンス CA Advance Tech Award 2023	101	22	金	博物館講義室	サンワコムシスエンジニアリング株式会社 沖縄支店 2023年12月度 安全衛生協議会
64	14	木	博物館講義室	公益財団法人 沖縄科学技術振興センター 令和5年度沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業（出口志向型研究支援業務）産学連携シンポジウム	102	22	金	博物館実習室	美術館班 沖縄ろう学校オリエンテーション
65	14	木	博物館実習室	沖縄作物保護ネットワーク 令和5年度作物保護検討会	103	22	金	博物館実習室	山城 政勝 健康セミナー
66	14	木	美術館講義室	美術館班 浦添工業高等学校区一年生オリエンテーション	104	22	金	美術館講義室	フリーペル大道セルカセントロセグダ管理組合/（琉球信ハウジング）フリーペル大道セルカセントロセグダ管理組合 2022年度通常総会
67	15	金	県民アトリエ	沖縄ウォーターセーフティ協会 沖縄ウォーターセーフティ協会臨時理事会	105	22	金	美術館講義室	株式会社HPC 沖縄 株式会社HPC 沖縄 第9回定期株主総会及びA種類株主総会
68	15	金	博物館講義室	第一三共株式会社 第30回沖縄心臓血管エコー図研究会	106	23	土	講堂	博物館班 在外琉球王国文化財調査研究事業報告会 ベリー提督が琉球から持ち帰った資料とは
69	15	金	博物館講義室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 令和5年度電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー（那覇）	107	23	土	スタジオ	沖縄チュチェ思想研究会 学習会
70	15	金	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 与那国町立久部良小学校 オリエンテーション	108	23	土	博物館講義室	株式会社エスエフシー 金融業界を志望する就活生向けセミナー
71	15	金	美術館講義室	第一三共株式会社 第30回沖縄心臓血管エコー図研究会世話人会	109	23	土	博物館実習室	博物館班 「旧石器時代の人類」展開連催「お菓子を作りながら旧石器時代を学んで食べよう！」
72	15	金	美術館講義室	大和ハウス工業九州地区協会沖縄支部 大和ハウス工業九州地区協会 安全衛生協議会	110	23	土	博物館実習室	宮本彰 骨格診断・パーソナルカラー診断アフターフォロー・洋服交換会
73	16	土	県民アトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ 2023「千支紅型でお正月支度」	111	23	土	美術館講義室	美術館班 YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 照屋勇賢 オキナワ・ハヴィー・ポップ 学芸員講座・キュレータートーク
74	16	土	講堂	博物館班 「旧石器時代の人類」展 文化講座1「骨学セミナー沖縄版」	112	23	土	美術館講義室	読売新聞東京本社（ブランド企画部） 首里城被災美術工芸品の修理に関する支援活動施策「沖縄未来コンサバーズ」
75	16	土	講堂	真喜志康忠 13回忌生誕 100年記念イベント 13回忌生誕 100年記念イベント「スクリーンで蘇る名優真喜志康忠」	113	24	日	美術館講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 ブロムナードコンサート（控室使用）
76	16	土	こどもアトリエ	美術館班 OKINAWA アートワークショップ 2023「千支紅型でお正月支度」	114	26	火	博物館講義室	inpit 沖縄県知財総合支援窓口 中小企業等支援機関連携会議

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
115	26	火	美術館講義室	株式会社シーズリー 沖縄トレード学院 個人投資家育成コース	122	1（金）～28（木）		博物館特別展示室 1・2	博物館班 海を越える人々（後期） 旧石器時代の人類―海を越えた最初の人々―
116	27	水	講義室	社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 なはみまもりフォーラム 2023	123	1（金）～28（木）		美術館企画ギャラリー 1・2	美術館班 YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィー・ポップ
117	27	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会事務局 三線調査会	124	2（土）～3（日）		博物館実習室	こころのケアとレジリエンス研究所 2023年12月トラウマフォーカスト認知行動療法(TF-CBT) Introductory@沖縄
118	27	水	美術館講義室	宇根 史也 MEMBERS 説明会	125	5（火）～10（日）		スタジオ	沖縄県立真和志高等学校長 第18回クリエイティブアーツコース卒業記念展
119	28	木	博物館講義室	株式会社システック沖縄 経営方針発表会	126	5（火）～28（木）		エントランスホール（階下）	博物館班 特別展（人類） 関連パネル展
120	1（金）～3（日）		エントランスホール（階下）	博物館班 星空写真展	127	19（火）～20（水）		美術館講義室	株式会社 SUN サンペール ムコ多糖の必要性
121	1（金）～28（木）		博物館企画展示室	博物館班 海を越える人々（後期） 旧石器時代の人類―海を越えた最初の人々―	128	12（火）～28（木）		講義室前ホワイエ	博物館班 特別展（人類） 関連パネル展

【2024年1月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	5	金	講義室	美術館班 照屋勇賢展関連催事 リハーサル	30	13	土	博物館実習室	PFAS 汚染から市民の生命を守る連絡会 小出裕章氏講演会のための学習会と実行委員会
2	6	土	講義室	沖縄チュチュエ思想研究会 新春チュチュエ思想全国セミナー	31	13	土	美術館講義室	株式会社ブルー・オーシャン沖縄 令和5年度沖縄型産業中核人材育成
3	6	土	こどもアトリエ	沖縄チュチュエ思想研究会 新春チュチュエ思想全国セミナー	32	14	日	講義室	地方独立行政法人那覇市立病院 令和5年度 市民フォーラム
4	6	土	スタジオ	沖縄チュチュエ思想研究会 新春チュチュエ思想全国セミナー	33	14	日	博物館実習室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
5	6	土	県民アトリエ	沖縄チュチュエ思想研究会 新春チュチュエ思想全国セミナー	34	14	日	美術館講義室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
6	6	土	博物館講義室	沖縄チュチュエ思想研究会 新春チュチュエ思想全国セミナー	35	14	日	美術館講義室	JIMA 日本トータルマスターリー協会 ガイアの書入門講座
7	6	土	博物館実習室	稲嶺航 教職員自主研修（仮称）	36	16	火	講義室	一般財団法人沖縄美ら島財団 県博管理事務所 西崎小学校 オリエンテーション
8	7	日	講義室	沖縄チュチュエ思想研究会 芸能公演	37	16	火	講義室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター リハーサル
9	7	日	こどもアトリエ	沖縄自主の会 講演会の準備	38	16	火	博物館講義室	博物館班 博物館ボランティア連絡会
10	7	日	県民アトリエ	沖縄自主の会 講演会の準備	39	16	火	美術館講義室	株式会社 sun 健康セミナー サンペール
11	7	日	博物館講義室	沖縄自主の会 講演会	40	16	火	美術館講義室	株式会社阪急交通社 富士登山説明会
12	7	日	博物館実習室	博物館班 「旧石器時代の人類」展関連催事「サキタリ洞の味」	41	17	水	講義室	丸正印刷株式会社 沖縄らしい景観まちづくりシンポジウム
13	7	日	美術館講義室	Swan Academy K-pop アーティスト育成キャンプ」事前オリエンテーション	42	17	水	博物館講義室	藤原幸治 相続・マネーセミナー
14	8	月	講義室	博物館班 上映会リハーサル	43	17	水	博物館実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 確認作業
15	10	水	講義室	琉球大学 大学発 SDGs 社会課題解決型科学技術プロジェクト 創出支援事業コーディネート委託業務シンポジウム（仮題）	44	17	水	博物館実習室	博物館班 民具体験
16	10	水	博物館講義室	株式会社パナソニック農援隊 かりゆし食農スクール	45	17	水	美術館講義室	美術館班 那覇未来支援学校オリエンテーション
17	10	水	博物館実習室	博物館班 民具体験	46	17	水	美術館講義室	株式会社パナソニック農援隊 かりゆし食農スクール
18	10	水	美術館講義室	沖縄塾 沖縄塾 定期勉強会	47	17	水	美術館講義室	株式会社 sun 健康セミナー サンペール
19	11	木	講義室	日本保育チームマネジメント協会 沖縄保育施設スペシャル経営セミナー	48	18	木	講義室	美術館班 八重瀬町立東風平小学校5年生 見学サポート
20	11	木	博物館講義室	株式会社りゅうせき りゅうせきグループ合同業界研究セミナー	49	18	木	講義室	朝日生命保険株式会社 「喜舎場 泉」講演会
21	11	木	美術館講義室	博物館班 沖縄・中国山東省文化観光交流会	50	18	木	博物館講義室	一般社団法人沖縄県ホテル協会 令和5年度沖縄型産業中核人材育成事業 成果発表会
22	11	木	美術館講義室	経営品質研究会 経営品質研究会 幹事会 定例総会	51	18	木	美術館講義室	株式会社シーズリー 沖縄トレード学院 投資入門講座
23	12	金	講義室	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和5年度 JA 共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター 沖縄県コンクール表彰式準備	52	18	木	美術館講義室	藤原幸治 相続・マネーセミナー
24	12	金	博物館講義室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ	53	19	金	講義室	那覇市ちやんがんじゅう課 介護予防講演会、認知症予防講演会（仮）
25	12	金	博物館実習室	博物館班 民具体験	54	19	金	講義室	島尻地区小学校体育連盟・那覇地区小学校体育研究会 島尻地区小学校体育連盟・那覇地区小学校体育研究会合同講演会
26	12	金	美術館講義室	沖縄県企画部統計課 令和5年度家計調査調査員合同指導会	55	19	金	博物館講義室	ヨギバートナース 【経営者向け】 給与・賞与の決め方勉強会
27	13	土	講義室	美術館班 照屋勇賢展 アーティストトーク（仮称）	56	19	金	博物館講義室	NTT 労組 沖縄分会 NTT 労組 沖縄分会
28	13	土	講義室	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部 令和5年度 JA 共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター 沖縄県コンクール表彰式	57	19	金	博物館講義室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 大和ハウス工業九州地区協力会 安全衛生協議会
29	13	土	博物館講義室	博物館班 博物館学芸員講座「沖縄の石ころと島人の生活 ～島々の地形・地質から考える～」	58	19	金	博物館実習室	博物館班 民具体験

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
59	20	土	講 堂	博物館班「旧石器時代の人類」展 関連催事 映画『スギメ』上映会	89	27	土	講 堂	沖縄県立小祿高等学校芸術教養コース 沖縄県立小祿高等学校芸術教養コース 第23回 音楽専攻コース発表会
60	20	土	講 堂	博物館班 博物館文化講座「シンポジウム『新しい』港川人の時代」	90	27	土	講 堂	PFAS 汚染から市民の生命を守る連絡会 小出裕章講演会
61	20	土	美術館 講座 室	九州体育・保健体育ネットワーク研究会(沖縄県教育庁保健体育課) 九州体育・保健体育ネットワーク研究会 沖縄シーサーラウンド	91	27	土	スタジオ	公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 第6期沖縄未来建築塾 第8回講座
62	21	日	講 堂	一般社団法人沖縄新華僑華人総会 第二回国際青少年中国語スピーチ大会	92	27	土	県 民 ア ト リ エ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 1 月度 定例理事会
63	21	日	博物館 講座 室	株式会社ブルー・オーシャン沖縄 令和5年度 沖縄型産業中核人材育成	93	27	土	博物館 講座 室	一般財団法人日本原子力文化財団 RADONet・静岡大学社会合意形成研究会・沖縄エネルギー環境教育研究会 合同シンポジウム
64	21	日	博物館 実習 室	沖縄県手話通訳問題研究会 おしどり学校	94	27	土	博物館 実習 室	沖縄県手話通訳問題研究会 全通研九州ブロック研究集会
65	21	日	美術館 講座 室	株式会社 玄米酵素 沖縄営業所 食と健康セミナー	95	27	土	美術館 講座 室	沖縄県手話通訳問題研究会 全通研九州ブロック研究集会
66	21	日	美術館 講座 室	高光優海（みらいのタネ） FP マネーセミナー	96	28	日	講 堂	美らムジクス ニューイヤー公演 子供のための（親子で楽しむ）オペラ《魔笛》
67	23	火	博物館 講座 室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR 4 期	97	28	日	博物館 講座 室	一般財団法人日本原子力文化財団 RADONet・静岡大学社会合意形成研究会・沖縄エネルギー環境教育研究会 合同シンポジウム
68	23	火	美術館 講座 室	株式会社プラスキャリア 非正規労働者の採用スキルアップ研修会	98	28	日	美術館 講座 室	全日本ピアノ指導者協会沖縄支部「ピティナ・ピアノセミナー コンバ活用法」
69	24	水	講 堂	国立大学法人琉球大学 研究基盤協議会シンポジウム 2024（仮）準備	99	28	日	美術館 講座 室	株式会社 国際旅行社 友愛交流構築事業 冬季キャンプ事前研修
70	24	水	こども アトリエ	一般社団法人土業コンサルタンツ協会 一般社団法人土業コンサルタンツ協会 沖縄例会	100	30	火	講 堂	EY 税理士法人 沖縄事務所 「インボイスの実務対応セミナー」 EY 税理士法人
71	24	水	県 民 アトリエ	一般社団法人土業コンサルタンツ協会 一般社団法人土業コンサルタンツ協会 沖縄例会	101	30	火	博物館 講座 室	株式会社エマエンタープライズ SDGs 人材育成セミナー
72	24	水	博物館 講座 室	ピーライフ・アシスト合同会社 ATR 4 期	102	30	火	博物館 実習 室	EY 税理士法人 沖縄事務所 「インボイスの実務対応 個別相談会」 EY 税理士法人
73	24	水	博物館 実習 室	琉球三線楽器保存育成会事務局／博物館班 三線調査会	103	30	火	美術館 講座 室	株式会社バソナ農援隊 第3回おきなわローカルフードプロジェクト
74	24	水	美術館 講座 室	国立大学法人琉球大学 地域ネットワークミーティング	104	31	水	講 堂	那覇市福祉部ちやーがんにじゅう課 令和5年度認知症市民講演会 ～認知症について知ろう～
75	24	水	美術館 講座 室	国立大学法人琉球大学 研究基盤協議会シンポジウム 2024（仮）準備	105	31	水	博物館 講座 室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 令和5年度県及び市町村におけるオープンデータ公開等推進業務 説明会
76	25	木	講 堂	国立大学法人琉球大学 研究基盤協議会シンポジウム 2024（仮称）	106	31	水	博物館 実習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10 分ガイド（沖縄水産高校）
77	25	木	こども アトリエ	国立大学法人琉球大学 研究基盤協議会シンポジウム 2024 ポスターセッション	107	31	水	博物館 実習 室	福岡県議会事務局 福岡県議会議員 行政視察
78	25	木	県 民 アトリエ	国立大学法人琉球大学 研究基盤協議会シンポジウム 2024 ポスターセッション	108	31	水	美術館 講座 室	公益財団法人みらいファンド沖縄 事業の評価をテーマにした地域円卓会議（協賛提供者：みらいファンド沖縄）／「休眠預金活用事業 みんなの配信と交流プラットフォーム」
79	25	木	博物館 講座 室	沖縄広告株式会社 令和5年度心のバリアフリー推進事業委託業務「障害理解促進講座」	109	4（木）～ 31（水）	エントランス ホ ー ル	博物館班 特別展（人類）関連パネル展	
80	25	木	博物館 講座 室	一般社団法人那覇市倫理法人会 那覇市倫理法人会ナイトセミナー	110	4（木）～ 31（水）	講 堂 前 ホワイエ	博物館班 特別展（人類）関連パネル展	
81	25	木	美術館 講座 室	国立大学法人琉球大学 研究基盤協議会シンポジウム 2024（仮称）	111	4（木）～ 31（水）	博物館 企画展示室	博物館班 海を越える人々（後期） 旧石器時代の人類―海を越えた最初の人々―	
82	26	金	講 堂	星槎国際高等学校 那覇学習センター 2023 年度星槎国際高等学校 プロジェクト学習発表会	112	4（木）～ 31（水）	博物館特別 展示室 1・2	博物館班 海を越える人々（後期） 旧石器時代の人類―海を越えた最初の人々―	
83	26	金	こども アトリエ	FMC／東武トップツアーズ株式会社	113	4（木）～ 26（金）	美術館企画 ギャラリー 1・2	博物館班 YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィー・ポップ	
84	26	金	県 民 アトリエ	FMC／東武トップツアーズ株式会社	114	20（土）～ 21（日）	県 民 アトリエ	アトリエウィンズ サックス試奏展示会	
85	26	金	博物館 講座 室	株式会社エマエンタープライズ わったへバス党 法人党员セミナー	115	20（土）～ 21（日）	こども アトリエ	アトリエウィンズ サックス試奏展示会	
86	26	金	博物館 実習 室	博物館班 民具体験	116	20（土）～ 21（日）	スタジオ	アトリエウィンズ サックス試奏展示会	
87	26	金	美術館 講座 室	一般社団法人 研究基盤協議会 研究基盤 EXPO2024	117	30（火）～ 31（水）	美術館企画 ギャラリー 1・2	沖縄県社会福祉協議会 第14回沖縄ねりんピック かりゆし美術展	
88	26	金	美術館 講座 室	株式会社シーズリー／沖縄トレード学院 沖縄トレード学院 FX 自動売買コース					

【2024年2月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	木	こ ど も ア ト リ エ	広島工業大学教学支援部 令和6年度広島工業大学入学者選抜（準備）	7	2	金	講 堂	株式会社よしもとエンタテインメント沖縄 よしもと琉球コメディ
2	1	木	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 さつき小学校 オリエンテーション	8	2	金	博 物 館 講 座 室	株式会社グラフィソフソフトジャパン 全国ロードショー沖縄
3	1	木	講 堂	公益社団法人日本地すべり学会九州支部沖縄会 令和5年度（公社）日本地すべり学会九州支部技術検討会	9	2	金	博 物 館 実 習 室	博物館班 民具体験
4	1	木	博 物 館 実 習 室	金武町立中川小学校オリエンテーション	10	2	金	美 術 館 講 座 室	沖縄県保健医療部ワクチン・検査推進課 沖縄県肝炎コーディネーター養成講座
5	1	木	美 術 館 講 座 室	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 中部地区医師会糖尿病医療ネットワーク委員会	11	3	土	講 堂	有限会社ガショウ『うたわれるうた』木村あさぎ短編映画上映会 2024 リハースル
6	2	金	講 堂	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター データ活用推進に向けた事例発表会（仮称）	12	3	土	講 堂	沖縄いのちの電話 沖縄いのちの電話「自殺予防公開講演会」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
13	3	土	博物館 講座室	一般社団法人沖縄しまてた協会 第2回地域景観 リーダー研修会	51	11	日	美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゆー ーに行こう！2024「琉球舞踊公演」控室
14	3	土	博物館 実習室	PFAS 汚染から市民の生命を守る連絡会 小出裕章 氏講演会の報告・集約会議	52	12	月	スタジオ	公立大学法人沖縄県立芸術大学 「第35回 卒業・修了作品展」 準備
15	3	土	美術館 講座室	株式会社みらいのタネ FP マネーセミナー	53	12	月	エントランス ホール	特別展（人類）関連展示
16	4	日	県民 アトリエ	沖縄県高等学校文化連盟美術・工芸部 沖縄県高等 学校文化連盟美術・工芸部 会議	54	12	月	講堂	ジブラルタ生命保険株式会社 沖縄文芸 女性向けセミナー 未来の 自分の見つけ方（講演者：嘉数ゆり）～輝く未来の自分に近づく為に～
17	4	日	講堂	沖縄県眼科医会 第151回沖縄眼科集談会	55	12	月	博物館 講座室	株式会社Sun 健康セミナー サンペール
18	4	日	講堂	有限会社ガショウ『うたわれうた』木村あさぎ 短編映画上映会 2024	56	12	月	博物館 講座室	沖縄県マスコミ労働組合協議会 報道に関するシ ンポジウム（仮）
19	4	日	博物館 講座室	株式会社公文教育研究会 沖縄プランチ 公文式認 定テスト	57	12	月	博物館 実習室	九州医療スポーツ専門学校 学校説明会
20	4	日	博物館 実習室	旧美栄橋町一丁目近隣会 旧美栄橋町一丁目近隣 会の2024年度総会	58	12	月	美術館 講座室	株式会社Eアファン 非分解プラセンタ勉強会
21	4	日	美術館 講座室	株式会社みらいのタネ FP マネーセミナー	59	14	水	講堂	沖縄県エステティック・スパ協同組合 TSP 授賞式 &講演会
22	6	火	講堂	尚学院国際ビジネスアカデミー 尚学院国際ビジネスア カデミーこども未来科 卒業制作発表会（リハーサル）	60	14	水	博物館 実習室	博物館班 民具体験
23	6	火	講堂	日本サインデザイン協会沖縄地区 デザインがで きるまで一建築とデザインの融合（仮）	61	14	水	美術館 講座室	公立大学法人 沖縄県立芸術大学長 「第35回 卒業・修了作品展」 4章選考会
24	6	火	博物館 講座室	県総務班 博物館・美術館協議会	62	15	木	講堂	尚学院国際ビジネスアカデミー 尚学院国際ビジ ネス こども未来科 卒業制作発表会（リハーサル）
25	6	火	博物館 講座室	NP0法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい「ユース」 とか「ユースセンター」ってなんですか？シンポジウム	63	15	木	博物館 講座室	琉球民族独立総合研究学会 マオリの歴史と文化
26	6	火	博物館 実習室	公益社団法人 沖縄県シルバー人材センター連合 令和 5年度 高齢者活躍人材確保成事業 連絡会議	65	15	木	博物館 講座室	株式会社 阪急交通社 ㈱阪急交通社トラビックス 海外旅行説明会
27	6	火	美術館 講座室	SKK 住宅施工店会/エスケー化研株式会社 2023 年度 下期住宅安全大会及び職長研修会	66	15	木	美術館 講座室	獨協大学 高畑ゼミ研究発表会
28	7	水	県民 アトリエ	沖縄県保健医療部衛生薬務課 第47回沖縄県食肉 衛生技術研修会	67	15	木	美術館 講座室	田辺三菱製薬株式会社 那覇市病診連携潰瘍性大 腸炎講演会
29	7	水	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 東京 都立つばさ総合高等学校	68	16	金	講堂	尚学院国際ビジネスアカデミー 尚学院国際ビジ ネスアカデミー こども未来科 卒業制作発表会
30	7	水	博物館 講座室	沖縄県保健医療部衛生薬務課 第47回沖縄県食肉 衛生技術研修会	69	16	金	博物館 講座室	沖縄総合事務局総務部 公正取引課 第3回 下 請法基礎講習会
31	7	水	博物館 実習室	コープ共済連 みやぎ生協・コープおきなわ交流	70	16	金	博物館 講座室	沖縄掃除に学ぶ会 日本を美しくする会沖縄プロ ック総会
32	7	水	美術館 講座室	美術館ボランティア研修会	71	16	金	博物館 実習室	株式会社JTB 沖縄 沖縄県「令和5年度琉球歴史文 化コンテンツ創出支援事業」第3回有識者委員会
33	8	木	スタジオ	一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 企業の稼ぐ 力を育み未来を切り開く経営フォーラム 関係者控室	72	16	金	美術館 講座室	田辺三菱製薬株式会社 沖縄県ワクチン講演会
34	8	木	講堂	一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 企業の稼ぐ 力を育み未来を切り開く経営フォーラム	73	16	金	美術館 講座室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 大和ハ ウス工業九州地区協力会 安全衛生協議会
35	8	木	美術館 講座室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ	74	16	金	美術館 講座室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 第4回生活 支援サポーター養成講座
36	9	金	講堂	株式会社ククルビジョン「シネマ組踊 孝行の巻」	75	17	土	講堂	博物館文化講座「国宝に指定された尚家継承資料」
37	9	金	博物館 講座室	琉球大学病院第三内科／一般社団法人 おきなわ長寿復興・医療イノ ベーション研究所 第131回沖縄心血管インターベンション研究会	76	17	土	講堂	株式会社おきなわ edu 第5回おきなわ edu 祭り
38	9	金	博物館 実習室	博物館班 自主民具体験「宇栄原小学校」	77	17	土	博物館 講座室	フィッシャー&バイケル HFNC 沖縄セミナー
39	9	金	美術館 講座室	株式会社SRJ SRJ エデュケーション・ネットワーク 共催教育セミナー・通年教材展示会	78	17	土	博物館 講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会 沖縄県高等学校教 頭・副校長会
40	10	土	博物館 講座室	博物館学芸員講座『旧石器時代の人類』展をもっ と楽しむ』	79	17	土	博物館 実習室	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 2月 定例 理事会
41	10	土	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゆー ーに行こう！2024「ナントツづくり」	80	17	土	博物館 実習室	沖縄クイズ愛好会 沖縄クイズ愛好会 2024年2 月例会
42	10	土	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゆー ーに行こう！2024「はじめてのお抹茶点て体験」	81	17	土	美術館 講座室	美術館班 「沖縄美術の流れ」中高校生向けギャラリー ツアー ～コレクションギャラリーで、お話ししよう！～
43	10	土	美術館 講座室	大城皓也作品修復報告展 関連催事 美術館学芸員 講座+キュレータートーク	82	17	土	美術館 講座室	レオス・キャピタルワークス株式会社 沖縄銀行行 員様向け研修
44	10	土	美術館 講座室	株式会社Sun 健康セミナー サンペール	83	18	日	講堂	地方独立行政法人那覇市立病院 令和5年度市民 フォーラム（仮称）
45	11	日	こども アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゆー ーに行こう！2024 控室	84	18	日	博物館 講座室	株式会社 国際旅行社 冬季友愛キャンプ 事後 研修
46	11	日	博物館 屋外展示場	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゆー ーに行こう！2024「はじめてのお抹茶点て体験」	85	18	日	美術館 講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートことはじめ 「沖縄美術」～琉球王国時代から明治～
47	11	日	県民 アトリエ	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゆー ーに行こう！2024 控室	86	18	日	美術館 講座室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会
48	11	日	講堂	一般財団法人沖縄美ら島財団旧正月はおきみゆー ーに行こう！2024「解体梵鐘 vol.10「万国津梁の鐘」の健康診断	87	20	火	講堂	株式会社JTB 沖縄 沖縄県「令和5年度琉球歴史文 化コンテンツ創出支援事業」事業者報告会・講演会
49	11	日	博物館 講座室	中江園子 沖縄 LIFEWAVE 事業説明会（The Team）	88	20	火	講堂	那覇市PTA連合会 那覇市PTA連合会 第2回常置 委員会
50	11	日	博物館 実習室	一般財団法人沖縄美ら島財団 旧正月はおきみゆー ーに行こう！2024「カープヤー（凧）づくり」	89	20	火	博物館 講座室	博物館ボランティア連絡会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
90	20	火	博物館実習室	博物館班 恐竜骨格レプリカ寄贈関係者控室	114	25	日	美術館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートことはじめ #7 「西洋美術入門」
91	20	火	美術館講座室	博物館班 寄贈セレモニー	115	28	水	博物館講座室	株式会社ノイズ・バリュー社 沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業（関係者会議）
92	21	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会事務局 三線調査会	116	28	水	博物館講座室	株式会社NX agent STEM01 体験会、NX（ReNX）説明会
93	21	水	美術館講座室	沖縄塾 定期勉強会	117	29	木	講 堂	学校法人南風学園 サイ・テク・カレッジ那覇 令和5年度 学習発表会
94	22	木	講 堂	イオン琉球(株)2024 年度方針発表	118	29	木	博物館講座室	株式会社琉球新聞開発/社会福祉法人看護学院 障害者就業・生活支援センター 令和5年度沖縄県障害者雇用啓発セミナー-ASOILLPGIST 株式会社X一般社団法人 Bridge
95	22	木	講 堂	琉球大学病院 アレルギースセンター 令和5年度 沖縄県アレルギー疾患対策研修会「学校・保育所等におけるアレルギー疾患対応」～アレルギーを正しく理解して子供たちを守ろう～	119	29	木	美術館講座室	沖縄県中小企業家同友会 ビジネス連携部会「ゆいま〜る」連携事例報告会
96	22	木	博物館講座室	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 再エネが変わる 私の暮らし	120	1（木）～3（土）	スタジオ	株式会社ディーケービー 学校法人順正学園(吉備国際大学、九州保健福祉大学) 入試	
97	22	木	エントランスホール	化石展／おきみゅープロムナードコンサート	121	1（木）～6（火）	美術館企画ギャラリー 1・2	社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 第14回沖縄ねんりんピック かりゆし美術展(会期:2/1～2/4)	
98	22	木	美術館講座室	白美希 UNI 事業内容の進捗会	122	1（木）～11（日）	エントランスホール	特別展（人類）関連展示	
99	23	金	講 堂	沖縄県ユネスコ協会 SDGs バスポートシンポジウム	123	1（木）～12（月）	講 堂 前ホワイエ	特別展（人類）関連パネル展	
100	23	金	講 堂	株式会社 WCJ 水素勉強会	124	1（木）～22（木）	博物館企画展示室	海を越える人々（後期）旧石器時代の人類ー海を越えた最初の人々ー（会期：12/12～2/12）	
101	23	金	博物館講座室	NPO 法人統合医療と健康を考える会 がん治療の鍵 講演会	125	1（木）～22（木）	博物館特別展示室 1・2	海を越える人々（後期）旧石器時代の人類ー海を越えた最初の人々ー（会期：12/12～2/12）	
102	23	金	博物館実習室	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会(沖縄県自然保護課) サンゴ礁ウィーク 2024 キックオフイベント	126	2（金）～3（土）	こどもアトリエ	広島工業大学教学支援部 令和6年度 広島工業大学入学者選抜	
103	23	金	美術館講座室	株式会社タイムスアドネクスト 女性にオススメ。初心者へのためのマネーセミナー	127	2（金）～3（土）	県民アトリエ	広島工業大学教学支援部 令和6年度 広島工業大学入学者選抜	
104	23	金	美術館講座室	国際交流 NGO ピースポート ピースポート地球一周の船旅説明会	128	8（木）～9（金）	博物館講座室	子育てセンター実践研究会 子育てセンター実践交流セミナー	
105	23	金	美術館講座室	株式会社シーズリー 沖縄トレード学院 FX 自動売買コース	129	9（金）～11（日）	エントランスホール	旧正月はおきみゅーに行こう！2024「沖縄の民話の上映」	
106	24	土	講 堂	学校法人アミックス国際学園 YEAH! AMICUS CLUB `5th Annual Joint Exhibition`	130	9（金）～11（日）	エントランスホール	旧正月はおきみゅーに行こう！2024「プレイベント 書き染めパフォーマンス」	
107	24	土	博物館講座室	沖縄民俗学会 沖縄民俗学会 2 月例会（卒論発表会）	131	11（日）～20（火）	美術館企画ギャラリー 1・2	沖縄県立芸術大学 第 35 回 卒業・修了作品展（会期 2/14～2/18）	
108	24	土	美術館講座室	高光優海 FP マネーセミナー	132	14（水）～18（日）	スタジオ	公立大学法人沖縄県立芸術大学 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 大学院造形芸術研究科 第 35 回 卒業・修了作品展	
109	24	土	美術館講座室	久米島研究会 久米島研究会「2023 年度 第 4 回研究会」	133	14（水）～18（日）	エントランスホール	公立大学法人沖縄県立芸術大学 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 大学院造形芸術研究科 第 35 回 卒業・修了作品展	
110	25	日	県民アトリエ	一般社団法人キュリオス沖縄 サンゴ礁ウィーク 2024（沖縄県サンゴ礁保全推進協議会主催）	134	20（火）～29（木）	エントランスホール	化石展	
111	25	日	講 堂	沖縄広告株式会社 差別のない社会づくりのために、私たちにできること	135	21（水）～29（木）	美術館企画ギャラリー 1	世界の名画に親しもう Vol.3（会期：2/24～3/14）	
112	25	日	博物館講座室	沖縄文化表象研究会 沖縄の文化表象にみる遊郭と芸妓(ジュリ)について	136	23（金）～29（木）	博物館特別展示室 1・2	「作品保管」	
113	25	日	美術館講座室	株式会社タイムスアドネクスト 女性にオススメ。初心者へのためのマネーセミナー	137	28（水）～29（木）	エントランスホール	第 32 軍司令部壕 模型展示	

【2024年 3 月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
1	1	金	県民アトリエ	日本サンゴ礁学会教育普及啓発委員会 サンゴ礁研究最前線（準備）	13	3	日	講 堂	ビティナ那覇ミュージアムステーション ビティナ・ピアノステップ那覇春季地区
2	1	金	講 堂	株式会社ブレイン沖縄 第 4 回省エネチャレンジカップ表彰式 令和5 年度エネルギー使用合理化シンポジウム	14	3	日	博物館講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会沖縄県地方部会 市民公開講座「耳鼻咽喉科月間」講演会
3	1	金	博物館講座室	とまと社労士オフィス 人材の採用と定着について	15	3	日	博物館実習室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会沖縄県地方部会 市民公開講座「耳鼻咽喉科月間」講演会 第 3 会場
4	1	金	美術館講座室	一般社団法人琉球経済戦略研究会 日中ビジネスにおける 中国が日本・沖縄に求めていること	16	3	日	美術館講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会沖縄県地方部会 市民公開講座「耳鼻咽喉科月間」講演会 第 2 会場
5	2	土	県民アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2024 登録イベント「サンゴ礁研究最前線」	17	5	火	県民アトリエ	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 令和4 年度 ICT ビジネス高度化支援事業 ICT イノベーションセミナー「社内で新規事業を立ち上げるには何から始めるべきか」
6	2	土	こどもアトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2024 登録イベント「テクスチャーアート体験 サンゴ礁ウィーク特別イベント」	18	5	火	講 堂	ステップワールド日本語学院 卒業式
7	2	土	講 堂	一般財団法人沖縄県環境科学センター 沖縄県の人為的なサンゴ群集再生の今ーさんごの海フェスタ人为再生特別編 2024ー	19	5	火	博物館講座室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 令和4 年度 ICT ビジネス高度化支援事業 ICT イノベーションセミナー「社内で新規事業を立ち上げるには何から始めるべきか」
8	2	土	博物館講座室	公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部 第 27 回卒業設計作品選奨	20	5	火	美術館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 見学サポート（恩納村立安富祖小学校）
9	2	土	美術館講座室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートことはじめ「日本の名画をたのしもう！《風神雷神図屏風》」	21	3	日	こどもアトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2024（沖縄県サンゴ礁保全推進協議会主催）
10	2	土	美術館講座室	家庭倫理の会那覇市 役員研修	22	5	火	美術館講座室	フォーディズ株式会社 核酸スタジオ
11	3	日	県民アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2024（沖縄県サンゴ礁保全推進協議会主催）	23	6	水	講 堂	沖縄広告株式会社 令和5 年度心のバリアフリー推進事業委託業務 ココロつながるプロジェクト特別講演会
12	3	日	こどもアトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2024（沖縄県サンゴ礁保全推進協議会主催）	24	6	水	博物館講座室	一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター IT 事業者向け 小規模事業者向け 県内採択事業者が話すリアル 沖縄県補助事業 本当に必要な準備と活用方法

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
25	6	水	博 物 館 実 習 室	株式会社中央建設コンサルタント 沖縄県公共交通活性化推進協議会 第2回バスレーン延長WT	63	15	金	講 堂	株式会社アイセック／内閣府沖縄総合事務局 2024 おきなわ健康経営シンポジウム
26	6	水	博 物 館 実 習 室	沖縄県公共交通活性化推進協議会 活性協5市村勉強会・TDM ワーキング	64	15	金	博 物 館 講 座 室	沖縄労働局労働保険徴収室 令和6年度の労働保険年度更新にかかる説明会
27	6	水	美 術 館 講 座 室	株式会社シーズリー 沖縄トレード学院 FX 自動売買コース	65	15	金	美 術 館 講 座 室	大和ハウス工業九州地区協力会沖縄支部 大和ハウス工業九州地区協力会 安全衛生協議会
28	7	木	こ ど も ア ト リ エ	一般財団法人沖縄県公衆衛生協会 地域循環共生圏審査委員会	66	16	土	講 堂	博物館班 博物館文化講座「キジムナーについて考える」
29	7	木	ス タ ジ オ	一般財団法人沖縄美ら島財団 虫展の準備	67	16	土	博 物 館 講 座 室	株式会社タイムスアドネクスト「女性のためのマネーセミナー」
30	7	木	講 堂	丸正印刷株式会社 価格転嫁・所得向上機運醸成シンポジウム	68	16	土	美 術 館 講 座 室	株式会社シーズリー 沖縄トレード学院 FX 自動売買コース
31	7	木	博 物 館 講 座 室	沖縄県経営品質研究会 沖縄県経営品質研究会 定例会	69	16	土	美 術 館 講 座 室	沖縄県バレーボール協会 沖縄県バレーボール協会第2回理事会
32	7	木	博 物 館 実 習 室	九州中小企業団体中央会連合会 令和5年度九州中小企業団体中央会 第3回事務局代表者会議	70	17	日	博 物 館 講 座 室	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会 第22回那覇市障がい者美術展 表彰式
33	7	木	美 術 館 講 座 室	公益社団法人沖縄県建築士会 令和5年度二級建築士免許証明書交付式&応急危険度判定講習	71	17	日	博 物 館 講 座 室	株式会社ライフアップクリエイティブ 経済セミナー
34	8	金	ス タ ジ オ	沖縄首里女性活動ロータリー衛星クラブ 沖縄首里ロータリークラブ定例会議	72	17	日	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 虫展の準備
35	8	金	講 堂	沖縄首里女性活動ロータリー衛星クラブ 誰もが輝く社会を目指し、沖縄のために何ができるのか	73	17	日	美 術 館 講 座 室	沖縄県歯科技工士会 顎口腔機能学日技指定制修
36	8	金	博 物 館 講 座 室	沖縄県中小企業家同友会 ビジネス連携部会「ゆいまへ」事業プレゼン会	74	19	火	ス タ ジ オ	株式会社リクルートライフスタイル沖縄 R5 年度那覇市「早朝・夜間の活動時間創出支援補助金」事業者報告会
37	8	金	博 物 館 実 習 室	博物館班 民具体験	75	19	火	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド（浦添商業高校）
38	8	金	美 術 館 講 座 室	株式会社ブレーン沖縄 低炭素化社会実現のためのZEH 推進セミナー	76	19	火	博 物 館 講 座 室	博物館班 博物館ボランティア連絡会
39	9	土	こ ど も ア ト リ エ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁ウィーク 2024 登録イベント「サンゴゲームとスポンジ塗り絵でサンゴ礁をしよう」	77	19	火	美 術 館 講 座 室	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 第5回生活支援サポーター養成講座
40	9	土	講 堂	NPO 法人まる 九州障害者アートサポートセンター 障害のある方の表現活動について考える会（仮称）	78	19	火	美 術 館 講 座 室	株式会社 SUN 健康セミナー サンペール
41	9	土	博 物 館 講 座 室	博物館班 博物館学芸員講座「戦後沖縄の教育を振り返る 1945-1972」	79	20	水	ス タ ジ オ	NPO 法人沖縄県マンション管理組合連合会 情報交換会
42	9	土	博 物 館 講 座 室	株式会社みらいのタネ FP マネーセミナー	80	20	水	講 堂	PFAS 汚染から市民の生命を守る連絡会 PFAS 市民連絡会総会&講演会
43	9	土	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 虫展の準備	81	20	水	博 物 館 講 座 室	沖縄県立博物館友の会 沖縄県立博物館友の会主催 学芸員による文化講座（仮）
44	9	土	美 術 館 講 座 室	平和朗読・首里 春の朗読会	82	20	水	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 虫展の準備
45	10	日	県 民 ア ト リ エ	一般財団法人沖縄美ら島財団 虫展の準備	83	20	水	美 術 館 講 座 室	with SMILE 人生を『楽しむ』に変換！ミニトークイベント
46	10	日	講 堂	博物館班 集積再興事業報告会	84	20	水	エントランス ホール（一角）	一般財団法人沖縄美ら島財団 ブロムナードコンサート（美ら島財団）
47	10	日	博 物 館 講 座 室	株式会社みらいのタネ FP マネーセミナー	85	21	木	講 堂	柳ディック学園/マイン高等学院 沖縄・中部キャンパス卒業式
48	10	日	博 物 館 講 座 室	一般社団法人日本認知症ケア学会 九州・沖縄2地域部会Ⅲ（沖縄）	86	22	金	博 物 館 実 習 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 キングダム展（準備・控室）
49	10	日	博 物 館 実 習 室	九州医療スポーツ専門学校 沖縄会場入学試験	87	22	金	美 術 館 講 座 室	BNI 沖縄リージョン 山内 東 MARKETING 基礎講座
50	10	日	美 術 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	88	23	土	県 民 ア ト リ エ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 3 月度 定例理事会
51	10	日	美 術 館 講 座 室	琉球岳風会 指導者研修及び吟和会	89	23	土	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所 令和5年度定期講演会 美ら島再発見 ～動物、植物、琉球文化から迫る～
52	12	火	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 一般財団沖縄美ら島財団 会議	90	23	土	博 物 館 講 座 室	一般社団法人地球となかよし「美ら海シアター2024～見た、聴いて、小さな一歩から未来を変えよう～」
53	12	火	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 山内小学校 オリエンテーション	91	23	土	博 物 館 講 座 室	科学研究費基盤研究 A 太田好信 琉球人骨返還請求書崇高裁判決確定後に考える（返還）
54	12	火	美 術 館 講 座 室	ノバルティスファーマ株式会社 ノバルティスファーマ 社内研修会	92	23	土	博 物 館 実 習 室	一般社団法人地球となかよし「美ら海シアター2024～見た、聴いて、小さな一歩から未来を変えよう～」
55	13	水	博 物 館 講 座 室	株式会社 公文教育研究会 ビジョン講座	93	23	土	美 術 館 講 座 室	株式会社人事の味方 プログラミング体験会（コードアドベンチャー）
56	13	水	博 物 館 講 座 室	沖縄県公共交通活性化推進協議会（沖縄県企画部交通政策課内）「沖縄県公共交通活性化推進協議会」第45回幹事会	94	24	日	こ ど も ア ト リ エ	株式会社うなひ沖縄 令和5年度男性のチカラ向上応援事業リアルオフ会
57	13	水	博 物 館 講 座 室	国公開連労働組合連合会 国公連合 2024 沖縄ブロック集会	95	24	日	ス タ ジ オ	株式会社うなひ沖縄 令和5年度男性のチカラ向上応援事業リアルオフ会
58	13	水	美 術 館 講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 東華商事株式会社 10分ガイド	96	24	日	ス タ ジ オ	池間みどり 国際交流会 イカロス研究所
59	13	水	美 術 館 講 座 室	沖縄塾 沖縄塾 定期勉強会	97	24	日	県 民 ア ト リ エ	株式会社うなひ沖縄 令和5年度男性のチカラ向上応援事業リアルオフ会
60	14	木	博 物 館 講 座 室	官署支出官 沖縄労働局長 令和5年度第2回沖縄県地方労働審議会	98	24	日	講 堂	音楽教室びあのお 第18回ピアノ発表会
61	14	木	博 物 館 講 座 室	宇宙サミット沖縄 宇宙サミット沖縄	99	24	日	博 物 館 講 座 室	琉球大学 令和5年度沖縄県アレルギー疾患対策研修 市民公開講座 アレルギーの知識をふかめよう
62	14	木	美 術 館 講 座 室	パナソニックホームズ株式会社 沖縄支社 これからの介護施設経営を考える～令和6年度介護報酬改定を受けてどのように動いていくか～	100	24	日	博 物 館 実 習 室	D' クラディア新都心ラックスヒルズ管理組合 D' クラディア新都心ラックスヒルズ管理組合 通常総会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報（申込者）
101	24	日	美術館講 座 室	株式会社人事の味方 プログラミング体験会（コードアドベンチャー）	122	31	日	講 堂	神道政治連盟沖縄県本部 安全保障シンポジウム
102	27	水	スタジオ	株式会社ビジネススタッフ 特定技能実習生受入れセミナー	123	31	日	博物館講 座 室	JTMA 日本トータルマスタリー協会 ガイアの書 2days
103	27	水	博物館講 座 室	沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会 沖縄県軍用地転用促進・基地問題協議会の令和5年度研修会	124	31	日	美術館講 座 室	高光優海 FP セミナー お金のきほん講座
104	27	水	博物館講 座 室	琉球三線楽器保存育成会事務局／博物館班 三線調査会	125	31	日	美術館講 座 室	首里城内旧沖縄神社本殿「歴史的建造物」復元期成会 首里城内旧沖縄神社本殿「歴史的建造物」復元期成会設立総会
105	27	水	美術館講 座 室	沖縄ヤマエ会 沖縄ヤマエ会 研修会	126	1（金）～10（日）		エントランスホール（一角）	博物館班 第32 軍司令部壕 模型展示
106	28	木	こどもアトリエ	ランドブレイン株式会社沖縄事務所 令和5年度離島・過疎コミュニティビジネス支援事業「第二回推進会議」	127	1（金）～15（金）		美術館企画ギャラリー1	一般財団法人沖縄美ら島財団 世界の名画に親しもう Vol.1.3（会期：2/24～3/14）
107	28	木	県民アトリエ	ランドブレイン株式会社沖縄事務所 令和5年度沖縄県「離島過疎コミュニティビジネス支援事業」第二回推進会議	128	1（金）～27（水）		博物館特別展示室 1・2	博物館班 作品保管
108	28	木	博物館講 座 室	株式会社阪急交通社 海外旅行説明会	129	1（金）～31（日）		エントランスホール（階下）	博物館班 エントランスホール展示「カムイサウルス化石レプリカ」
109	28	木	美術館講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 10分ガイド 飛鳥クルーズ	130	1（金）～31（日）		博物館企画展示室	博物館班 作品保管
110	29	金	県民アトリエ	ソニー生命保険 株式会社 ソニー生命保険（株）永山塾研修会	131	12（火）～25（月）		エントランスホール（一角）	美術館班 世界児童画展（美術館班／沖縄造形教育教室）
111	29	金	講 堂	一般財団法人沖縄美ら島財団 送別会セレモニー	132	12（火）～13（水）		スタジオ	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会 第22 回（令和5年度）那覇市障がい者美術展
112	29	金	博物館講 座 室	JTMA 日本トータルマスタリー協会 ガイアの書 2days 事前準備	133	13（水）～15（木）		こどもアトリエ	博物館班 資料搬入
113	29	金	美術館講 座 室	株式会社シーズリー 沖縄トレード学院 FX 自動売買コース	134	13（水）～15（木）		県民アトリエ	博物館班 資料搬入
114	30	土	こどもアトリエ	琉球大学病院第一内科 沖縄エリア感染症・化学療法研修会	135	14（木）～17（日）		スタジオ	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会 第22 回（令和5年度）那覇市障がい者美術展
115	30	土	スタジオ	沖縄自主の会 美ら島講座	136	16（土）～31（日）		美術館企画ギャラリー1・2	一般財団法人沖縄美ら島財団／琉球新報社／宣伝キングダム展一信一
116	30	土	講 堂	琉球大学病院第一内科 沖縄エリア感染症・化学療法研修会	137	21（木）～22（金）		美術館講 座 室	一般財団法人沖縄美ら島財団 キングダム展（準備・控室）
117	30	土	博物館講 座 室	JTMA 日本トータルマスタリー協会 ガイアの書 2days	138	21（木）～22（金）		博物館講 座 室	電子情報通信学会情報通信マネジメント研究専門委員会 電子情報通信学会情報通信マネジメント研究会
118	30	土	美術館講 座 室	株式会社タイムスアドネクスト 初心者おすすめ。資産形成の為のマネーセミナー	139	22（金）～23（土）		スタジオ	一般財団法人沖縄美ら島財団 虫展の準備
119	30	土	美術館講 座 室	中江 園子（The Team 沖縄） LIFEWAVE 沖縄事業説明会（The team）	140	27（水）～28（木）		講 堂	県総務班 ビデオ保守点検
120	31	日	スタジオ	沖縄県はりきゅうマッサージ師会 第一部・鍼灸マッサージのフェムテックケア、第二部・コロナ明けの個人事業者支援制度について	141	28（木）～31（日）		博物館特別展示室	一般財団法人沖縄美ら島財団 アートと虫の美しい世界（会期：4/2～5/6）
121	31	日	講 堂	天願 聖子/ミュージックステップ ミュージックステップ ピアノ発表会					

3 県民ギャラリー貸出件数

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
1	県民ギャラリー1.2	4月25日（火）～4月30日（日）	上門かおり 書作展	上門かおり
2	県民ギャラリー3	4月27日（木）～4月30日（日）	2023年 公文大里仲間・那覇真嘉比書写教室成果発表会	公文大里仲間書写教室
3	県民ギャラリー1.2	5月2日（火）～5月7日（日）	「宇宙は一瞬たりとも君を観見放したりしない！」	水華 宇宙アート企画
4	県民ギャラリー1	5月9日（火）～5月14日（日）	第25回高良憲義絵画個展「コザ暴動からシェルター拒否・独立へ」	高良 憲義
5	県民ギャラリー2	5月9日（火）～5月14日（日）	ロゼの会 油絵展	ロゼの会
6	県民ギャラリー1.2.3	5月16日（火）～5月21日（日）	第18回 龍賓・曹源書道会	龍賓・曹源書道会
7	県民ギャラリー1	5月26日（金）～5月28日（日）	ベンジャミン・クレームの生涯と現代のマンダラ	シェア・インターナショナル・ネットワーク沖縄
8	県民ギャラリー2	5月25日（木）～5月28日（日）	5月写真展	沖田 民行
9	県民ギャラリー1	6月8日（木）～6月11日（日）	日本折紙協会琉球支部「月桃の会」折り紙展	日本折紙協会 琉球支部「月桃の会」
10	県民ギャラリー1.2	6月13日（火）～6月18日（日）	二科沖縄支部展	二科沖縄支部
11	県民ギャラリー1	6月23日（金）～6月25日（日）	yukari chinen first 写真展 hikari tsumugu ～光紡ぐ～	yuu-style 嵩元 由香里
12	県民ギャラリー1.2.3	7月7日（金）～7月9日（日）	IB DP Visual arts exhibition 国際バカロレア展覧会	沖縄尚学高等学校 国際文化科学コース

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
13	県民ギャラリー1	7月11日(火)～7月16日(日)	ボタニカルアート二人展	森田 美智子
14	県民ギャラリー2.3	7月11日(火)～7月16日(日)	勇崎哲史門下生合同展2023	写真の飲み研究会有志の会
15	県民ギャラリー1.2	7月19日(水)～7月23日(日)	street on the scale ストリート・オン・ザ・スケール オ王個展	中谷 興一
16	県民ギャラリー1.2.3	7月25日(火)～7月30日(日)	夏休み特別展示「さがそう！自由研究のタネ～あなたの好奇心の花を咲かせます～」	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究所
17	県民ギャラリー1.2.3	8月8日(火)～8月13日(日)	美術の先生がつくった作品展vol.10	美術の先生がつくった作品展実行委員会
18	県民ギャラリー2	8月15日(火)～8月20日(日)	沖縄広告賞展	沖縄広告協会
19	県民ギャラリー1	8月18日(金)～8月20日(日)	あのね展-6年生の挑戦-	あのね
20	県民ギャラリー1.2.3	8月22日(火)～8月27日(日)	第32回りゅうぎん紅型デザイン展	有限会社ジョイント企画
21	県民ギャラリー1.2	8月31日(木)～9月3日(日)	第54回 龍樋書道展	龍樋硯心会
22	県民ギャラリー3	9月1日(金)～9月3日(日)	合同展「ジョハリの窓」	現代アート研究部
23	県民ギャラリー1	9月13日(水)	合同作品展	社会福祉法人ニライカナイ
24	県民ギャラリー1.2.3	9月14日(木)～9月17日(日)	合同作品展	医療法人 正清会
25	県民ギャラリー1	9月18日(月)	ネット詐欺博覧会	パソコン教室ひふみ
26	県民ギャラリー1	9月20日(水)～9月24日(日)	八重山の海を描く	大城 正明
27	県民ギャラリー2	9月20日(水)～9月24日(日)	ネット詐欺博覧会	パソコン教室ひふみ
28	県民ギャラリー1.2	9月26日(火)～9月30日(土)	第30回 肢体不自由児・者の作品展	社会福祉法人沖縄肢体不自由児協会
29	県民ギャラリー3	9月26日(火)～10月1日(日)	令和5人展	ART GROUP MAX
30	県民ギャラリー3	9月1日(金)～9月3日(日)	合同展「ジョハリの窓」	現代アート研究部
31	県民ギャラリー1.2.3	10月3日(火)～10月8日(日)	第33回 沖美連展	一般社団法人沖縄県美術家連盟
32	県民ギャラリー1.2.3	10月9日(月)～10月22日(日)	第52回 沖縄県芸術文化祭	公益財団法人 沖縄県文化振興会
33	県民ギャラリー1.2.3	10月26日(木)～10月29日(日)	第47回沖縄県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門作品展	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部
34	県民ギャラリー1.2.3	10月31日(火)～11月5日(日)	沖縄県立開邦高等学校 芸術科 第14回美術コース作品展	沖縄県立開邦高等学校 美術科・美術コース
35	県民ギャラリー1.2	11月7日(火)～11月12日(日)	大坪葉子 絵画展	大坪葉子
36	県民ギャラリー3	11月8日(水)～11月11日(土)	2023年 生命展	アジア新美術交流会
37	県民ギャラリー1	11月14日(火)～11月19日(日)	くむくくるの展	くむくくるの会
38	県民ギャラリー2	11月14日(火)～11月19日(日)	第6回太陽展 「原点回帰・インスピレーションアートの世界」	アトリエ太陽
39	県民ギャラリー3	11月14日(火)～11月19日(日)	第38回日本現代美術協会 沖縄県支部展	日現会沖縄支部
40	県民ギャラリー1.2.3	11月23日(木)～11月26日(日)	小さな絵本展 vol.14+アートブックカバー展 vol.7	My Piece Art project
41	県民ギャラリー1	11月28日(火)～11月30日(木)	第20回創元会沖縄支部展	一般社団法人創元会沖縄支部
42	県民ギャラリー3	11月28日(火)～12月3日(日)	Mugent Hiro Tanaka展	Mugent絵画研究所
43	県民ギャラリー2	11月30日(木)～12月3日(日)	Street Jewelry 一街に咲く手描き看板	HANZA ART WORKS
44	県民ギャラリー1	12月1日(金)～12月3日(日)	第20回創元会 沖縄支部展	一般社団法人 創元会沖縄支部
45	県民ギャラリー1	12月5日(火)～12月9日(土)	第13回沖縄ふさとづくりコンクール ～中学・高校生写真コンクール2021～	(一社) 沖縄しまたて協会
46	県民ギャラリー3	12月5日(火)～12月10日(日)	第18回真和志高校クリエイティブアーツコース卒業記念展	沖縄県立真和志高等学校
47	県民ギャラリー2	12月8日(金)～12月10日(日)	第40回未来の科学の夢 絵画展	一般社団法人沖縄県発明協会

No.	使用ギャラリー	貸出期間	イベント名	主催者
48	県民ギャラリー1. 2. 3	12月12日(火)～12月17日(日)	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科第39回卒業作品展	沖縄県立浦添工業高等学校インテリア科
49	県民ギャラリー1	12月19日(火)～12月24日(日)	Miracle Happy Future 2023	株式会社モーアシビー
50	県民ギャラリー1. 2	1月5日(金)～1月7日(日)	「沖縄こども美術教室」生徒作品展	アーケイド
51	県民ギャラリー1. 2. 3	1月12日(金)～1月14日(日)	令和5年度 JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター	全国共済農業協同組合連合会 沖縄県本部
52	県民ギャラリー1. 2	1月16日(火)～1月21日(日)	仲本和子 ひとり展	仲本和子オフィシャル
53	県民ギャラリー1. 2. 3	1月25日(木)～1月28日(日)	第23回小禄高等学校 芸術教養コース発表会	沖縄県立小禄高等学校 芸術教養コース
54	県民ギャラリー1. 2	2月2日(金)～2月4日(日)	第55回沖縄県高美研 美術・工芸教育生徒作品展	沖縄県高等学校文化連盟 美術・工芸専門部
55	県民ギャラリー1	2月6日(火)～2月11日(日)	2023年 沖美連 新春展	一般社団法人 沖縄県美術家連盟
56	県民ギャラリー2	2月6日(火)～2月11日(日)	沖縄・三代沢史子 平和展	三代沢 史子
57	県民ギャラリー3	2月6日(火)～2月11日(日)	AGDA OKINAWA グラフィックデザイン展	公益社団法人日本グラフィックデザイン協会
58	県民ギャラリー1. 2. 3	2月12日(月)～2月18日(日)	第35回卒業・修了作品展	公立学校法人 沖縄県立芸術大学
59	県民ギャラリー1. 2	2月23日(金)～2月24日(土)	YEAH! AMICUS CULB ～5th Annual Joint Exhibition～	学校法人アミックス国際学園
60	県民ギャラリー1. 2	3月1日(金)～3月3日(日)	沖縄ラブ&ピース専門学校専門課程高等課程進卒業・進級製作展示会「ThanksEXPO 2024」	学校法人ラブ&ピース 沖縄ラブ&ピース専門学校
61	県民ギャラリー1. 2	3月5日(火)～3月10日(日)	那覇造形美術学院 社会人対象美術教室 作品展2024	那覇造形美術学院
62	県民ギャラリー1. 2. 3	3月12日(火)～3月17日(日)	第22回那覇市障がい者美術展	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会
63	県民ギャラリー1. 2	3月19日(火)～3月24日(日)	押し花&ガラスアート作品展	沖縄ガイア押花会
64	県民ギャラリー3	3月24日(日)	第12回沖縄マシーネンクリーガー作品展	第11回沖縄マシーネンクリーガー

博物館

- I 調査研究等の活動
- II 展示活動
- III 教育普及活動
- IV 資料収集・保存管理

I 調査研究等の活動

1 調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という4つの大きな柱によって構成されている。これらは相互に関連しあっているが、中でも調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。当館（博物館班）における調査研究活動は大きく3つに分けられる。（1）全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、（2）他機関との共同研究・一括交付金を活用した調査研究事業、（3）学芸員自身がテーマを設けて行う個別の調査研究である。

（1）「博物館総合調査」は、1980年から博物館の学芸員が県内離島各地の自然・歴史・文化について調査・研究し、その成果を記録・報告することを目的に実施している。本調査が、他の学術調査と異なるのは、総合博物館の特性を活かし、自然史から人文まで各分野の学芸員を中心に調査員を構成することで、分野を越えた総合的な調査ができることにある。また、その成果は、報告書や展覧会という形で県民へ還元され、島々の自然・歴史・文化について学習する機会を提供するとともに、自然環境の保全や文化的資料の保存に対する理解を深めていただくことに役立てられている。

これまでの「博物館総合調査」は、栗国島を皮切りに2018年度までに20の島々で実施し、各々調査報告書を刊行してきた。主な調査地は、栗国島（1980年）、渡金喜島（1981年）、座間味島（1983年）、伊計島（1987年）、瀬底島（1988年）、与那国島（1989年）、浜比嘉島（1990年）、古宇利島（1991年）、久米島（1992年）、波照間島（1995年）、西表島（1997年）、小浜島（2002年）、与那国島（2005年）、竹富島（2012年）、鳩間島・新城（上地・下地）島・黒島（2016年）、伊是名島・伊平屋島（2018年）である。

2019年度から2023年度までは、宮古諸島（宮古島市および多良間村）を対象地とし、5か年計画で調査を実施する計画を立て、2019年度には、自然史分野（生物・地学・人類）と歴史、民俗分野が多良間島で、考古と民俗分野が宮古島での調査を行った。しかし、2年目にあたる2020年度は、新型コロナウイルス感染防止のため離島への渡航を自粛することになり、総合調査は1年延期することになった。コロナ禍の2021年度～2023年度は、感染症対策を十分に講じた上で調査を行った。コロナ禍後の2024年度からは本格的に調査を再開し、まだ実現していない水納島での調査を含め、宮古諸島を広範囲かつあらゆる分野の視点でこれまでに踏査されていない自然や歴史上の遺跡等を記録していく計画である。

（2）「共同研究事業」は、国立科学博物館及び東京大学と共同で、南城市玉城のハナダガマ遺跡（2006・2007年度）、南城市玉城おきなわワールド内の武芸洞（2007～2010年度）、2011年度は武芸洞に加えて同敷地内のサキタリ洞を対象とした調査を行った。さらに、2012年度からは、沖縄振興特別推進交付金対象事業（一括交付金）「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」を立ち上げ、サキタリ洞遺跡の本格的な調査を実施した。これまでに9千年前よりさらに前のものと考えられる人骨や、世界最古級（2.3万年前）の釣針、先史時代の貝器などが出土し、全国的にも世界的にも注目される貴重な成果をあげている。一括交付金による事業の終了後も、国立科学博物館等と連携して調査を継続している。

一括交付金を活用した調査研究事業は他にも2件ある。このうち「琉球王国文化遺産集積・再興事業」では、琉球王国時代の文化遺産を科学的根拠に基づいて現代の人々の手で模造復元するもので、そのための調査研究が8分野65件の資料を対象に実施している。2020年度は、木彫、漆芸、三線分野の5件の模造復元品完成によって製作事業は完了し、さらに「手わざー琉球王国の美」の巡回展として宮古島市、石垣市、那覇市の3か所で展覧会を開催した。また、当館ホームページから模造復元における調査分析の結果や製作工程等を閲覧できるページを作成し、県内外への発信に努めた。2021年度は、本事業（第1期）の最終年度として、九州国立博物館及び東京国立博物館、久米島博物館で展覧会や関連催事を開催した。2022年度からは第2期の事業を実施している。

つぎに、2016年度から5か年計画で実施している「デジタルミュージアム推進事業」は、2020年度を最終年度とし、当初の計画通り80話の動画コンテンツを制作し公開した。本事業は、1973年から沖縄各地で収集された伝承話の音声資料を音源としたもので、無形文化財の活用を図る試みとして実施した。古老が語るオリジナル音源をもとに、制作した80話の動画コンテンツと約3.3万話の伝承話音声資料のデータベースを検索できるウェブサイト「ウチナー民話のへや」を開設した。これにより、沖縄の多様な言語文化や伝承話の世界を広く紹介することができた。今後も継続して上映会の開催や学校教育への普及啓発に努めることとする。

（3）学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形で生かされている。2023年度における学芸員個々の調査研究等の活動状況は、p58～p74で述べるとおりである。

（宇佐美 賢）

2 博物館総合調査 ー宮古諸島総合調査ー

博物館総合調査事業は、県内離島の自然・歴史・文化について博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施

し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島、鳩間島、新城島、黒島、伊是名島、伊平屋島について現地調査をおこない、それらの成果をもとに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2019年度からは5年計画で宮古諸島の調査を実施することとしていたが、2020年度より2022年度まで新型コロナウイルスの影響でほとんど調査ができていなかったことから調査期間を2024年度まで延長することとした。その成果の一部は移動展in多良間島にて展示公開する予定である。

【組織】

本調査の組織は、博物館班の学芸員(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)によって構成することとしている。また、調査の精度を高めるため、予算の範囲内で館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各調査員でテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマに沿ったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集(借用の可能性)や撮影にも努めている。

【宮古諸島調査の実施状況】

2019年度は多良間島を中心に調査を実施した。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う措置として、予算を本庁に返納したため、現地調査は実施できなかった。2021-22年度は、最小限度の予算は確保していたものの、感染状況に改善が見られず、離島への渡航が困難な状況にあったため、ほとんど現地調査ができなかった。調査は2024年度まで延長し、2025年度に報告書を刊行する予定である。

【2023年度調査実績】

宇佐美 賢(博物館班 班長)	2023年11月29日～11月30日(多良間島)
菊川 章(博物館班 主任学芸員)	2023年11月29日～12月1日(多良間島)
新山颯大(博物館班 学芸員)	2023年11月29日～12月1日(多良間島)
崎原恭子(博物館班 主任学芸員)	2024年1月17日～20日(多良間島)
宮城 修(博物館班 主任学芸員)	2024年1月17日～20日(多良間島)

(菊川 章)

3 「一括交付金」活用事業

琉球王国文化遺産集積・再興事業(第2期)

一括交付金とは、国から地方への交付金のことで沖縄振興に資する沖縄の特殊性に基因する事業等を沖縄県が自主的に実施できる制度として創設された沖縄振興特別推進交付金のことである。本事業は、一括交付金を活用し、戦後70年余を経て、戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産を模造復元し、沖縄の手わざの力を琉球王国文化のブランドとし、モノ(模造復元品)をとおして発信することで、沖縄をアピールする事業である。本事業には模造復元製作業務と発信業務があり、2015年度(平成27)から2021年度(令和3)までの7か年計画で、初年度の実施設計に沿って模造復元製作(2016～2020年度:製作/2020～2021年:報告書作成)を実施した。発信業務では、2019～2021年度に模造復元品を活用した展覧会や報告会などを開催し、2021年度には事業総括として総計1,560冊の『琉球王国文化遺産集積・再興事業報告書』(令和4年3月25日付)を刊行してきた。

2022年度からはその第2期を8年計画で実施するに当たり、第1期同様に8分野(絵画、木彫、石彫、漆芸、陶芸、染織、金工、楽器)に加え、新たに発信分野を設けた。模造復元品の製作にかかわる8分野各3名(合計24名)、発信分野に5名で合計29名の監修者を委嘱し、模造復元候補179件を選定し、発信業務の考え方をまとめた基本設計書を製作した。

2023年度は、基本設計で選定された179件の資料から更に35件の資料を復元対象として選定し、発信業務における重点的な発信対象、発信の目的の整理等をまとめた実施設計書を製作した。また、箇所新規により、2029年度までの8年計画としていた事業期間を、2031年度までの10年計画とすることが認められ、事業を延長することとなった。

(伊禮 拓郎)

4 在外琉球王国文化財調査研究事業

(1) 目的

琉球王国時代の貴重な文化財は、譲渡や売買、また沖縄戦の戦利品として不法に持ち去られる等、国外に流出したものが多くある。様々な理由で流出した琉球王国関連文化財についてアメリカで調査・研究し、その成果を報告会等通じて発信することで、琉球文化の価値を体系的に高めることを目的とする。

(2) 調査概要

実施期間：2023年（令和5）9月24日（日）～10月3日（火）

実施内容：アメリカのスミソニアン博物館群で琉球王国関連文化財を調査した。

実施場所：ミュージアムサポートセンター（MSC）（メリーランド州）

※その他、本事業の協力依頼及び周知のため、以下の機関を訪問した。

県ワシントン事務所、ジョージ・ワシントン大学図書館、国務省教育文化局、日本大使館

※また、調査や博物館事業の参考として以下の施設を視察した。

アナポリス海軍兵学校、ワシントン記念塔、リンカーン記念堂、国立航空宇宙博物館（本館）、国立アジア美術館、国立自然史博物館、ナショナル・ギャラリー

調査者：篠原あかね（博物館班 主任）、崎原恭子（博物館班 主任学芸員）

調査内容：アメリカのスミソニアン博物館群が所蔵するコレクションの収蔵施設であるミュージアムサポートセンター（以下、MSC）で9月26日～29日の4日間調査を実施した。調査対象は事前にMSCのデータベースから抽出し、ペリーが1853～54年に琉球から入手した資料15点、1887年に日本政府から購入された琉球関連資料の内17点、1945年までに収集され1982年に収蔵された元軍人のグラント寄贈資料という優先順位を設定し、その他フランク氏寄贈資料等も調査した。調査では全50件の調書を作成するとともに、詳細な採寸と写真撮影、染織資料等の一部はマイクロスコープで拡大写真を撮影した。

ペリーコレクション15件はすべて琉球以外で製作されたものであったが、収集年が明確で基準作となるものであり、記録上でしか知られていない文物の詳細情報を得ることができた。日本政府から購入された琉球関係資料も収集年から製作時期が推測できるため、基準作となる貴重な資料群であり、沖縄の環境では劣化しやすい民具が良好な状態で保存されていた。グラント寄贈資料は大半が琉球以外の資料であったが、フランク寄贈資料として収蔵されている紅型衣裳は王家旧蔵品であり、マイクロスコープ撮影で顔料の使用が確認できたこと等詳細な情報を得ることができた。

(3) 調査報告会

実施日時：2023年12月23日（土）14:00～16:00

実施場所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

報告者：篠原あかね（博物館班 主任）

崎原恭子（博物館班 主任学芸員）

参加者数：62名

実施内容：アメリカのスミソニアン博物館群が所蔵する琉球・沖縄関連文化財の調査成果の報告



※なお調査成果は「在外琉球王国文化財調査研究事業報告—The Smithsonian Institution's Museum Support Centre (MSC) 所蔵の琉球王国関係文化財50件について」（『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』No.17、2024年）として報告した。

（篠原 あかね、崎原 恭子）

5 博物館・美術館費事業

(1) デジタルミュージアム推進事業

本事業は、2015年に当館に寄贈された沖縄の伝承話音声資料の保存と活用を目的としている。2016年度から2020年度までの5か年計画でデジタルミュージアムを開設し、資料の体系的な保存・管理と80話の民話の動画コンテンツを制作してWeb上や常設展示室等で公開することにより、遠隔地へのサービス提供や来館者誘致、顧客満足度向上の実現を目指している。

題材とした伝承話音声資料は、1973年から故遠藤庄治とその協力者たちが沖縄各地で収集した76,000話余の音声記録のうち、デジタル化済みの約33,000話分の記録（カセットテープとデジタルデータ）である。戦争や標準語励行運動、生活の画一化等で口承伝承されてきた民話が急速に失われつつある。40年余をかけて収集された伝承話資料は県民の貴重な財産であり、それらの保存と活用は博物館の重要な使命である。当館では伝承話音声資料を無形文化遺産の一つとして捉え、適切な保管とデジタルデータを活用した展示コンテンツの開発を進めている。

【上映会】

2023年度は当館にて、上映会を二度開催した。両日とも上映会は二部構成で行い、第一部には沖縄県立南部

農林高等学校の生徒達が自作した民話紙芝居の上演をし、研究発表を行った。第二部はデジタルミュージアム動画コンテンツの上映をした。南部農林高等学校の生徒達は「名嘉地とキジムナー」および「鬼ムーチー」を題材に共通語としまくとぅばの両方で発表した。

内 容	日 付	参加人数
第1回ウチナーの民話上映会	7月23日	29名
第2回ウチナーの民話上映会	10月28日	39名



高校生による民話紙芝居披露

(大城 沙織)

(2) 博物館収蔵品WEB図鑑製作発信事業(植物標本)

当館には、1920～1924年の5年間、県立第一中学校(現首里高等学校)で教鞭をとった和歌山県出身の博物学者、坂口總一郎が、沖縄県を含む日本各地で採集した植物標本群が収蔵されている。その中には、現在では県内での生育が確認できない植物も含まれており、当時の沖縄の自然をうかがい知ることのできる大変貴重な資料である。本事業は、その損失を防ぐために保存状態を改善するとともに、WEB図鑑として一般に公開することで、広く教育や研究に資することを目的とした。

令和2～4年度は、採集当時の新聞紙に挟まれた未整理の植物標本から沖縄県産の植物を抽出し、台紙に貼り付け、保存・閲覧が可能な状態にする作業を進めた。その成果は、当館紀要第16号及び第17号にまとめられている。令和5年度は、当該標本を写真に収め、科名、種名、学名、採集地などの情報とともにWEB図鑑として公開するためのシステムを委託製作し、当館ホームページ上で公開した。

(URL <https://sakaguchi.museums.pref.okinawa.jp/>)

(菊川 章)

6 調査・研究・講演・著作論文等

宇佐美 賢(博物館班班長/地学)

○調査・研究等

- ・地質・地形調査 慶良間諸島(座間味島・阿嘉島)(2023年7月4日～5日)
- ・総合調査・石質調査(宮古島)(2023年7月28日)
- ・地質・地形調査(国頭村)(2023年8月8日)
- ・学芸員講座下見(豊見城市・八重瀬町・糸満市)(2023年10月3日)
- ・国立科学博物館「海展」資料運搬・展示調査(2023年10月9日～10日)
- ・鍾乳洞調査 浦添市城間 貝塚(2023年10月17日)
- ・総合調査・地質調査(多良間村)(2023年11月29日～30日)
- ・移動展フィールドツアー下見(国頭村)(2024年1月27日)
- ・地質調査(読谷村)(2024年2月3日)
- ・浦添市文化財調査 浦添市文化財調査審議会(2024年2月14日)
- ・地質・漂着軽石調査(石垣島)(2024年2月22日)
- ・地質調査(安室島)(2024年3月24日)

○講演等

- ・名 称: 浦添市教育委員会うらおそいガイド養成講座
期 日: 2023年8月22日(火) 20名
場 所: 浦添市役所
依頼機関: 浦添市教育委員会
- ・名 称: 親子星空教室

- 期 日：2023年9月30日（土） 20名
場 所：南城市立大里北小学校
依頼機関：大里北小学校PTA
- ・名 称：博物館学芸員講座「沖縄の石ころと島人の生活～島々を巡り地形・地質から考える～」
期 日：2024年1月13日（土） 94名
場 所：博物館講座室
 - ・名 称：宜野湾市立博物館わらばー体験じゅく「沖縄の石と化石の不思議に迫ろう」
期 日：2023年11月25日（土） 30名
場 所：宜野湾市立博物館、森川公園
依頼機関：宜野湾市立博物館
 - ・名 称：慶良間諸島国立公園10周年記念「慶良間の島々海上ツアー～慶良間の自然と歴史を海上から見てみよう～」
シポジウム：「慶良間諸島国立公園の魅力を再発見する～国立公園の歩みとこれから～」
期 日：2024年3月23日（土） 30名
場 所：阿嘉離島総合振興センター、阿嘉島周辺海域
- 著作論文等
- ・「沖縄の博物館史と学芸員配置の歴史について―沖縄県立博物館・美術館を中心に―」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2023年3月（共著）

崎原 恭子（主任学芸員／歴史：古琉球・近世）

- 調査・研究等
- ・令和5年度琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る県内調整（那覇市、南城市、宜野湾市、今帰仁村）（2023年4月21日、8月15日、10月12日、10月16日、11月29日、11月30日、12月6日、12月11日、12月25日、12月26日、2024年2月16日）
 - ・令和5年度沖縄県立博物館・美術館重要文化財保存管理（修理修復）事業に係る調整等（うるま市）（2023年6月14日、6月15日、10月16日、10月19日、2024年2月8日）
 - ・令和5年度在外琉球王国文化財調査研究事業に係る県内調査（那覇市、うるま市）（2024年9月5日、9月21日、11月14日）
 - ・令和5年度在外琉球王国文化財調査研究事業に係る海外調査（アメリカ）（2023年9月24日～10月3日）
 - ・資料収集事業に係る調査（宜野湾市）（2023年11月7日、2024年1月10日）
 - ・令和5年度博物館総合調査（多良間村、宮古島市）（2024年1月17日～20日）
 - ・琉球王国時代の古文書調査（東京都）（2024年1月24日～25日）
 - ・令和5年度移動展撤収作業（国頭村）（2024年1月29日～30日）
 - ・令和5年度琉球王国文化遺産集積・再興事業の金工部会資料調査（東京都）（2024年2月1日～2日）
 - ・令和5年度琉球王国文化遺産集積・再興事業の金工部会調査・調整（京都府）（2024年2月4日～5日）
 - ・令和5年度琉球王国文化遺産集積・再興事業の金工部会調査・調整（茨城県）（2024年3月17日～19日）
- 講演等
- ・名 称：博物館学芸員講座「展示公開 おもろさうし・混効験集・田名家文書の紹介」
期 日：2023年7月8日（土）
場 所：博物館講座室
 - ・名 称：ウチナージュニアスタディーツアー「博物館展示解説」
期 日：2023年8月9日（水）
場 所：博物館常設展示室
依頼機関：沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課
 - ・名 称：ハワイ大学マノア校図書館「博物館展示解説」
期 日：2023年10月13日（金）
場 所：博物館常設展示室
依頼機関：ハワイ大学マノア校図書館
 - ・名 称：博物館出前講座「琉球王国の歴史・文化」
期 日：2023年10月17日（火）
場 所：石垣市立宮良小学校
依頼機関：石垣市立宮良小学校
 - ・名 称：自治研修所「博物館展示解説」
期 日：2023年11月2日（木）
場 所：博物館常設展示室
依頼機関：沖縄県総務部自治研修所

- ・名 称：おきみゅー誕生祭2023「沖縄最古の鐘を鳴らそう！」
期 日：2023年11月3日（金・祝）
場 所：博物館屋外鐘楼
依頼機関：沖縄県立博物館・美術館指定管理者（一財）沖縄美ら島財団
- ・名 称：中国第一歴史档案館「博物館展示解説」
期 日：2023年11月17日（金）
場 所：博物館常設展示室
依頼機関：沖縄県教育庁文化財課
- ・名 称：令和5年度 在外琉球王国文化財調査研究事業 報告会
期 日：2023年12月23日（土）
場 所：講堂
- ・名 称：琉球王国文化遺産集積・再興事業Ⅱ 令和5年度事業報告会「発信分野の展望」
期 日：2024年3月10日（日）
場 所：講堂

○著作論文等

- ・「（表紙写真解説）沖縄県指定有形文化財「聞得大君御殿雲龍黄金簪」」『博友』第35号 沖縄県立博物館友の会 2023年5月
- ・「展示公開 おもろさうし・混効験集・田名家文書」『那覇市商工会議所会報誌 NAHA CCI NEWS』No.841 2023年6月
- ・博物館コラム 歴史部門展示室「展示公開 おもろさうし・混効験集・田名家文書」沖縄県立博物館・美術館ホームページ 2023年7月6日掲載
- ・博物館コラム 歴史部門展示室歴史部門展示室「重要文化財指定記念 銘苅家文書と琉球国王朱印状」沖縄県立博物館・美術館ホームページ 2023年8月15日掲載
- ・歴史部門展示室「重要文化財指定記念 銘苅家文書と琉球国王朱印状」『博物館ボランティア通信』第190号 2023年9月
- ・「沖縄戦後の歴史・文化研究の取り組みー博物館・文化財・地域史の視点からー」（共著）『開館40周年／兵庫・沖縄友愛提携50周年記念特別展 首里城と琉球王国』兵庫県立歴史博物館 2024年3月
- ・「在外琉球王国文化財調査研究事業報告ーThe Smithsonian Institution's Museum Support Centre (MSC) 所蔵の琉球王国関係文化財50件について」（共著）『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』No.17 2024年3月

宮城 修（主任学芸員／歴史：近・現代）

○調査・研究等

- ・首里劇場資料調査（那覇市）（2023年7月26日）
- ・首里劇場資料調査（那覇市）（2023年9月17日）
- ・沖縄県議会事務局資料調査（那覇市）（2023年9月29日）
- ・琉球大学との共同研究による日本刀の科学分析調査（オーストラリア原子力科学技術機構、シドニー）（2023年11月6日～9日、11月13日～16日）
- ・平和ガイドに関する聞き取り調査（沖縄市）（2023年11月10日）
- ・平和ガイドに関する聞き取り調査（うるま市、沖縄市）（2023年12月29日）
- ・宮古諸島総合調査（多良間村、宮古島市）（2024年1月17日～20日）
- ・兵庫県立歴史博物館 特別展「首里城と琉球王国」展示状況確認（兵庫県）（2024年3月15日～17日）

○出前授業・展示案内等

- ・名 称：出前授業「78年前の沖縄戦」
期 日：2023年6月16日（金）
場 所：本部町立本部中学校
- ・名 称：常設展示案内（岡田直樹沖縄担当大臣）
期 日：2023年6月23日（金）
場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：夏休みこどもフェスタ「那覇泉崎ゆつくりウォーク」
期 日：2023年7月27日（木）
- ・名 称：常設展示案内（ウチナージュニアスタディー参加者）
期 日：2023年8月9日（水）
場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：常設展示案内（JICA沖縄 海外研修員）
期 日：2023年8月22日（火）

- 場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：常設展示案内（ジャスティン・ヘイハースト駐日オーストラリア大使）
- 期 日：2023年8月29日（火）
- 場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：出前授業「78年前の沖縄戦」
- 期 日：2023年10月17日（火）
- 場 所：石垣市立宮良小学校
- ・名 称：常設展示案内（シビ・ジョージ駐日インド大使）
- 期 日：2023年12月6日（水）
- 場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：オンライン授業「博物館資料からみる沖縄の近現代」（沖縄県立沖縄水産高等学校）
- 期 日：2024年1月25日（木）
- ・名 称：常設展示案内（福岡県議会議員団）
- 期 日：2024年1月31日（水）
- 場 所：博物館常設展示室

○著作論文等

- ・「沖縄1935－現代によみがえる戦前の沖縄－」『NAHA CCI NEWS』2月号 No.849 那覇市商工会議所 2024年2月
- ・「沖縄戦後の歴史・文化研究の取り組み－博物館・文化財・地域史の視点から－」（共著）『開館40周年／兵庫・沖縄友愛提携50周年記念特別展 首里城と琉球王国』兵庫県立歴史博物館 2024年3月
- ・「沖縄戦と平和ガイドに関する聞き取り記録」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

篠原 あかね（学芸員／美術工芸）

○調査・研究等

- ・重要無形文化財久留米絣調査（2023年4月21日～22日）
- ・寄贈候補陶磁器調査（沖縄県内個人宅）（2023年5月24日）
- ・在外文化財調査研究事業に係る高安藤氏ヒアリング調査（株式会社ぬちまーす）（2023年9月5日）
- ・令和5年度在外琉球王国文化財調査研究事業に係る海外調査（アメリカ・沖縄県ワシントン事務所、国務省、日本大使館、スミソニアン協会ミュージアムサポートセンター、スミソニアン博物館）（2023年9月24日～10月3日）
- ・琉球古刺繍保存会刺繍調査（奄美大島大和村役場、福岡県広川町・田主丸町・九州国立博物館）（2023年10月31日～11月2日）
- ・沖縄県立芸術大学公開講座「紅花染を学ぶ」（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所）（2023年11月17日）
- ・寄贈候補陶磁器調査（沖縄県内個人宅）（2023年11月16日）
- ・染織資料調査（金城次郎記念館）（2023年12月6日）
- ・美術品等収集委員会（古美術観宝堂）（2023年12月23日）
- ・寄贈候補染織資料調査（沖縄県内個人宅）（2023年12月27日）
- ・伊波メンサー調査（うるま市）（2024年2月29日）
- ・令和5年度琉球国王・王妃衣装製作業務検討委員会（沖縄美ら島財団那覇事務所）（2024年2月9日）
- ・芭蕉布展に係る調査：大宜味村役場・芭蕉布織物工房（2023年5月31日、6月22日、8月10日、11月30日）／当館（同年7月10日、11月22日、12月11日）／大阪日本民芸館・美術館「えき」KYOTO（2023年10月23日～24日）／南風原文化センター（2024年2月20日）／日本民藝館（同年3月13日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調査：祝嶺恭子先生ヒアリング調査（2023年4月27日）／那覇市歴史博物館琉球古刺繍調査（同年7月21日）／壺屋焼物博物館やきもの調査（同年7月22日）／陶芸部会第1回監修者会議（同年8月7日）／染織部会第1回監修者会議（同年8月22日）／絵画部会第1回監修者会議（同年9月7日）／東京国立博物館楽器調査（同年9月7日～9日）／楽器部会第1回監修者会議（同年9月12日）／三線調査（同年9月13日）／発信部会ワーキング（同年10月28日）／今帰仁村歴史文化センター、阿応理屋恵の玉草履及び刺繍足袋調査（同年11月29日）／染織ワーキング（同年12月18日）／楽器調査（同年12月26日）／絵画部会第2回監修者会議（2024年2月4日）／染織部会第2回監修者会議（同年2月6日）／全体会・発信業務監修者会議（同年2月13日）／陶芸部会監修者第2回監修者会議（同年2月16日）／楽器部会第2回監修者会議（同年2月28日）／陶芸紫泥作品製作者調査（同年3月8日）／陶芸赤絵・喜名焼製作者調査（同年3月9日）／楽器製作者調査（同年3月10日～12日）

○講演・学会等

- ・名 称：博物館学芸員講座「琉球の染め・織り・繡い」

- 期 日：2023年6月10日（土）
- 場 所：博物館講座室
- ・名 称：全国歴史民俗系博物館協議会 令和5年度研究集会「琉球王国の手わざ 琉球王国文化遺産集積・再興事業について」
- 期 日：2023年7月13日（木）
- 場 所：講堂
- ・名 称：（一社）日本家政学会 色彩・意匠学部会 夏季公開講演会「意匠からみた琉球染織」
- 期 日：2023年9月6日（水）
- 依 頼：（一社）日本家政学会 色彩・意匠学部会
- 場 所：美術館講座室

○著作論文等

- ・共著「琉球王国文化遺産集積・再興事業における染織作品の基本情報と色材調査の成果について」『科学の目でみる琉球王国の色とその色材～国宝・琉球国尚家伝世品をはじめとする琉球・沖縄の染織品を中心に～』 一般財団沖縄美ら島財団 2024年1月
- ・共著「在外琉球王国文化財調査研究事業報告－The Smithsonian Institution's Museum Support Centre (MSC) 所蔵の琉球王国関係文化財50件について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』No.17 2024年3月

伊禮 拓郎（学芸員／美術工芸）

○調査・研究等

- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業に係る調査（2023年度）：沖縄県工芸振興センター（2023年8月15日）／沖縄県立芸術大学（2023年8月18日～19日、9月6日、10月16日、2024年2月1日、2月16日、3月27日）／洪濟寺（同年9月8日）／浦添市美術館（同年10月13日）／塊状サンゴに関するヒアリング（同年11月24日）／大里村個人工房（同年11月30日）／久米島博物館（同年12月22日）／南城市教育委員会（同年12月26日、2024年2月16日）／大倉集古館（2024年1月22日）／東京藝術大学（同年2月5日）／名護市個人工房（同年2月20日）／南城市個人工房（同年3月8日）／読谷村個人工房（同年3月9日）
- ・絵画、書跡調査：沖縄市個人宅（2023年5月2日、7月14日）／榕樹書林（2024年1月10日）
- ・漆器調査：沖縄市個人宅（2023年8月4日）
- ・陶磁器調査：北谷町個人宅（2023年5月23日）／沖縄市個人宅（同年11月16日）／浦添市個人宅（同年12月5日）
- ・石彫調査：那覇市個人宅（2023年12月15日）

○講演・学会など

- ・名 称：出前授業「沖縄の伝統工芸品について考えてみよう！」
- 日 時：2023年10月10日（日）
- 場 所：宜野湾小学校
- ・名 称：琉球と倭寇の物語り関連イベント「お香を体験しよう」
- 日 時：2023年10月22日（日）
- 場 所：博物館実習室
- ・名 称：自治研修所主催沖縄の歴史文化講座
- 日 時：2023年11月2日（水）
- 場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：おきみゅー誕生祭 博物館常設展 展示解説会「首里城を救った男たち 伊東忠太と鎌倉芳太郎」
- 日 時：2023年11月3日（木・祝）
- 場 所：博物館常設展・美術工芸部門展示室
- ・名 称：学芸員講座「首里城を救った男たち 伊東忠太と鎌倉芳太郎～共同研究開始から100年～」
- 日 時：2023年11月11日（土）
- 場 所：博物館講座室
- ・名 称：suikara村学校「絵師のプロダクトデザイン」
- 日 時：2024年1月6日（土）
- 場 所：首里染織館suikara
- ・名 称：首里城講座「忠太と芳太郎が見た琉球漆器」
- 日 時：2024年1月13日（土）
- 場 所：首里城公園首里杜館レビューホール
- ・名 称：令和5年度琉球王国文化遺産集積・再興事業実施設計報告会

- 日 時：2024年3月10日（日）
 場 所：講堂
 ・名 称：沖縄県立博物館友の会主催「アンコール講座 首里城を救った男たち 伊東忠太と鎌倉芳太郎
 ～共同研究開始から100年～」
 日 時：2024年3月20日（水・祝）
 場 所：博物館講座室
 ・名 称：新・琉球漆芸会議2024「17世紀貝摺奉行所製と推定される螺鈿漆器の再検討」
 日 時：2024年3月30日（土）
 場 所：浦添市美術館講堂

○著作論文等

- ・「池城殿内獅子黄金簪」『博友』第35号 沖縄県立博物館友の会 2023年5月
- ・「伊東忠太さんについてご存じですか？」『博物館ボランティア通信』第192号 沖縄県立博物館・美術館 2023年11月
- ・「17世紀貝摺奉行所製と推定される螺鈿漆器の再検討―貝摺奉行所製螺鈿漆器の山水表現に関する考察―」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月
- ・「貝摺奉行所のモノづくりについて」『開館40周年/兵庫・沖縄友愛提携50周年記念特別展首里城と琉球王国』 兵庫県立歴史博物館 2024年3月

與那嶺 一子（主任学芸員／美術工芸）

○調査・研究等

- ・芭蕉布：苧倒し・苧引き・苧績み体験調査（沖縄県立博物館・美術館 芭蕉畑・実習室）（2023年4月15日～16日）
- ・重要無形文化財久留米絣調査（福岡県広川町・田主丸町・九州国立博物館）（2023年4月21日～22日）
- ・芭蕉布展関係調査：大宜味村役場・芭蕉布工房（2023年5月31日）／大宜味村役場：資料収集（同年6月22日）／名護博物館：津波洋子さん個展（同年10月8日）／大宜味村喜如嘉公民館：エイサーとウスデーク調査（同年10月29日）／大宜味村芭蕉布工房（同年11月30日）
- ・琉球古刺繍調査（那覇市歴史博物館）（2023年7月21日）
- ・八重山上布展調査（石垣市民会館 小ホール）（2023年10月6日）
- ・沖縄県立芸術大学公開講座「紅花染を学ぶ」（沖縄県立芸術大学芸術文化研究所）（2023年11月17日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業：阿応理屋恵の玉草履及び刺繍足袋調査（今帰仁村歴史文化センター）（2023年11月29日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業：染織ワーキング（沖縄県立博物館・美術館）（2023年12月18日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業：君南風関連緑漆丸櫃調査（久米島博物館）（2023年12月22日）
- ・無形文化財（工芸技術）「八重山上布」の調査・助言（文化庁文化財第一課）（八重上布関係者工房・石垣市伝統工芸館・石垣市立八重山博物館）（2024年1月31日～2月1日）
- ・苧麻糸の現状と課題調査及び苧麻糸関係者会議（宮古上布保持団体）（宮古島市歴史文化資料館・宮古島市城辺砂川）（2024年2月17日～18日）
- ・芭蕉生引き体験調査（那覇伝統織物事業協同組合の事業に参加）（名護市中央公民館）（2023年2月25日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：（一社）日本家政学会 色彩・意匠学部会 夏季公開講演会「色材からみた琉球染織」
 期 日：2023年9月6日（水）
 依頼機関：（一社）日本家政学会 色彩・意匠学部会
 場 所：美術館講座室
- ・名 称：「以手抵心（手仕事で伝える沖縄の心）沖縄の染織」
 期 日：2024年1月5日（金）
 依頼機関：ABSee株式会社
 場 所：Lens Gallery(中国 北京市)
- ・名 称：「沖縄の染織」
 期 日：2024年1月6日（土）
 依頼機関：ABSee株式会社
 場 所：在中国日本大使館 多目的ホール（中国 北京市）
- ・名 称：suikara村学校「未来へ織りつなぐ～誇らしやや首里ぬ手わざ」
 期 日：2024年1月27日（土）
 依頼機関：株式会社suikara
 場 所：首里染織館suikara

- ・名 称：講演会 文化と自然科学のクロスポイントを探る「芭蕉布の魅力と不思議」
期 日：2024年3月20日（水）
依頼機関：国立科学博物館
場 所：国立科学博物館上野本館
- ・名 称：ゆんたく！ 沖縄の染織と伊波メンサー
期 日：2024年3月24日（日）
依頼機関：伊波メンサー織保存会・あまわりパーク、うるま市教育委員会（共催）
場 所：あまわりパーク歴史文化施設 多目的室

○著作論文等

- ・「沖縄染織、戦後から現代へのあゆみー桃原コレクションを中心にー」『沖縄の染と織の至宝ー桃原昇コレクションー』 一般財団法人沖縄美ら島財団総合研究所琉球文化財研究室 2023年10月
- ・共著「琉球王国文化遺産集積・再興事業における染織作品の基本情報と色材調査の成果について」『科学の目でみる琉球王国の色とその色材ー国宝・琉球国尚家伝世品をはじめとする琉球・沖縄の染織品を中心にー』 一般財団法人沖縄美ら島財団 2024年1月
- ・「沖縄民政府立博物館の模造作品からみる戦後紅型の復興ーどのようにして模造は可能となったのかー」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要第17号』 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

山本正昭（主任学芸員／考古）

○調査・研究等

- ・2023年度新北市国際考古学フォーラム・2023年度新北市考古生活フェスティバル（新北市立十三行博物館）（2023年4月13日～17日）
- ・令和5年度博物館企画展『海を越える人々（前期） 琉球と倭寇のもの語り』資料調査：東京大学史料編纂所（2023年4月26日）／諸見民芸館（同年5月1日）／琉球大学考古学研究室（同年5月11日）／京都市井伊美術館（同年5月12日）／宮古島市教育委員会・宮古島市総合博物館（同年5月23日）／なるみ堂（同年5月25日）／鎌倉市・東京大学史料編纂所・國學院大學附属図書館（同年6月6日～7日）／久米島博物館（同年6月12日）／琉球物流株式会社（同年7月4日）
- ・令和5年度移動展 in 国頭村事前調整（国頭村教育委員会、国頭村民ふれあいセンター）（2023年5月9日）
- ・令和5年度移動展 in 国頭村展示準備・運営：撤収（国頭村民ふれあいセンター）（2024年1月23日～26日、29日～30日）
- ・令和5年度琉球王国集積再興事業陶芸部会資料調査：那覇市立壺屋焼物博物館（2023年7月22日）／静岡市清見寺（同年10月6日～7日）／常秀工房（2024年3月9日）
- ・令和5年度琉球王国集積再興事業金工部会資料調査（金細工またよし）（2023年12月6日）
- ・令和5年度県立玉城青少年の家主催事業『歴史散歩 船越区ー神々が宿る深き杜に抱かれた集落ー』下見調査（船越公民館）（2023年12月22日）
- ・個人寄贈資料調査（南城市玉城富里）（2024年1月5日）
- ・令和5年度博物館出前授業（久米島博物館）（2024年1月14日～15日）
- ・城西大学水田美術館主催企画展『英雄 尚巴志』展示準備、撤収（坂戸市城西大学水田美術館）（2024年1月18日～20日、同年2月21日～22日）
- ・鹿児島県与論町教育委員会発掘調査現地指導（2023年1月30日～2月1日）
- ・令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のもの語り』展示準備作業（阿嘉島さんごゆんたく館）（2024年2月15日、3月24日）
- ・令和6年度出前授業事前調査（宮古島市教育委員会・宮古島市総合博物館）（2024年1月10日）
- ・令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のもの語り』関連催事事前調整・下見（阿嘉離島総合振興センター）（2024年3月15日～16日）
- ・我如古グスク遺跡の調査事業に関する現地指導（宜野湾市教育委員会）（2024年3月18日）
- ・令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のもの語り』関連催事ならびに展示撤収作業（阿嘉離島総合振興センター、さんごゆんたく館ほか）（2024年3月22日～24日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：2023年度新北市国際考古学フォーラム「9～11世紀における琉球列島の対外交易とその展開」
期 日：2023年4月11日（火）
場 所：台湾新北市立十三行博物館
- ・名 称：2023年度 法政大学沖縄文化研究所総合講座『沖縄を考えるA』「考古学からみた沖縄」
期 日：2023年4月28日（金）
場 所：法政大学市谷キャンパス富士見ゲート4階 G403教室
- ・名 称：沖縄考古学会5月研究定例会「戦後から現在にかけてのグスク論について」

- 期 日：2023年5月19日（金）
- 場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター研修室
- ・名 称：沖縄県立博物館・美術館 9月文化講座「倭寇関連の史跡を読み解く」
- 期 日：2023年9月2日（土）
- 場 所：博物館講座室
- ・名 称：令和5年度 豊寿大学同窓会講演会「歴史を知る、琉球のグスクを知るーグスクとグスク時代ー」
- 期 日：2023年9月15日（金）
- 場 所：豊見城市社会福祉センター 2階レク室
- ・名 称：令和5年度博物館出前授業発表「令和5年度企画展 海を越える人々（前期）琉球と倭寇のもの語り」
- 期 日：2024年1月14日（日）
- 場 所：久米島博物館講座室
- ・名 称：城西大学水田美術館主催展覧会『英雄 尚巴志-はじまりの統一王-』関連講座「沖縄県内に残る尚巴志関係の史跡ー主に三山統一前の足跡を辿るー」
- 期 日：2024年1月20日（土）
- 場 所：城西大学23号館 210教室
- ・名 称：与論郷土研究会特別例会「琉球と倭寇との関係について」
- 期 日：2024年1月31日（水）
- 場 所：与論町役場講座室
- ・名 称：令和5年度中城村生涯学習講座『文化講座』「東アジアから見たグスクの姿ー城郭としてのグスクー」
- 期 日：2024年2月7日（水）
- 場 所：中城村役場庁舎 3階講座室
- ・名 称：令和5年度中城村生涯学習講座『文化講座』「グスクの石積みから見た琉球の歴史ーグスクに見られる加工石材を通してー」
- 期 日：2024年2月14日（水）
- 場 所：中城村役場庁舎 3階講座室
- ・名 称：令和5年度豊見城市教育委員会文化講座『デジタルでよみがえる豊見城グスクと石火矢橋』「縄張りから見た豊見城グスクーグスクの平面プランからの検証ー」
- 期 日：2024年2月18日（日）
- 場 所：沖縄空手会館 研修室
- ・名 称：令和5年度博物館企画展関連文化講座「14世紀から15世紀の東アジアを往来する人々ー令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のもの語り』を通してー」
- 期 日：2024年3月22日（金）
- 場 所：阿嘉離島総合振興センター
- ・名 称：令和5年度博物館企画展関連シンポジウム「慶良間諸島の魅力を再発見する」
- 期 日：2024年3月23日（土）
- 場 所：阿嘉離島総合振興センター

○ワークショップ等

- ・名 称：台湾新北市立十三行博物館主催『2023新北市考古生活フェスティバル』「琉球銭づくり体験」
- 期 日：2023年4月12日（水）
- 場 所：新北市立十三行博物館
- ・名 称：沖縄県立博物館友の会主催『琉球王国第7代目国王、尚徳の琉球銭 「世高通宝」をつくってみよう』
- 期 日：2023年5月3日（水）
- 場 所：博物館実習室
- ・名 称：令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のもの語り』関連イベント展示解説会
- 期 日：2023年9月22日（金）、11月18日（土）、19日（日）
- 場 所：企画展示室・特別展示室1
- ・名 称：令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のもの語り』関連イベント『琉球王国第7代目国王、尚徳の琉球銭 「世高通宝」をつくってみよう』
- 期 日：2023年10月22日（日）
- 場 所：博物館実習室
- ・名 称：播磨町主催第31回大中遺跡まつり『琉球銭づくり体験 「金円世宝」をつくってみよう』
- 期 日：2023年月11日4日（土）

- 場 所：大中遺跡公園
- ・名 称：南城市中央公民館主催事業『史跡巡り 尚巴志王即位600年記念 ゆかりの地を巡る』
- 期 日：2023年12月14日（木）
- 場 所：場天御嶽、佐敷グスク、島添大里グスク
- ・名 称：城西大学水田美術館主催展覧会『英雄 尚巴志-はじまりの統一王-』展示解説会
- 期 日：2024年1月20日（土）、2月21日（水）各1回
- 場 所：城西大学水田美術館2階ギャラリー1
- ・名 称：令和5年度県立玉城青少年の家事業『歴史散歩 船越区 神々が宿る深き杜に抱かれた集落』
- 期 日：2024年1月28日（日）（集落編）/2月25日（日）（県民編）
- 場 所：南城市船越
- ・名 称：令和5年度博物館企画展関連現地解説会『慶良間諸島の自然と歴史を海上から見てみよう』
- 期 日：2024年3月23日（土）
- 場 所：阿嘉島周辺海域

○著作論文等

- ・「倭寇の存在と琉球の交易」『NAHA CCI NEWS』9月号 No.844 那覇市商工会 2023年9月
- ・「コラム 倭寇に抗った集落民の城—福建省東吾洋周辺の城壁を有する集落—」『令和5年度博物館企画展 海を越える人々（前期琉球と倭寇のもの語り）』 沖縄県立博物館・美術館 2023年9月
- ・「コラム 稲村賢敷による発掘調査成果を再考する」『令和5年度博物館企画展 海を越える人々（前期琉球と倭寇のもの語り）』 沖縄県立博物館・美術館 2023年9月
- ・「琉球と倭寇の関係について」『大好き沖縄』第86号 『大好き沖縄』の会 2023年12月
- ・「グスクの石積みに見られる石材加工についての基礎的考察—14～15世紀における加工石材の分類試案」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

○兼任

- ・令和6年度大湾アガリヌウガン遺跡検討委員会委員
- ・第32軍司令部壕資料等編さんワーキング委員
- ・豊見城市遺跡デジタル復元に伴う監修委員会 監修委員

○研究的競争資金の獲得状況

- ・「琉球列島の築城技術にみる土木史的研究」『日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）（一般）令和3年度～令和5年度』（研究代表者）

大城 沙織（学芸員／民俗）

○調査・研究・研修会・会議等

- ・芭蕉布展関係調査：苧倒し・苧引き・苧績み体験（当館芭蕉畑・実習室）（2023年4月15日～16日）
- ・芭蕉布展関係調査：大宜味村役場・芭蕉布織物工房（2023年5月31日、6月22日、8月10日、11月30日）／沖縄県立博物館・美術館（同年7月10日、11月22日、12月11日）／名護博物館（同年10月7日）／大阪日本民芸館・美術館「えき」KYOTO（同年10月23日～24日）／南風原文化センター（2024年2月20日）／おきなわ工芸の杜（同年3月8日）／日本民藝館（同年3月12日～13日）／与論民俗村（同年3月21日～22日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業：木彫部門ワーキング（那覇市）（2023年12月20日）／石彫部門ワーキング（沖縄県立博物館・美術館）（2023年11月28日）
- ・名護博物館見学（名護市）（2023年5月16日）
- ・民俗収蔵庫整理事業（2023年6月20日、7月18日、8月15日、9月19日、10月10日、11月7日、11月21日、12月19日）
- ・糸満ハーレー調査（糸満市）（2023年6月21日）
- ・糸満の赤比儀腹門神女の聞き取り調査（当館研修室）（2023年7月19日）
- ・首里劇場調査（那覇市首里）（2023年7月26日）
- ・塩屋湾のウンガミ調査（大宜味村）（2023年9月2日）
- ・十五夜祭調査（浦添市）（2023年9月29日）
- ・喜如嘉まつり調査（2023年10月29日）
- ・幸地腹・赤比儀腹門中のジョーアキー調査（糸満市）（2023年11月19日）
- ・幸地腹・赤比儀腹門中の香盆祭調査（糸満市）（2023年11月26日）
- ・厨子甕等資料調査（浦添市）（2023年11月27日）、（那覇市）（2023年12月28日）
- ・比嘉ノロの神扇の修復のための状態調査（当館）（2023年12月11日～12日）
- ・ノロの鞍調査（うるま市）（2023年12月18日）
- ・移動博物館 in 国頭対応（国頭村）（2024年1月24日～25日、1月28日～30日）
- ・国立民族学博物館所蔵厨子甕に関する調査（当館）（2024年3月6日）

- ・我如古ブスク見学（宜野湾市）（2024年3月18日）
- ・全国歴史民俗系博物館協会令和5年度総会・研修会参加（当館講堂・研修室）（2023年7月13日）
- ・南城市史戦後編「産業」専門部会会議出席（2023年11月10日、2024年2月15日）
- ・沖縄県地域史協議会秋の研修会参加（2023年11月7日）
- ・沖縄県博物館協会秋の研修会参加（2023年12月21日～22日）

○講演等

- ・名称：出前講座「沖縄の昔の生活を知ろうー珊瑚舎の古民家を通して沖縄の歴史と文化を学ぶー」
日時：2023年7月21日（金）
場所：珊瑚舎スコーレ
- ・名称：夏休み！学芸員教室「クバオージをつくろう！」
日時：2023年7月28日（金）
場所：博物館実習室横 アマハジ
- ・名称：出前講座「沖縄の昔の生活ー道具の移り変わりー」
日時：2023年9月29日（金）
場所：沖縄県立那覇みらい支援学校
- ・名称：博物館友の会講座「海を越えた神々ー沖縄の土帝君を中心にー」
日時：2023年10月19日（木）
場所：博物館講座室
- ・名称：自治研修常設展示解説
日時：2023年11月2日（木）
場所：博物館常設展示室
- ・名称：学芸員講座「沖縄における生活の水と信仰」
日時：2023年12月9日（土）
場所：博物館講座室
- ・名称：出前講座「沖縄の昔の生活ー道具の移り変わりー」
日時：2024年2月1日（木）
場所：西原町立坂田小学校
- ・名称：出前講座「沖縄の昔の生活ー道具の移り変わりー」
日時：2024年2月6日（火）、7日（水）
場所：沖縄市立泡瀬小学校
- ・名称：市民講座「初心者編！沖縄の年中行事・トートーメーを知ろう」
日時：2024年3月2日（土）
場所：宜野湾市マリン支援センター
依頼機関：宜野湾市

○著作論文等

- ・「沖縄らしさが宿るクバ民具ーおきみゅー収蔵品の紹介ー」『NAHA CCI NEWS』10月号 No.845 那覇市商工会 2023年10月
- ・「現代沖縄における土帝君の整理（1）」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

○兼任

- ・南城市史戦後編「産業」専門委員

大湾 ゆかり（主任学芸員／民俗）

○調査・研究等

- ・芭蕉布：苧倒し・苧引き・苧績み体験（当館芭蕉畑・実習室）（2023年4月15日～16日）
- ・芭蕉布展関係調査：大宜味村役場・芭蕉布工房（2023年5月31日）／名護博物館（同年10月8日）／大阪日本民芸館・美術館「えき」KYOTO（同年10月19日～21日）／おきなわ工芸の杜（2024年3月8日）／与論民俗村（同年3月21日～22日）
- ・喜如嘉まつり調査（大宜味村）（2023年10月29日）
- ・芭蕉のウービキ講習（名護市）（2024年2月25日）
- ・名護博物館見学（名護市）（2023年5月16日）
- ・糸満ハーレー調査（糸満市）（2023年6月21日）
- ・糸満の赤比儀腹門中神女の聞き取り調査（当館研修室）（2023年7月19日）
- ・首里劇場調査（那覇市首里）（2023年7月26日）
- ・塩屋湾のウンガミ調査（大宜味村）（2023年9月2日）
- ・十五夜調査（勢理客公民館）（2023年9月29日）

- ・幸地腹・赤比儀腹門中の香盆祭調査（糸満市）（2023年11月26日）
- ・厨子甕等資料調査：浦添市（2023年11月27日）／那覇市（2023年12月28日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業関係調査：玉草履調査（今帰仁村文化センター）（2023年11月29日）
／金細工またよし等調査（同年12月6日）／タマハベル調査（東京国立博物館）（2024年2月1日～2日）
- ・比嘉ノロの神扇の修復のための状態調査（2023年12月11日～12日）
- ・ノロの鞍調査（うるま市）（2023年12月18日）
- ・全国歴史民俗系博物館協議会令和5年度総会・研修会参加（当館講堂・研修室）（2023年7月13日）
- ・文化財修復学会令和5年度大阪大会参加（大阪府万博記念公園）（2023年6月23日～25日）
- ・沖縄県地域史協議会秋の研修会参加（2023年11月7日）
- ・沖縄県博物館協会秋の研修会参加（2023年12月21日～22日）
- ・琉球藍製造技術保存会の巡見・研修会参加（2024年2月19日）
- ・国立民族学博物館所蔵厨子甕に関する調査（2024年3月6日～7日）
- ・民俗収蔵庫の整理・調査事業（2023年6月20日、27日、7月18日、8月15日、22日、9月19日、10月17日、11月7日、21日、12月19日、2024年1月30日、2月20日）

○講演等

- ・名 称：全国歴史民俗系博物館令和5年度研究集会「ウチナー民話のへやー記録保存と公開について」
期 日：2023年7月13日
場 所：講堂

○著作論文等

- ・「沖縄の藍染料に関する史料紹介（3）ー山藍實用新書ー」『沖縄県立博物館・美術館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

新山 颯大（学芸員／地質）

○調査・研究等

- ・沖縄こどもの国資料調査（2023年8月22日）
- ・瑞浪市化石博物館資料調査（2023年9月13日）
- ・大垣市金生山化石館資料調査（2023年9月14日）
- ・豊橋市自然史博物館資料調査（2023年9月15日）
- ・岐阜県博物館資料調査（2023年9月16日）
- ・学芸員講座（フィールドツアー）下見 豊見城市・糸満市・八重瀬町（2023年10月3日）
- ・浦添市経塚地質調査（2023年10月17日）
- ・宮古諸島総合調査（多良間島・地質調査）（2023年11月29日～12月1日）
- ・浦添市城間第二洞穴遺跡調査（2023年12月15日）
- ・フィールドツアー下見（国頭村）（2024年1月27日）
- ・石垣島地質調査（2024年2月22日）

○講演等

- ・名 称：博物館学芸員講座「沖縄の地層とゆんたくしようよ！ー一陸に残る泥の海とサンゴの海の跡ー」
期 日：2023年10月14日（土） 11名
場 所：糸満市・八重瀬町
- ・名 称：「ミニ科学プログラム バックヤードツアー」（サイエンステックフェス 2023）
場 所：博物館バックヤード
期 日：2023年12月17日（日） 12名
- ・名 称：「フィールドツアー」（第14回 移動展 in 国頭村 開催イベント）
期 日：2024年1月28日（日） 14名
場 所：国頭村

○著作論文等

- ・Kato, M., Sugitani, R., Niiyama, S., Kamiya, T., Matsuura, N. (2024). Microbial diversity in shallow-sea sediment from Tsukumo Bay, Japan, determined by 16S rRNA gene amplicon sequencing. Environmental Microbiology, 13(4), <https://doi.org/10.1128/mra.01061-23>

菊川 章（主任学芸員／生物）

○調査・研究等

- ・陸貝調査・採集（南城市）（4月13日）
- ・「みんなの進化展」資料借用関係：山階鳥類研究所ほか（千葉県我孫子市）下見（2023年5月9日）、

借用（5月31日）、返却（9月22日）／国立科学博物館（茨城県つくば市）下見（2023年5月10日）、借用（6月1日～2日）、返却（9月20日～21日）／環境科学センター（浦添市）借用（2023年5月19日）／GODAC（名護市）借用（2023年5月25日）、返却（9月29日）／風樹館（西原町）借用（2023年5月26日）、返却（9月27日）／沖縄こどもの国（沖縄市）下見（2023年7月14日）、借用（7月20日）、返却（8月22日）

- ・シャジクモ調査・採集（宜野座村）（2023年5月25日）
- ・寄贈予定資料調査（豊見城市）（2023年6月27日）
- ・オカダンゴムシ生息調査・採集（那覇市）（2023年7月31日）
- ・坂口總一郎関連資料調査（和歌山県海南市および和歌山市）（2024年2月28日～3月3日）

○講演等

- ・名称：「おきなわ民話のよみきかせ×ぶらぶら展示室」（「みんなの進化展」プレイベント）
期日：2023年5月3日（水）憲法記念日 10:00～11:30
場所：博物館常設展示室 参加10名
- ・名称：「みんなの進化展」展示解説会
期日：2023年6月23日（金）・7月14日（金）・7月19日（水）・8月3日（木）・8月25日（金）
場所：特別展示室1・2、企画展示室
- ・名称：那覇市教育委員会出前講座「進化の不思議★みんなで見てみよう」
期日：2023年7月24日（月）小中学生16名
場所：那覇市若狭公民館
- ・名称：アメラジアンスクール出前講座「沖縄の生きもののどこがどうすごいの？」
期日：2023年7月25日（火）小中学生50名
場所：アメラジアンスクール（宜野湾市）
- ・名称：こどもフェスタ「身近なカタツムリの不思議にせまってみよう！」
期日：2023年7月26日（水）10:00～11:30 小学3～6年生12名
場所：博物館実習室
- ・名称：こどもフェスタ「みんなの進化展」プレミアム解説会
期日：2023年7月26日（水）・27日（木）・28日（金）各回13:00～14:00 定員10名（小学生）
場所：特別展示室1・2、企画展示室
- ・名称：キリンの骨を並べてみよう！「みんなの進化展」関連催事
期日：2023年8月10日（木）10:00～12:00 小学3年～中学3年20名
場所：博物館講座室、エントランスホール
- ・名称：常設展示解説会
期日：2023年8月10日（木）14:00～15:00 定員12名
場所：博物館常設展示室
- ・名称：学芸員講座「みんなの進化論入門—進化の舞台 琉球列島」
期日：2023年8月12日（土）10:00～12:00 定員80名
場所：博物館講座室
- ・名称：手羽先で骨格標本づくり～恐竜と鳥はどこが似ているの？ 「みんなの進化展」関連催事
期日：2023年8月15日（火）10:30～12:00 小学3～6年生12名
場所：博物館実習室
- ・名称：ダンゴムシのフシギに迫ってみよう！ 「みんなの進化展」関連催事
期日：2023年8月16日（水）10:30～12:00 小学3～6年生12名
場所：博物館実習室
- ・名称：興南高校バックヤード見学対応
期日：2023年8月17日（木）10:00～12:00 参加3名
場所：博物館バックヤード
- ・名称：進化から自然史を語る2023 オンラインにて登壇 演題「みんなの進化展ができるまで—展覧会の舞台裏」
期日：2023年8月19日（土）よりYouTubeにて配信
- ・名称：沖縄県立みらい支援学校出前講座「沖縄の生きものと進化について」
期日：2023年10月4日（水）生徒5名
場所：沖縄県立みらい支援学校
- ・名称：陽明高校（バックヤード見学）
期日：2023年10月31日（火）9:30～10:30 生徒20名
場所：博物館・美術館バックヤード
- ・名称：自治研修常設展示解説

- 期 日：2023年11月2日（木）
- 場 所：博物館常設展示室
- ・名 称：沖縄県立中部農林高等学校「出前授業」
- 期 日：2023年11月16日（木）定時制課程3年次30名
- 場 所：沖縄県立中部農林高等学校
- ・名 称：ミニ科学プログラム（バックヤード見学）
- 期 日：2023年12月17日（日）小中学生20名
- 場 所：博物館常設展示室およびバックヤード
- 依頼機関：沖縄県科学技術振興課
- ・名 称：琉大ジュニアドクター育成塾 特別授業「バックヤード見学」
- 期 日：2023年12月27日（火）小中学生10名
- 場 所：博物館常設展示室およびバックヤード
- 依頼機関：琉球大学
- ・名 称：移動展 in 国頭村関連講座「みんなの進化論入門～進化の舞台琉球列島～」
- 期 日：2024年1月26日（金）
- 場 所：国頭村民ふれあいセンター

○著作論文等

- ・「『沖縄の自然』を語る生きもの、カタツムリ」学芸員コラム 2023年9月
- ・「坂口總一郎が収集した沖縄の植物標本（2）」『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

山崎 真治（主任学芸員／人類）

○調査・研究等

- ・名護市嘉陽グスク現地見学（2023年4月7日、9月22日）
- ・文化講座（伊江島フィールドツアー）下見（2023年4月19日）
- ・文化講座（伊江島フィールドツアー）対応（2023年5月20日）
- ・本部町石川テラアブ洞遺跡関係調整（2023年6月6日）
- ・徳之島伊仙町小島露頭火山灰層調査（2023年6月30～7月3日）
- ・徳之島下原洞穴遺跡シンポジウム参加・発表 鹿児島大学（2023年7月7日～9日）
- ・南城市前川照田嶽原古墓群調査（2023年7月20～23日、11月7日）
- ・第14回日韓新石器時代研究会参加 韓国・釜山（2023年8月17日～21日）
- ・日本人類学会参加・東北地方先史遺跡踏査（2023年10月5日～13日）
- ・佐世保市どうくつ体験リレー講座（2023年10月20日～22日）
- ・特別展「旧石器時代の人類」プレイベント 学芸員と一緒に港川人について調べてみよう！ 対応（2023年11月3日）
- ・第71回全国博物館大会参加 千葉市（2023年11月15日～17日）
- ・うるま市伊計島クルカーガマ測量・試掘調査（2023年11月21日～22日、12月13日～2024年1月12日）
- ・デジタルアーカイブ関連聞き取り調査 沖縄県公文書館（2023年12月5日）
- ・日本考古学協会 カフェ de 考古学 2023 第5回対応（2023年12月9日）
- ・壺屋焼物博物館特別展「シマの土器 ～ハジマリとコレカラ～」シンポジウム「土器研究の最前線」対応（2023年12月17日）
- ・本部町シンブトムイ（新登森）無名竪穴調査（2023年12月22日）
- ・人骨の理化学分析関係出張（九州大学名誉教授吉村和昭氏研究室）福岡市（2023年12月25日～26日）
- ・移動展 in 国頭村 対応（2024年1月24日～25日、1月29日～30日）
- ・糸満市轟壕調査（2024年2月3日）
- ・多良間島総合調査（コテ遺跡・ヤマトトゥンバラ調査）（2024年2月16日～20日）
- ・金武町洞穴調査現地視察（2024年2月21日）
- ・成城大学民俗学研究所資料調査（2024年2月28日～29日）
- ・本部町石川テラアブ洞遺跡調査（2024年3月2日～3日）
- ・国立科学博物館「海」展 資料運搬支援 名古屋市科学博物館（2024年3月11日～13日）
- ・本部町ワハルバル洞現地調査（2024年3月19日）
- ・日本列島域における先史人類史の統合生物考古学的研究 全体会・公開講演会 京都（2024年3月24～25日）

○講演・学会など

- ・名 称：「動物遺存体からみた沖縄先史人の食生態と食資源利用に伴う諸現象」
- 日 時：2023年10月8日（日）

- 場 所：第77回 日本人類学会大会
- ・名 称：「琉球列島からみた下原洞穴遺跡について」
- 日 時：2023年7月8日（土）
- 場 所：令和5年度下原洞穴遺跡シンポジウム 鹿児島大学
- ・名 称：「沖縄の洞窟遺跡から見た旧石器人のくらしと海洋文化史」
- 日 時：2023年10月21日（土）
- 場 所：福井洞窟ミュージアム どうくつ体験リレー講座
- ・名 称：「サキタリ洞遺跡と沖縄の旧石器人」
- 日 時：2023年12月9日（土）
- 場 所：日本考古学協会カフェ de 考古学 2023 第5回 みんなで巡る旧石器時代全国遺跡ツアー（オンライン）
- ・名 称：壺屋焼物博物館特別展「シマの土器 ～ハジマリとコレカラ～」関連催事 シンポジウム「土器研究の最前線」発表内容「沖縄諸島の土器起源をめぐる諸問題」
- 日 時：2023年12月17日（日）
- 場 所：沖縄県立図書館

○著作論文等

- ・山崎真治・樋泉岳二・谷川遼（2024）「【資料紹介】會津八一記念博物館所蔵の沖縄関係考古・民俗資料について（上）」『會津八一記念博物館紀要』25
- ・山崎真治・大岡素平・石原与四郎 2024「前川照田嶽原古墓群の現状記録調査の概要」『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月
- ・山崎真治・相美伊久雄 2023「鹿児島県志布志市家野遺跡出土土器の胎土分析（概要）－縄文時代早期から晩期にかけての土器胎土の通時的動向把握の試み」『鹿児島考古』52
- ・山崎真治 2024「琉球列島の剥片石器石材産地とその利用について」『橘昌信先生追悼論文集』（『九州旧石器』27

（査読あり）

- ・石原 与四郎・山崎 真治（早期公開）「陸域アーカイブとしての石灰岩洞窟とそこにみられる堆積物の可能性：古環境と人類史を読み解く手がかり」『第四紀研究』

公開日：2023/10/19

DOI<https://doi.org/10.4116/jaqua.62.2215>

○兼任

- ・国立民族学博物館文化資源共同研究員
- ・琉球大学医学部等客員研究員

澤浦 亮平（主任／人類）

○調査・研究等

- ・発掘調査：久米島町下地原洞穴遺跡（2023年5月12日～21日）／宮古島市ツヅピスキアブ遺跡（2024年1月21日～23日）
- ・共同研究事業：国際会議での研究成果の発表（8月4日～15日：ICAZ2023 オーストラリア）
- ・令和5年度特別展「旧石器時代の人類」に係る資料調査および出張：花巻市総合文化財センター（2023年8月30日、10月26日、2024年3月8日）／沖縄こどもの国（2023年9月4日、2024年3月11日）／慶應義塾大学（2023年9月6日、10月30日、2024年3月26日）／国立民族学博物館（2023年9月13日、11月14日、2024年2月29日）／国立科学博物館（2023年9月21日、2024年2月21日、3月5日）／地底の森ミュージアム（2023年10月10日）／北海道埋蔵文化財センター（2023年10月18日、11月16日、2024年2月26日）／志摩スペイン村（2023年11月8日、2024年2月22日）／日本モンキーセンター（2023年11月9日、2024年2月22日）／野外民族博物館リトルワールド（2023年11月9日、2024年2月23日）／東京大学総合研究博物館（2024年2月20日）／東京都立大学（2024年3月4日）
- ・ベトナム考古学院への資料調査（2024年3月12日～16日）
- ・哺乳類硬組織資料のX線CT撮影（沖縄県工業技術センター）（2023年6月14日、7月28日）

○展示活動

- ・名 称：令和5年度 沖縄県立博物館・美術館 博物館企画展「新収蔵品展－令和3・4年度収蔵資料－」（副担当）
- 期 日：2023年4月28日（金）～6月4日（日）
- 場 所：特別展示室1・2、企画展示室
- ・名 称：令和5年度 沖縄県立博物館・美術館 博物館特別展「旧石器時代の人類－海を越えた最初の人々－」（主担当）
- 期 日：2023年12月12日（金）～2024年2月12日（月）

場 所：特別展示室1・2、企画展示室

○講演・学会発表等

- ・名 称：日本動物考古学会第10回大会「沖縄県久米島町下地原洞穴遺跡から出土した更新世絶滅シカ類のタフォノミーに関する新知見」（藤田祐樹・石原与四郎・砂川暁洗・海部陽介との共著による発表）
期 日：2023年7月1日（土）
場 所：北海道大学総合博物館
- ・名 称：14th International Council for Archaeozoology Conference「New Findings on Taphonomy of Pleistocene Extinct Deer Remains Excavated from the Shimojibaru Cave, Kume Island, Okinawa, Japan.」（Masaki FUJITA, Yoshiro ISHIHARA, Akihiro SUNAGAWA, Yousuke KAIFUとの共著による発表）
期 日：2023年8月11日（金）
場 所：Cairns Convention Centre, Cairns, Australia
- ・名 称：第77回日本人類学会大会「沖縄県久米島町下地原洞穴遺跡から出土した更新世絶滅シカ類のタフォノミー（予報）」（藤田祐樹・石原与四郎・砂川暁洗との共著による発表）
期 日：2023年10月8日（日）
場 所：東北大学星陵キャンパス
- ・名 称：地歴・公民科巡検事前学習会「海を越えて沖縄へ最初にやってきたのはどのような人だったのか？」
期 日：2023年11月10日（金）
場 所：沖縄県立向陽高等学校
- ・名 称：学芸員講座「旧石器時代の人類」展をもっと楽しむ
期 日：2024年2月10日（土）
場 所：博物館講座室

○著作論文等

- ・特別展図録『旧石器時代の人類—海を越えた最初の人々—』 沖縄県立博物館・美術館 2023年12月
- ・「日本動物考古学会第10回大会報告」『動物考古学』第41号 日本動物考古学会 2024年3月

○競争的研究資金の獲得状況

- ・「東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明」『日本学術振興会 科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金 令和2年度～令和6年度』（研究分担者）
- ・「日本列島に棲息したオオヤマネコに関する学際的調査・研究」『日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B） 令和3年度～令和6年度』（研究分担者）
- ・「島嶼域における食文化の変容を歯の咬耗、歯石、骨コラーゲンで探る」『公益財団法人味の素の文化センター 2021年度 食の文化研究助成（令和4年度～令和5年度）』（研究代表者）
- ・「学際的研究による沖縄諸島の後期旧石器ホモ・サピエンス拡散・適応史の解明」『日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（A） 令和4年度～令和8年度』（研究分担者）

○兼任

- ・東北大学大学院歯学研究科 歯科法医情報学分野 大学院非常勤講師

園原 謙（主任学芸員（再任用）/美術工芸）

○調査・研究等

- ・JICA草の根技術協力事業「地雷対策を通じた平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり」事業（沖縄県女性力・平和推進課）（カンボジア国プノンペン、シェムリアップ）（2023年11月12日～19日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査（楽器調査）：実施設計業務にあたり太鼓、笛の製作者の調査（東京の楽器製作関係者（太鼓、笛））（2024年3月11日～12日）

○講演等

- ・名 称：当館学校連携事業出前授業「78年前の沖縄戦を学ぼうー「カンポーヌクェヌクサー」からの命のリレー」
期 日：2023年6月22日（木）
場 所：国頭村立国頭中学校体育館
依頼機関：国頭村立国頭中学校
- ・名 称：第1回沖縄空手アカデミー「戦前の沖縄武徳殿開殿式における空手演武の意義を考える」
期 日：2023年11月6日（月）
場 所：沖縄空手会館 武道棟研修室
依頼機関：沖縄県空手振興課長

- ・ 名 称：伝統工芸品魅力向上事業 那覇の手しごと展「王国時代から現代へ 三線の世界」（仲嶺沖縄県三線製作事業協同組合事務局長と対談形式）
期 日：2023年12月24日（日）
場 所：首里染織館Suikara
依頼機関：Suikara
- ・ 名 称：JICA草の根技術協力事業「地雷対策を通じた平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり」のカンボジア研修生の沖縄研修（4週間）のコーディネート
期 間：2024年1月15日（月）～2月8日（木）（土日等除く）
場 所：沖縄県平和祈念資料館、沖縄県立博物館・美術館、広島平和記念資料館
依頼機関：沖縄県女性力・平和推進課、沖縄平和協力センター
- ・ 名 称：加飾しない漆芸品 三線を考えるーウチナーンチュがオマージュしてきた形の美と音の妙ー
期 日：2024年1月21日（日）
場 所：浦添市美術館
依頼機関：浦添市教育委員会（浦添市美術館）
- ・ 名 称：「万国津梁の鐘」の健康診断ー鑄造558年目のBell Dock（ベル ドック）
期 日：2024年2月11日（日）
場 所：講堂
依頼機関：沖縄美ら島財団（当館指定管理者）浦添市教育委員会（浦添市美術館）

○著作論文等

- ・ 共著「沖縄の博物館史と学芸員配置の歴史についてー 沖縄県立博物館・美術館を中心にー」『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第17号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

平川信幸（主任学芸員／教育普及 美術工芸）

○調査・研究等

- ・ 「東アジアにおける影幀を用いた人霊祭祀研究に対する学際的方法論の構築」資料調査：那覇市久米至廟（2024年2月14日）／沖縄県立博物館・美術館（同年2月14日）

○講演・学会発表等

- ・ 名 称：令和5年度 文化講座 「琉球・沖縄諸芸術の研究100年」 「琉球絵画の研究史」
期 日：2023年7月19日（火）
場 所：リモート
- ・ 名 称：「アート身近に」プロジェクト2023 アートことはじめ「沖縄美術」 ～琉球王国時代から明治へ～
期 日：2023年8月11日（金）
場 所：美術館講座室
- ・ 名 称：沖縄県立博物館・美術館学芸員講座「ものから読み解く沖縄の歴史ー美術工芸的博物館案内ー」
期 日：2023年9月9日（土）
場 所：講堂
- ・ 名 称：首里城公園友の会コンパクト講座「御後絵（国王肖像画）についてー描かれた背景の秘密をさぐるー」
期 日：2023年10月21日（土）
場 所：沖縄美ら島財団 那覇事務所
- ・ 名 称：「《孔子及び四聖配像》はどこにあったかー鎌倉芳太郎の琉球調査から謎を読み解くー」
期 日：2024年2月3日（土）
場 所：首里杜館
- ・ 名 称：「アート身近に」プロジェクト2023 アートことはじめ「沖縄美術」 ～琉球王国時代から明治へ～
期 日：2024年2月18日（日）
場 所：美術館講座室

○ワークショップ等

- ・ 名 称：台湾新北市立十三行博物館主催『2023新北市考古生活フェスティバル』 「琉球銭づくり体験」
期 日：2023年4月12日（水）
場 所：新北市立十三行博物館

○著作論文等

- ・ 『琉球国王の肖像画「御後絵」とその展開』 思文閣出版、2024年3月
- ・ 「琉球国王肖像画の正面性の考察ー東アジアの帝王像との比較からー」 第18回中歴史関係国際学術会議『海

邦養秀 第18回中歴史関係国際学術会議論文集』 2023年9月

- ・「資料紹介 北京駐在琉球都通事鄭和僑肖像」『NAHA CCI NEWS』2月号 No.850 那覇市商工会 2024年2月
- ・（共著）井上智勝ほか『描かれた天皇と琉球国王』埼玉大学教養学部 2024年3月

○研究的競争資金の獲得状況

- ・「東アジアにおける影幀を用いた人霊祭祀研究に対する学際的方法論の構築」『日本学術振興会（一般）科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽） 挑戦的研究（萌芽）令和2年度～令和5年度』（研究分担者）

7 職員研修

博物館法第4条の4において「学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる」と規定しており、学芸員に学問的専門性を要求している。また、博物館が独自の展示会や教育普及活動を行うためには、学芸員自身が調査研究を行い新たな知見を得ていく必要がある。そのため、学芸員は適宜研修を受講するとともに、平成23年度から毎週「学芸員ゼミ」を開催して互いの研究について情報共有や意見交換を行っている。

（1）沖縄県博物館協会

総会及び春の研修会は、6月1日～2日にかけて（会場：宮古島市）予定されていたが、台風2号の影響により中止となった。総会は書面決議をもって代替とし、研修会は7月28日にオンラインで開催した。秋の研修会は12月21日～22日にかけて、今年度リニューアルオープンした名護博物館で開催された。

○春の研修会・オンライン研修

日 時：2023年7月28日（金）

場 所：宮古島市役所（開催館：宮古島市総合博物館）

参 加 者：里井洋一（館長）、宇佐美賢、宮城修

○秋の研修会・現地研修

日 時：2023年12月21日（木）・22日（金）

場 所：名護博物館

参 加 者：里井洋一（館長）、宇佐美賢、大湾ゆかり、菊川章、新山颯大、大城沙織、宮城修

（2）日本博物館協会

○第71回全国博物館大会「博物館法改正元年一つながり、交差する一」

日 時：2023年11月15日（水）～11月17日（金）

場 所：千葉県千葉市「千葉市文化センター」

参 加 者：山崎真治

（3）全国科学博物館協議会

総会への参加はできず、決議事項については委任とした。

（4）全国歴史民俗系博物館協議会

○令和5年度年次集会（第9回）及び研究集会「文化の継承と創造へ 沖縄における事例報告」

日 時：2023年7月13日（木）・7月14日（金）

場 所：沖縄県立博物館・美術館

報 告 者：篠原あかね「琉球王国文化遺産集積・再興事業について」

大湾ゆかり「ウチナー民話のへや～記録保存と公開について」

（5）博物館学芸員ゼミ

博物館学芸員ゼミは博物館班に関わる職員が日頃の調査研究の成果を報告することを目的に平成23年度より開始した。班会議終了後30分～60分程度話題提供し、令和5年度（2023）は25回実施した。No.は開始年よりスタートした一連番号で、本年度で400回を超えた。

※以下「回、期日、担当者、題」の順に記す（原則毎週月曜日に実施）

回	累計回	月日	担当者	題
第1回	377	04/10	中里智子副館長	沖縄県立博物館・美術館の中長期計画
第2回	378	04/24	與那嶺 一子	琉球古刺繍について Part 2
第3回	379	05/01	宮城 修	第70回全国博物館大会（高知大会）参加報告

回	累計回	月日	担当者	題
第4回	380	05/08	崎原 恭子	歴史部門展示室展示替え：「展示公開 おもろさうし・混効験集・田名家文書」展示概要について
第5回	381	05/29	山本 正昭	令和5年度企画展 琉球と倭寇の物語り 琉球列島から見た倭寇が発生してくる背景について
第6回	382	06/05	園原 謙	世界でもっとも知名度が高い沖縄文化・KARATE ー海外空手家へ実施したアンケート（2021年）から見えてきた沖縄空手の魅力ー
第7回	383	06/12	大湾ゆかり	沖縄県公文書館友の会 歴史巡検ツアーの記録紹介
第8回	384	06/19	平川 信幸	琉球絵画の世界 ー御後絵の背景を読み解くー
第9回	385	07/10	大城 沙織	沖縄における土帝君信仰
第10回	386	07/24	新山 颯大	琉球列島における浅海性介形虫の生物地理学的研究
第11回	387	08/07	山崎 真治	気候変動と人類
第12回	388	08/14	菊川 章	国立自然史博物館構想について
第13回	389	08/21・28	澤浦 亮平	海外出張報告と久米島町下地原洞穴遺跡の発掘調査の続報
第14回	390	09/11	宇佐美 賢	博物館法の改正と文化観光拠点計画 どうする？ー県博美の10年先の未来に向けてー
第15回	391	09/25	里井洋一館長	学習観の転換 ーものとの対話する楽しみー
第16回	392	10/16	與那嶺 一子	沖縄県立博物館・美術館における模造復元のあゆみ（染織を中心に）
第17回	393	11/06	伊禮 拓郎	県指定有形文化財黒漆山水楼閣人物螺鈿机について ー17世紀貝摺奉行所製と推定される漆器の再検討ー
第18回	394	11/13	山本 正昭	琉球と倭寇の物語り（展示解説会）
第19回	395	11/20	篠原あかね	博物館資料の画像利用申請について
第20回	396	12/25	園原 謙	博物館づくりのビジョンー五度目の博物館づくりの理念と新博物館の活動17（2007-2023）年の現状と課題ー
第21回	397	01/22	宮城 修	オーストラリアにおける日本刀の分析調査について
第22回	398	02/05	大湾ゆかり	紙資料の簡易補修方法の紹介
第23回	399	03/04	照屋 杏奈	南城市佐敷小谷にける竹細工産業の最盛期について
第24回	400	03/11	渡真利耕平	画像利用申請と沖縄県立博物館・美術館
第25回	401	03/25	園原 謙 與那嶺一子	博物館における戦後79年を振り返る ー時代の中の「伝統」と「革新」についてー

（與那嶺 一子）

II 展示活動

1 展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展1本、企画展数本、大嶺薫コレクション展及び、新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」と改称して2008年度（平成20）からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では「海と島に生きるー豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的かつ体系的な展示を行っている。

2023年度（令和5年度）は特別展「旧石器時代の人類ー海を越えた最初の人々」の1本と、企画展は「新収蔵品展」、「海を越える人々 琉球と倭寇の物語り」、「大嶺薫コレクション展 琉球歴史探訪～コレクションに秘められた想い～」の3本を開催のほか、ロビー展、常設展示部門展示室（美術工芸、歴史、民俗部門の一部）の展示替えを行った。

2 常設展

【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つ一つが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー（唐：中国）とヤマト（日本）との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と島に生きる―豊かさ、美しさ、平和を求めて―」とした。

常設展のうち、総合展示は、開館以来展示替えを実施してこなかったが、開館10周年を節目に、2017年（平成29）2月に展示の魅力アップを図るため、旧首里城正殿鐘を単品で紹介する展示をはじめ、当館が所蔵する県指定文化財等の梵鐘7口を新たにに加え、展示の充実強化を図る初めての展示リニューアルを行った。また、屋外（駐車場側）に鐘楼を設けて、現存する最古の鐘のひとつである大聖禅寺鐘（実物）を吊り、対外的に博物館の魅力発信につなげた。

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然とくらし」のコーナーには、鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化について情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

○海で結ばれた人々へサークルホールの展示へ

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海に暮らした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる2万2千年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

○貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが築かれるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の3つに収斂し、激しい抗争を繰り広げた。しかし、15世紀はじめ頃に、これらの3つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

○王国の繁栄（古琉球）

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制をつくりあげていった。平成28年度の展示一部リニューアルでは、常設展示に、旧首里城正殿鐘の単体の紹介を中心に、仏教文化と梵鐘や碑文に刻まれた王都の整備、円覚寺の創建、屋外には旧大聖禅寺鐘の展示を行った。

○薩摩の琉球支配と王国（近世琉球）

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球期は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀、蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響をうけ、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』『球陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

○王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国をせまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていた。

○沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年（明治12）に明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した（琉球処分）。琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果、沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年（昭和20）、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

○戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年（昭和47）に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

○沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年（平成12）には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピローグの「沖縄の現代生活」は、開館時から2012年（復帰40年）までに募集した写真作品パネルと、写真のスライドショーで投影される写真ディスプレイで構成される。まさに「現代生活」のドキュメント資料である。

【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の5つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

○自然史部門展示 「生物が語る沖縄2億年」

琉球列島の成り立ちや、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル（沖縄島北部）、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

○考古部門展示 「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

○美術工芸部門展示 「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、1年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

○歴史部門展示 「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々なモノから歴史をひもとく、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

○民俗部門展示 「沖縄の伝統とくらし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

3 常設展 部門展示替え／ミニ企画／エントランスホール展示

【美術工芸部門】

沖縄は、湿潤亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮、日本、東南アジアの中継地点に位置している。かつては琉球王国として独自の文化を育んでいた。美術工芸部門展示室では、展示資料を通して琉球の美を紹介している。

当館が収蔵する美術工芸品を中心にテーマに合わせて選定し、下記のテーマで展示替えを行った。

(1) 第1期展示「アニマル! あつまる!! 美の世界!! Part 2!!」

展示期間: 2023年(令和5) 5月23日(火)～8月13日(日)

趣 旨: 「みんなの進化展」が再び開催されるのに合わせて、琉球・沖縄の美術工芸品の中から、生きものにまつわる作品を紹介した。

展示資料: 孫億筆「花鳥図」/ 伝田名宗経筆「彫刻下図」/ 「楽童子騎馬図」/ 義村朝義筆「鶏と竹図」/ 「猿図」/ 浦添朝憲 和歌「旅亭帰雁」軸/ 鄭徳潤筆 行書龍字賛軸/ 于光甲筆 行書南苑水亭軸/ 鄭元偉筆 扁額「徳高」/ 旧円覚寺戸板窓枠残欠/ 黒漆葡萄栗鼠螺鈿輪花形食籠/ 朱漆鳳凰箔絵櫃/ 朱漆蝶花唐草沈金文庫/ 又吉真栄作 黒漆鶴亀文螺鈿三線 銘: 三線「マテーシ鶴亀」/ 焼締獅子形骨壺/ 呉須線彫魚文皿/ 呉須線彫雲龍文香炉/ 金城次郎作 線彫魚文大皿/ 島袋常明作 黒軸搔落エジプト文嘉瓶/ 搔落窓絵唐草獸文四耳壺/ 木綿紺地緯緋着物/ 鶴亀に松竹梅、菊牡丹模様白地型紙/ 苧麻白地鶴に千鳥貝藻模様衣裳/ 木綿紺地菊に扇模様衣裳/ 木綿黄色地鳳凰牡丹扇面模様裂/ 苧麻白地花籠に牡丹飛燕模様衣裳/ 絹木綿浅地手縞子ども着/ インドネシア・スンバ島の緋裂/ インドネシア・スンバ島の緋(腰巻)

(2) 第2期展示「首里城を救った男たち 伊東忠太と鎌倉芳太郎 ～共同研究開始から100年～」

展示期間: 2023年(令和5) 8月22日(火)～11月19日(日)

趣 旨: 沖縄研究の大家である伊東忠太・鎌倉芳太郎の共同研究が始まって100年を記念し、当館に伝わる両氏旧蔵のコレクションと、両氏の調査記録を基にした最新の研究動向を紹介した。

展示資料: 伊東忠太プロフィール(パネル) / 鎌倉芳太郎プロフィール(パネル) / 首里城取り壊しの差し止め(パネル) / 首里城の保護(パネル) / 首里城



正殿(写真) / 首里城南殿・番所(写真) / 首里城 北殿(写真) / 伊東忠太旧蔵資料について(パネル) / 朱漆巴紋牡丹沈金御供飯(県指定有形文化財) / 朱漆巴紋牡丹沈金御供飯外箱 / 朱漆山水楼閣人物沈金料紙箱 / 宝蔵 / ビルマ カチン族の袋 / 苧麻紺地菊模様紅型風呂敷 / 桐板黄色地経緯緋衣裳 / 鎌倉芳太郎旧蔵資料について(パネル) / 冠船之時御道具図 / 鎌倉芳太郎ノート(1972年複写) / 大島祝女服装図 / 円覚寺大雄殿金剛会図壁面部分摸写 / 円覚寺大雄殿金剛会図壁面(写真) / 拓本「安国山樹華木記碑」 / 紅型型紙 / 淡青釉緑彩象嵌粟文菊花皿 / 朱漆巴紋沈金御供飯(模造復元品) / 朱漆巴紋牡丹沈金御供飯(模造復元工程パネル) / 中城御殿 朱塗御徳盆(写真パネル)

関連催事: ①パネル展示「首里城を救った男、鎌倉芳太郎が見た沖縄ー1972年開催の「50年前の沖縄」ー」

開催日時: 2023年9月12日(火)～10月1日(日)

開催場所: エントランスホール

②展示解説会

担当学芸員: 伊禮拓郎

開催日時: 2023年9月14日(木) 14:00～15:00

③学芸員講座「首里城を救った男たち 伊東忠太と鎌倉芳太郎 ～共同研究開始から100年～」

講 師: 伊禮拓郎

開催日時: 2023年11月11日(土) 14:00～16:00 於 博物館講座室

(3) 第3期展示「神山政良コレクション展」

展示期間: 2023年(令和5) 11月28日(火)～2024年(令和6) 3月24日(日)

趣 旨: 沖縄振興や復帰運動に尽力し、尚家にも所縁のあった神山政良氏(1882ー1978)氏が旧蔵していたおよそ20件の資料を紹介した。

展示資料: 義村朝宣筆 山水図/ 義村朝宣筆 月下樹木図/ 神山政良筆 行書七言絶句軸/ 鄭嘉訓筆 行書七字対軸/ 高人鑑・鄭元偉筆 漢詩扇面軸/ 拓本「題円覚寺」/ 拓本「尚豊王御代」/ 朱漆巴紋蓋付錫製瓶子/ 朱黒漆箔絵夫婦枕/ 朱漆巴紋箔絵足付盆/ 黒漆竹蒔絵提重/ 赤絵鶴亀文急須/ 赤絵緑釉花瓶/ 赤絵急須/ 赤絵急須/ 赤絵火取/ 巴紋入茶碗/ 巴紋入茶碗/ 龍瑞雲青海立波文縹珍衣裳/ 灰色地久米島紬着物/ 木綿水色地松皮菱に菊藤燕遠山流水模様衣裳/ 紅型軸 城間栄喜作/ 菊遠山流水模様白地型紙/ 茶地龍瑞雲立波文様縹珍帯/ 黒地龍文貼付帯

関連催事: ①展示解説会

担当学芸員: 篠原あかね

開催日時: 2023年12月14日(木) 14:00～15:00

(伊禮 拓郎)

【歴史部門展示室】

歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひも解いていく展示を志し、「モノから読む歴史」という大テーマを設定している。また、様々なテーマに沿って年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うなど、柔軟な展示を行う機能を備えている。

歴史部門では、「那覇港～往来する人とモノ～」というテーマの展示を通年で展示しつつ、令和5年度には、2023年に琉球政府特別重要文化財指定から65年、国の重要文化財指定から50年の節目を迎えた「おもろさうし・混効験集・田名家文書」や、2023年6月27日付で新たに重要文化財に指定された「銘苅家文書と琉球国王朱印状」の展示公開、2021年に当館に収蔵された、アメリカより返還された沖縄の文化財を展示した。さらに、2023年1月10日付で朝日新聞西部本社より寄贈された1935年撮影の沖縄の写真パネルを展示した。

以下に、それぞれの概要を紹介する。

(1) 「那覇港～往来する人とモノ～」

展示期間：通年展示

趣 旨：琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17～19世紀を中心に引き上げ、3つのテーマに分けて紹介する。「1 王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と、海上交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを示し、「2 往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介する。「3 那覇のマチ」では、歴史読史地図を手がかりとして、「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島という遊郭地区、女性によるマチ（市場）のようすなど、港をとりまく人々の姿を示す。

展示資料：首里那覇港図屏風／琉球国惣絵図（間切集成図）（真和志間切他）（複製）／「琉球国全図」（琉球列島并三十六島之図）／ほか

(2) 「展示公開 おもろさうし・混効験集・田名家文書」

展示期間：2023年（令和5）6月1日（木）～7月30日（日）

趣 旨：2023年は、琉球王国時代の16～19世紀に作られた「おもろさうし」・「混効験集」・「田名家文書」の琉球政府特別重要文化財指定から65年、国の重要文化財指定から50年の節目の年である。この機会にこれらを一堂に公開して各資料の特徴や文化財保護行政のあゆみを展示した。また「田名家文書」を所蔵する田名家に伝わり、当館に寄託されている古文書や漆器等もあわせて紹介した。

展示資料：尚家本おもろさうし／混効験集（乾坤）／田名家文書（附麻姓家譜）／田名家関連資料（玉城大城由来記／朱漆家紋箔絵食籠・足付盆／黒漆丸盆／朱漆巴紋箔絵櫃） ほか



(3) 「返還された沖縄の文化財」

展示期間：2023年（令和5）8月4日（金）～10月22日（日）

2024年（令和6）3月15日（金）～8月4日（日）

趣 旨：住民を巻き込んで繰り広げられた沖縄戦では、尊い人命や人々の生活等とともに、琉球王国時代から近代にかけてつくられた様々な文化財も失われた。中には戦利品としてアメリカに持ち去られ、戦後沖縄に返還された文化財もあるが、琉球国王の冠や衣装等、所在がわかっていない文化財も数多くある。1986年に活動を開始したNPO法人琉米歴史研究会は、喜舎場静夫理事長を中心に、琉球・沖縄関連の文化財の返還に取り組んでいる。ここでは、同会の活動によって沖縄に返還され、2021年に当館へ収蔵された資料を紹介した。

展示資料：木像「大黒様」／釣鐘（米国フロリダ州より返還）



(4) 「重要文化財指定記念 銘苅家文書と琉球国王朱印状」

展示期間：2023年（令和5）8月4日（金）～9月10日（日）

趣 旨：琉球王国時代の16～19世紀に作成された伊是名島の銘苅家伝来の「銘苅家文書」と、1595年に発給された宮古島伝来の「琉球国王朱印状」が、古文書学及び琉球史研究上の学術的価値が高い資料として令和4年11月18日に国の重要文化財に答申され、令和5年6月27日の官報告示をもって正式に指定された。これを記念して本展では、両資料群を展示公開した。



展示資料：銘苅家文書（万暦十五年琉球国王朱印状、乾隆元年琉球国王朱印状、乾隆六年琉球国王朱印状、諸見御屋敷并御臈所潮平御川の図）／琉球国王朱印状＜大首里大屋子充／万暦二十三年八月廿九日＞

(5) 特集展「沖縄1935」

展示期間：2023年（令和5）11月1日（水）～2024年（令和6）3月10日（日）

趣 旨：1935年（昭和10）、大阪朝日新聞社会部記者の守山義雄氏とカメラマンの藤木護氏が沖縄を訪れて糸満や名護の漁業などを取材し、それが「海洋ニッポン」という連載で同年7月より10回掲載された。その後、取材時に撮影された多くのネガは長い間人目にふれることなく朝日新聞大阪本社本社の倉庫内にあったが、2013年（平成25）新社屋の移転に伴う作業の中で偶然発見された。写真には漁や農作業、市場の様子など戦前の人々の様子がいきいきと映し出されていた。

当館は2023年1月10日に、朝日新聞西部本社より貴重な写真資料137点を寄贈していただき、戦前の沖縄の自然や文化、人々の生活様式、または昭和初期の社会の様子を、Ⅰ期糸満編、Ⅱ期古謝編、Ⅲ期那覇編、Ⅳ期久高島編の4期に分けて紹介した。

展示資料：「沖縄1935」写真パネル／「海洋ニッポン」パネル／漁具／農具／人力車／「沖縄1935」映像 等



（崎原 恭子・宮城 修）

【民俗部門展示室】

民俗分野の「沖縄のすまい」コーナーでは、毎年季節の行事にあわせて仏壇前にお供え物等を展示している。令和5年度も以下のように行った。

趣 旨：沖縄では季節の行事ごとに仏壇などに様々な食べ物を供え、祖先を祀るとともに家族の健康などを願う習わしがある。民俗常設展示室の民家模型にある仏壇にも行事にあわせて供え物や説明パネルを展示した。

展示期間：清明祭／ユッカヌヒー／グングワチグニチ／旧盆／十五夜／冬至／ムーチャー／旧正月 等



清 明 祭



旧盆 昭和初期の供物を再現



ムーチャー 供物と拝みの様子をパネルにて紹介



旧正月 昭和初期の供物を再現するとともに
パネルにて現在の様子を紹介

(大城 沙織)

【常設展示室入口ミニ企画／エントランスホール展】

(1) 身近なカタツムリ展

展示期間：2023年（令和5）5月2日（火）～2024年（令和6）3月31日（日）

展示場所：博物館常設展示室入り口

展示内容：沖縄島で身近に見られる陸産貝類（カタツムリ）を、立体造形作家でカタツムリ愛好家の河野甲氏によるリアルフィギュアと、生体写真を使ったパネルで紹介した。



(菊川 章)

(2) 愛鳥週間ミニ展示『めざせ！鳴き声ハカセ～鳥の鳴き声クイズ～』

展示期間：2023年（令和5）5月8日（火）～5月21日（日）

展示場所：エントランスホール

展示内容：毎年5月10日から16日までの1週間は「愛鳥週間（バードウィーク）」となっており、愛鳥思想の普及を目的に各地で関連行事が開催される。当館においても、この機会をとらえて来館者に公開し、野鳥をととして自然史分野への興味関心を高めてもらうことを目的に毎年ミニ展示を開催している。2023年は、鳥の鳴き声を再生し、当館の鳥類剥製を見て鳴き声の主を当てるクイズ形式の展示とした。



(菊川 章)

(3) 生きものの進化をまねる展

展示期間：2023年（令和5）6月6日（火）～8月6日（日）

展示場所：エントランスホール

展示内容：「みんなの進化展」関連催事として、バイオミメティクス（生物模倣）の例を当館所蔵の生物標本を活用して紹介した。



(菊川 章)

(4) 小さなエイリアン展

展示期間：2023年（令和5）7月7日（火）～8月20日（日）

展示場所：エントランスホール

展示協力：沖縄科学技術大学院大学（OIST）

展示内容：特別展「みんなの進化展」関連催事として、外来アリに焦点を当て、進化や外来種問題について学べる展示とした。



(菊川 章)

(5) キリンの骨格ミニ展示

展示期間：2023年（令和5）8月10日（木）～8月20日（日）

展示場所：エントランスホール

展示協力：沖縄こどもの国、東洋大学 郡司芽久氏

展示内容：8月10日に実施した「キリンの骨を並べてみよう！」ワークショップで並べたキリンの骨を一般に公開する目的で展示した。



（菊川 章）

(6) ロビー展「6月23日と9月7日」

展示期間：2023年（令和5）8月29日（火）～9月10日（日）

趣 旨：県民の4人に1人の命を奪ったとされる悲慘な沖縄戦。78年の歳月を経る中で次第に歴史の証言者である戦争体験者が少なくなり、沖縄戦の風化が課題となっている。沖縄では例年、6月23日の「慰霊の日」を前後に戦争や平和に関する催事が開かれることが多いが、旧越來村森根（現：嘉手納飛行場内）で降伏調印式が行われ、沖縄戦が正式に終了した9月7日にも焦点をあて、戦争の実状を学び平和な社会を希求する機会とした。



展示資料：沖縄戦に関する写真パネル／「慰霊の日」「降伏調印」に関するパネル

（宮城 修）

(7) 「首里城を救った男、鎌倉芳太郎が見た沖縄～1972年開催の「50年前の沖縄」展～」

展示期間：2023年（令和5）9月12日（火）～10月1日（日）

会 場：エントランスホール

展示内容：100年前の1923年、後に沖縄文化研究に大きな足跡を残す伊東忠太と鎌倉芳太郎が琉球・沖縄文化に関する共同研究を始めた。芳太郎は忠太の手足となり度々沖縄に入り、様々な調査を行った。その調査成果の一つに、写真資料がある。ガラス乾板で撮影された膨大な数の写真は、1972年に当館とサントリ美術館（東京）で「50年前の沖縄一写真で見る失われた遺宝」として展示公開された。2022年度に新たに確認された当時の展示風景写真を公開すると同時に、当時展示されていたパネルや特集記事などを展示した。



（伊禮 拓郎）

(8) ロビー展「琉球古刺繍の世界へようこそ」

展示期間：2023年（令和5）9月20日（火）～10月15日（日）

展示場所：エントランスホール

主 催：沖縄県立博物館・美術館 博物館班／琉球古刺繍保存会

趣 旨：15世紀の琉球の染織を知る貴重な作品に神事に関わる衣裳がある。それには花鳥等の模様が刺繍で表されており、その当時の豊かな染織文化の一端を知ることができる。

かつて行われていた刺繍は、琉球王国が終焉した後、長く途絶えてしまい、その工芸技術があったことも忘れられていた。96年前の鎌倉芳太郎（1889 - 1983）の調査を皮切りに、多くの研究者がこの刺繍衣裳を調査してきたが、最近の科学分析調査により15世紀～18世紀にかけてのものだと分かってきた。

平成27年度から令和3年度まで実施した琉球王国文化遺産集積・再興事業では、刺繍技法を復活させ、神女衣裳を模造復元した。それを契機に、琉球に伝えられていた刺繍の継承と普及を進めるため、琉球古刺繍保存会が発足した。

琉球古刺繍についてのロビー企画展を実施、刺繍の存在、技法を周知するとともに、保存会の活動を紹介する。

※保存会では古い神衣裳などにみられる刺繍を「琉球古刺繍」と名付けている。

展示内容：1 琉球古刺繍とは
2 「琉球千鳥繡い」などの繡い方
3 保存会の活動及び作品紹介

（與那嶺 一子）

(9) ロビー展「雄飛ふたたびー沖縄移民の歴史とウチナーンチュの絆ー」

展示期間：2023年（令和5）10月17日（火）～11月12日（日）

趣 旨：明治、大正、昭和と急激に世の中が変わる中で、耕地も狭く産業も乏しかった沖縄からは、多くの人々が海外へ移住した。第二次世界大戦で、沖縄は住民を巻き込んだ戦場となった。戦後、海外の移民たちは、支援物資を送ったり募金活動を行ったり、荒廃した沖縄救済のために立ち上がった。そして、米軍の統治下におかれた琉球政府においても、ふたたび、海外への移民政策がとられた。本展覧会を通して、沖縄移民の歴史や世界に広がるウチナーンチュのネットワーク等について啓蒙する機会とした。



展示資料：戦前・戦後の海外移民の歴史／世界のウチナーンチュ／JICAに関するパネル

（宮城 修）

(10) 第556回 博物館文化講座11/18関連展示 「沖縄の美ら星～豊かな星文化にふれる～」写真パネル展

展示期間：2023年（令和5）11月14日（火）～12月3日（日）

展示場所：エントランスホール階段下

展示協力：宮地竹史氏（美ら星ガイド・アドバイザー、元石垣島天文台所長）

展示内容：沖縄の島々は、日本の最南西端に位置し、他県では見られない南十字星や21個の1等星のすべてが見られ、美しい星空が広がっています。沖縄県立博物館・美術館が位置する那覇市の新都心の夜空では、1等星が形作る星座や金星・木星等の惑星などしか観察できませんが、離島や街明かりの少ない郊外に出れば、美しい夜空が広がります。その中でも沖縄県・八重山諸島に位置する西表石垣国立公園の星空は特別で日本初の「星空保護区」に認定されました。世界で一番の星空と言っても過言ではありません。沖縄ならではの星名もたくさん残っており、また星々には、暮らしと関わる星の民話や物語、伝承があり、古謡にも歌いこまれています。古くから、琉球・沖縄の人々は満点の星空を眺め様々な想いを抱いてきたことでしょう。本写真パネル展は、第556回博物館文化講座「沖縄の美ら星～豊かな星文化にふれる～ 11/18実施」の関連イベントとして開催します。展示写真は講師の「美ら星ガイド・アドバイザー、元石垣島天文台所長 宮地竹史氏」によって石垣島にて撮影されたものです。当写真パネル展と文化講座を通して、沖縄県の美しい星空を見つめ、島々に残る豊かな星の文化にふれていただく機会としていただけたら幸いです。

展示構成：（展示パネル19枚）

（1）はじめに 会期・展示概要・謝辞等（実施要項より）イーゼルに配置（他はパーテーションへ固定）

（2）写真パネル①～⑰

- ①天の川と木星土星
- ②南十字星とばいがぶし
- ③みなみのななつぼしとハート星
- ④冬の六角形（ダイヤモンド）
- ⑤TM7_4319_
- ⑥VERAと冬の星座
- ⑦アケルナル、フォーマルハウト、火星_
- ⑧カノープスと夜間飛行
- ⑨ていんがーら（天の川）とサガリバナ
- ⑩にぬふあぶしの見える栈橋
- ⑪ペガサス座（秋の四辺形）とアンドロメダ星雲
- ⑫やんばるの天の川
- ⑬久米島の天の川
- ⑭冬_おうし座、オリオン、シリウス
- ⑮天文台と天の川と流れ星_
- ⑯満天の星_カヤマ島 梅雨明けの天の川、さそり座、木星、土星
- ⑰惑星直列



（宇佐美 賢・新山 颯大）

(11) 博物館ロビー展「沖縄にカムイサウルスがやってきた！」

展示期間：2024年（令和6）2月20日（火）～12月中旬（予定）

会 場：エントランスホール

開催趣旨：「カムイサウルス・ジャポニクス 骨格レプリカ」が北海道札幌市在住の植田英隆氏より寄贈されたことを記念し、エントランスホールの無料公開エリアでの展示を実施した。カムイサウルス・

ジャポニクス (*Kamuysaurus japonicus*) (以下、カムイサウルス) は、北海道に分布する後期白亜紀の地層(蝦夷層群函淵層、約7,200万年前) から産出した恐竜の化石である。カムイサウルスは、陸上で生活する恐竜であるにもかかわらず、水深約80～200mの海底に堆積した地層から見つかった。そして、全身の約60%もの骨が残されており、「奇跡の恐竜」とも称される。

実施内容：展示の中核として、全長約7.5m、体高約3mのカムイサウルス全身骨格を展示し、発見に至る経緯や研究の道のり、公表されるまでの流れを紹介するパネルを作成・設置した。そして、寄贈者の植田英隆氏が沖縄に対して持つ思い、沖縄戦と北海道の関係について紹介するパネルを設置した。展示の開始に伴い、「カムイサウルス化石レプリカ」寄贈に係る感謝状贈呈式及びオープニングセレモニーを実施した。

展示協力：むかわ地域商社 M Dino、むかわ町穂別博物館、むかわ町、(有) ゴビサポートジャパン、琉球物流(株)



(新山 颯大)

(12) ロビー展「首里城地下 第32軍司令部壕模型展示会」

展示期間：2024年(令和6)2月28日(水)～3月10日(日)

趣 旨：1945年の沖縄戦では約20万人以上の尊い命が犠牲となった。特に、第32軍司令部が首里城下の司令部を放棄して南部撤退した後は、多くの住民を巻き込みながら激しい戦闘が続いた。戦時下における軍の影響力は絶対的で、軍の作戦や方針などにより沖縄県民の運命が左右された。戦争体験者の減少などにより沖縄戦の風化が問題となっているが、住民が避難したガマや軍の陣地壕などの戦争遺跡は沖縄戦の実相を知ることができる。第32軍司令部壕の模型展を通して、戦争の実状を学び平和な社会を希求する機会とした。

展示資料：第32軍司令部壕位置模型(1/500)／第32軍司令部壕全体模型(1/100)／第32軍司令部壕中枢部模型(1/30)／第32軍司令部壕司令官室模型(1/10)※模型製作は「第32軍司令部壕の保存・公開を求める会」の福村俊治氏／第32軍司令部壕に関するパネル／沖縄戦と文化財に関するパネル



(宮城 修)

4 企画展 令和4・5年 大嶺薫コレクション展「琉球歴史探訪～コレクションに秘められた思い～」

会 期：2023年(令和5)1月31日(火)～5月7日(日)

会 場：特別展示室2

観 覧 料：博物館常設展観覧会料金と同じ

観覧者数：8,111名

【概 要】

大嶺薫(1905-1970)は、沖縄における戦後最初の博物館の館長を務めた人物である。戦前から蒐集家として知られ、特に美術工芸に対する造詣が深かったといわれている。1953年(昭和28)に館長を退任したのちも精力的に資料収集に努め、戦前・戦後を通して多くの文化財収集を行った。その意志は大嶺の没後遺族にひきつがれ、1971年(昭和46)、大嶺薫美術館が設立され、沖縄の美術工芸や文化の振興に貢献した。1984年(昭和59)、同美術館の閉館にともない収蔵資料3,000点余のコレクションが当時の沖縄県立博物館へ寄贈された。令和4年度・5年度合同展示では、大嶺のコレクション収集の思想に迫る展示として「琉球歴史探訪～コレクションに秘められた思い～」をテーマに、新発見の「大嶺薫美術館業務日誌」など大嶺の足跡と集められたコレクションについて紹介した。

※令和4年度年報に詳細を記載したため、内容は割愛する。

(伊禮 拓郎)

5 企画展 「新収蔵品展—令和3・4年度収蔵資料」

会 期：2023年（令和5）4月28日（金）～6月4日（日）

会 場：企画展示室、特別展示室1

観 覧 料：一般：500円（400円）高大生：300円（240円）小中学生：無料

※（ ）内は前売料金ならびに20名以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方1名は当日料金の半額

観覧者数：3,323名（33日間）

博物館企画展「新収蔵品展」は、前年度に寄贈・収集・購入・移管・修理された諸資料を一堂に集め、広く一般に公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展を目指して開催するものである。

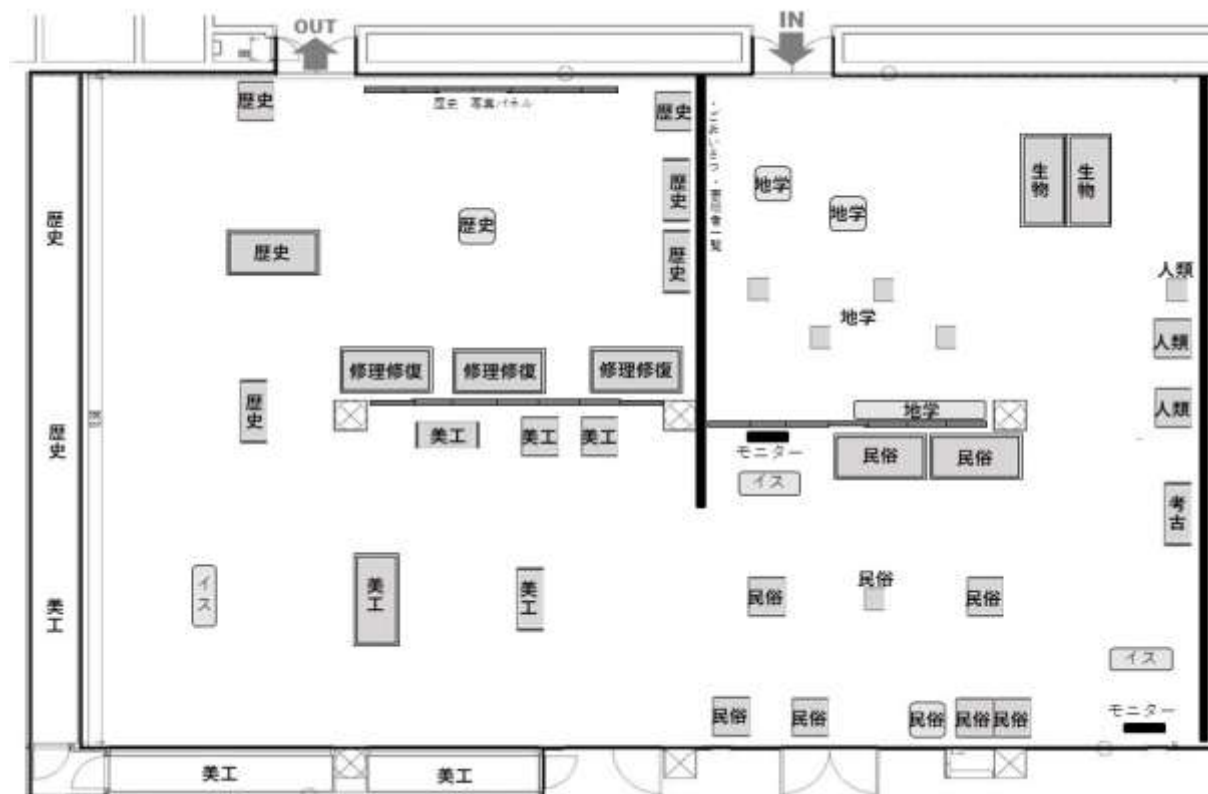
【事業内容】

2022年（令和4）は「新収蔵品展」を実施しなかったため、令和3年度と4年度の2か年分の新収蔵資料をまとめて展示・公開した。開会日の4月28日（金）には感謝状贈呈式・開会式・各分野の学芸員による展示解説会を実施した。

【展示内容】

令和3・4年度は、寄贈・収集・購入・移管により令和3年度98件、令和4年度79件の新資料を収蔵した。地学分野では、2021年の小笠原諸島・福岡ノ場の海底火山に由来する漂着軽石、生物分野では、視覚障害者の方々に触りながら鳥に親んでもらえるよう作製した木彫りのノグチゲラとホントウアカヒゲを出陳した。人類分野では、武芸洞遺跡の石棺墓から出土した人骨を基に作製した武芸洞人1号胸像模型、考古分野では、沖縄県教育委員会が実施した首里城跡正殿地区発掘調査に基づいて作製したジオラマ模型を展示した。美術工芸分野では、現存する三線の胴として最も古い「三線直富主の真壁型附胴胴銘「道乙酉渡慶次作」」を公開した。歴史分野では昭和14年に建設された沖縄武徳殿の開殿式に関する資料を公開した。民俗分野では、コザのディスコのスタッフユニフォームやアイスキャンディー製造器を展示した。

【展示平面図】



【展示風景】



(宮城 修)

6 企画展 「海を越える人々（前期） 琉球と倭寇のもの語り」

会 期：2023年（令和5）9月22日（金）～11月19日（日）

会 場：企画展示室、特別展示室1

観 覧 料：一般：1000円（800円）、大学・高校生：600円（480円）、小中学生：400円（320円）

※（ ）は前売ならびに20名以上の団体料金

※未就学児無料

※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と介助者の方1名は当日料金の半額

観覧者数：5,829名（50日間）

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

後 援：沖縄タイムス社／琉球新報社／沖縄テレビ放送株式会社／琉球放送株式会社／琉球朝日放送株式会社／NHK沖縄放送局／株式会社ラジオ沖縄／FM琉球株式会社（FMレキオ）／株式会社エフエム沖縄／沖縄県立博物館友の会／株式会社宮古新報／株式会社宮古毎日新聞／琉球物流株式会社／沖縄県教育委員会／沖縄考古学会／琉球・沖縄歴史学会／沖縄県立博物館友の会

【開催趣旨】

東アジアの沿海域一帯で14世紀中頃から16世紀にかけて跋扈していた倭寇は海を往来しながら治安を揺るがす無頼集団としてのイメージが強くある。また、その実態については海商や零細な漁労に携わっている人々が武装し、暴力的行為におよんだ姿だともされている。しかし、倭寇は海を越えて人々が交流していたことの一側面として見ることができ、そこから海を通して生きていた当時の人々の姿を映し出しているものと見ることができる。そして、琉球においても倭寇との関係が示唆されているが、それは14世紀後半から15世紀にかけて琉球は東アジア各地と交易を行っていたことにより様々な人々との結びつきがあったことに因るものと思われる。

本展は14世紀後半から16世紀に東アジア世界に現れた倭寇の実態について触れると共に、同時期に東アジア海域をまたにかけて交易を行った琉球の姿を紹介し、東アジア海域で活動した人とその痕跡について主にモノ資料から取り上げていくものである。

【展示構成】

プロローグ

中世における東アジア海域はどのような世界だったのか。その始まりについて琉球列島の動態をから紹介することで、その歴史的な展開を紐解いていく。また、各地域の14世紀から15世紀にかけての動向について触れていく。

第1章 倭寇の姿とその動き

中国大陸沿岸部や朝鮮半島を中心に跋扈していた倭寇とはどのような姿だったのか、そしてどのような性格であったのか。東アジア各地の被害状況やその発生要因について触れていくと共に倭寇の具体像について可能な限りを資料とモノから主に読み解いていく。

第2章 倭寇の活動時期に展開された琉球の交易

倭寇による被害が14世紀後半から多発していく状況と並行して琉球は明朝と朝貢関係を結び、さらに冊封を受けてその関係性を深めていく。明朝による琉球の優遇政策を通して新たな交易システムが東アジア海域において構築されていく状況と琉球列島各地の遺跡から見える交易の実相を軸にして紹介していく。

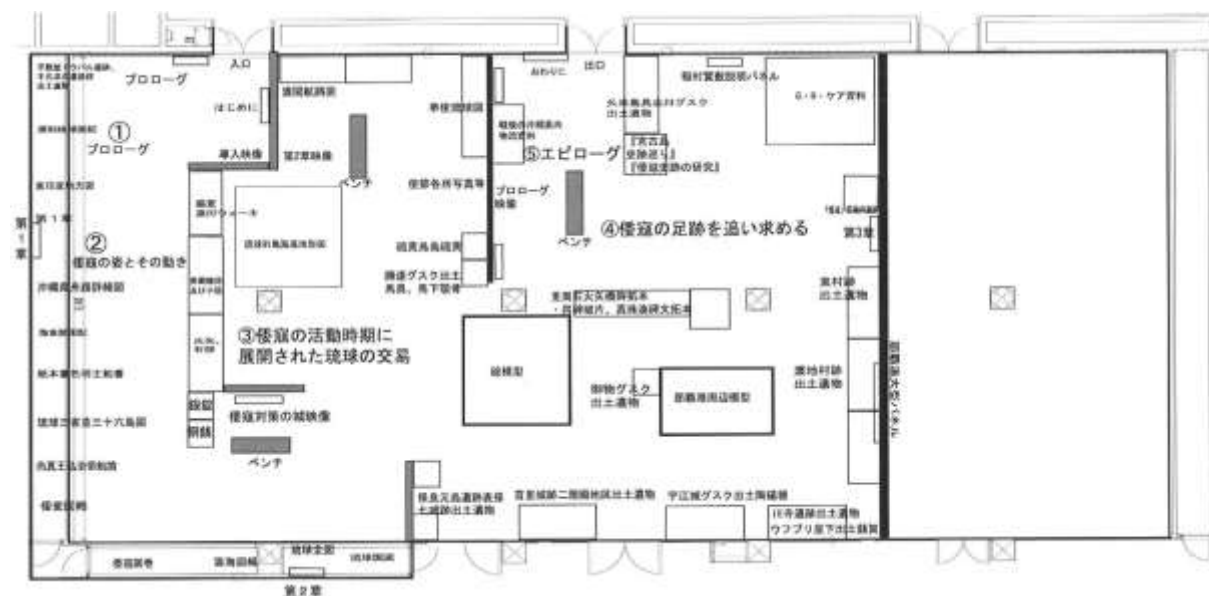
第3章 倭寇の足跡を追い求める。

倭寇が来したのかは断片的にはあるが史料から確認することができるが、その実態については明確に見て取ることはできない。しかし、戦後まもなく遺跡から倭寇の姿を追い求めた研究者が存在したほか、中世における東アジアの動向をモノの流れで捉えていこうとした研究が行われた。また、近年においては水中文化遺産の観点でグスク時代の動向を捉えていこうとする動きも見られるようになっている。ここでは上記の視点から倭寇の実態を捉えていこうとした研究状況について触れていく。

エピローグ

現在、世界が一つに繋がっていくグローバル化が進められていき、人やモノ、更には情報が円滑に移動している社会となってきた。そのような中で沖縄の海運や物流が世界に果たしている役割も少なからず大きい。現代における世界の中の沖縄を海という視点で見た時、歴史上での倭寇の動向と琉球の交易がどのようなものであったのか改めて見ていく。

【展示平面図】



【展示風景】



【関連催事】

- (1) 企画展『琉球と倭寇のもの語り』関連プレイベント 9月学芸員講座「倭寇関連の史跡を読み解く」
日 時：2023年9月2日（土）
講 演 者：山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）
参 加 者：50名
- (2) 企画展『琉球と倭寇のもの語り』関連イベント博物館9月文化講座「倭寇図巻を読む」
日 時：2023年9月30日（土）14:00～16:00
講 演 者：須田牧子（東京大学史料編纂所准教授）
参 加 者：120名
- (3) 企画展『琉球と倭寇のもの語り』関連イベント博物館10月文化講座 シンポジウム「琉球の海、倭寇の海」
日 時：2023年10月8日（土）13:30～16:30
講 演 者：荒木和憲（九州大学文学部准教授）、黒嶋敏（東京大学史料編纂所准教授）、池谷初恵（伊豆の国市教育委員会）、村木二郎（国立歴史民俗博物館准教授）

参 加 者：193名

(4) 令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のもの語り』関連イベント『琉球王国第7代目国王、尚徳の琉球銭「世高通宝」をつくってみよう』

日 時：2023年10月22日（土）10:00～12:00

講 師：山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）

参 加 者：12名

参 加 費：500円

(5) 展示解説会：講師は何れも山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）

①2023年9月22日（金）18:00～19:30

②2023年11月18日（土）18:00～19:30

③2023年11月19日（日）15:00～17:30

（山本 正昭）

7 特別展 「海を越える人々（後期）旧石器時代の人類」

会 期：2023年（令和5）12月12日（金）～2024年（令和6）2月12日（月）

会 場：企画展示室、特別展示室1・2

観 覧 料：一般1,200円（960円）、高校・大学生700円（560円）、小・中学生500円（400円）

※（ ）は前売ならびに20名以上の団体料金

※未就学児無料

※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方と介助者の方1名は当日料金の半額

観覧者数：7,269名（50日間）

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

協 力：株式会社南都（おきなわワールド・ガンガラーの谷）

特別協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

後 援：沖縄県教育委員会／沖縄考古学会／（一社）日本人類学会／日本動物考古学会／沖縄タイムス社／琉球新報社／沖縄テレビ放送／琉球放送／琉球朝日放送／NHK沖縄放送局／ラジオ沖縄／FM琉球（FMレキオ）／沖縄県立博物館友の会

協力・連携：（独）国立科学博物館／東京大学総合研究博物館／東京都立大学／国立民族学博物館／野外国立民族博物館リトルワールド／志摩スペイン村／福井県年縞博物館／（公財）日本モンキーセンター／（特非）日本オランウータン／リサーチセンター／（公財）沖縄こどもの国／（公財）北海道埋蔵文化財センター／花巻市総合文化財センター／地底の森ミュージアム／南城市教育委員会／仙台市教育委員会／Institute of Archaeology, Viet Nam／慶應義塾大学文学部民族学考古学研究室／新潟医療福祉大学自然人類学研究所／沖縄県立向陽高等学校

【開催趣旨】

沖縄県立博物館・美術館では、開館以来、旧石器時代の人類の暮らしぶりの解明を目指し、フィールドワークに基づく調査研究を沖縄島南部において継続している。とりわけ南城市サキタリ洞遺跡における約2.3万年前の世界最古の貝製釣針の発見や島嶼域へのユニークな適応の解明といった成果は、国際的にも注目を集めている。さらに近年の調査によって、新知見も続々と加わっている。こうした最新の調査成果を受け、本展では、最初に海を越えて琉球弧へ到達した旧石器時代の人類の豊かな実像を紹介する。

さらに、他地域にも視野を広げ、700 万年以上の人類史の中で最も長い期間を占める旧石器時代に、私たちの身体的・文化的基盤が形成されたことを様々な展示物によって紹介する。

また、小さな子供でも参加できるイベントを含む様々な関連催事を通じて、旧石器時代や先史人類学を楽しみ、身近に感じられる機会を提供する。

【展示構成】

ロビー展示 3万年前の航海を再現するために制作された丸木舟「スギメ」

沖縄へ最初に海を越えてやってきた人々がどのような航海技術を備えていたのかを実験的に検討した「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」を紹介し、プロジェクトで製作使用された丸木舟「スギメ」を展示する。

〔主な展示物〕丸木舟「スギメ」／櫂／丸木舟製作に使用された石斧／パネル



第1章 イントロ：人類の進化

類人猿、猿人、原人、旧人、新人の剥製および全身復元模型を間近で見比べられるように並べ、直立二足歩行、道具の使用、脳の増大といった人類進化のキーポイントを視覚的に理解できるように紹介する。

〔主な展示物〕 類人猿／猿人／原人／旧人／新人の剥製および全身復元模型



第2章 旧石器時代の環境（氷河期の環境）

人類進化の舞台である旧石器時代は乾燥、寒冷な氷河期だった。さまざまな痕跡から復元される過去の環境について紹介する。

〔主な展示物〕 水月湖の年縞堆積物／富沢遺跡の埋没林／ケナガマンモス全身骨格模型



第3章 旧石器時代人の暮らし（文化的適応と世界中への大拡散）

旧石器時代人はどのような道具立てでどのような暮らしぶりだったのか。氷期を乗り越えるためにはそれまでの身体的な適応ではなくむしろ文化的な適応が重要だった。ここでは、寒冷地や海域といった世界中の多様な環境にまで進出できた背景となる事象を紹介する。

〔主な展示物〕 石器・骨角器／動物化石／顔料／民具／拡散ルートと到達時期を表すパネル



第4章 旧石器時代人のこころ（芸術と墓）

旧石器時代人のこころを垣間見るために彼らの芸術や墓を紹介する。旧石器時代の芸術はヨーロッパで見つかる洞窟壁画に代表されるが、近年ではアジアでも見つかるようになり、ビーズなど地域を問わず共通する要素も明らかとなってきた。

〔主な展示物〕 アルタミラ洞窟壁画のレプリカ／ヴィーナス像・動物像のレプリカ



第5章 海を越えた最初の人々

海を越えて琉球列島へ最初にやってきた旧石器時代人について近年の調査研究によって明らかとなった最新の成果を紹介する。

〔主な展示物〕 【初公開】サキタリ洞遺跡から出土した1万年前より古い埋葬人骨（全身）／港川人3・4号／サキタリ洞遺跡から出土した旧石器時代の遺物（貝器・食糧残滓）



第6章 アウトロ：彼らは私たちのなかにいる

旧石器時代に獲得された身体的な特徴や文化的な基盤は現代人の中かなりの割合で受け継がれている。ここでは、私たちとはかけ離れた存在と思いがちである遠い過去に生きた旧石器時代的人类が色濃い残像として現代人に引き継がれていることをパネル展示によって紹介する。

〔主な展示物〕 古代DNA研究による過去の混血に関するパネルなど



3F ホワイエパネル展示 旧石器時代人を探る現代人

旧石器時代研究にさまざまなアプローチをとる研究者たちを紹介する。

〔主な展示物〕 旧石器時代を探究する研究者とその研究テーマを紹介するパネル



【展示平面図】



(澤浦 亮平)

8 出張展示

(1) 慶良間諸島国立公園10周年記念ミニ企画展 海を越える人々（前期） 琉球と倭寇のものの語り

会 期：2024年2月16日（金）～3月24日（日）

会 場：さんごゆんたく館展示室

観 覧 料：無料

共 催：環境省慶良間自然保護官事務所

開催趣旨：古来より海との関わりを持ちながら慶良間諸島の人々は生活し、海を介して様々な人やモノが慶良間諸島の島々を経由して往来してきた。その歴史は、まさに慶良間諸島に暮らしている人々の歴史を示している。そのような中でとくに島々の往来する歴史的な出来事として琉球と中国大陆とを結ぶ、朝貢貿易がある。約600年前からはじまった琉球と中国大陆の交流してきた歴史の中で、慶良間諸島はその2つの地域を結ぶ重要な役割を果たしてきた。また、この時期には多くの民間人が琉中を往来し、慶良間諸島は両地域の文化が交差した島々でもあった。

令和6年は慶良間諸島が国立公園に指定されて10周年という節目を迎えるにあたって、海を越えた人々にとって慶良間諸島という島々が果たしてきた役割、そして琉球の大交易時代における東シナ海の歴史的な背景を読み解くことにより、慶良間諸島の魅力を明らかにしていく。

展示構成：※令和6年度博物館企画展『海を越える人々（前期） 琉球と倭寇のものの語り』と同じ



関連催事：

①令和5年度博物館企画展関連学芸員講座「14世紀から15世紀の東アジアを往来する人々ー令和5年度博物館企画展『琉球と倭寇のものの語り』を通してー」

日 時：2024年3月22日 15:00～17:00

場 所：阿嘉離島振興総合センター

講 師：山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）

参 加 者：8名

②令和5年度博物館企画展関連現地解説会『慶良間諸島の自然と歴史を海上から見てみよう』

日 時：2024年3月23日 10:00～12:00

場 所：阿嘉島周辺海域
 講 師：宇佐美賢（沖縄県立博物館・美術館 博物館班長）、山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）
 参 加 者：15名
 参 加 費：50円
 ③令和5年度博物館企画展関連シンポジウム「慶良間諸島の魅力を再発見する」
 日 時：2024年3月23日 15:00～17:00
 場 所：阿嘉離島振興総合センター
 パネリスト：宇佐美賢（沖縄県立博物館・美術館 博物館班長）、山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）、谷口洋基（座間味村観光協会）、小林茂雄（渡嘉敷村観光協会）、服部恭也（環境省慶良間自然保護官事務所 上席国立公園管理官）
 参 加 者：10名

(山本 正昭)

Ⅲ 教育普及活動

1 博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業、博物館が企画運営する文化講座、学芸員講座、体験学習教室、ボランティア養成等、大きく2つの事業に分け推進してきた。

運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が立案し事業の実施を指定管理者が行うことになっている。博物館が行う各種事業の中でも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた。

○県内学校団体の博物館来館目的（教科内容・自由学習など） ※重複あり

項 目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学	合計
下見(学習プログラム作成打合せ)	16	0	0	0	0	16
民具体験(小学校3年社会科)	17	0	0	0	0	17
教科(社会科、理科など)	34	1	18	6	0	59
領域(道徳、特活、総学の時間)	14	0	1	2	0	17
民俗ガイド(小規模校対応)	6	0	0	0	0	6
総合展示部門解説ガイド	0	0	0	1	0	1
修学旅行など	19	0	1	1	0	21
博物館活用学習(自由見学)	2	0	1	1	4	8
その他	8	2	1	2	0	13
合 計	116	3	22	13	4	158

(平川 信幸)

2 学校連携事業

学校連携事業は、各学校の計画による団体観覧の支援で、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援をおこなっている。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮して、学校と博物館が連携して博物館を利用する際の、学習プログラムを作成した。

また今年度の学校連携事業は、民具体験、出前授業、来館学習などの学習プログラムの充実を図るほか、離島地域における出前授業を推進した。

(1) 学校団体受入れ

9月頃から3月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために小学3年生が数多く来館する。この民具体験学習（民具体験学習プログラム・1、ボランティアサポートあり）では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることが出来る。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が続く現状において、民具体験学習等で不特定多数の児童が民具に触れることができなくなったため、学習活動の一部変更を行い、通常は博物館ボランティアサポートの下行う民具体験学習を、博物館の職員及び指定管理者で民具解説・実演を実施した。

また、教師主導による授業活用（民具体験学習プログラム・2）では、展示解説マニュアルを活用して、博物館常設展示室における展示資料、民具体験学習における授業の指導作成・進行についての指導等を事前に各学校個別に行い、教職員の授業における博物館活用を支援する取り組みを推進した。

今年度、9校が職員による民具実演・解説を活用した民具体験学習プログラム・1を行った。また、教師主導による授業活用（民具体験学習プログラム・2）は11校が実施することができた。

(2) 出前授業等

博物館のもつ資源（もの情報、人）を、出前授業等を通じて学校教育の場で有効に活用することを目標として、各種学校・施設・関係機関を対象に学芸員による出前授業プログラムを実施している。離島地域の出前授業において、博物館の活動を知らなければ、有効に利用することができないと考え、今年度は、離島地域における出前授業の周知強化に取り組んだ。年度初めに「出前授業等」実施要項を各種学校・施設・関係機関へ配布、周知を強化する他、離島地域においては個別に広報をおこなった結果、小学校6校、中学校2校、高等学校2校（3回）、特別支援学校1校（2回）、その他団体4、合計11校、4団体で出前授業等を実施することができた。

(3) 来館学習プログラム

本取組については教育課程の一環として、博物館を学校側が利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設、職員、博物館学芸員の支援体制を考慮し館内で行う来館学習プログラム等を実施した。今年度は多様な来館学習の要望があったため、その他団体等についても考慮し、今年度の来館学習プログラムは、10団体、182名受け入れすることができた。

（平川 信幸）

3 博物館体験学習教室

体験学習教室は沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野（自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗）の展示と関連する体験を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。

体験学習教室実施一覧

実施日	題	講師名	内 容	参加者
第1回講座 7月23日(日)	第1回 ウチナー民話上映会	沖縄県立南部農林高等学校生活デザイン科	デジタルミュージアム推進事業	29
第2回講座 8月10日(木)	キリンの骨を並べてみよう！	郡司 芽久 (東洋大学助教)	「みんなの進化展」関連イベント	18
第3回講座 10月28日(土)	第2回 ウチナー民話上映会	沖縄県立南部農林高等学校生活デザイン科	デジタルミュージアム推進事業	39
第4回講座 12月23日(土)	お菓子を作りながら旧石器時代を学んで食べよう！	下島 綾美 (おかし作り考古学者)	「旧石器時代の人類」展関連催事	8
第5回講座 1月7日(日)	体験実食学習 サキタリ洞の味！！	澤浦 亮平 (人類担当学芸員)	「旧石器時代の人類」展関連催事	9

（平川 信幸）

4 博物館文化講座

文化講座では、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野について分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年から始まった事業である。講演、展示解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。

文化講座開催一覧

回数	期 日	演 題	講師名	定員	参加者
549	4月15日（土）	沖縄における全基地撤去後の経済を考える	友知 政樹	200	48
550	5月20日（土）	フィールドツアー 伊江島の貝塚と遺跡をめぐる旅	玉榮 飛道	20	21
551	6月17日（土）	ある首里士族の400年 ～田名家の人物と伝来資料群～	高良 倉吉 田名 真之	200	160
552	7月15日（土）	琉球の染織に見る、周辺地域との交遊—その模様・技法・素材から探る	小山 弓弦葉	200	70
553	8月19日（土）	ダーウィンの夏休み	鈴木 紀之	200	40
554	9月30日（土）	倭寇図巻を読む	須田 牧子	200	120
555	10月8日（日）	令和5年度博物館企画展開催記念 シンポジウム「琉球の海 倭寇の海」	荒木 和憲 黒嶋 敏 池谷 初恵 村木 二郎	200	193
556	11月18日（土）	沖縄の美ら星～豊かな星文化にふれる～	宮地 竹史	200	152
557	12月16日（土）	「旧石器時代の人類」展 文化講座1「骨学セミナー沖縄版」	澤田 純明 佐藤 孝雄 奈良 貴史	200	150
558	1月20日（土）	博物館文化講座 シンポジウム「新しい」港川人の時代	海部 陽介 藤田 祐樹 水野 文月	200	182
559	2月17日（土）	国宝に指定された尚家継承資料	外間 政明	200	100
560	3月16日（土）	キジムナーについて考える	赤嶺 政信	200	103

（平川 信幸）

5 学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。

学芸員講座開催一覧

回	開催日	演 題	講師名	定員	参加者
1	5月13日（土）	国際博物館の日2023記念事業 ネアンデルタールとクロマニヨン	山崎 真治	80	58
2	6月10日（土）	琉球の染め・織り・繡い	篠原あかね	80	61
3	7月8日（土）	展示公開 おもろさうし・混効験集・田名家文書の紹介	崎原 恭子	80	31
4	8月12日（土）	みんなの進化論入門～ 進化の舞台 琉球列島	菊川 章	80	33
5	9月2日（土）	倭寇関連の史跡を読み解く—企画展「琉球と倭寇のもの語り」開催に向けて—	山本 正昭	80	80
6	9月9日（土）	ものから読み解く沖縄の歴史—美術工芸的博物館案内—	平川 信幸	80	79
7	10月14日（土）	ジオツアー 沖縄の地層とゆんたくしようよ！ —陸に残る泥の海とサンゴの海の跡—	新山 颯大 宇佐美 賢	20	11
8	11月11日（土）	首里城を救った男たち伊東忠太と鎌倉芳太郎—共同研究開始から100年—	伊禮 拓郎	80	96
9	12月9日（土）	沖縄の生活における水と信仰	大城 沙織	80	93
10	1月13日（土）	沖縄の石ころと島人の生活 ～島々の地形・地質から考える～	宇佐美 賢	80	90
11	2月10日（土）	「旧石器時代の人類」展をもっと楽しむ	澤浦 亮平	80	73
12	3月9日（土）	戦後沖縄の教育をふり返る 1945-1972	宮城 修	80	60

（平川 信幸）

6 学芸員による常設展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介している。参加者の内訳は、初めて参加するお客様のみならず年間パスポートや友の会会員、個人のリピーターの参加が定着している。各学芸員が1回ずつ担当した。

学芸員による常設展示解説会開催一覧

	日 程	分 野	講師名	定 員	参加者数（名）
1	4月13日（木）	人 類	澤浦 亮平	15	15
2	5月11日（木）	教育普及	平川 信幸		15
3	6月8日（木）	人 類	山崎 真治		15
4	7月13日（木）	歴 史	崎原 恭子		15
5	8月10日（木）	生 物	菊川 章		13
6	9月14日（木）	美術工芸	伊禮 拓郎		12
7	10月12日（木）	考 古	山本 正昭		11
8	11月9日（木）	地 質	新山 颯大		12
9	12月14日（木）	美術工芸	篠原 あかね		9
10	1月11日（木）	民 俗	大城 沙織		14
11	2月8日（木）	地 学	宇佐美 賢		14
12	3月14日（木）	歴 史	宮城 修		15
合 計					160

(石田 沙紀)

7 学芸員によるバックヤードツアー

バックヤードツアーは、専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務め、建物の構造やIPM (Integrated Pest Management : 総合的有害生物管理) の取り組み、資料の修復について解説するなど、来館者に博物館の役割や使命を理解し、博物館についてより知ってもらう機会とした。

学芸員によるバックヤードツアー開催一覧

	日 程	分 野	講師名	定 員	参加者数（名）
1	4月22日（土）	人 類	澤浦 亮平	10	12
2	5月27日（土）	人 類	山崎 真治		5
3	6月24日（土）	教育普及	平川 信幸		7
4	7月22日（土）	生 物	菊川 章		12
5	8月26日（土）	美術工芸	篠原 あかね		11
6	9月23日（土）	民 俗	大城 沙織		8
7	10月28日（土）	美術工芸	伊禮 拓郎		9
8	11月25日（土）	歴 史	宮城 修		10
9	12月23日（土）	地 学	宇佐美 賢		10
10	1月27日（土）	歴 史	崎原 恭子		10
11	2月24日（土）	教育普及	平川 信幸		9
12	3月23日（土）	地 質	新山 颯大		11
合 計					114

(石田 沙紀)

8 夏休み！こどもフェスタ 2023

学芸員が、夏季休暇中の児童生徒を対象に、沖縄の自然、歴史、文化に関する自由研究や調査研究等について、可能な限り博物館の情報を提供し、郷土への興味・関心を高めるために「夏休み！こどもフェスタ2023」を開催した。この「夏休み！こどもフェスタ」は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。

夏休み！こどもフェスタ 博物館学芸員教室開催一覧

期日・教室内容・講師		参加者
【7月26日（水）】		
①『カタツムリの不思議にせまってみよう』	菊川 章【自然史】	11名
②『貝のアクセサリづくり』	山崎真治【人類】	8名
③『みんなの進化展「プレミアム解説会」』 part 1	菊川 章【自然史】	9名
④『動物の歯の石膏レプリカを作ろう』	澤浦 亮平【人類】	8名
【7月27日（木）】		
⑤『那覇泉崎ゆっくりウォーク』	宮城 修【歴史】	3名
⑥『みんなの進化展「プレミアム解説会」』 part 2	菊川 章【自然史】	11名
⑦『ズームイン！砂粒のミクロの世界を見てみよう』	新山楓大【地質】	6名
【7月28日（金）】		
⑧『クバオーグを作ってみよう！』	大城 沙織【民俗】	9名
⑨『みんなの進化展「プレミアム解説会」』 part 3	菊川 章【自然史】	9名
⑩『香りを聞こう！香り袋と聞香体験』	伊禮 拓郎【美術工芸】	16名

(平川 信幸)

9 博物館ボランティア活動

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入しており、主に館内催事・学校連携事業全般における来館者サービスをサポートする人員として、また当施設のふれあい体験室での来館者サービスをサポートする人員として活動している。現在の総勢47名（休止を除く継続活動申請者）の博物館ボランティアが登録している。また、資料整理ボランティアは35名が登録している。令和5年度は、ガイドボランティア養成講座を行い、2名の博物館ボランティアが登録した。

(平川 信幸)

10 ふれあい体験室

(1) ふれあい体験室の位置づけと目的

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている「おきなわ」との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せ持っている。さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

(2) 体験キットの位置づけ

展示物（体験キット）は、沖縄の「自然のしくみ」と「先人の知恵」に触れる・見る・聞くなどの五感で体感できる操作や組立てなどの遊びを通じて、展示資料を深く学ぶことができる。体験キットは、教育普及資料として位置づけられるもので、沖縄の自然、考古、歴史、美術工芸及び民俗などの内容に基づき、すべてが触れることのできるものとする。

体験キットは、来館者が資料に触れあうことで目的が達成するものとして準備されている。来館者が自主的に触れることができるようにするために、職員や親子、一般の方々といった様々な人が参加する雰囲気作りを心がけていく。ふれあい体験室では、能動的に“沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」”を発見・再発見することができる展示を行う。

(3) ふれあい体験室・体験キットの対象者

基本的に小学校中学年（3年生以上）を対象とする。しかし、テーマに沿った展示手法の工夫により、幼児

から就学年齢の子ども、または大人にとっても楽しめる空間創りを目指す。

（４）体験キットの分類

ふれあい体験室は、自由に体験キットを利用することを基本としている。しかし、体験キットによっては安全性や耐久性の面で使用時の注意や制限がかかるものもある。ふれあい体験室では、体験キットを分類し、配置されているゾーンによって、使用制限のランクを分けている。

（５）利用者状況

昨年度の11月から2年4カ月ぶりに再開し、少しずつ日常を取り戻しつつある。今年の5月に新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類に移行したことを受け、当体験室も感染対策の緩和を行った。消毒のための休室時間の確保や着衣体験の休止などの対応策は継続しているものの、団体客の受け入れやボランティアの活動再開など、それ以外の運営においてはほぼコロナ前と変わらないサービスを提供している。

今年度の夏は「みんなの進化展」や「MINIATURE LIFE展2」などが企画され、夏期中の混雑を想定してスタッフ2名体制で運営にあたり、来場者と展示物の安全管理を徹底した。今年度は65,660名（1日平均220名）が来場した。

11 常設展に関する取り組み

（１）博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、2011年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を継続して常設展入口のラックに設置した。2023年度は、約17,600枚（日本語版15,000枚、英語版2,600枚）を配布した。

（２）「沖縄2億年の歴史を1時間で旅するシート」

沖縄の歴史を短時間で伝えることを目的とした本シートは、約6,000枚配布した。観光客や県内のお客様、さらには修学旅行生にも好評だった。

（３）博物館常設展示室ワークシート

常設展示室内で学芸員が見てほしい資料を紹介するために、2019年度から設置しているワークシートは、2023年度も継続して常設展示室やイベント等で配布し多くの来館者が体験した。2024年度は、既存のワークシートを見直し、さらに見やすくわかりやすいシートに整える。

実施期間：2023年4月1日（金）～2024年3月31日（金）

場 所：博物館常設展示室

配 布 数：10,000枚（各1,000枚程度）

- 内 容：①「12匹のアタク（オキナワキノボリトカゲ）をさがせ！」（生物1）
②「日本で唯一 飛べない鳥ヤンバルクイナのひみつ」（生物2）
③「港川人を解析せよ」（人類1）
④「よく見てサークルホールの化石」（地学1）
⑤「石と友達になろう」（地学2）
⑥「沖縄の魔除けをさがせ！」（民俗1）
⑦「道具を探せ」（考古1）
⑧「三線のひみつ」（美術工芸1）
⑨「銅鐘DOUSHOコレクション」（歴史1）

（４）博物館・美術館連携事業「博物館・美術館で平和を考えるイベント」

①慰霊の日関連催事（博美連携催事）

2017年より、博物館・美術館連携事業として実施している慰霊の日関連催事。今年度は、博物館のパネル展と、エントランスにTVモニターを設置し、平和関連の絵本の読み聞かせ映像の上映、また沖縄県立図書館協力のもと、戦争関連の書籍紹介も行った。さらに、6月17日（土）には、美術館ボランティアの普久原律子氏、安次嶺恵子氏による、絵本の読み聞かせを行った。

展示期間：6月6日（火）～6月25日（日）、8月29日（火）～9月10日（日）

読み聞かせ：6月17日（土）14:00～15:00

読み手：普久原律子、安次嶺恵子（美術館ボランティア）

12 普及資料の活用

令和5年度教育普及資料の活用について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部使用方法の制限を設け貸出を行った。また、教育普及資料である体験キット・けんぱくキットにおいて、貸出可能なリーフレットを各学校へ配布した。

令和5年度の貸出団体は7件であった。

教育普及資料貸出一覧（令和5年度）

	利用者	資料名	利用目的	貸出期間
1	沖縄県立大平特別支援学校	けんぱくキット「むかしむん」	歴史	5/19～5/22
2	沖縄県立那覇みらい支援学校	けんぱくキット「むかしむん」 けんぱくキット「ちむドンドン」	社会科	12/6～12/12
3	沖縄県工芸振興センター	ふれあい体験室 着物6領	講演会	1/17～2/6
4	那覇市立松島小学校	けんぱくキット「むかしむん」	社会科	2/1～2/5
5	ガジマル保育園	「豆腐作りキット」	ゆし豆腐作り	2/6～2/13
6	那覇市立真嘉比小学校	けんぱくキット「むかしむん」	社会科	2/16～2/22
7	那覇市立高良小学校	けんぱくキット「むかしむん」	社会科	2/27～3/4

(平川 信幸)

13 ボランティア及び、指定管理者による展示ガイド

博物館ボランティアの活動の一つに展示解説ガイドがある。これは、来館者へのサービス向上の一環として、博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」でボランティアがわかりやすく解説することを目指している。まず、民俗部門解説展示ガイドでは、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）において教育普及担当とボランティアが調整しガイドを実施した。今年度は、合計6校52名を受け入れた。また、「総合展示部門」のガイドは、新型コロナウイルス感染拡大防止のためA・Bコースは引き続き活動休止となり、指定管理者のスタッフによるCコースを創設。ジンプンボックスによる活動は12月～1月にテスト運用を行い、3月から本格的に再開した。

（1）民俗部門解説ガイド

	利用区分	地域	日付	団体名	対象	人数	ボランティア数
1	授業	沖縄県	6月2日（金）	海星小学校	生徒	14	2
2	修学旅行	沖縄県	6月16日（金）	オキナワインターナショナルスクール	生徒	16	4
3	授業	沖縄県	10月20日（金）	渡嘉敷村立阿波連小学校	生徒	4	2
4	修学旅行	沖縄県	11月9日（木）	北大東村立北大東小学校	生徒	6	2
5	修学旅行	沖縄県	11月17日（金）	南大東村立南大東小学校	生徒	13	4
6	修学旅行	沖縄県	1月18日（木）	国頭村奥間小学校	生徒	13	4
合 計						66	18

（2）指定管理者による10分ガイド

新型コロナウイルス感染拡大防止のため総合展示部門解説ガイドが休止していたこともあり、新たにCコースを創設し、指定管理者のスタッフによる「沖縄の歴史を知る10分ガイド」を27団体1,460名に実施した。総合展示部門のガイドの活動が再開した暁には、ボランティアが実施できるよう整える予定である。

	利用区分	地域	日付	団体名	対象	人数
1	一般旅行	北海道	4月1日（土）	阪急交通社	一般	56
2	一般旅行	北海道	4月5日（水）	阪急交通社	一般	31
3	一般旅行	北海道	4月7日（金）	阪急交通社	一般	55
4	一般旅行	北海道	4月12日（水）	阪急交通社	一般	91
5	一般旅行	北海道	4月13日（木）	阪急交通社	一般	27

	利用区分	地域	日付	団体名	対象	人数
6	一般旅行	北海道	4月19日（水）	阪急交通社	一般	30
7	一般旅行	北海道	4月20日（木）	阪急交通社	一般	30
8	一般旅行	北海道	4月22日（土）	阪急交通社	一般	29
9	一般旅行	北海道	5月13日（土）	阪急交通社	一般	58
10	一般旅行	北海道	5月26日（金）	阪急交通社	一般	30
11	一般旅行	北海道	5月30日（火）	阪急交通社	一般	20
12	一般旅行	北海道	6月8日（木）	阪急交通社	一般	32
13	一般旅行	北海道	6月20日（火）	阪急交通社	一般	31
14	一般旅行	北海道	7月12日（水）	阪急交通社	一般	28
15	修学旅行	東京	9月17日（日）	東京家政大学付属女子中学校	学生	76
16	学校授業	沖縄	10月31日（火）	昭和薬科大学付属高等学校	学生	201
17	研修旅行	東京	11月10日（金）	能美防災株式会社	一般	16
18	修学旅行	島根	11月16日（木）	邑南町立瑞穂中学校	学生	35
19	一般旅行	愛知	11月19日（日）	三日月会	一般	13
20	研修旅行	沖縄	11月25日（土）	総合包装株式会社	一般	42
21	修学旅行	兵庫	11月28日（火）	尼崎市立尼崎高等学校	学生	84
22	修学旅行	兵庫	11月29日（水）	尼崎市立尼崎高等学校	学生	127
23	修学旅行	兵庫	11月29日（水）	尼崎市立尼崎高等学校	学生	128
24	学校授業	沖縄	1月31日（水）	沖縄県立水産高校	学生	18
25	一般旅行	海外	3月13日（水）	東華商事株式会社	一般	60
26	学校授業	沖縄	3月19日（火）	浦添商業高校	学生	60
27	一般旅行	神奈川	3月28日（木）	飛鳥クルーズ	一般	52
合 計						1,460

Ⅳ 資料の収集・保存管理

1 収蔵資料現在高

分 類		購 入	寄 贈	収 集	移 管	分担管理	小 計	総 計
自然史	地 学	683	27,945	3,086	1	0	31,715	58,935
	動 物	1,544	18,852	523	141	0	21,060	
	植 物	41	6,116	0	0	0	6,157	
	菌 類	3	0	0	0	0	3	
人 類 資 料		93	30	7	0	2	132	132
美術工芸	絵 画	104	592	2	4	0	702	11,116
	書 跡	181	504	49	6	0	740	
	彫 刻	13	115	136	7	0	271	
	陶磁器	642	3,546	466	538	0	5,192	
	漆 器	240	384	195	19	0	838	
	染 織	1,357	1,828	51	28	0	3,264	
	その他	15	94	0	0	0	109	
歴 史 資 料		2,936	10,837	700	491	0	14,964	14,964
考 古 資 料		304	6,652	2,820	1	0	9,777	9,777
民 俗 資 料		614	6,124	1,072	178	0	7,988	7,988
総 計		8,770	83,619	9,107	1,414	2	102,912	102,912

※2016（H28）年度実績に集計漏れがあったため、数値を修正しました（自然史の動物資料が41件増えました）。

2 2023年度（令和5）新収蔵資料高

分 類		購 入	寄 贈	収 集	移 管	小 計	総 計
自然史	地 学	0	9	0	0	9	1,564
	動 物	2	0	0	0	2	
	植 物	0	1,553	0	0	1,553	
	菌 類	0	0	0	0	0	
人 類 資 料		0	0	1	0	1	1
美術工芸	絵 画	0	3	0	0	3	92
	書 跡	1	5	0	0	6	
	彫 刻	0	0	0	0	0	
	陶磁器	3	10	0	0	13	
	漆 器	0	14	0	0	14	
	染 織	53	1	0	1	55	
	その他	0	1	0	0	1	
歴 史 資 料		2	253	7	21	283	283
考 古 資 料		5	1	0	0	6	6
民 俗 資 料		16	21	0	0	37	37
総 計		82	1,871	8	22	1,983	1,983

3 2023年度（令和5）新収蔵資料目録

【購 入】

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	
自然史	生物	ソデグロゾル本剥製	1	委託製作：東京内田科学社	埼玉県
		ソデグロゾル交連骨格標本	1	委託製作：東京内田科学社	埼玉県
考 古		高麗系瓦	4	古美術観宝堂	那覇市
		瓦質土器	1	古美術観宝堂	那覇市
美術 工芸	陶磁器	色絵椿梅文茶家	1	古美術観宝堂	那覇市
		鉄釉灰釉流掛水指	1	古美術観宝堂	那覇市
		湧田茶碗	1	古美術観宝堂	那覇市
		鎌倉芳太郎収集久米島紬裂	28	古美術観宝堂	那覇市
		黄色地鳳凰牡丹模様紅型衣裳 藤村玲子作	1	個人	那覇市
		首里の織物関係資料 大城志津子作	22	個人	那覇市
		風炉先屏風（藍地花倉織）・（藍地綾中） 大城志津子作	2	個人	那覇市
	書跡	行書七言絶句軸「長安春晚」（全魁筆）	1	榕樹書林	宜野湾市
歴 史		『琉球新報』（昭和4年1月26日）	1	（有）榕樹書林 取締役社長 武石和実	宜野湾市
		『琉球新報』（昭和4年5月29日）	1	（有）榕樹書林 取締役社長 武石和実	宜野湾市
民 俗		沖縄そば（サンプル）	1	食品サンプル 山月	那覇市
		タコライス（サンプル）	1	食品サンプル 山月	那覇市
		島バナナ（サンプル）	2	食品サンプル 山月	那覇市
		赤飯（サンプル）	1	食品サンプル 山月	那覇市
		ポーク卵おにぎり（サンプル）	1	食品サンプル 山月	那覇市
		ムーチー（サンプル）	1	食品サンプル 山月	那覇市
		三月菓子（サンプル）	9	食品サンプル 山月	那覇市

【寄 贈】

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	
自然史	地学	珪化木（西表島産）	1	岸本東勝	那覇市
		グリーンジャスパー	1	児玉正和	東京都
		黒曜石（北海道産）	6	杉山俊明	北海道
		カムイサウルス・ジャポニクス 骨格レプリカ	1	植田英隆	北海道
	生物	植物標本一式	1,553	喜屋武敬子	豊見城市
考 古		石斧	1	岸本東勝	那覇市
美術 工芸	漆器	黒漆蓋付碗	10	吉嶺繁子	那覇市
		朱漆パパイヤ堆錦盆	1	栗原絵三子	沖縄市
		朱漆茶托	1	栗原絵三子	沖縄市
		黒漆寿字松葉螺鈿盆	1	栗原絵三子	沖縄市
		黒漆鶴梅螺鈿弁当箱	1	栗原絵三子	沖縄市
	絵画	沖縄風俗画	1	松田留美	大阪府
		進貢船図	1	上原八重子	宜野湾市
		石臼修理の老人（比嘉華山筆）	1	石原恵美子	那覇市

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	分 類
美術 工芸	書跡	謝花雲石印譜軸	1	仲松京子	読谷村
		死字軸（謝花雲石筆）	1	仲松京子	読谷村
		不違如愚如水瀉器軸（謝花雲石筆）	1	仲松京子	読谷村
		色紙「媚景」（謝花雲石筆）	1	仲松京子	読谷村
		扁額「龍飛鳳舞」（謝花雲石筆）	1	石原恵美子	那覇市
	陶磁器	二彩点打耳付壺	1	栗原絵三子	沖縄市
		指描波文碗	1	栗原絵三子	沖縄市
		指描波文碗	1	栗原絵三子	沖縄市
		指描波文碗	1	栗原絵三子	沖縄市
		イチチン文鉢	1	栗原絵三子	沖縄市
		二彩点打皿	1	栗原絵三子	沖縄市
		染付菊唐草文碗	1	栗原絵三子	沖縄市
		飴釉菊唐草文碗	1	栗原絵三子	沖縄市
		琉球古典焼 貼付牡丹唐草文壺	1	篠崎美伸	青森県
		青釉灯火器（オイルランプ）	1	大塘渡・大塘由紀子	北谷町
	染織	白地経緯緋桐板着物	1	山城隆子	那覇市
歴 史		楊氏家譜（古堅家）	1	古堅 博	那覇市
		中国第一歴史档案館所蔵「向元模関係資料一式（複製）」	1	野村朝生	那覇市
		挿絵 ペリー提督の首里訪問（『日本遠征記』所収）	1	川島 昇	コロンビア
		ペリー提督の『日本遠征記』所収の地図	2	佐久本嗣峯	沖縄市
		沖縄対話（吹田久雄旧蔵）	1	松田留美	大阪府
		衣料切符（商工省・農務省発行）	3	当山昌直	那覇市
		飯米配給手帳（首里市）	1	当山昌直	那覇市
		体力手帳（厚生省）	1	当山昌直	那覇市
		辞令書（首里市當蔵区書記 外間正幸）	1	当山昌直	那覇市
		教員免許状（亀山朝貞）	1	当山昌直	那覇市
		教育職員免許状交付願（亀山朝貞）	2	当山昌直	那覇市
		『うるま新報』（1945～1950年）	10	当山昌直	那覇市
		『毎日新聞』（1946年）	2	当山昌直	那覇市
		『読賣新聞』（1946年）	1	当山昌直	那覇市
		『佐賀新聞』（1946年）	1	当山昌直	那覇市
		『朝日新聞』（1946～1947年）	1	当山昌直	那覇市
		『琉球新報』（1982年）	1	当山昌直	那覇市
		ファイル（『サンデー毎日』）	1	当山昌直	那覇市
		切り抜き資料（教育関係等）	15	当山昌直	那覇市
		英文テキスト（教材）	12	当山昌直	那覇市
		自学プリント（国語・数学・英語）	38	当山昌直	那覇市
		メモ用紙（亀山朝貞旧蔵）	8	当山昌直	那覇市
		錫製受皿	4	齊藤用之助	佐賀県
		『戦場が見える島 沖縄』関連画像データ	70	嬉野京子	那覇市

分 類	資 料 名	数量	提供者・所在地	分 類
歴 史	刻印機（沖縄・北方対策庁沖縄事務局使用）	1		
	首里劇場関係資料（看板）	13	金城裕太	南風原町
	首里劇場関係資料（室内灯）	2	金城裕太	南風原町
	首里劇場関係資料（館内表示）	2	金城裕太	南風原町
	首里劇場関係資料（証書類）	6	金城裕太	南風原町
	差額補償確認印付き米国紙幣（1ドル・5ドル・10ドル）	3	山中貞人	東京都
	沖縄県立宮古中學校アルバム	1	金城良子、西平賀昌、西平房子	那覇市
	1971年沖縄旅行関係資料	37	伴野孝治	東京都
	陸軍省勤務功労賞状	1	池原盛和	那覇市
	修了証（CONVERSATIONAL ENGLISH SCHOOL）	1	池原盛和	那覇市
	功労賞（在琉米国陸軍輸送部隊）	1	池原盛和	那覇市
	賞状（在琉米国合衆国陸軍輸送部隊）	1	池原盛和	那覇市
	表彰状（在琉米国陸軍司令部 壱千時間倶楽部）	1	池原盛和	那覇市
	表彰状（第2兵站部隊本部 壱千時間倶楽部）	1	池原盛和	那覇市
	簪の型（又吉修使用）	2	木脇貞子	那覇市
	復帰運動ポスター「返還へ踏み出せ 沖縄・小笠原」	1	（有）榕樹書林 取締役社長 武石和実	宜野湾市
民 俗	三線	1	久手堅憲仁	那覇市
	仮面	2	久手堅憲仁	那覇市
	甕	1	久手堅憲仁	那覇市
	カラカラ	1	久手堅憲仁	那覇市
	金城次郎作 徳利	1	久手堅憲仁	那覇市
	石臼	1	内嶺武司	那覇市
	甕	2	内嶺武司	那覇市
	冥銭一式	1	野村朝生	那覇市
	線香	1	野村朝生	那覇市
	陳列ケース	1	金城裕太	南風原町
	トンファ	1	金城裕太	南風原町
	石敢當	1	剛柔流空手道 宗家三代目 宮城達	那覇市
	墓中符	1	剛柔流空手道 宗家三代目 宮城達	那覇市
	御殿型厨子甕	1	剛柔流空手道 宗家三代目 宮城達	那覇市
	壺型厨子甕	2	剛柔流空手道 宗家三代目 宮城達	那覇市
	ブリキ玩具	2	レイ・ペイン	北中城村
	琉球人形	1	レイサム・キャロライン	名護市

【収 集】

分 類	資 料 名	数量	提供者・所在地
自然史	人類	久米島町下地原洞穴遺跡出土資料一式（2020～2023年調査）	1 久米島町

分 類	資 料 名	数量	提供者・所在地	分 類
歴 史	沖縄県議会関連資料	7	沖縄県議会事務局	那覇市

【移 管】

分 類		資 料 名	数量	提供者・所在地	
美術 工芸	染織	浅地笠に藤流水蛇籠桜葵菖蒲模様紅型衣裳	1	沖縄県立図書館（東恩納寛惇文庫）	那覇市
歴 史		ハチマチ（黄色地花綾冠）	1	沖縄県立図書館（東恩納寛惇文庫）	那覇市
		ハチマチ（赤地冠）	1	沖縄県立図書館（東恩納寛惇文庫）	那覇市
		ハチマチ（赤地五色浮織冠）	1	沖縄県立図書館（東恩納寛惇文庫）	那覇市
		簪一式（東恩納寛惇旧蔵）	18	沖縄県立図書館（東恩納寛惇文庫）	那覇市

4 所蔵指定文化財

【国指定文化財（重要文化財）】

2023年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	1口	昭53. 6. 15	沖縄県
	梵鐘（旧円覚寺殿前鐘・旧円覚寺殿中鐘・旧円覚寺楼鐘）	3口	〃	〃
典 籍	おもろさうし	22冊	昭48. 6. 6	〃
	混効験集	2冊	〃	〃
	中山世鑑	6冊	令2. 9. 30	〃
	蔡鐸本 中山世譜	7冊	令2. 9. 30	〃
	蔡温本 中山世譜	12冊	令2. 9. 30	〃
	琉球国時代石碑	22基	令元. 7. 23	〃
古文書	安国山樹華木之記			〃
	官松嶺記			
	円覚禅寺記			
	国王頌徳碑			
	真珠湊碑文			
	崇元寺下馬碑 西			
	一翁寧公之碑			
	ようとのひのもん・極楽山碑文			
	壺川松尾墓碑			
	板敷橋記			
	勢理客橋碑			
	新濬那覇港碑文			
	琉球新建儒学碑記			
	琉球国創建天尊廟天后宮竜王殿関帝祠総記			
	板良敷村墓碑			
	龍潭湊湊碑			
	重修天女橋碑記			
	改造池城橋碑文			
	梵字碑			

種 別	名 称		員 数	指定年月日	所有者
古文書	琉球国時代石碑	首里新建聖廟碑文			
		竜樋石額（飛泉漱玉）			
		竜樋之碑（霊脈流芬）			
	銘苅家文書（四通）	万曆十五年琉球国王朱印状	1 幅、2 面、1 舗	令 5. 6. 27	沖縄県
		乾隆元年琉球国王朱印状（銘苅大屋子職叙任辞令書）			
		乾隆六年琉球国王朱印状（銘苅大屋子職叙任辞令書）			
		諸見御屋敷并御臈所潮平御川内之図			
	琉球国王朱印状〈大首里大屋子充／万曆二十三年八月廿九日〉		1 幅	令 5. 6. 27	沖縄県
歴史資料	明孝宗勅諭 琉球国中山王尚真宛		1 卷	平11. 6. 7	〃
	間切図	島尻南（兼城間切・高嶺間切・真壁間切・喜屋武間切・摩文仁間切・具志頭間切・東風平間切）	7 枚	平28. 8. 17	〃
		島尻東（玉城間切・知念間切・佐敷間切・大里間切）			
		町方・島尻西（首里・泊・久米・那覇・南風原間切・真和志間切・小禄間切・豊見城間切）			
		中頭南（西原間切・浦添間切・宜野湾間切・中城間切）			
		中頭中（北谷間切・越来間切）			
		国頭（国頭間切 西）			
		離れ（伊平屋島）			

【県指定文化財（有形文化財）】

2023年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
絵 画	絹本着色花鳥図殷元良筆	1 幅	昭54. 4. 9	沖縄県
	紙本着色雪中雉子の図殷元良筆	〃	〃	〃
	紙本墨画竹の図殷元良筆	〃	昭57. 3. 4	〃
	紙本着色奉使琉球図	1 巻	昭57. 3. 4	〃
	紙本着色冊封使行列図	1 巻	平15. 7. 11	〃
彫 刻	木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	1 軀 1 枚	昭31. 12. 14	〃
	世持橋勾欄羽目	1 括	〃	〃
	旧円覚寺関係木彫資料	35点	平15. 7. 11	〃
工芸品	黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	1 合	昭31. 12. 14	〃
	黒塗堆錦山水絵大文庫	〃	〃	〃
	黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	〃	〃	〃
	開得大君御殿雲龍黄金簪	1 本	〃	〃
	三線江戸与那	1 丁	〃	〃
	枝梅竹文赤絵碗	1 口	昭54. 9. 3	〃
	線彫染付魚文皿	〃	〃	〃
	色象嵌粟絵菊花皿	〃	〃	〃
	象嵌色差面取抱瓶	〃	〃	〃
	梵鐘（旧霊応寺鐘）	〃	昭60. 6. 18	〃
	梵鐘（旧普門禅寺鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘（旧天竜精舎鐘）	〃	〃	〃

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	銅鐘（旧天尊殿鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天妃宮鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧一品権現鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘 旧大安禅寺鐘（一名 護国寺の鐘）	〃	昭63. 1. 12	〃
	梵鐘（旧永福寺鐘）	1 口	平 2. 2. 6	〃
	黒漆山水楼閣人物螺鈿机	1 基	〃	〃
	白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	1 枚	〃	〃
	朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	1 合	〃	〃
	黒漆薔薇堆錦軸盆	1 枚	〃	〃
	朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	1 合	〃	〃
	三線盛嶋開鐘附胴	1 丁	平 6. 3. 15	〃
	三線真壁型銘西平	1 丁	平 6. 3. 15	〃
	三線与那城型銘玉城與那	1 丁	平 6. 3. 15	〃
書 跡	程順則の書	1 卷	昭42. 4. 11	〃
	扁額徳高 鄭元偉書	1 面	平元. 9. 29	〃
	扁額凌雲 林麟焄書	1 面	〃	〃
古文書	羽地間切の屋我のろへの辞令書	1 幅	昭56. 3. 30	〃
歴史資料	銅鐘残欠（旧波上宮朝鮮鐘）	1 点	昭60. 6. 18	〃

5 修理事業

（１）美術工芸分野

琉球王国時代の美術資料のなかには類例がない資料が多くある。資料は適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存しているが、経年による変化で修復が必要な状態になっているものが多い。当館では、限られた予算の範囲で沖縄の歴史・文化史上重要な資料の修理事業を実施している。令和４年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い予算減額されたが、展示公開の頻度や展示効果の高さを考慮して優先順位をつけて資料を選定・修理を実施した。

【予算執行額】 815,957円

【事業内容】

修理件数：２件２点

- ① 美術工芸（漆器） 黒漆遊雁螺鈿印籠（１件１点） 修理担当：琉球漆工藝舎
- ② 美術工芸（書跡） 鄭元偉筆 雲中鶴軸（１件１点） 修理担当：石川堂

【修理内容】

- ① 塗膜や螺鈿の剥離・剥落等が確認されたため塗膜押さえや貝の接着等の処置を行った。
- ② 本紙の折れや虫食い等が確認されたため、裏打ちや繕い等の処置を行い、表具を新調した。

（伊禮 拓郎）

（２）沖縄県立博物館・美術館 重要文化財保存管理（修理修復）事業

① 目的

沖縄県立博物館・美術館が所蔵する重要文化財の内、令和２年に国の重要文化財に指定された「中山世鑑・蔡鐸本中山世譜・蔡温本中山世譜」（３種類合計25冊）を文化庁の補助事業を活用して修理し、適切な保存管理を図るとともに、将来的な保存及び公開活用等によって県の文化振興に寄与する。

② 修理対象資料

重要文化財（書跡・典籍）中山世鑑 6冊、蔡鐸本中山世譜 7冊、蔡温本中山世譜12冊 合計25冊。このうち令和５年度は、中山世鑑 1冊、蔡鐸本中山世譜 6冊の修理を実施した。

③ 修理事業者

石川堂（代表 當間巧 氏）

④ 修理前の状態

沖縄戦時中にアメリカに持ち出され、1953年に返還、1973～74年に実施された修理だけでは十分とは言えず、本紙の虫損は比較的少ないものの部分的な大きな破れやシミ汚れ、見返しの亀裂・しわ等が発生していた。本書が令和2年に重要文化財に指定されたことをきっかけに、文化庁より修理の補助を受けながら修理を実施した。

⑤ 修理内容

- 本紙のシミや汚れを除去するため、ろ過水や吸水紙を使用したウェットクリーニングを行った。
- 繊維組成試験の結果をもとに、本紙は青檀繊維の宣紙、見返しと外題は青檀繊維主体の三桎繊維の混合紙をそれぞれ選定した。また、見返しと外題の補修紙は、天然染料（矢車）で違和感の無い程度に染色したものを用いた。
- 装丁の表紙や裏表紙、見返し、外題は補修を施して元の素材を使用した。表紙と裏表紙の裂地は、旧裏打ち紙の除去後、欠損カ所を補修し、新たに裏打ちを施した。また、見返しや外題も旧補修紙や部分的な裏打ち紙を除去し、亀裂・折れ・破損カ所の補修後、修理後の表紙裂の厚みや強度、長期的な展示と保存を考慮し、新たに裏打ちを施した。

（崎原 恭子）

6 資料保存管理事業 レプリカ・剥製製作（生物資料）

資料収集・保存は、博物館の大きな役割のひとつである。本事業は、県立の博物館施設として、沖縄県に現存する貴重な動植物を剥製やレプリカにして保存することで、その役割の一部を、継続的かつ半永久的に果たしてゆくことを目的としている。本館所蔵のレプリカ・剥製の数、種類は未だ十分とは言えず、今後も展示や研究を視野に入れながら、少しずつ増やしてゆくことが望まれる。

剥製製作予定の標本は、多くが交通事故死等により滅失したものを、拾得者が本館へ寄贈してくれたものである。遺体は剥製にするまで冷凍室で保存している。現在、冷凍室には数百の標本が保管されているため、状態の良い物や保存価値のあるもの（希少性の高いもの）から順に、剥製（またはレプリカ）として再生してゆく。

令和5年度は、以下の動植物についてレプリカ及び封入標本を委託製作した。

名 称	提 供	委託製作
ソデグロゾル本剥製	沖縄県自然保護課	東京内田科学社
ソデグロゾル交連骨格	沖縄県自然保護課	東京内田科学社
かたつむりリアルフィギュア10点		立体造形 八月社

（菊川 章）

7 資料収集事業

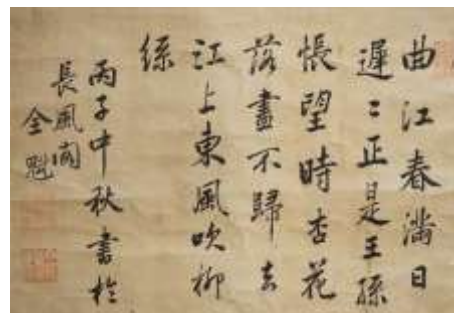
（1）資料収集

資料収集事業は文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示等において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。

令和5年度は、全魁筆 行書七言絶句軸「長安春晚」の1件を（有）榕樹書林より購入した。全魁（1725-91）は、第二尚氏王統第14代目の国王として即位した尚穆（1739-94）の冊封のため、1756年（乾隆21）に正使として来琉した人物である。本書に「丙子中秋」とあることから来琉時である1756年（乾隆21）秋の作で、「於長風閣」とあることから来琉中の滞り場所である天使館の東側の内堂で書かれたことが明記された貴重な資料である。

本資料は当館で所蔵していなかったため、今後の調査研究や展示活動等で活用したい。

（崎原 恭子）



全魁筆 行書七言絶句軸「長安春晚」

(2) 沖縄県美術品等取得基金

当館の収蔵品は、沖縄の歴史・文化を後世に伝える貴重な資料である。特に先の大戦で戦火を免れた琉球王国時代の資料は現存数が少ないことに加え、文化的・歴史的に非常に価値が高い。当館ではこのような資料を収集し、常設展や企画展において展示公開の機会を設けることにより、沖縄県の文化振興に寄与すると共に県民の学びの場を提供し、豊かな沖縄の創造を目指している。

資料収集活動の一つである沖縄県美術品等取得基金（以下「基金」という）は、貴重な資料を購入し、県外および国外に流失させないことを目的の一つとしている。当館では、調査研究や展示の充実を図るために、沖縄の歴史・文化の豊かさを表す資料を基金により継続的に収集している。なお収集にあたって外部の有識者による収集委員会を招集し、意見を求めて購入の可否を判断している。

本年度は、4つの方針（①当館が、現在所蔵していない資料を収集する。②琉球王国時代に制作された類品のない陶芸資料を収集する。③戦前・戦後の民芸の影響を受けて伝統工芸に基づいた染織資料を収集する。④当館の資料として適当で、展示及び調査研究を充実させ、本県の文化振興に資する資料を収集する。）に基づき、令和5年12月23日に収集委員会を開催した。審査の結果、近世琉球王国時代に制作された陶器3件、戦後に制作された染織資料3件、鎌倉芳太郎収集資料1件、瓦製品1件 合計8件の購入が決まり、基金によって購入した。



色絵椿梅文茶家



鉄釉灰釉流掛水指



湧田茶碗



首里の織物関係資料 大城志津子作



風炉先屏風（藍地綾中）大城志津子作



風炉先屏風（藍地花倉織）大城志津子作



黄色地鳳凰牡丹模様紅型衣裳
藤村玲子作



鎌倉芳太郎収集久米島紬裂



瓦質土器



高麗系瓦

（篠原 あかね）

8 資料貸出

○事業名：令和5年度国立アイヌ民族博物館第6回特別展「アイヌ文学の近代－バチラー八重子、遼星北斗、森竹竹市－

- 主 催：国立アイヌ民族博物館
 会 場：国立アイヌ民族博物館 特別展示室
 貸出期間：2023年3月10日～8月31日
 貸出資料：『沖縄教育』144号・145号・146号（2冊）の合冊 計1件
- 事業名：常設展示一部リニューアル
 主 催：久米島博物館
 会 場：久米島博物館常設展示室
 貸出期間：2023年4月1日～2024年3月31日
 貸出資料：体験キット・貝匙2点
- 事業名：令和5年度企画展「アフリカマイマイの話」
 貸出先：中城村護佐丸歴史資料図書館
 貸出期間：2023年7月19日～8月31日
 貸出資料：カタツムリリアルフィギュア7点、貝殻標本3点、本剥製2点
- 事業名：国立自然史博物館の設立・誘致に関するPR
 貸出先：沖縄県環境部自然保護課
 貸出期間：2023年8月10日～8月12日
 貸出資料：本剥製6点、昆虫標本1点、アクリル封入標本1点
- 事業名：第27回南風原うちなーぐち大会
 会 場：南風原町中央公民館 黄金ホール
 貸出期間：2023年8月17日～8月22日
 貸出資料：「デジタルミュージアム推進事業動画コンテンツ製作委託業務ウチナーの民話～第1巻～」 「平成30年度デジタルミュージアム推進事業動画コンテンツ製作委託業務ウチナーの民話～第2巻～」
- 事業名：喜友名東原ヌバタキ遺跡発掘35周年記念企画展「縄文時代の宜野湾」展に伴うレプリカ作製
 貸出期間：2023年8月30日～2024年1月10日
 貸出資料：大山貝塚出土骨製簪1点
- 事業名：喜友名東原ヌバタキ遺跡発掘35周年記念企画展「縄文時代の宜野湾」展
 会 場：宜野湾市立博物館企画展示室
 貸出期間：2023年10月20日～2024年1月10日
 貸出資料：大山貝塚出土土器10点、同貝塚出土貝製品1点、同貝塚出土骨製品8点
- 事業名：令和5年度企画展「地方に移り住んだ士～「新発見」の自姓楚南家文書を読み解く～」
 主 催：那覇市歴史博物館
 会 場：那覇市歴史博物館 企画展示室
 貸出期間：2023年10月27日～2024年1月11日
 貸出資料：唐針・見越定規等一式・六尺五寸定規・竹竿（すべて再現資料） 計4件
- 事業名：令和5年度護佐丸歴史資料図書館企画展「宮城清漆器展～琉球漆器の技と歴史～」
 主 催：中城村護佐丸歴史資料図書館
 会 場：中城村護佐丸歴史資料図書館
 貸出期間：2023年11月10日～12月13日
 貸出資料：煮貝、摺貝（写真アルバム、巻物、螺鈿加飾板） 計2件
- 事業名：展覧会「中城城跡の逸品展」
 会 場：中城村護佐丸歴史資料図書館 3階企画展示室
 貸出期間：2023年11月22日～12月26日
 貸出資料：那覇湊周辺ジオラマ模型1点、那覇周辺ジオラマ模型1点
- 事業名：展覧会名「首里城復元・復興プロジェクトー大解剖 沖縄県立芸術大学 日本画、彫刻、漆芸 展」
 会 場：阪急神戸店催事会場
 貸出期間：2023年11月25日～12月25日

貸出資料：展示パネル「琉球王国文化遺産集積・再興事業概要説明（用語定義）」ほか3件

○事業名：第44回那覇市女性連合会芸能大会

会場：ともかぜ振興会館

貸出期間：2023年11月27日～12月6日

貸出資料：「デジタルミュージアム推進事業動画コンテンツ製作委託業務ウチナーの民話～第1巻～」 「平成30年度デジタルミュージアム推進事業動画コンテンツ製作委託業務ウチナーの民話～第1巻～」

○事業名：文化審議会第一専門調査会、特別企画「令和6年 新指定展 国宝・重要文化財」

主催：文化庁文化財第一課

会場：東京国立博物館（本館特別1室・特別2室・11室他）

貸出期間：2024年1月16日～5月29日

貸出資料：聞得大君御殿雲龍黄金簪 計1件

○事業名：展覧会「英雄 尚巴志ーはじまりの統一王ー」

会場：城西大学水田美術館2階ギャラリー1

貸出期間：2024年1月18日～2月23日

貸出資料：島添大里グスク・伊波グスク・首里城跡表採資料30点

○事業名：イリオモテヤマネコ交通事故対策事業

貸出先：沖縄県環境部自然保護課

貸出期間：2024年1月26日～1月30日

貸出資料：イリオモテヤマネコ本剥製1点

○事業名：開館40周年／兵庫・沖縄友愛提携50周年記念 特別展「首里城と琉球王国」

主催：兵庫県立歴史博物館、神戸新聞社

特別協力：沖縄県立博物館・美術館

会場：兵庫県立歴史博物館

貸出期間：2024年3月2日～5月25日

貸出資料：カムイヤキ、明孝宗勅諭 琉球国中山王尚真宛、冊封使行列絵巻、ノロ神衣裳（カカン）他
計111件

9 写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活動の一環として、資料の写真画像等の貸出も行っている。毎年、多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2023年度（令和5）は博物館班に192件の申請があった。【利用区分】は、「1. 写真原板（デジタルデータ）」、「2. 撮影」、「3. 掲載」に分けられる。内訳は、1. 写真原板（デジタルデータ）は102件（写真原板のみだと86件）、2. 撮影は20件（撮影のみだと15件）、3. 掲載70件となっている。【目的・事項】は、「出版物」が115件、「テレビ番組」が25件、「CD」が1件、「DVD」が1件、「その他」が50件だった。その他に関しては、他館の企画展、特別展で使用したり、授業や講座、講演会で使用されるケースが多かった。

分野別に画像利用申請が多かったのが、歴史と美術工芸だった。当館では数多くの歴史物と美術工芸品が展示されており、これらの知名度を活かして画像利用申請が多かった。

近年、サキタリ洞遺跡で出土した遺物の画像利用申請も増加しており「海を越える人々（後期） 旧石器人類の人類ー海を越えた人々」が今年度開催され、今後もサキタリ洞遺跡で発掘された遺物の画像利用申請が増加する可能性がある。

（渡真利 耕平）

美術館

- I 調査研究等の活動
- II 展示活動
- III 教育普及活動
- IV 資料収集・保存管理

I 調査研究等の活動

1 調査研究の概要

調査研究事業（以下「本事業」とする。）については、美術館活動の根幹と捉えて開館準備時から継続して、収集作品調査及び企画展開催に伴う調査研究に重点を置き、積極的に取り組んでいる。

令和5年度の研究紀要は3名の学芸員による論文を掲載し、刊行した。紀要は、県内外の美術館及び図書館、大学などを中心に研究機関へ送付している。

前年度に引き続き、各学芸員の調査研究については、コレクション展・企画展の展覧会及び収集計画に基づいて、数年にかかる中長期的な調査研究のビジョンを共有し、研究の深度を改善できるよう努めた。

（大城 さゆり）

（1）調査研究の事業内容

- ①美術品の収集に関すること。
- ②美術品の保存科学に関すること。
- ③美術品の修復に関すること。
- ④展示技術に関すること。
- ⑤教育普及に関すること。
- ⑥美術情報提供システムの活用に関すること。
- ⑦ボランティア育成支援に関すること。
- ⑧美術館の振興に関すること。

（2）学芸員研究

研究テーマを設定し、一年ないしは数年をかけて調査研究に取り組み研究紀要にまとめる。

No.	氏 名	研 究 テ ー マ
1	玉城 早苗	教育普及関連の展覧会事例調査（次年度企画展関連） 美術館における教育普及事業の充実（研究紀要掲載）
2	町田 恵美	小橋川秀男の在米作品調査及び研究（研究紀要掲載） 沖縄系アーティストに関すること
3	大城 さゆり	照屋勇賢に関すること（展覧会図録掲載） 沖縄戦後美術の包括的研究
4	梶原 正史	大城皓也作の油彩画作品修復について（コレクション展関連） 亜熱帯気候における保存修復について（研究紀要掲載）
5	亀海 史明	島嶼性がもたらす美術及び写真表現への影響について

（3）調査研究体制

調査研究活動は学芸員及び美術品調査員で実施した。画像を含む調査によって得られたデータは研究用データベースに保存しており、展覧会事業、収集事業といった内部資料はもとより、個人情報保護の範疇にないものに限る、外部のレファレンスにも対応するよう心がけている。その場合は熟覧申請等、正式な申請を踏まえている。

（4）外部からのレファレンス対応

- ①沖縄近現代美術に関するレファレンス・視察対応（シンガポール美術館学芸員、2月21日）

2 調査・研究・講演・著作論文等

玉城 早苗（主任学芸員／教育普及担当）

○調査・研究

- ・平塚市美術館にて展覧会・施設の視察、及び教育普及事業について調査（2023年8月31日）
- ・栃木県立美術館、宇都宮美術館にて展覧会・施設の視察、及び教育普及事業について調査（2023年9月1日）
- ・足利市立美術館にて展覧会・催事の視察、及び教育普及事業について調査（2023年9月2日）
- ・国立新美術館、東京国立近代美術館にて展覧会・催事の調査（2023年9月2日）
- ・広島県立歴史博物館、ふくやま美術館にて展覧会・施設の視察、及び教育普及事業について調査（2024年3月19日）
- ・広島市現代美術館、ひろしま美術館にて展覧会・施設の視察、及び教育普及事業について調査（2024年3月）

月20日)

- ・広島県立美術館、福岡市美術館にて展覧会・施設の視察、及び教育普及事業について調査（2024年3月21日）

○講演・発表等

- ・名称：ミュージアムツアー（教育普及・伝える）
日時：2023年11月11日
場所：美術館バックヤード
- ・名称：ミュージアムツアー（教育普及・伝える）
日時：2024年1月13日
場所：美術館バックヤード
- ・名称：沖縄美術の流れ（注・高校生向けギャラリーツアー）
日時：2024年2月17日
場所：美術館講座室・コレクションギャラリー3

○著作・論文等

- ・『令和5（2023）年度 美術館教育普及報告書』沖縄県立博物館・美術館 2024年3月
- ・「当美術館における教育普及活動の現在～ARTと出会い、人と出会い、自分自身と出会う、学び・体験の場の提供～」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要第』第12号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

町田 恵美（学芸員）

○調査・研究

- ・小橋川秀男調査（東京都）（2024年1月31日、2月1日、2日）
- ・北米調査（アメリカ、サンフランシスコ）（2024年2月22日～29日）
- ・移民研究他館事例調査（和歌山県）（2024年3月19日～21日）

○著作・論文等

- ・「沖縄の美術の現在地」『沖縄画－8人の美術家による現代沖縄の美術の諸相』アートダイバー 2023年
- ・「美術月評 9月」沖縄タイムス 2023年10月6日 文化面
- ・「年末回顧（美術）」琉球新報 2023年12月29日 文化面
- ・「展評 宜保朝子絵画展」琉球新報 2024年1月26日 文化面
- ・「美術月評 1月」沖縄タイムス 2024年2月2日 文化面
- ・「展評 伊波一志写真展」沖縄タイムス 2024年3月7日 文化面
- ・「反復する記憶」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要』第12号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

梶原 正史（主任／保存修復担当）

○調査・研究

- ・平和祈念堂美術館にて作品調査（糸満市）（2023年6月8日）
- ・収蔵作家である竹川宣彰氏と作品修復作業についての打合せ（2023年6月17日）
- ・文化財保存修復学会出席（大阪市）（2023年6月23日～25日）
- ・文化財虫菌害防除作業主任者講習（東京）（2023年10月4日～6日）
- ・岸本一夫作品状態調査（沖縄市）（2023年10月12日）
- ・台湾の研究者と共同研究についての打合せ（那覇市）（2023年10月20日）
- ・ジャクソンポロック修復作業についての講演会出席（東京）（2023年10月28日～29日）
- ・山城見信作品状態調査（大宜味村）（2023年11月11日）
- ・九州芸術学会出席（オブザーバー）（那覇市）（2023年12月2日）
- ・次年度寄贈予定作品実見、状態調査（アメリカ・アトランタ、シャーロット）（2024年1月25日～31日）
- ・国立国会図書館にてマイクロクライメイト額装について文献調査（大阪市）（2024年2月28日～29日）
- ・山元恵一作品調査（那覇市）（2024年3月5日）
- ・山田真山作品状態調査（石垣市）（2024年3月25日）
- ・大城皓也作品の絵具分析・共同研究についての打合せ（琉球大学・西原町）（2024年3月27日）
- ・現代美術作品の修復について調査（南城市）（2024年3月28日）

○講演・発表等

- ・名称：ミュージアムツアー まもる
日時：2023年6月20日
場所：美術館バックヤード

- ・名 称：大城皓也展キュレータートーク 保存修復の現場から
- 日 時：2024年2月10日
- 場 所：美術館講座室、コレクションギャラリー1

○著作・論文等

- ・「簡易的マイクロライメイト額装の評価～亜熱帯気候の中での考察～」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要』第12号 沖縄県立博物館・美術館 2024年3月

亀海 史明（主任／学芸員）

○調査・研究

- ・稲嶺成祚に関する作品調査（那覇市）（2024年1月10日）
- ・石川文洋に関する聞き取り調査（宜野湾市）（2024年1月12日）
- ・大城弘明に関する作品調査（宜野湾市）（2024年1月12日）
- ・石川真生に関する作品調査（那覇市）（2024年1月25日）
- ・石川真生に関する聞き取り調査（那覇市）（2024年1月30日）
- ・平敷兼七に関する展覧会調査（大阪府大阪市）（2024年2月3日）
- ・アーカイブズに関する他館事例調査（大阪府大阪市）（2024年2月3日）
- ・平良孝七に関する展覧会調査（名護市）（2024年2月8日）
- ・収集事業に関する作品調査（那覇市）（2024年3月5日）
- ・石川文洋に関する作品調査（長野県諏訪市、東京特別区）（2024年3月22日～30日）

○研修等

- ・ジャパンサーチ・ワークショップ（オンライン参加）（2024年1月29日）
- ・人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業フォーラム（オンライン参加）（2024年3月11日）

大城 さゆり（主任／学芸員）

○調査・研究

- ・企画展：照屋勇賢作品調査（浦添市）（2023年6月29日）
- ・企画展：照屋勇賢作品調査（南風原町）（2023年6月30日）
- ・収集：名渡山愛順、具志堅以徳作品調査（沖縄市）（2023年7月14日）
- ・企画展：照屋勇賢作品調査（南風原町）（2023年7月25日）
- ・企画展：照屋勇賢作品調査、展示事例調査（東京都、金沢21世紀美術館・石川県、アーツ前橋・群馬県）（2023年9月13日、14日）
- ・企画展借用：金沢21世紀美術館（金沢市・石川県）（2023年10月16日、17日／返却2024年2月15日、16日）
- ・企画展：佐喜眞美術館所蔵・照屋勇賢作品調査（宜野湾市）（2023年10月20日）
- ・収集：岸本一夫作品調査（北中城村）（2023年10月23日）
- ・企画展借用：照屋勇賢作品（宜野湾市）（2023年10月24日／返却 2024年2月15日）
- ・企画展借用：照屋勇賢作品（南城美術館、南風原町、浦添市、佐喜眞美術館）（2023年10月25日／返却2024年1月25日）
- ・収蔵作家：稲嶺成祚に関する作品調査（那覇市）（2024年1月10日）
- ・収蔵作家ほか：小橋川秀男資料及び沖縄系作家調査（サンフランシスコ、オークランド・米国）（2024年2月22日～29日）

○講演・発表等

- ・名 称：トークイベント「『沖縄画』展を巡って」
- 登壇者：三瀬夏之助、富澤ケイ愛理子、大城さゆり
- 進 行：土屋誠一
- 日 時：2023年8月10日 18:30～20:00
- 場 所：沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス大講堂
- ・名 称：学芸員講座＋キュレータートーク
- 日 時：2023年12月23日 14:00～15:30
- 場 所：沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室、企画ギャラリー

○著作・論文等

- ・「Heavyな世界でいきるPopー照屋勇賢と沖縄」展覧会カタログ『Okinawa Heavy Pop』 沖縄県立博物館・美術館 2023年

II 展示活動

1 展示活動概要

美術館のコレクション展は、テーマ展示もしくは個展の形式で収蔵作品及び寄託作品を公開している。

2023年度のコレクション展は2期に分け、前期（7月～1月）はコレクションギャラリー1を使用して映像作品のデジタル化に関連した展示を、コレクションギャラリー2では通期で大和コレクションの特集展示及び、関連する現代美術作品を紹介した。後期（1月～6月）は、コレクションギャラリー1では「大城皓也作品修復報告展」としてこれまで当館で修復されてきた大城作品とともに修復で得られた新たな知見などを紹介した。またコレクションギャラリー3では通期として「沖縄美術の流れ」を紹介した。

企画展では「YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP（照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィ・ポップ）」を開催した。

当館主催の展覧会は学芸員の調査研究を基に、郷土の芸術家や、沖縄ゆかりの国内外の優れた芸術家、あるいは現在活躍する現代美術作家に関する自主企画展を行うほか、他館との連携なども行いながら展示公開している。

（梶原 正史）

2 コレクション展（常設展）

（1） コレクションギャラリー1

①タイトル：2023年度「沖縄美術の流れ」【映像】 ※コレクションギャラリー3と共通

会 期：2023年（令和5）7月14日（土）～10月15日（日）

担 当：玉城早苗・梶原正史

内 容：ギャラリー1では、以下の映像を上映

謝花謙《ヒッチ・ハイカー》1977年 | モノクロ | 16mm | 15分 | DVD上映

②タイトル：2023年度「沖縄美術の流れ」【映像】 ※コレクションギャラリー3と共通

会 期：2023年10月17日（火）～2024年1月14日（日）

担 当：玉城早苗・梶原正史

内 容：ギャラリー1では、以下の映像を上映

謝花謙《ヤマングースティータ》1978年 | モノクロ | 16mm | 35分 | DVD上映

③タイトル：「大城皓也作品修復報告展」【絵画】

会 期：2024年（令和6）1月23日（火）～6月30日（日）

担 当：梶原正史

内 容：本展覧会は、沖縄の画家、大城皓也作品の展示会である。本展出品作品は、生前大城のアトリエに保管されていた作品群の一部である。没後、アトリエの保存環境が徐々に悪化し、その作品群においては劣化が進む状態となった。その後当館に移動され、保管されている。当館収蔵の大城作品は100点を超えるが、そのほとんどが修復を必要としている。大城作品の展示とともに、美術館における修復作業の一端も展示し、修復をすることでどのような知見が得られたのか紹介する。

（2） コレクションギャラリー2（通期）

②タイトル：「大和コレクション展Vol9：アートの愉しみ」【絵画・彫刻・写真・現代美術】

会 期：2023年7月14日（土）～2024年6月30日（日）

担 当：玉城早苗・梶原正史・又吉貴美子・喜納祥子

内 容：この展覧会は、日本を代表するコレクターにより当館に委ねられた、「大和コレクション」の中から作品を紹介する。日本有数の現代美術コレクターである佐藤辰美氏により集められた作品群で、平成22年度に当館にされ寄託された。その内容は、アントン・ヘニングやライアン・ガンダーら世界的に評価の高い作家、或いは国内外の若手作家による平面、立体、写真、陶芸、インスタレーションなど多岐にわたる。当館では、コレクションギャラリーにおいて「大和コレクション」を複数回展示してきた。今回で9回目となるコレクションの貴重な現代美術作品の数々を展示する。

[出品作家（順不同）]

栗田 咲子／鯉江 良二／佐々木 憲介／杉戸 洋／竹岡 雄二／森 千裕／森山 大道ほか

(3) コレクションギャラリー3 (通期)

①タイトル：2023年度「沖縄美術の流れ」【絵画・彫刻・写真・現代美術】※コレクションギャラリー1と共通

会 期：2023年7月14日（土）～2024年6月30日（日）

担 当：玉城早苗・梶原正史

内 容：沖縄には、本土とは異なる歴史や風土の中から生まれた独特な文化があり、沖縄の美術は、その中で育まれてきた。いつの時代も、そのおかれた立場や状況から多大な影響を受けてきた沖縄。沖縄戦から戦後復興期を経て、さらに、復帰から現代に至るまでの様々な時代の変容は、沖縄の美術家とその作品にどのような影響を与えてきたのか。
今回の「沖縄美術の流れ」は、戦前・戦後復興期・復帰後・現代と時代の変遷をたどり、さらに、沖縄系移民、沖縄の彫刻家にスポットを当てて紹介した。

【関連催事】

(1) 学芸員講座・キュレータートーク

日 時：2024年2月10日（土）14:00～15:30

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー1

参 加 者：5名

講 師：梶原正史(担当学芸員)

(2) 中・高生対象ギャラリートัวร์ [コレクションギャラリー3 展示解説]

日 時：2024年2月17日（土）14:00～15:30

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー3

参 加 者：12名

講 師：玉城早苗(担当学芸員)

【会場写真】



コレクションギャラリー2



コレクションギャラリー3



3 企画展 「YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP(照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィ・ポップ)」

会 期：2023年（令和5）11月3日（金・祝）～ 2024年（令和6）1月21日（日）

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

観 覧 料：一般1,200円（960円）高校・大学生800円（640円）小・中学生500円（400円）未就学児無料

※（ ）内は前売・団体料金。※障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方1名は半額。

観覧者数：7,596名

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

特別協力：Yuken Teruya Studio

協 力：（一社）琉球・沖縄美術コレクション協会、第一港運株式会社、南部電工株式会社

助 成：公益財団法人 花王芸術・科学財団、芸術文化振興基金助成事業

後 援：沖縄県教育委員会、那覇市教育委員会、沖縄県文化協会、那覇市文化協会、NPO法人沖縄県立美術館支援会happ、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄タイムス社、琉球新報社、エフエム那覇、エフエム沖縄、ラジオ沖縄

【開催趣旨】

南風原町出身のアーティスト・照屋勇賢（てるや・ゆうけん、1973～）は、ニューヨーク（米国）、ベルリン（ドイツ）、沖縄を拠点に精力的に制作活動が続け、その作品は国内外で広く紹介されてきた。本展は、照屋の初期から最新作まで紹介し、その仕事の全体像に迫る。照屋の作品は、heavyとpopが混在する沖縄の現在を投影し、普段私たちが気にも留めない「当たり前」を揺さぶる。

照屋の作品は、沖縄のみならず世界中のあらゆる「分断」を乗り越え、互いを認める想像力を持っている。新型コロナ禍以降、あらゆる場所で様々な価値観の分断、そして境界が可視化されているが、そうした状況乗り越える想像力を持つ照屋の仕事を紹介し、消費社会や環境問題、戦争、価値観の変容など様々な困難を抱える現在において、これからの世界を共に考える企画とする。

【展示構成】

自由や未来を象徴する風船のモチーフを中心としたZone 1から、消費社会と自然環境に関する作品を再構成したZone 5まで、テーマ別に5章に分けて約60点の作品を展示し、照屋勇賢の仕事を紹介する内容とした。

【章構成】

・Zone 1_ Heavy Pop 「これまで」を「これから」へつなぐために

風船はひとたび手を離すと、空のどこまでも遠くへと自由に飛び立っていきます。一方、78年前に多くの命を奪った沖縄戦の証言者でもある戦争遺物は、今なお土の中に残されて、流れる時間の中で風化していこうとしています。こうして私たちが立っている美術館の下にも、まだ人知れず残されているのかもしれない砲弾の欠片。人の目に触れぬ戦争の痕跡たちは、記憶の風化に伴って、まるで地下深くへとどんどん沈んでいくかのようです。

ふわふわと自由に空へ飛んでゆく風船は、今まさに忘れ去られようとしている、とても大切な重たい「これまで」を、はるか先の「これから」まで運んでくれることでしょう。

・Zone 2_ You Me あなたとわたしがいる世界

想像し、対話し、互いを知って共感することが、あなたとわたしがいる世界の分断を乗り越える力になっていきます。

米軍ヘリが墜落した現場から沖縄の人々を追い出して、米軍が突如そこを占拠したとしても、米兵が注文したピザのデリバリーだけ規制線を越えられたように、ピザを介して向こう側へ行くという、思いがけない方法を発見することだってできるのです。

あらゆる場所で人々は、支配構造や権力に抗い、天と地をひっくり返す試みを続けてきました。たとえそれがまた元に戻ってしまったとしても、ひっくり返す試みをやめることはありません。

あなたとわたしの間に存在する当たり前の価値観も、形を変えて見ると、高級ブランドのハイヒールだって、サナギにとっては蝶へ羽化するための宿木になってしまいます。日々買うものの価値を測り交換するためのお金も姿を変えます。パーク・アベニューだって買ってしまうモノポリーゲームのおもちゃのお金は分解されて、資本や宗教、歴史的価値をつかさどる別の形——例えば教会や美術館に変化します。

・Zone 3_ Notice 可能性のカタチ

ファストフードを買った時、ブランド品のアクセサリーを買った時、私たちが受け取る消耗品の紙袋には、かつて森の中に存在する木だった過去があります。紙袋の側面を葉の形に切り取り、幹の形を立ち上げることで、紙袋は再び本来の姿である木となり、そこには小さな森の世界が広がります。

照屋は、アリストテレスの自然哲学から《告知—森》の着想を得たと語ります。どんぐりは、今はどんぐりとしての姿形をしていますが、いずれ榎の木になる本質を内に宿しています。やがて芽吹いて大きな木へと成長した榎の木は、またどんぐりをつくります。たとえ消費され捨てられてしまう紙袋一つでも、全てのものは今の姿に、未来の可能性を内包しています。

・Zone 4_ From Far Far Away 今ここの沖縄から、そしてはるか遠くの未来から

琉球王国時代から続く伝統的な染色である紅型は、近代の日本統治によるあらゆるシステムの変化、沖縄戦による着物や道具の焼失など、様々な苦難を乗り越えて現代にまでその表現が受け継がれてきました。照屋の作品では、伝統的な紅型に登場する模様が、今の沖縄を表す図柄——爆撃機やパラシュート部隊、辺野古に生息するジュゴン——に置き換わり、現代の沖縄や世界を表現します。

近年では、照屋は紅型を沖縄で育まれてきた主体的な表現の形として捉え、紅型で表現することで、支配／被支配、民衆の歴史など、沖縄を主軸にしながらも普遍的な権力と表現の問題へとテーマの広がりを見せています。

・Zone 5_ Constellation 点と点をつなぐ巡り合い

1995年、照屋は《山食人（ヤマクイムシ）》を発表します。港湾などで物流のために使われる木製パレット18枚に、木炭で木々が生き茂る山を描画してやんばるの山を表現しました。当時は林道建設によるやんばるの自然環境破壊が問題となっていました。人は生活の中で自然を信仰することができ、また生活のために森を切り開き破壊することもできます。2022年、照屋は《山食人》をスケールアップして、立体的に山を組み立てた《コース》を発表します。自然を守ろうと闘ってきた人々へ敬意を示し、かつ新たな祈りの場（バイビー御嶽）として創造されました。

世界各地からみた星空を紙袋で表現した《Constellation》、トイレットペーパーの芯が枝葉に変身する〈Fores t〉シリーズ、紙でできたパペットで辺野古の海を表した《La Mer》など、照屋は多くの作品において、大量生産され流通し消費されていく自然由来の素材を用いて、自然環境と人々の営みとを接続します。

【関連催事】

（1）オープニングセレモニー／照屋勇賢アーティスト・トーク

日 時：2023年11月3日（金・祝） 10:00 ～ 11:00

場 所：美術館企画ギャラリー

参 加 者：87名

講 師：照屋勇賢（出品作家）

（2）舞踊公演＋クロストーク①

日 時：2023年11月10日（金） 19:00 ～ 21:00

場 所：講堂

舞 踊：宮城茂雄（琉球舞踊家）

ト ーク：照屋勇賢（アーティスト）

宮城茂雄（琉球舞踊家）

仲嶺絵里奈（那覇市文化芸術劇場なはと企画制作主任専門員）

司 会：大城さゆり（企画展担当学芸員）

参 加 者：129名

（3）学芸員講座・キュレータートーク

日 時：2023年12月23日（金） 14:00 ～ 15:30

場 所：美術館講座室、美術館企画ギャラリー

講 師：大城さゆり（企画展担当学芸員）

参 加 者：20名

（4）舞踊公演＋クロストーク②

日 時：2024年1月13日（土） 16:00 ～ 18:00

場 所：講堂

舞 踊：宮城茂雄（琉球舞踊家）

ト ーク：照屋勇賢（アーティスト）

宮城茂雄（琉球舞踊家）

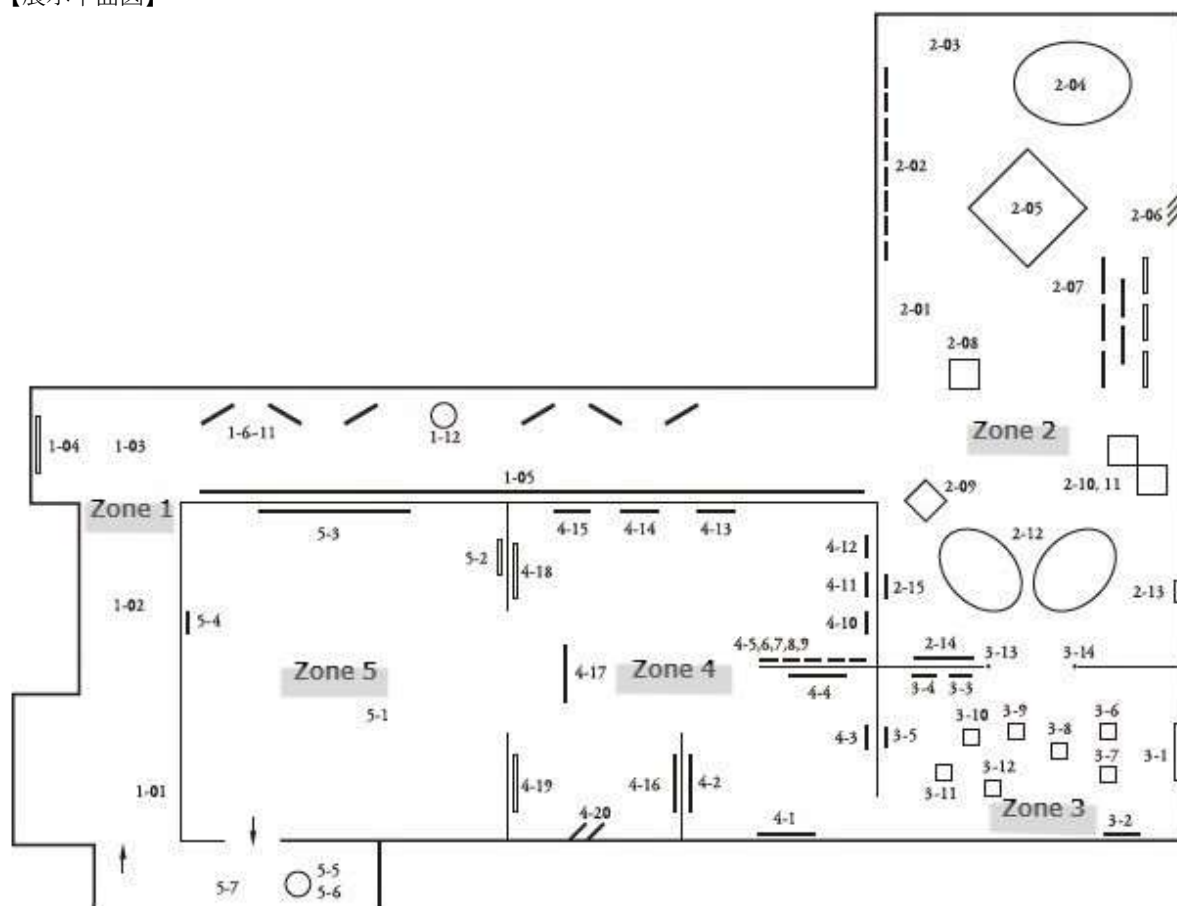
知念ウシ（むぬかちやー）

司 会：大城さゆり（企画展担当学芸員）

参 加 者：178名

（5）映像配信「対談・照屋勇賢×翁長直樹」 <https://www.youtube.com/watch?v=ePDRdpeVMhg>

【展示平面図】



【会場風景】



Zone 1 展示風景



Zone 2 展示風景



Zone 3 展示作品《告知一森》



Zone 4 展示風景



Zone 5 展示風景

(大城 さゆり)

Ⅲ 教育普及活動

1 美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、主に「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」で展開している。

鑑賞活動の支援プログラムでは、コレクション展や企画展に伴う学芸員講座やキュレータートーク、作家やその関係者によるアーティストトーク、ギャラリートークを開催し、関連催事を通して作品理解を深めるための情報を提供している。今年度の企画展「YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP」では、「舞踊公演＋クロストーク」等、新たな催事に取り組み、県内外から多くの方々に来館していただき好評を得ることができた。

また、学校と連携した「学校支援プログラム」の中では、鑑賞ボランティアによる「対話による鑑賞」を展開するなど、作品の解説だけではなく、初めて美術館に来る子どもたちのために、作品の楽しみ方等を伝えてきた。

しかし、2020年から2021年まで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休館期間が長期に及ぶなど、様々な活動が自粛や縮小を余儀なくされる状況が続き、2022年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、安全面に配慮しながら各事業を実施してきた。

そして、今年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になったことを機に、学校支援プログラムへの申込みが増え、累計15校の学校に「鑑賞支援プログラム」を実施することができた。また、昨年、一昨年と1校も申込みのなかった出前授業は、今年度5校の申込みがあり、学校へ伺う度に人と人との交流が戻ってきたと感じた。次年度は出前授業を含め、さらに申込みが増えることが予想されるため、学校の先生方と連携しながら取り組みを進めていきたい。

実技体験の支援プログラムでは、「夏休み！子どもフェスタ2023」において、多彩なプログラムに多くの幼児・児童・生徒が参加した。子どもから大人まで参加できる「OKINAWAアートワークショップ2023」も、「さあ行こう美術館へ！はじめの1歩を踏みだそう！～観る楽しさ・描くおもしろさ・つくる喜びを感じよう～」というテーマの下、伝統工芸だけに特化せず、広く「みること・かくこと・つくること」に焦点を当てた内容を提供し、参加者の皆様から好評を得ることができた。

また、7回目の開催となる県内児童・生徒を対象とした「アートコンクール」では、「好き」というテーマのもと985点もの応募があり、「好き」を表現することのできる平和な日常に感謝するよい機会となった。

さらに、今年度の移動展は、初の沖縄本島北部国頭村での開催となり、国頭地区の皆様に喜んでいただくことができた。

2 鑑賞活動支援

作品の鑑賞をより深めるために各展覧会担当によるキュレータートークや学芸員講座、作品の制作を行った作家や関係者を招き、アーティストトーク、ギャラリートークを行った。

（1）キュレータートーク・学芸員講座

展覧会を企画した担当学芸員が、作家や作品、展示に関する意図、また、開催するに当たり進めてきた調査・研究の内容を語る場である。

観覧者にとって、学芸員の話聞くことにより「美術作品」への関心を高め、より作品理解を深めることができる。また学芸員にとっては、観覧者に展示会がどう伝わったかを知る重要な機会となり、今後の展覧会に向けての情報収集となる。



梶原正史 学芸員

（2）アーティスト（ギャラリー）トーク

アーティストトーク、ギャラリートークは、作家自身や作家とゆかりがある、あるいは研究している方から話を聞く機会である。作家自身から作品、制作に関することや思いを直接伺い、ゆかりがある方から作家の人柄や思想、歩んできた人生、客観的な事実や制作スタイル、モチーフの変遷などについて聞くことで、作品や作家に対して、新たな気付きや理解がより深まることにつながっていく。



翁長直樹×照屋勇賢



照屋勇賢



アーティストトークの様子

回	月 日	展覧会名	参加者
1	8月21日(月)	YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 関連プレイベント 「対談 照屋勇賢×翁長直樹」(撮影) 講 師：照屋勇賢(アーティスト) 翁長直樹(沖縄県立博物館・美術館 元美術館副館長) ※対談の内容は、照屋勇賢展の図録に掲載し、映像は会期中に当館エントランスホールとYouTubeで放映	—
2	11月3日(木)	YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP 関連催事 「照屋勇賢アーティスト・トーク」 講 師：照屋勇賢(アーティスト)	87

(3) 学校支援プログラム(鑑賞支援プログラム)

「作品をどうみたらよいかわからない」鑑賞の方法について、よく聞かれる言葉である。美術館では、その問いに答える様々なプログラムがある。当館では、鑑賞者が自分のペースで展示を見る鑑賞方法と、学芸員やボランティアのサポートによる「対話による鑑賞」がある。1人で見るだけでは見えてこなかったことが、対話を通すことによってより深い鑑賞体験をすることにつながっていく。児童・生徒が美術に関する知識・理解をサポートする目的で、学校と美術館が連携して行うのが当館の鑑賞支援プログラムである。

前年度(令和4年度)は、鑑賞支援プログラムを実施した学校団体は12校で、そのうち出前授業を実施した学校は1校もなかった。しかし、今年度(令和5年度)は、鑑賞支援プログラムを実施した学校団体は13校で、そのうち出前授業+来館した学校は4校、出前授業のみの学校も1校あった。

回	月 日	学校名	内 容	参加人数
1	4月25日(火)	岡山市立山南学園(中等部2年)	博物館実習室(キャリア教育解説)	10
2	9月8日(金)	那覇市立城東小学校(6年)	出前授業	80
3	9月15日(金)	那覇市立城東小学校(6年)	美術館コレクション展、博物館常設展	76
4	9月26日(火)	沖縄市立比屋根小学校(1年)	美術館コレクション展、博物館常設展	125
5	9月27日(水)	糸満市立糸満小学校(4年)	美術館コレクション展、博物館常設展	91
6	10月25日(水)	読谷村立古堅南小学校(4年)	美術館コレクション展、博物館常設展	99
7	11月9日(木)	うるま市立南原小学校(5年)	美術館コレクション展、博物館常設展	49
8	12月13日(水)	沖縄県立沖縄ろう学校 (中学部1～3年)	出前授業	7
9	12月14日(木)	沖縄県立浦添工業高等学校(1年)	美術館コレクション展、博物館常設展 美術館バックヤード	午前37 午後41
10	12月15日(金)	八重瀬町立東風平小学校(5年)	出前授業	187
11	12月20日(水)	沖縄県立石川高等学校(2年)	美術館コレクション展、博物館常設展 美術館バックヤード	4
12	12月22日(金)	沖縄県立沖縄ろう学校 (中学部1～3年)	美術館コレクション展、博物館実習室	15
13	1月16日(火)	沖縄県立那覇みらい支援学校 (小学部6年)	出前授業	8
14	1月17日(水)	沖縄県立那覇みらい支援学校 (小学部6年)	美術館コレクション展	14
15	1月18日(木)	八重瀬町立東風平小学校(5年)	美術館コレクション展、博物館常設展	172
16	1月18日(木)	沖縄県立開邦高等学校(1、3年)	美術館コレクション展、美術館企画展	21
17	2月1日(木)	金武町立中川小学校(6年)	美術館コレクション展、博物館常設展 博物館企画展	20
18	2月20日(火)	八重瀬町立新城小学校(5年)	出前授業	55
19	3月5日(火)	恩納村立安富祖小学校(5年)	美術館コレクション展、博物館常設展	15



美術館について講話



バックヤード見学の様子



「対話による鑑賞」の様子

3 ミュージアムツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。内容は、トラックヤード、一時保管庫、収蔵庫、工作室、修復室と巡り、最後にコレクションギャラリーの鑑賞も行っている。

回	月 日	内 容	担 当	参加者
1	5月20日（土）	まもる（保存修復）	梶原正史	10
2	7月22日（土）	調べる（調査研究）	大城さゆり	10
3	9月16日（土）	みせる（展示公開）	大川 剛	13
4	11月11日（土）	伝える（教育普及）	玉城早苗	11
5	1月13日（土）	伝える（教育普及）	玉城早苗	5



大城さゆり学芸員（調査研究）



大川剛副館長（展示公開）



玉城早苗学芸員（教育普及）

4 コレクション・企画展 関連催事

（1）沖縄館コレクション展「大城皓也作品修復報告展」

会 期：2024年（令和6）1月23日（火）～6月30日（日）

① 学芸員講座＋キュレータートーク

【日 時】2024年2月10日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室、コレクションギャラリー1

【講 師】梶原正史（展覧会担当学芸員）

【参加者】9名

【内 容】主に修復作業の詳細について講話を行い、コレクションギャラリー1にて、参加者の質問に答えながら展示解説を行った。



学芸員講座＋キュレータートークの様子



（2）美術館コレクション展「沖縄美術の流れ」

会 期：2023年（令和5）7月14日（金）～2024年（令和6）6月30日（日）

① 中・高校生向けギャラリーツアー

【日 時】2024年2月17日（土）14:00～15:30

【会 場】美術館講座室、コレクションギャラリー3

【講 師】玉城早苗（展覧会担当学芸員）

【参加者】15名



【内 容】美術館講座室で展示内容について講話を行った後、アートカードを使って、鑑賞の方法や楽しみ方について実践。後半は、「対話による鑑賞」を行い「沖縄美術」に対する興味・関心を高める内容とした。



アートカードで学ぼう



対話による鑑賞の様子



(3) 美術館企画展 「YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP」

会 期：2023年（令和5）11月3日（金・祝）～2024年（令和6）1月21日（日）

① 照屋勇賢アーティストトーク

【日 時】2023年11月3日（金・祝） 10:00～11:00
 【会 場】美術館企画ギャラリー1・2
 【講 師】照屋勇賢（アーティスト）
 【進 行】大城さゆり（展覧会担当学芸員）
 【参加者】87名
 【内 容】照屋勇賢氏が、作品と展覧会について解説を行った。



② 舞踊公演＋クロストーク①

【日 時】2023年11月10日（金） 19:00～21:00
 【会 場】講堂
 【講 師】照屋勇賢（アーティスト）
 宮城茂雄（琉球舞踊家）
 仲嶺絵里奈（那覇市文化芸術劇場なはと企画制作主任専門員）
 【進 行】大城さゆり（展覧会担当学芸員）
 【参加者】129名
 【内 容】照屋勇賢氏の紅型作品をテーマに、舞踊公演とトークセッションを行った。舞踊では実際に作品を着用し琉舞を披露した。



③ 学芸員講座＋キュレータートーク

【日 時】2023年12月23日（金） 14:00～15:30
 【会 場】美術館講座室、美術館企画ギャラリー1・2
 【講 師】大城さゆり（展覧会担当学芸員）
 【参加者】20名
 【内 容】展覧会の意図や作品について、担当学芸員が解説を行った。



④ 舞踊公演＋クロストーク②

【日 時】2024年1月13日（土） 16:00～18:00

【会 場】講堂

【講 師】照屋勇賢(アーティスト)
宮城茂雄（琉球舞踊家）
知念ウシ（むぬかちやー）

【進 行】大城さゆり（展覧会担当学芸員）

【参加者】178名

【内 容】展覧会のテーマとなっている「沖縄」についてトークセッションを行った。また、舞踊では、11月に引き続き、実際に作品を着用し琉球舞踊を披露した。



5 ワークショップ

（1）OKINAWAアートワークショップ2023

沖縄県立博物館・美術館のアトリエには、充実した造形活動ができるスペースがあり、様々な創造活動を体験することができる。2017年度より、沖縄の地域素材を生かした、子どもも大人も楽しめるワークショップを実施している。今年度は、『さあ、行こう！美術館へ！はじめの一步を踏み出そう！～美術館で「作品を見る楽しさ・絵を描いたり、ものをつくる喜び」を感じてみよう！～』をテーマに、これまでどおり沖縄の地域素材を生かした内容に加え、県内で活躍する若手作家をお招きし、ものづくりの楽しさを感じることでできるワークショップを開催することができた。

① ステンドグラスでオーナメント

【日 時】2023年4月29日（土） 9:30～12:00

【内 容】ステンドグラスの仕組みを学びながら、オーナメント作りに挑戦。

【講 師】greenish blue glass

【対 象】18才以上

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】10名



② おきなわの木で作る豆皿ワークショップ

【日 時】2023年5月27日（土） 9:30～12:30

【内 容】沖縄の街路樹でも使われるタブノキを材料に彫刻刀で彫り込んでいく豆皿作りに挑戦。

【講 師】安里木漆工房（安里昌樹）

【対 象】小学校5年生から一般

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】9名



③ つまみ細工 ブローチ・コサージュ・髪飾り

【日 時】2023年7月15日（土） 9:30～12:30

【内 容】小さな布を折りたたみ、花の形に組んでいくつまみ細工に挑戦。

【講 師】布と花（永崎綾之）

【対 象】18才以上

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】9名



④ 身近なものを描こう～スケッチ・デッサン

【日 時】2023年7月29日（土）9:30～12:30

【内 容】参加者が大切にしているものをモチーフに、鉛筆を使ったデッサンを体験

【講 師】よねだ はるひこ（美術画家）

【対 象】18才以上

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】10名



⑤ 漆喰シーサーづくりに挑戦！

【日 時】2023年10月7日（土）、8日（日）9:30～12:30

【内 容】首里城の破損瓦を土台にした漆喰依シーサーづくり挑戦！

【講 師】山城富函（現代の名工）、大城幸祐（現代の名工）、
城間盛行、田端 忠、神里善則、
沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合の皆さん

【対 象】小学校5年生から一般

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】15名



⑥ 着なくなった服でつくる裂き布マット

【日 時】2023年11月19日（日）9:30～12:30

【内 容】赤ちゃんと保護者を対象に、着なくなった服で裂き布をつくりオリジナルのマットを制作

【講 師】毛糸屋amu（上地亜美）

【対 象】赤ちゃんとママ・パパ

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】3組8名



⑦ 赤ちゃんとママ・パパのためのギャラリーツアー

【日 時】2023年11月25日（土）14:00～15:00

【内 容】照屋勇賢展の担当学芸員が、ママパパ向けに展覧会の見どころや作品について解説。

【講 師】大城さゆり（企画展担当学芸員）

【対 象】赤ちゃんとママ・パパ

【会 場】美術館企画ギャラリー1・2

【参加者】2組6名



⑧ 干支紅型でお正月支度

【日 時】2023年12月16日（土）10:00～12:00

【内 容】紅型の歴史や技法を学びながら、2023年の干支「辰」の紅型作成に挑戦。

【講 師】城紅型染工房（ぐすくびんがたそめこうぼう）、吉濱 愛、
山城祥子

【対 象】5才から一般

【会 場】こどもアトリエ、県民アトリエ

【参加者】15名



（2）夏休み！こどもフェスタ2023

毎年恒例となっている夏休みこどもフェスタは、未就学児から中学生までの参加があり、それぞれの講座を通して、子どもたちに造形的な技能及び表現力を身につけさせ、子どもたちと美術館との関わりを深めることを目的としている。今年度は、台風6号の影響で実施日を1週間延期しての開催となった。



① 形さがし×色あそび

【日 時】2023年8月12日（土）9:30～11:00

【内 容】カサカサ、くねくね、身近な植物を使って色んな形を発見しよう。親子で楽しめるカラフルなアート体験!!

【講 師】大中原千陽・本村佳奈子（confetti project）

【対 象】未就学児と保護者（兄弟も参加可）

【会 場】博物館実習室

【参加者】10組15名

② 琉球王国にタイムスリップ！あなたも琉球絵師!?

【日 時】2023年8月12日（土）14:00～16:30

【内 容】琉球王国時代の絵師が使っていた材料を使い、白澤の板絵を制作。モチーフの白澤や当時首里城でお香のように焚かれていた丁子についても解説。

【講 師】喜屋武千恵（画家）

【対 象】小1～中3

【会 場】博物館実習室

【参加者】8名



③ ミニ漆喰シーサーづくりに挑戦！

【日 時】2023年8月13日（日）9:30～12:30

【内 容】首里城の瓦を使って、ミニ漆喰シーサーを作ってみよう！

【講 師】沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合の皆さん

【対 象】小1～中3（小3以下は保護者同伴）

【会 場】博物館実習室

【参加者】16名



④ 夏の定番！島ぞうりにオリジナルデザインを彫ろう！

【日 時】2023年8月13日（日）14:00～15:30

【内 容】沖縄ではおなじみの島ぞうり！自分だけのデザインを考えて、オリジナルの島ぞうりをつくってみよう！

【講 師】玉城早苗（美術館学芸員・教育普及担当）

保久村智恵（美ら島財団・教育普及担当）

【対 象】小5～中3

【会 場】博物館実習室

【参加者】5名



6 アートコンクール

2017年より、県内の児童・生徒にアートコンクールへの参加の機会を提供し、親しめる美術館づくりを目指している。今年度は、テーマを「好き」として募集したところ、985点の素晴らしい作品が集まった。作品の中から特に色彩豊かで独創的な作品が入賞し、11月3日に表彰式を挙行了。当日は、入賞者のご家族にもご列席いただき、晴れやかな表彰式となった。



表彰式の様子



展示の様子



●令和5年度 沖縄県立博物館・美術館 第7回アートコンクール 上位入賞者一覧表

賞	小学校の部		中学校の部	高校の部	特別支援の部
	1・2・3年	4・5・6年			
最優秀賞	◎上里 優護 沖縄市立高原小2年	◎池田 柚菜 豊見城市立長嶺小6年	◎嘉味田 優 那覇市立鏡原中3年	◎宮平 愛香 県立小禄高2年	◎与那 一樹 糸満市立糸満南小 特別支援学級3年
優秀賞	◎島袋 權 嘉手納町立屋良小3年 ◎與座 悠真 浦添市立港川小2年	◎平良 美仁花 沖縄市立比屋根小6年 ◎前田 結音 私立沖縄カトリック小6年	◎大城 怜央奈 私立興南中2年 ◎親泊 美音 南城市立大里中3年	◎小澤 梨瑠 県立浦添工高2年 ◎喜友名 沙姫良 県立小禄高2年	◎平安山 琴音 県立那覇みらい支援 学校中学部2年 ◎喜友名 盛世 県立はなさき支援学 校中学部2年
優良賞	◎崎原 盛央 那覇市立城北小1年 ◎澤嵜 煌 私立沖縄カトリック小1年 ◎鶴田 水蓮 豊見城市立上田小2年	◎屋嘉比 康虎 本部町立瀬底小5年 ◎山本大智 石垣市立八島小4年 ◎川崎 航弥 豊見城市立豊崎小4年	◎新垣 麻依 那覇市立石田中3年 ◎兼本 夏輝 那覇市立首里中2年 ◎山城 大空 国頭村立国頭中3年	◎大城 和月 県立真和志高2年 ◎パンコースト ラナ ニコール 県立中部農林高3年 ◎松原 希依 私立カトリック高1年	◎辻 乃唯絵 県立鏡が丘特別支援 学校高等部2年 ◎金城 陽花 県立島尻特別支援学 校高等部3年 ◎仲宗根 航也 県立那覇みらい支援 学校高等部1年
団体賞	・宮古島市立下地小学校 ・那覇市立仲井真小学校		・学校法人興南学園興 南中学校	・沖縄県立真和志高等 学校 ・沖縄県立宮古高等学 校 ・沖縄県立コザ高等学 校	・沖縄県立島尻特別支 援学校 ・沖縄県立はなさき支 援学校

7 慰霊の日関連催事

沖縄戦の体験者も高齢となり、私たちの身近にも悲惨な地上戦について語ってくれる人が少なくなってきた。学校現場でも年々、沖縄戦を主とした「平和教育」を実践することが難しくなっているのではないだろうか。当館では2017年より、博物館・美術館連携事業として慰霊の日関連催事を行っている。戦争の愚かさや命の大切さを絵本の読み聞かせを通して伝え、改めて平和について考える機会とすることを目的としている。

【展示期間】2023年6月6日（火）～6月25日（日）

【読み聞かせ催事】2023年6月17日（土）14:00～15:00

【会 場】沖縄県立博物館・美術館 エントランスホール

【講 師】安次嶺恵子、普久原律子（沖縄県立博物館美術館・美術館ボランティアスタッフ）

【参加者】23名

【内 容】博物館・美術館教育普及連携催事で、館内1階エントランスにTVモニターを設置し、平和関連の絵本の読み聞かせ映像の上映と、6月17日（土）に、当館鑑賞ボランティアの安次嶺恵子氏と、普久原律子氏に実際に読み聞かせを行っていただいた。また、沖縄県立図書館協力の下、本の紹介も行った。

（1）平和に関する絵本の読み聞かせ映像の放映（美術館）

宮城アケミ（元沖縄大学教授・沖縄県立博物館・美術館 美術館鑑賞ボランティア）

（2）読み聞かせ催事

【作 品】①「ケーイ命が教えてくれたもの一つしま丸・沖縄戦」（金城明美 文・絵）

②「戦争をやめた人たちー1914年のクリスマス休戦ー」（鈴木まもる 文・絵）

（3）本の紹介資料（沖縄県立図書館）



展示の様子



読み聞かせの様子



8 ボランティア活動

当館の美術館ボランティアスタッフは、学校団体に向けた鑑賞ツアーをサポートするガイドボランティアと、美術館関連書籍・新聞などを整理する資料整理ボランティア、ワークショップをサポートするボランティアの3つのグループに分かれ、それぞれの特技を生かし活動している。今年度のガイドボランティアは、新規ボランティアの養成講座を実施し、新たに10名以上が活動を開始した。また、学校対応では、特別支援学校やろう学校の児童・生徒と鑑賞ツアーを行うことができた。

(1) ボランティア研修会

回	月 日	講義内容	参加人数
1	5月17日（水）	職員紹介・活動計画と事務手続等説明、ボランティア養成講座	23
2	5月31日（水）	アートカードの使い方と美術館の役割について	24
3	6月21日（水）	浦添市美術館研修会	23
4	8月9日（水）	学校団体の来館を想定した対話型鑑賞の研修会	14
5	9月6日（水）	学校団体の来館を想定した対話型鑑賞の研修会	17
6	10月4日（水）	学校団体の来館を想定した対話型鑑賞の研修会	17
7	12月20日（水）	照屋勇賢展の展示解説と沖縄ろう学校来館に向けた事前準備	16
8	2月7日（水）	対話型鑑賞実践と今年度の振り返り、更新書類の説明	11

(2) ガイドボランティア対応・鑑賞ツアー

回	月 日	学校名	参加人数
1	9月15日	那覇市立城東小学校	76
2	9月27日	糸満市立糸満小学校	91
3	10月25日	読谷村立古堅南小学校	99
4	12月22日	沖縄県立沖縄ろう学校・中学部	15
5	2024年1月17日	沖縄県立那覇みらい支援学校・小学部6年生	14



対話による鑑賞の様子

9 教職員等、研修の受け入れ

教育委員会や研究所、学校等からの要請を受け、「校内研修」や「中堅教諭等資質向上研修」等の受け入れも行っている。今年度は、那覇市内の小学校教諭5名と県立名護高等学校教諭1人の「中堅教諭等資質向上研修」を実施した。また、那覇教育事務所主催の県民カレッジ「沖縄県立博物館・美術館バックヤードツアー」も、昨年度に引き続き開催することができた。

また、毎年、沖縄県造形教育連盟と共催で開催している「教員向け講座」は、台風6号の影響で中止となった。

(1) 令和5年度 中堅教諭等資質向上研修「社会体験研修」

【期 間】2023年8月3日（木）～8月4日（金）2日間

※美術館班は8月4日（木）バックヤード+コレクション展解説など

【人 数】那覇市内小学校教諭 5名

(2) 令和5年度 県立高等学校 中堅教諭資質向上研修

【期 間】2023年8月16日（水）～8月18日（金）3日間

※美術館班は16日（水）実施

【人 数】沖縄県立名護高等学校教諭 1名

（3）令和5年度 県民カレッジ「沖縄県立博物館・美術館バックヤードツアー」

【日 程】2023年8月10日（木）13:30～16:00

【人 数】24名



美術館の役割について講話



作品鑑賞



アートカードで学ぼう

（玉城 早苗）

IV 資料収集・保存管理

1 収蔵作品現在高

2024年3月31日 現在

分 類	購 入	寄 贈	移 管	その他	小 計	寄 託	総 計
平 面	379	1,502	65	2	1,948	194	2,142
立 体	34	241	0	8	283	15	298
写真・映像	394 (映像:20)	2,204 (映像:6)	0	0	2,598 (映像:26)	765 (映像:0)	3,363 (映像:26)
その他	13	12	1	3	29	39	68
総 計	820	3,959	66	13	4,858	1,013	5,871

※「写真・映像」の収蔵数に含まれる、映像作品数をカッコ内に記した。

（注）2023年度実績をまとめるにあたり収蔵資料高の数値を修正しました。

2 2023年度（令和5）新収蔵作品高

分 類	購 入	寄 贈	移 管	小 計	寄 託	総 計
平 面	0	18	0	18	0	18
立 体	0	0	0	0	0	0
写真・映像	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
総 計	0	18	0	18	0	18

3 2023年度（令和5）新収蔵作品目録

【寄 贈】

分 類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
平 面	デ ザ イ ン	岸本 一夫	沖縄戦後24年のポスター	1969年	ポスターカラー、紙	1
		岸本 一夫	沖縄戦後24年のポスター	1969年	ポスターカラー、洋紙	1
		岸本 一夫	沖縄戦後24年	1969年	ポスターカラー、洋紙	1
		岸本 一夫	パネルキャンペーン OKINA WA-1	1969年	ポスターカラー、紙、 パネル	1
		岸本 一夫	黒い蝶パネルキャンペーンOKI NAWA-2	1969年	ポスターカラー、洋紙	1

分 類		作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
平 面	デ ザ イ ン	岸本 一夫	黒い蝶	1970年	ポスターカラー、洋紙	1
		岸本 一夫	黒い蟻	1970年	ポスターカラー、紙	1
		岸本 一夫	ポスター（星の流れ）	1970年	ポスターカラー、洋紙	1
		岸本 一夫	黒い佛桑華	1970年	ポスターカラー、紙	1
		岸本 一夫	PEACE	1985年	シルクスクリーン、洋紙	1
		岸本 一夫	（観光ポスターのための試作）	1960年	ポスターカラー、紙	1
		岸本 一夫	（観光ポスターのための試作）	1961年	ポスターカラー、洋紙	1
		岸本 一夫	ポスター	1972年	ポスターカラー、紙	1
		岸本 一夫	ポスター（昼と夜）	1984年	ポスターカラー、紙	1
		岸本 一夫	琉球古紅型より 作品12	1984年	シルクスクリーン、和紙	1
	絵 画	岸本 一夫	積木のOKINAWA	1969年	油彩、キャンバス	1
		岸本 一夫	（工事場）	1958年	油彩、キャンバス	1
		岸本 一夫	工事場（裏書：新人賞）	1958年	油彩、キャンバス	1

4 作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の文化芸術の拠点となると同時に、芸術文化活動を通じて、アジア地域や沖縄の発展に貢献する国際化の拠点となることを目的としている。収集事業は、本県独自で個性あるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

令和5年度は、1回の美術品等収集委員会を実施した。作品の収集に当たっては、それぞれの学芸員による専門分野の前調査をもとに、美術館学芸会議で審査を行い、県内の有識者で構成された収集委員会で審議した。その結果を参考に所定の手続きを経て、収集した。今回は昨年度の展覧会事業で紹介を行った岸本一夫作品を収集した。

（亀海 史明）

5 保存管理事業

（1）保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理の徹底による虫菌害予防（ペストコントロールを含む）が、まず挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の消毒など、対策の強化を重点的に行っている。さらに収蔵作品においては効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう配慮している。

（2）収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、その作業内容に沿った修復家への依頼、招聘を行い、当館保存修復室にて共同で修復作業を行うこととしている。本年度の外部委託の依頼はなかった。

企画及び常設展へ出品するための状態チェック、修復作業、額装改善及び金具等整備作業、版画作品のマウント作業、借用作品の状態チェックなどを行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

(3) 収蔵品修復（館内処置）

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
大城 皓也	イエファイイエファイ(A)	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。和紙テープを使用し、破れ部分簡易接着。表打ち。裏面の乾式洗浄。裏面より破れ部分にかけはぎ接着。裏面に合成樹脂を使用したホットテーブルによる裏打ち。新しい木枠への張り込み。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。ニス吹付。	当館収蔵品 大城皓也修復報告展出品作品
大城 皓也	人魚の海	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。表面に付着した蟻道の除去。表打ち。裏面の乾式洗浄。裏面より破れ部分に和紙と合成樹脂によるパッチの接着。裏面に合成樹脂を使用したホットテーブルによる裏打ち。新しい木枠への張り込み。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。ニス吹付。	当館収蔵作品 大城皓也修復報告展出品作品
大城 皓也	琉球船舶旗	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。裏面の乾式洗浄。画面洗浄。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。ニス吹付。	当館収蔵作品 大城皓也修復報告展出品作品
大城 皓也	基地の家族	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。木枠とキャンバスを分離し、裏面の乾式洗浄。画面洗浄。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。ニス吹付。	当館収蔵作品 大城皓也修復報告展出品作品
大城 皓也	風景	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。裏面の乾式洗浄。画面洗浄。剥落部分の充てん、水彩絵の具、捕採用絵具による充てん部の補彩。ニス吹付。	当館収蔵作品 大城皓也修復報告展出品作品
渡嘉敷 唯盛	泉崎橋	油彩・キャンバス	吊り金具交換・額装の改善。	当館収蔵作品 沖縄美術の流れ
金城 明一	糸満にて	油彩・キャンバス	画面洗浄・額装の改善	当館収蔵作品 沖縄美術の流れ
内間 安理	Hymns 讃美歌	多色木版・紙	ブックマウント、作品固定方法の改善。額装の改善。	当館収蔵作品 沖縄美術の流れ

※額装の新調や展示方法などの改善は含まない

注記

・館内処置について

作品における処置は全て当館保存修復学芸員 梶原正史が行った。

額装の改善とは主に入れ子へのフェルト貼りや、スペーサー装着、額縁裏面・泥足の補強、ぐらつき防止のネジ止め、割れの接着、汚損の除去など。

・修復に使用した材料について

作品に悪影響を及ぼすことがないこと、材質的に安定していて、将来的に除去が可能なことを前提に、様々な作品状態にあったものを使用している。

6 作品貸出

美術館では、借用先のファシリティーズレポートの提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で可否を決定している。また、輸送会社へ貸出作品の状態に合わせた梱包仕様の提案を行い、作品貸出及び返却作業には、美術館職員と借用先職員の両者が立ち会い、作品状態の点検を行っている。なお2023年度、美術館収蔵作品の作品貸出は以下3件であった。

(1) 事業名：桜坂劇場 金城哲夫監督作品「吉屋チルー物語」鑑賞会
貸出期間：2023年9月3日～9月8日
貸出作品：1点（収蔵作品1点）
1 金城 哲夫 吉屋チルー物語 1962年 DVD

(2) 事業名：さっぽろ自由大学2023年 知念ウシ講演
展覧会場：沖縄国際大学
貸出期間：2023年10月18日
貸出作品：1点（収蔵作品1点）
1 金城 哲夫 吉屋チルー物語 1962年 DVD

(3) 事業名：The Arts Of Benshi 2.0
上映会場：早稲田大学大隈講堂
貸出期間：2024年1月31日
貸出作品：1点（収蔵作品1点）
1 吉野二郎 執念の毒蛇 1931年 DVD

(梶原 正史)

一般財団法人 沖縄美ら島財団 (指定管理者)

- I 沖縄美ら島財団の概要
- II 運営方針
- III 組織図
- IV 展示活動
- V 教育・イベント活動
- VI 広報事業に関する業務
- VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動

I 沖縄美ら島財団概要

【沿革】

1976年（昭和51）7月、財団法人海洋博覧会記念公園管理財団発足。同年8月1日、国営沖縄海洋博覧会記念公園維持管理業務受託開始。1991年（平成3）首里城基金を設立。1992年（平成4）11月、首里城公園（国営沖縄記念公園首里城地区、県営公園の一部、城郭）の維持管理業務受託開始。同年営業契約により特定公園施設（正殿、南殿・番所、北殿、奉神門、御庭等）の管理運営を開始。2002（平成14）11月、営業契約により特定公園施設（沖縄美ら海水族館）の管理運営を開始。2008年（平成20）12月、総合研究センター（現「総合研究所」）発足。2012年（平成24）10月1日、一般財団法人沖縄美ら島財団に改称。2021年（令和3）9月「おきなわSDGsパートナー」登録。

【業務内容】

1976年（昭和51）8月開園以来海洋博公園の維持管理業務、1992年（平成4）11月開園以来首里城公園国営公園部分と首里城城郭を含む県営公園部分の維持管理業務の受託を行っている。首里城有料区域及び沖縄美ら海水族館については、独立行政法人都市再生機構との営業契約で運営していたが、2019年（平成31）2月から沖縄県が管理者となったことから、「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）」及び、「沖縄県国営沖縄記念公園内施設（海洋博覧会地区内施設）」の指定管理者として運営している。2006年度（平成18）からは指定管理者として県営首里城公園、2013年度（平成25）から2023年3月まで県立名護青少年の家、2014年（平成26）から2024年3月までなごアグリパーク（名護市農産物6次産業支援拠点施設）の管理運営を行うほか、2015年（平成27）より名護市の小学校跡地に沖縄の自然に関する調査研究・普及啓発活動の拠点施設として「美ら島自然学校」を開校し運営している。2014年より国際通りの沖縄美ら海水族館アンテナショップ「うみちゅらら」をオープンした。その他、2008年（平成20）に「総合研究センター（現「総合研究所」）」を設立し、海洋生物や亜熱帯植物、海洋文化、首里城等琉球王朝文化の調査・研究普及啓発、社会貢献・地域連携活動を行い、2014年には文部科学省により科学研究費補助金取扱規程に定める研究機関に指定された。2016年（平成28）4月より沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として同館の管理・運営にあたっている。指定期間は、1期目が2016年（平成28）4月～2021年（令和3）3月までの5年間。2期目が2021年（令和3）4月～2026年（令和8）3月までの5年間。

II 運営方針

1 管理運営の基本方針

（1） 基本的な考え方

沖縄県や地域社会、県民など多様な主体と連携・協働し、「沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例」及び「沖縄県立博物館・美術館中長期計画」が示す本館の使命と役割を果たします。

以下に示す管理運営方針のもとで効率的な業務運営に取り組み、当財団の調査研究部門との連携を強化し、沖縄の自然・歴史・文化の拠点である博物館・美術館の機能の発揮に努めます。

2 管理運営方針

方針1：沖縄の宝を守り育み、多くの方へ、そして未来へつなぎます。

・総合研究所の調査・研究・普及啓発活動を社会に還元

総合研究所の研究成果や人材、ネットワークを活かし、本館が行う資料の保管や展示、調査研究、教育普及事業をサポートし、沖縄県の文化芸術や教育学習の発展、調査研究の推進に寄与します。

・豊富な学芸員人材により県の展覧会や教育普及活動をサポート

博物館での業務経験豊富な学芸員有資格者を多数配置し、県の活動をサポートするとともに、自主事業等を積極的に展開し、沖縄県を代表する博物館・美術館に相応しい学びと鑑賞の機会を提供します。

・沖縄固有の自然・歴史・文化の継承・発展を支援

世界遺産登録が期待される『奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島』、令和1年に日本遺産に認定された『琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」』や、漆器をはじめとした沖縄県の伝統工芸品を普及・継承・支援するための取り組みを行います。

方針2：おもてなしの心と親しみあふれる開かれた博物館・美術館を目指します。

・お客様の立場に立ったサービス提供

礼節を重んじる「守礼の心」を大切に、ホスピタリティ溢れる接客とサービスにより顧客満足度を高めま

す。また、お客様の声を業務に反映させる仕組みにより継続的にサービスの質を向上させます。

- ・ **全ての方が快適に過ごせる利用環境の整備**

身体の不自由な方や外国人、社会的弱者の方を含め、全てのお客様が快適に利用できる施設を目指し、ソフトとハードの両面から取り組みを行います。

- ・ **万人に開かれた存在になるためのブランディング活動**

令和1年度に策定した本館のブランドスローガン「あなたの沖縄に出会う」を軸に、一貫性のある情報発信とサービス提供を行います。また、本館が目指すアジアや世界に開かれたミュージアムの実現をサポートします。

方針3：誰もが安全・安心・快適に過ごせる適切な運営を行います。

- ・ **豊富な経験とノウハウに基づく適切な施設維持管理**

当財団による総合管理のもと、開館以来本館の維持管理を担う専門会社が施設維持管理を行います。また予防保全の観点に立った施設の長寿命化と安全確保に努めます。

- ・ **文化財保護施設に相応しい万全の危機管理体制を構築**

想定される緊急事態を洗い出し、独自の危機管理マニュアルに定める予防及び発生時の対策を用意するとともに、定期的な訓練により実践的な対応力を強化します。

- ・ **新型コロナウイルス等の感染症拡大防止策を徹底**

県内及び国内の感染状況に応じて的確に対策を講じるとともに、入口での水際対策や消毒、3つの密（密閉、密集、密接）を避ける対策を徹底し、お客様が安心して利用できる環境を整えます。

方針4：観光客の来館を増やし、沖縄観光の推進に寄与します。

- ・ **質・量ともに優れた誘客・広報活動**

当財団が持つ豊富な情報発信資源と、これまで蓄積してきたマーケティングノウハウを活かし、顧客のニーズを捉えた誘客広報活動を展開します。観光客の主要な情報収集手段となっているWEBサイトやSNS等を積極活用し、時代の変化に適応した情報発信を行います。

- ・ **県内外ネットワークの活用と沖縄美ら海水族館や首里城公園との連携**

当財団が県内外の観光業界において持つネットワークを活用するほか、沖縄県の二大観光施設と連携するなど当財団ならではの広報資源を活用して誘客を行います。

- ・ **沖縄固有の歴史文化を楽しく鑑賞・体験できる情報提供**

観光客のニーズに適応した情報発信を行い、本館が観光客にとって沖縄の自然・歴史・文化に触れ、沖縄観光を楽しむための出発点として、また知的好奇心を充足させる観光施設として定着するよう努めます。

方針5：地域に愛され、人々が集う文化・芸術拠点を目指します。

- ・ **行催事で地域の皆様の発表・講師の場を提供**

年間を通じて地域の皆様に参加いただけるイベントを開催し、披露したい人と楽しみたい人、教えたい人と学びたい人をつなげる場を創出します。

- ・ **音楽イベントの開催により来館と交流を促進**

本館の立地特性や空間の雰囲気を活かし、音楽鑑賞の機会を創出します。県内アーティストによるコンサートや県内大学生による芸能披露を開催します。

- ・ **地域の多様な主体と連携**

那覇新都心通り会や近隣の小学校をはじめ、本館周辺の企業や団体と互いに協力し合える関係を築き、地域活動に参加することで、豊かな地域づくりに貢献します。

方針6：本館の総合力を最大限に活用し、多様なニーズに応えます。

- ・ **本館の複合機能を活かした滞在体験の提供**

博物館、美術館、情報センター、貸施設、ショップ、カフェなど多様な機能を有する施設の強みを活かし、お客様が見て、触れて、学べる体験や快適な滞在サービスを提供します。

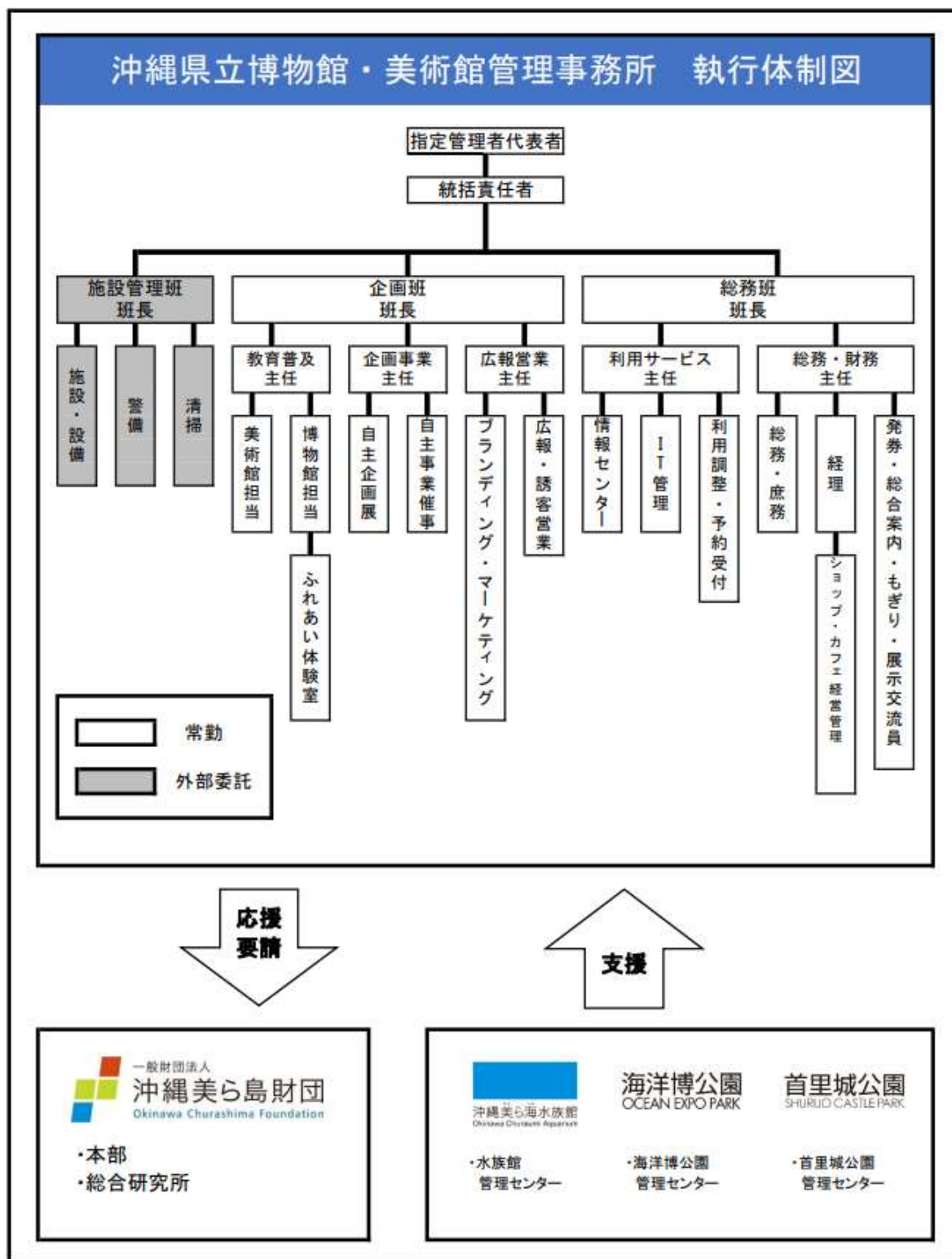
- ・ **本館の特長を活かした自主事業を新たに実施**

本館が有するスペース、知名度、集客力といった有形無形の資源に、当財団の人材、ノウハウ、発信力を掛け合わせることで新たな自主事業を展開します。

- ・ **博物館常設展、美術館コレクション展の来館動機を高めるプロジェクト**

複合的な機能を有する本館の施設特性を活用し、博物館常設展の「目玉」を広める「万国津梁の鐘」プロジェクト、アート鑑賞の素晴らしさを伝える「アートを身近に！」プロジェクトを推進します。

III 組織図



IV 展示活動

1 展示活動概要

(1) 自主企画 ジミー大西 画業30年記念作品展「POP OUT」

会 期：2023年4月28日（金）～6月4日（日）（開催日数33日）

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

観 覧 料：一般1,000円（800円）、高大生800円（640円）、小中生500円（400円）、未就学児無料

※（ ）は前売料金および20人以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額

入場者数：21,654名（1日平均656名）

担当学芸員：川島祥子（沖縄美ら島財団）

【開催形式】

主 催：沖縄美ら島財団、沖縄タイムス社

【開催趣旨】

画家としても活躍するお笑い芸人・ジミー大西氏の画業30年を振り返る展覧会。初期から新作までを網羅し、沖縄会場のために描き下ろした作品も合わせ、作品132点を紹介した。

【展示内容】

- 1) 1993～1995 [画家デビュー～初期作品]
- 2) 1996～1999 [芸能活動を休業～スペイン移住期]
- 3) 2000～2007 [多様な創作活動の展開期]
- 4) 2008～2015 [世界中を放浪～マルタ島移住期]
- 5) 2020～2022 [創作活動の再開～現在まで]



内覧会でのジミー大西氏による展示解説

【展示平面図】



【関連催事】

①内覧会

日 時：2023年4月27日（木）14:00～16:00

会 場：美術館企画ギャラリー1・2

参加者数：42名

②ジミー大西氏サイン会

日 時：a) 2023年4月28日（金） b) 4月29日（土） c) 5月3日（水） d) 5月4日（木）

e) 5月5日（金） f) 5月6日（土） g) 5月26日（金） h) 5月27日（土）

i) 5月28日（日） ※ a～iは13:30～15:00

j) 6月4日（日） ※ jは12:00～13:30

会 場：美術館展示室入口

参加者数：a) 181名 b) 215名 c) 89名 d) 109名 e) 86名 f) 92名 g) 55名 h) 81名

i) 105名 j) 116名（定員：a・b、g～jは各回200名、c～fは各回100名）

③ 1万人達成セレモニー

日 時：2023年5月17日（水）14:00～14:15

会 場：美術館展示室入口

プレゼンター：石川達也（沖縄タイムス社 常務取締役）

④ ジミー大西さんとアートでつながろう 大平特別支援学校・浦添工業高校 共同作品制作

日 時：2023年5月27日（土）16:00～17:00

会 場：県民アトリエ・こどもアトリエ

参加者数：25名（大平特別支援学校、浦添工業高校の児童生徒）

（2）自主企画 「みんなの進化展～命はつながっている～」

会 期：2023年6月21日（水）～9月3日（日）（開催日数54日）

会 場：企画展示室・特別展示室1・2

観 覧 料：一般1,200円（960円）、高大生700円（560円）、小中生100円（80円）、未就学児無料

※（ ）は前売料金および20人以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額

入場者数：32,963名（1日平均610名）

担当学芸員：菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）、渡久地 雅代（沖縄美ら島財団）

【開催形式】

主 催：沖縄美ら島財団、沖縄タイムス社

共 催：沖縄県立博物館・美術館

協 賛：沖縄明治乳業株式会社、株式会社琉球銀行、株式会社ざまみダンボール

協 力：（独）国立科学博物館、（公財）山階鳥類研究所、（公財）沖縄こどもの国、沖縄県環境部、（一財）沖縄県環境科学センター、国際海洋環境情報センター（GODAC）、（一社）国立沖縄自然史博物館設立準備委員会、岩国市ミクロ生物館、沖縄科学技術大学院大学（OIST）

後 援：（大）琉球大学、（一社）日本進化学会、沖縄生物学会、沖縄生物教育研究会、沖縄県教育委員会、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄、FMレキオ、エフエム沖縄、エフエム那覇、那覇新都心通り会

【開催趣旨】

本県が属する琉球列島は、各島で独自の「進化」を遂げた固有種たちの宝庫として、世界的にも注目を集めており、一部の地域は世界自然遺産に登録されようとしている。その価値を本当の意味で理解するためには、生きものたちが歩んできた「進化」の歴史について確かな理解が必要である。そこで本展覧会では、「進化」の視点で生きものたちを見つめ、ヒトと自然のつながりを感じ、その上で「琉球列島の自然価値」を再発見する機会の提供を目的とした。

【展示内容】

第1章 生命の樹～命はつながっている～

第2章 祖先たちのものがたり～さかのぼり生命史～

第3章 ダーウィンは考えた～意外に単純 進化のからくり～

第4章 進化のキセキ～進化っておもしろい！～

第5章 進化の舞台『琉球列島』～身近な生きものたちが教えてくれること

【関連催事】

① プレイイベント「おきなわ民話のよみきかせ×ぶらぶら展示室」

「こうもりのふたごころ」（栗国島のおはなし）

日 時：2023年5月3日（水）10:30～12:00

会 場：博物館常設展示室

講 師：菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

参加方法：事前申込制（定員 20名）、博物館常設展観覧券

参加者数：20名

② 開会式

日 時：2023年6月21日（水）9:15～9:45

※開会式終了後 内覧会 9:45～

会 場：企画展示室入口

あいさつ：主催 瑞慶山秀彦（株式会社沖縄タイムス社 専務取締役）

主 催：湧川盛順（一般財団法人沖縄美ら島財団 専務理事）
共 催：里井洋一（沖縄県立博物館・美術館 館長）
招 待：協賛社、関係者、マスコミ各社
参加者数：約41名

④夏休み子どもフェスタ「カタツムリの不思議に迫ってみよう！」

日 時：2023年7月26日（水）10:00～11:30
会 場：博物館実習室
講 師：菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）
参加方法：事前申込制・抽選（定員12名）、200円
参加者数：11名

④夏休み子どもフェスタ「みんなの進化展プレミアム解説会」

日 時：a) 2023年7月26日（水） b) 7月27日（木） c) 7月28日（金）13:00～14:30
会 場：みんなの進化展展示室
講 師：菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）
参加方法：事前申込制・抽選（定員各10名）、みんなの進化展観覧券
参加者数：a) 9名 b) 11名 c) 9名

⑤学芸員講座「みんなの進化論入門～進化の舞台 琉球列島～」

日 時：2023年8月12日（土）10:00～12:00
会 場：博物館講座室
講 師：菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）
参加方法：当日先着順（定員80名）、無料
参加者数：33名

⑥「手羽先で骨格標本づくり～恐竜と鳥はどこが似ているの？～」

日 時：2023年8月15日（火）10:30～12:00
会 場：博物館実習室
講 師：菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）
参加方法：事前申込制・抽選（定員12名）、みんなの進化展観覧券
参加者数：12名



菊川学芸員による展示解説会

⑦「ダンゴムシのフシギに迫ってみよう！」

日 時：2023年8月16日（水）10:30～12:00
会 場：博物館実習室
講 師：菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）
参加方法：事前申込制（定員12名）、みんなの進化展観覧券
参加者数：7名

⑧文化講座「ダーウィンの夏休み」すごい進化ラジオ公開収録

日 時：2023年8月19日（土）14:00～16:00
会 場：講堂
講 師：鈴木紀之（高知大学農林海洋科学部 准教授）
アシスタント：泉 淳稀（高知大学大学院）
参加方法：当日先着順（定員200名）、無料
参加者数：40名

⑨「日本初の国立自然史博物館を沖縄に！特別講演会「進化より自然史を語る 2023」」

日 時：2023年8月19日（土）※台風で延期のためオンライン配信
講 師：岸本健雄（一般社団法人国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事）
菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）
平坂雅男（NPO法人バイオミメティクス推進協議会事務局長）

視 聴 数：133回

⑩「サメの解剖教室」

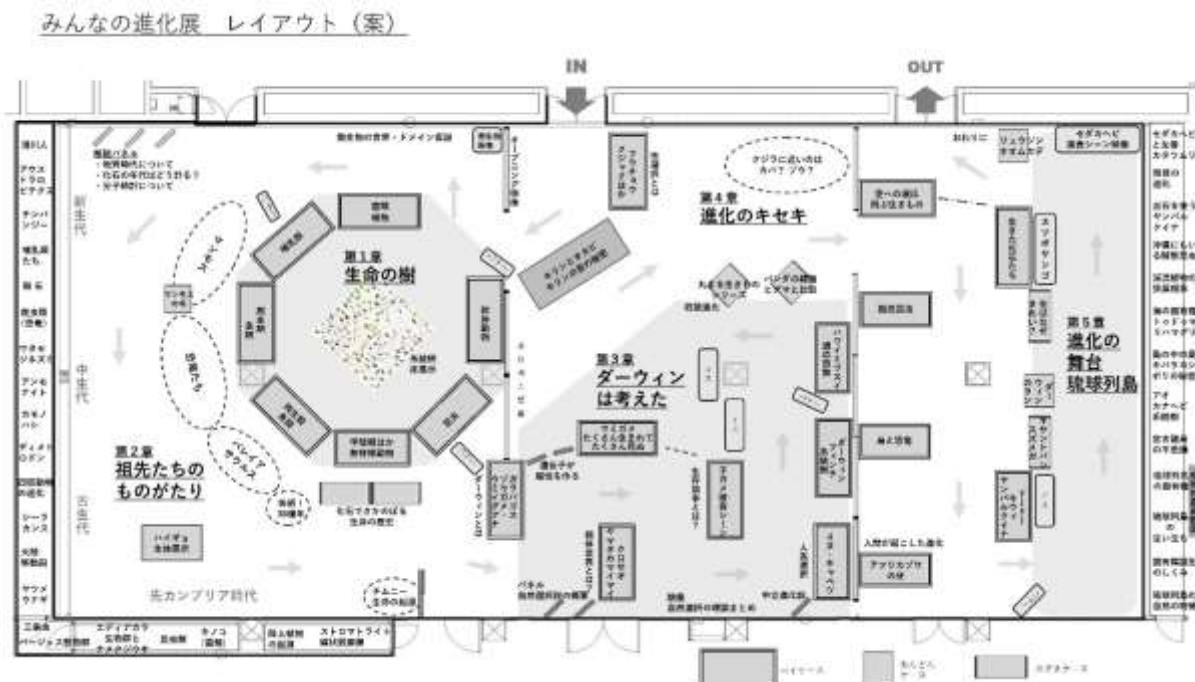
日 時：2023年8月20日（日）10:30～12:00
会 場：博物館実習室
講 師：宮本 圭（沖縄美ら島財団総合研究所）
参加方法：事前申込制・抽選（定員20名）、参加費500円
参加者数：21名

⑪「学芸員に聞いてみよう！～展示解説会～」

日 時：a) 2023年6月23日（金）14:00～ b) 7月14日（金）18:00～ c) 7月19日（水）10:00～
d) 8月3日（木）10:00～ e) 8月25日（金）18:00～

会 場：みんなの進化展示室
 講 師：菊川 章（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）
 参加方法：当日先着順（定員20名）、みんなの進化展観覧券
 参加者数：a) 20名 b) 17名 c) 22名 d) 18名 e) 20名

【展示平面図】



(3) 自主企画 「シンカ・イ展～深海（トワイライトゾーン）で進化した生きものたち～」

会 期：2023年6月21日（水）～9月3日（日）（開催日数54日）
 会 場：3Fホワイエ
 観 覧 料：無料
 入場者数：約16,000名
 担当学芸員：渡久地雅代（沖縄美ら島財団）

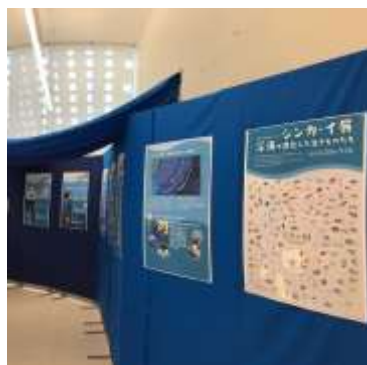
【開催趣旨】

「みんなの進化展～命はつながっている～」の関連展示として深海に視点を置き、一般財団法人沖縄美ら島財団がROV（小型無人潜水艇）を駆使し採取した深海の生きものたちをパネルで紹介し、宇宙と匹敵するほど未知な分野「深海」研究の一端を発表する機会とした。

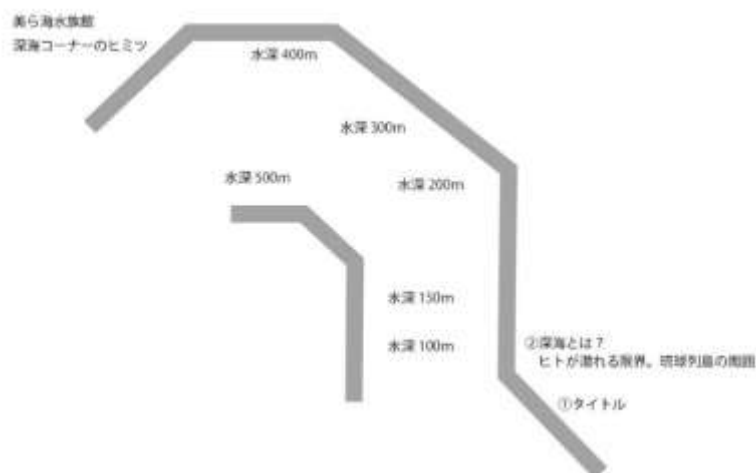
【展示内容】

- ・はじめに（深海とは？）
- ・水深100m／水深150m／水深200m／水深300m／水深400m／水深500m

【展示平面図】



展示フロアの様子



(4) 自主企画「MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界」

会 期：2023年7月12日（水）～9月3日（日）（開催日数47日）

会 場：美術館企画ギャラリー1、2

観 覧 料：一般1,300円（1,100円）、高大生1,000円（800円）、小中生700円（550円）
未就学児200円（150円）

※（ ）は前売料金および20人以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額

※3歳以下は無料

入場者数：77,164名（1日平均1,641名）

【開催趣旨】

ジオラマ用の人形と身近な日用品を組み合わせて別の物に見立て、ユーモアたっぷりの小さな世界を作り出す田中達也氏の作品展を開催した。全作品写真撮影可とし、誰もがミニチュアの世界に入り込める参加型の美術展であった。作品を楽しみながら、見慣れた世界を豊かにする発想を学ぶ機会とした。

【開催形式】

主 催：一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送株式会社

企画制作：NHK財団、株式会社CoCo

企画協力：株式会社MINIATURE LIFE

協 力：株式会社SHARE BASE、株式会社CARAVAN

後 援：那覇市教育委員会、浦添市教育委員会、琉球新報社、沖縄タイムス社、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、那覇新都心通り会

担当学芸員：國吉貴奈（沖縄美ら島財団）

【展示内容・展示平面図】

- 第1章 Nature
- 第2章 Workers
- 第3章 Sports
- 第4章 World Travel
- 第5章 Adventure
- 第6章 Have Fun
- 第7章 Vehicle
- 第8章 Family



会場の様子



【関連催事】

①開会式

日 時：2023年7月12日（水）9:15～9:45

※開会式終了後 9:45～内覧会

会 場：美術館企画ギャラリー入口

参加者数：約30名

②「田中達也講演会」

日 時：2023年7月12日（水）14:00～16:00

会 場：講堂

講 師：田中達也（ミニチュアライフ展2出品作家）

参加方法：当日先着

参加者数：約80名（定員200名）

（5）自主企画「キングダム展 - 信 -」

会 期：2024年3月22日（金）～5月12日（日）※2024年3月31日時点は開催中

会 場：美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料：一般1,500円（1,300円）、高大生1,000円（800円）、小中生500円（400円）、未就学児無料

※（ ）は前売料金および20人以上の団体料金

※障がい者手帳をお持ちの方および介助者の方は当日料金の半額

入場者数：4,583名（1日平均458名）※2024年3月末時点

【開催趣旨】

『週刊ヤングジャンプ』に連載中の大人気漫画『キングダム』の圧倒的な迫力を体感できる展覧会を実施。第1話「無名の少年」から第438話「雄飛の刻」までのエピソードを取り上げ、感動の名場面を400点以上の直筆生原画と描き下ろしイラスト約20点、巨大グラフィックで再構成して見せた。

【開催形式】

主 催：一般財団法人沖縄美ら島財団、株式会社琉球新報社、株式会社宣伝

企 画：集英社、朝日新聞社

後 援：沖縄県、那覇市教育委員会、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、那覇新都心通り会

担当学芸員：國古貴奈（沖縄美ら島財団）

【展示内容・展示平面図】

第1章 無名の少年

第2章 秦の怪鳥

第3章 馬陽防衛戦

第4章 王騎と龐煖

第5章 受け継ぐ者

第6章 大將軍を目指す者たち

第7章 山陽攻防戦

第8章 函谷関の戦い

第9章 大炎

第10章 葭の攻防

第11章 呂不韋の問い

第12章 人の本質は光

第13章 雄飛の刻

第14章 エンディング



【関連催事】

①開会式

日 時：2024年3月22日（金）8:30～8:45
会 場：美術館企画ギャラリー入口
参加者数：約30名

②キャラクターしおりプレゼント

日 時：2024年3月22日（金）、25日（月）26日（火）、27日（水）、28日（木）、29日（金）
会 場：美術館企画ギャラリー入口

③山の民ナイト（お面のプレゼント）

日 時：2024年3月22日（金）、29日（金）
会 場：美術館企画ギャラリー入口

V 教育・イベント活動

子どもから大人まで幅広い世代の方が気軽に参加でき、楽しみながら学べるプログラムを企画立案し、実施した。ただし一部のイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

1 ワークショップ・イベント等

（1）ふれあい体験室ワークショップ

ふれあい体験室の体験キットの紹介や展覧会の充実および関心を高めることを目的として、年間4つのプログラムを提供。未就学児から大人まで楽しめるプログラムを実施した。

- ・場 所：ふれあい体験室前エントランスホール
- ・講 師：新垣麻乃、藤田早苗、大濱萌子、石田沙紀、金城絵舞（沖縄美ら島財団）
- ・開催日数：49日（全97回）
- ・参加者数：797名

①「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

体験キットNo.19「いろいろな玩具」に関連して、沖縄の昔ながらの草編み玩具を画用紙やソフトテープを使って制作した。

- ・日 時：2023年4月～6月の毎週土曜日（全25回）
a) 10:00～11:00 b) 11:00～12:00
- ・参加費：300円
- ・参加者数：4月1日13名、8日16名、15日11名、22日7名、29日13名
5月6日13名、13日15名、20日12名、27日18名
6月3日16名、10日13名、17日9名、24日15名
※6月17日10:00の回中止
- ・合 計：171名（定員各日18名）



②「ふれたい博士のかんたん化石のレプリカづくり」

体験キットNo.10「化石」に関連して、アンモナイトや三葉虫などの化石の型を使い、樹脂粘土を流し込んで化石のレプリカを制作した。

- ・日 時：2023年7月～9月の毎週土曜日（全26回）
a) 10:00～11:00 b) 11:00～12:00
- ・参加費：400円
- ・参加者数：7月8日18名、15日18名、22日18名、29日19名
8月12日20名、19日18名、20日19名、26日18名
9月2日19名、9日15名、16日15名、23日18名、9月30日18名
※台風接近のため8月5日から8月20日（日）に延期
- ・合 計：233名（定員各日18名）

③「ふれたい博士のペーパービーズでアクセサリづくり」

不要になったポスターを利用して紙からビーズを作り、ネックレスやブレスレットに仕上げた。博物館常設展に関連し、沖縄で使用されていた装飾品について伝えた。

- ・日 時：2023年10月～12月の毎週土曜日（全24回）
a) 10:00～11:00 b) 11:00～12:00
- ・参加費：300円
- ・参加者数：10月 7日16名、14日18名、21日18名、28日12名
11月 4日15名、11日20名、18日17名、25日19名
12月 2日17名、9日16名、16日17名、23日17名
- ・合 計：202名（定員各日18名）



④「ふれたい博士のびんがたデザイン」

体験キットNo. 21「衣からわかること」に関連して、紅型に見られる図柄の意味や形について学びながら、スタンプを使って紅型模様のトートバッグを制作した。

- ・日 時：2024年1月～3月の毎週土曜日（全22回）
a) 10:00～11:00 b) 11:00～12:00
- ・参加費：600円
- ・参加者数：1月 6日17名、13日18名、20日17名 ※27日お休み
2月 3日18名、10日18名、17日18名、24日19名
3月 2日17名、9日19名、16日17名、23日13名
- ・合 計：191名（定員各日18名）

⑤ゴールデンウィークイベント ふれあい体験室ワークショップ

ゴールデンウィークイベントの一環として、ふれあい体験室ワークショップの中でも人気の高い2つのプログラムを実施した。

a) 「ジェルキャンドルで小さな海を作ろう！」

- ・日 時：2023年5月3日（水）～5月5日（金）10:00～11:00（全3回）
- ・場 所：エントランスホール
- ・講 師：新垣麻乃（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・参加費：600円
- ・参加者数：30名（定員各日10名）

b) 「星座万華鏡づくり」

- ・日 時：2023年5月3日（水）～5月5日（金）13:00～14:00（全3回）
- ・場 所：エントランスホール
- ・講 師：保久村智恵、藤田早苗（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・参加費：300円
- ・参加者数：29名（定員各日10名）

⑥ふれあい体験室オンラインワークショップ

「親子で楽しく♪カラフルなスケルトンリーフの標本瓶づくり」

体験サイトAini（アイニ）を利用して、ふれあい体験室ワークショップなどのコンテンツをオンラインで提供した。

- ・日 時：2023年6月11日（日）14:00～16:00
- ・場 所：オンライン（Zoom）
- ・講 師：新垣麻乃（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・参加費：1,500円
- ・参加者数：3組5名（定員5組）

⑦ 第14回移動展 in 国頭村関連催事「ふれたい博士のびんがたデザイン」

当館にて1月～3月に実施しているワークショップを、国頭村の方たちにも体験してもらえるよう移動展関連催事として開催した。

- ・日 時：2024年1月28日（日）
a) 10:00～11:00 b) 11:00～12:00 c) 14:00～15:00
- ・場 所：国頭村民ふれあいセンター
- ・講 師：新垣麻乃（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・参加費：600円
- ・参加者数：20名（定員各回10名）

(2) いつでも楽しめる子供向けプログラム「おきみゅー重ね押しスタンプラリー」

今年度から新たなプログラムとして「おきみゅー重ね押しスタンプラリー」を開発した。ポストカードにもなる台紙を2種類用意し、5種類のスタンプを重ねていくと絵ハガキが出来上がるスタンプラリーを館内の無料ゾーンにて実施した。

- ・日 時：2023年4月27日（木）～2024年3月31日（日）
- ・場 所：エントランスホール、正面玄関入口、野外展示民家、湧田窯
- ・参加費：無料
- ・参加者数：約32,000名

(3) 沖縄美ら島財団 総合研究所連携事業

①『美ら海 トワイライトゾーン 知られざる深海生物のワンダーランド』出版記念講演会

『美ら海 トワイライトゾーン 知られざる深海生物のワンダーランド』の出版を記念して、著者である沖縄美ら島財団の研究者3名が深海調査について語った。

- ・日 時：2023年8月12日（土）14:00～16:00
- ・場 所：講堂 ※サイン会はエントランスホール
- ・講 師：佐藤圭一（水族館管理センター統括）
金子篤史（水族館管理センター深海展示係長）
宮本 圭（総合研究所動物研究室主任研究員）
- ・参加者数：39名（定員200名） ※サイン会参加者10名



②大人のための植物講座③「牧野富太郎と沖縄の植物」

連続テレビドラマの主人公のモデルとなった植物学者・牧野富太郎を取り上げ、牧野の植物標本の特徴やその扱い、沖縄の植物との関係、在沖の研究者とのつながりなどについて話した。

- ・日 時：2023年9月23日（土）14:00～16:00
- ・場 所：博物館講座室
- ・講 師：米倉浩司（沖縄美ら島財団 総合研究所 植物研究室上席研究員）
- ・参加費：500円
- ・参加者数：81名



③琉球菓子と琉球古典音楽を楽しむ

琉球王国時代に育まれた食文化と芸能のうち「琉球菓子」と「琉球古典音楽」を、鑑賞し味わいながら解説を聞くことができるイベントを実施した。

- ・日 時：2023年11月19日（日） a) 14:00～14:40 b) 16:00～16:40
- ・場 所：博物館野外展示場（民家）
- ・講 師：*琉球古典音楽
[歌三線] 佐久本純（沖縄美ら島財団総合研究所）
三浦聖矢（沖縄美ら島財団首里城公園）
[笛] 宇保朝輝（沖縄美ら島財団海洋博公園管理センター）
*琉球菓子[解説] 久場まゆみ（沖縄美ら島財団総合研究所）
- ・参加費：1,500円
- ・参加者数：35名 a) 19名 b) 16名（定員各回20名）



(4) 「万国津梁の鐘」プロジェクト *国指定文化財名称「銅鐘（旧首里城正殿鐘）」

国指定重要文化財である「万国津梁の鐘（旧首里城正殿鐘）」を目玉展示の一つとして位置づけ、鐘の魅力を発信し博物館常設展来場動機とするプロジェクトを実施した。

①「解体梵鐘vol.6 賀数仁然さんと首里城さんぽ」

歴史探求家・賀数仁然氏を講師に招き、首里城にかかっている万国津梁の鐘（レプリカ）を見る歴史散歩を実施した。

- ・日 時：2023年4月29日（土・祝）10:30～12:30
- ・場 所：首里城公園無料区域
- ・講 師：賀数仁然（歴史探求家・琉球大学非常勤講師）
- ・参加費：2,000円
- ・参加者数：23名（定員20名）



② 沖縄伊藤園出張講座

沖縄伊藤園が7月にリニューアルする沖縄緑茶「かふう」の商品勉強会において、ラベルに使用されている「万国津梁の鐘」に関する歴史や見どころについて話し、鐘が響く謎を解く実験を行った。

- ・日 時：2023年6月14日（水）16:00～17:30
- ・場 所：（株）沖縄伊藤園
- ・講 師：大濱萌子（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・参加者数：20名



③ 「『万国津梁の鐘』 ゆらゆらオーナメントづくり」

アニメーション「万国津梁の鐘のものがたり」のイラストを活用して、新たにクラフトシートを作成。誕生祭と旧正月のイベントでシートを使ったワークショップを実施した。

- ・日 時：2023年11月1日（水）～11月3日（金・祝）9:00～16:00
2024年2月10日（土）～2月11日（日）9:00～16:30
- ・場 所：エントランスホール
- ・参 加 費：無料
- ・参加者数：11月1日（水）～11月3日（金・祝）514名
2月10日（土）～2月11日（日）348名
- ・合 計：862名

④ 沖縄伊藤園プレゼンツ「解体梵鐘vol.9 ウチナーンチュは茶じょーぐー!?お茶と『万国津梁』」

前半は、歴史探求家の賀数仁然氏が日本茶文化と琉球文化の接点についてその歴史を解説し、後半は賀数仁然氏と沖縄伊藤園・土屋なおか氏がウチナーンチュとお茶の関係性についてトークセッションを行った。

- ・日 時：2023年11月3日（金・祝）10:00～12:00
- ・場 所：講堂
- ・講 師：賀数仁然（歴史探求家・琉球大学非常勤講師）
土屋なおか（沖縄伊藤園ティーテイスター）
- ・参 加 費：無料
- ・参加者数：104名（定員200名）

⑤ 「解体梵鐘vol.8 『万国津梁の鐘』から技をならおう」

鐘の制作方法について模型を使ってわかりやすく解説し、ワークショップでは鐘の「陽鑄」技法を体験した。博物館常設展示室で実物の鐘から意匠について学び、下絵の制作、砂型への彫り込み作業、鑄込みを体験し、作品を完成させた。

- ・日 時：2024年2月10日（土）13:30～16:00
- ・場 所：博物館常設展、博物館実習室
- ・講 師：上原俊展（金細工まつ）
- ・参 加 費：4,000円
- ・参加者数：9名（定員15名）

⑥ 「解体梵鐘vol.10 『万国津梁の鐘』の健康診断 ―鑄造558年目のBell Dock（ベルドック）―」

万国津梁の鐘がどのような経緯を経て当館で今の展示スタイルになったのかを分かりやすく解説した。また、2014年に行われたベルドックについても紹介し、当時の映像を見ながら詳しく解説した。

- ・日 時：2024年2月11日（日）14:00～16:00
- ・場 所：講堂
- ・講 師：園原 謙（博物館主任学芸員）
- ・参 加 費：無料
- ・参加者数：30名（定員200名）

⑦ 「解体梵鐘」抜き刷り英訳パンフレット

令和4年度に制作した冊子「解体梵鐘」を基に英訳したパンフレットを新たに作成。博物館常設展示室にて無料配布を行い、外国人観光客にも万国津梁の鐘の魅力を伝えた。

- ・日 時：2023年10月29日（日）～2024年3月31日（日）
- ・場 所：博物館常設展示室
- ・配 布 数：1,800枚

⑧アニメーション「万国津梁の鐘のものがたり」

令和4年度に制作した「万国津梁の鐘のものがたり」をエントランスホールにて常時上映し、県民に万国津梁の鐘の魅力を発信した。

- ・日 時：2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）※一部休止期間あり
- ・場 所：エントランスホール

（５）「アートを身近に！」プロジェクト

アートをより身近に感じ、美術館に親しみをもってもらうことを目的に、講座や展示、音声ガイドの提供を通して、誰でもアートを楽しめる仕組みや機会を提供した。

①世界の名画に親しもう

誰もがアートを楽しめる施設になることを目指した「アートを身近にプロジェクト」の一環として、有名ミュージアムが所蔵する、パブリックドメインの絵画データを実寸大に拡大して展示する本イベントも今年度で3回目の開催となった。今年は、日本絵画・西洋絵画ともに、モチーフや構図、テーマ、描かれた背景など様々な視点から学芸員が「おもしろい」と思った作品17点を取り上げ、おもしろポイントや鑑賞ポイントをわかりやすく記した解説文と、手に取って鑑賞できる絵巻の複製も展示し、作品を身近に感じ楽しめる工夫をした。

- ・展 示 数：東京国立博物館4点／京都国立博物館3点／メトロポリタン美術館4点／ルーブル美術館1点／ウィーン美術史美術館1点／クリーブランド美術館3点／シカゴ美術館1点
- ・会 期：2024年2月23日（金・祝）～3月14日（木）（開催日数17日）
- ・会 場：美術館企画ギャラリー1
- ・観 覧 料：入場無料
- ・観 覧 者：4,326名（1日平均254名）



②美術館コレクション展音声ガイド

来場者の満足度を高め、美術館への再訪を促す事を目的として、沖縄の歴史や美術の知識が無くても作品を楽しむ事が出来る音声ガイドを製作した。また地域連携や若年層の利用促進も意識し、沖縄県立那覇国際高等学校放送部にナレーションを依頼した。

- ・期 間：2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日）

③アートことはじめ

アートをより楽しく身近に感じられる情報や知識を提供し、県民が美術作品や美術館に興味を持つきっかけをつくる目的で、当財団企画班の学芸員がそれぞれの得意分野を活かし、若年層やアートビギナーにも分かりやすい講座を実施。今年度は、ものづくりや鑑賞、展示解説なども取り入れ、より分かりやすい講座に努めた。

A) 「4月-「はじめまして」の季節に名刺を作ってみよう！」

- ・日 時：2023年4月22日（土）14:00～15:30
- ・講 師：渡久地雅代（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・場 所：美術館講座室
- ・参 加 費：2,000円
- ・参加者数：9名（定員30名）

B) 「西洋絵画入門」

- ・日 時：a) 2023年5月28日（日）14:00～15:30
b) 2024年2月25日（日）14:00～15:30
- ・講 師：國吉貴奈（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・場 所：美術館講座室
※2024年2月25日（日）は美術館企画ギャラリー1も使用
- ・参 加 費：1,000円
- ・参加者数：a) 12名 b) 10名（各回定員30名）



C) 「日本の名画をたのしもう！《風神雷神図屏風》」

- ・日 時：a) 2023年6月10日（土）14:00～15:30
b) 2024年3月2日（土）14:00～15:30
- ・講 師：金城美奈子（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・場 所：美術館講座室



※2024年3月2日（土）は美術館企画ギャラリー1も使用

- ・参加費：1,000円
- ・参加者数：a) 21名 b) 15名（各回定員30名）

D) 「「沖縄美術」～琉球王国時代から明治へ～」

- ・日時：a) 2023年8月11日（金・祝）14:00～15:30
b) 2024年2月18日（日）14:00～15:30
- ・講師：川島祥子（沖縄美ら島財団 学芸員）、平川信幸（博物館班 教育普及担当）
- ・場所：美術館講座室、博物館常設展示室（美術工芸部門）
- ・参加費：一般1,500円（博物館常設展＋美術館コレクション展チケット付き）
高校大学生1,000円（博物館常設展＋美術館コレクション展チケット付き）
中学生／70歳以上500円
- ・参加者数：a) 8名 b) 7名（各回定員30名）

E) 「やさしいデザイン」

- ・日時：2023年12月16日（土）14:00～15:00
- ・講師：渡久地雅代（沖縄美ら島財団 学芸員）
- ・場所：美術館講座室
- ・参加費：1,000円
- ・参加者数：9名（定員30名）

④美術館でyoga

美術館の新しい楽しみ方を提供する目的で、ヨガイベントを行った。昨年の参加者の声を反映し、ヨガの経験に合わせてクラスを選べるよう、コースを増やし実施した。また、参加費にコレクション展のチケットやワークショップの材料を盛り込むことで、ヨガによる癒やしだけに留まらず、自然とアートに関わる機会を増やし、アートへの興味関心を掻き立てる企画とした。

- ・講師：新垣ロミ（ヨガインストラクター）、山城えりか（画家、ヨガインストラクター）
- ・場所：美術館企画ギャラリー1・2
- ・参加費：2,000円

a) 「初級クラス」

- ・日時：2023年9月16日（土）14:00～15:30
- ・参加者数：18名（定員15名）

b) 「中級クラス」

- ・日時：2023年9月17日（日）14:00～15:30
- ・参加者数：10名（定員15組）



c) 「こどもと一緒にヨガ」

- ・日時：2023年9月18日（月・祝）14:00～16:00
- ・参加者数：11組23名（定員10組）

(6) おきげい出前コンサート 琉球舞踊公演会

県立芸術大学音楽部琉球芸能専攻の学生の発表の場として琉球舞踊の公演会を開催した。

- ・日時：2023年11月5日（日） a) 14:00～14:30 b) 16:00～16:30
- ・場所：野外展示民家
- ・出演：沖縄県立芸術大学 教員、学生
- ・参加費：無料
- ・参加者数：130名 a) 50名 b) 80名
(定員各回30席程度、立ち見は自由)



VI 広報事業に関する業務

令和5年度的全館広報では、当館における新型コロナウイルス感染症対策の取組みや、5月からは第5類感染

症移行後の対応について当館ウェブサイトやGoogleビジネスサイトへの情報掲載、正面入口にパネル設置や屋外掲示板で周知した。また入域観光客数が昨年度に比べ増加していくことを想定した観光客の誘客施策として、那覇空港内観光案内所や旅行会社総合案内カウンター（有料ラック）、ホテル、レンタカーなど200ヶ所以上に誘客パンフレットを設置した。その他、レンタカーを利用する観光客向けに沖縄県レンタカー協会発行「レンタカードライブマップ」やABCレンタカー・日産レンタカー発行「とくとくクーポン」に広告を出稿し、当館のPRを行った。県民向けの集客施策では『こども学芸員と動く展示物からの挑戦状!』（漫画 全4ページ）を昨年度に引き続き合計2回（4月・7月）発行し、那覇・浦添エリアの小学3年生以上の生徒に配布した。

県主催「倭寇展」「照屋勇賢展」「旧石器時代の人類」のチラシ・ポスターを県内博物館や図書館、公民館、銀行、病院などに発送、グラフ誌『オキナワグラフ』での特集記事（記事5ページ+広告1ページ）、新聞紙面の情報掲載など県民向けに周知を図った。

展覧会誘客広報では、財団主催「ジミー大西展（沖縄タイムス共催）」「みんなの進化展（県・沖縄タイムス共催）」「MINIATURE LIFE展2（沖縄テレビ共催）」を新聞広告やテレビCM、公共掲示板へのポスター掲出、コープ宅配会員向けチラシ折込みなど県民向けに広く告知した。「みんなの進化展」「MINIATURE LIFE展2」では、メインターゲットである県内小学生向けの告知として、チラシ配布を希望する県内全域（離島除く）小学校に「進化展」「MINIATURE LIFE展2」表裏チラシを配布した。

その他、「ジミー大西展」「みんなの進化展」「MINIATURE LIFE展2」「照屋勇賢展」「キングダム展」ではWEB広告やSNS広告の配信を行い、FacebookおよびInstagramの累計フォロワー数は1万人を突破した。また2023年度のウェブサイトのアクセス数は過去最高の637,901アクセスを記録した。

（1）新聞紙面（無料）・新聞広告（有料） 掲載492回

沖縄タイムス「インフォ」、副読紙「週刊ほーむぷらざ」、琉球新報「情報市場」、副読紙「週刊レキオ」の無料告知枠（パブリシティ）へ展覧会情報やイベント情報を提供し紙面での告知を図った。

（2）テレビ 放送31回 ※放送回数は取材のみカウント

展覧会や関連催事情報のNRを配信し、ニュース番組や情報番組等で紹介してもらえるように努めた。

（3）ラジオ 放送8回

展覧会や関連催事情報のNRを配信し、ラジオ番組内で紹介された。

（4）雑誌、情報誌 掲載56回

雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努めた。

（5）WEBサイト 掲載159回

様々なイベント情報サイトなどで広報展開した。

（6）楽しくあそんでさわって学ぶ おきみゅーGW 2023（2023年5月3日～5月5日）

那覇市・浦添市の小学生向けチラシを配布したことが奏功し、総入館者数は5,934名、イベント参加者数は1,850名と、多くの来館者で賑わった。

（7）おきみゅー誕生祭（2023年11月1日～11月3日）

新型コロナウイルス5類感染症移行後、規制なしで開催した。博物館・美術館クイズラリーやワークショップ、食イベント（アレルギー表示対策実施）、講演会、お笑い・音楽ライブ、星空ツアーなど開館から閉館まで一日中楽しめるイベントを実施。本催事メインの3日（文化の日）には、開館前から入館の待機列ができる盛況ぶりで、総入館者数は9,376名、イベント参加者数は2,300名と、多くの来場者で賑わった。

（8）旧正月はおきみゅーに行こう! 2024（2024年2月10日・11日）

2月9日に開催したプレイベント「小緑高校書道部 書き初めパフォーマンス」を皮切りに、琉装の着衣体験やカーブヤーづくり、沖縄の民話上映、琉球舞踊公演（Instagramでライブ配信）などのイベントを実施し、総入館者数は3,570名、イベント参加者数は626名と、県民や観光客で賑わった。

（9）プロムナードコンサート（15回開催 総観客数1,414名／平均94名）

当館に人々が集い親しまれる施設となることを目的に、来館者がエントランスで気軽に音楽を楽しむことができるコンサートを開催した。本年度は公募制を本格始動させ、様々なジャンルの楽曲や楽器演奏が行われた。

VII 調査・研究・講演・著作論文等の活動

1 調査・研究等

金城 美奈子（企画班班長／学芸員）

○調査・研究

- ・ コスチュームジュエリー展：視察（京都府／京都文化博物館）（2024年3月23日）
- ・ 絹谷幸二天空美術館：視察（大阪府）（2024年3月24日）

○講演・発表等

- ・ 名 称：アートを身近に！プロジェクト「アートことはじめ」第3回、第8回「日本の名画をたのしもう！《風神雷神図屏風》」
- ・ 日 時：第3回 2023年6月10日（土）14:00～15:30、第8回 2024年3月2日（土）14:00～15:30
- ・ 場 所：美術館講座室

國吉 貴奈（学芸業務担当／学芸員）

○講演・発表等

- ・ 名 称：アートを身近に！プロジェクト「アートことはじめ」第2回、第7回「西洋絵画入門－聖母と天使について」
- ・ 日 時：第2回 2023年5月28日（日）14:00～15:30、第7回 2024年2月25日（日）14:00～15:30
- ・ 場 所：美術館講座室

渡久地 雅代（学芸業務担当／学芸員）

○調査・研究

- ・ ポケモン化石博物館：視察（群馬県／群馬県立自然史博物館）（2023年9月30日）
- ・ 明和電機ナンセンスマシーン展in呉：視察（広島県／呉市立美術館）（2023年10月20日～22日）

○講演・発表等

- ・ 名 称：アートを身近に！プロジェクト「アートことはじめ」第1回「「はじめまして」の季節に名刺を作ってみよう！」、第5回「やさしいデザイン」
- ・ 日 時：第1回 2023年4月22日（土）14:00～15:30、第5回 2023年12月16日（土）14:00～15:00
- ・ 場 所：美術館講座室

川島 祥子（学芸業務担当／学芸員）

○調査・研究

- ・ 古代エジプト美術館展：視察（広島県／東広島市立美術館）（2023年10月11日～10月14日）

○講演・発表等

- ・ 名 称：アートを身近に！プロジェクト「アートことはじめ」第4回、第6回「沖縄美術－琉球王国時代から明治へ－」
- ・ 日 時：第4回 2023年8月11日（金）14:00～15:30、第6回 2024年2月18日（日）10:30～12:00
- ・ 場 所：美術館講座室、博物館常設展示室（美術工芸部門）

○著作・論文等

- ・ 「展評 金城明一展－流りゆる水－」琉球新報 2023年11月23日（木）

金城 正仁（広報営業担当）

○調査・研究

- ・ 明和電機ナンセンスマシーン展in呉：視察（広島県／呉市立美術館）（2023年10月20日～22日）

2 職員研修（研修会）

- ・ 美術史学会博物館美術館委員会主催「美術館・博物館教育のこれまで、これから」（オンライン／2023年5月1日、1名参加）
- ・ 「WEBセミナー 顧客起点の経営・マーケティング」（オンライン／2023年5月31日、3名参加）
- ・ 「AED研修及び防災対応研修」（2023年7月3日、6名参加）
- ・ 職員研修（JAXA及びOIST見学）（2023年7月4日、15名参加）
- ・ 沖縄県博物館協会主催「令和5年度沖縄県博物館協会 春のオンライン研修会」（オンライン／2023年7月28日、2名参加）
- ・ 沖縄県博物館協会主催「令和5年度沖縄県博物館協会 秋の研修会」（2023年12月21日、4名参加）

- ・沖縄県主催「障害理解促進講座」（オンライン／2024年1月30日、7名参加）
- ・「知的財産セミナー」（首里城公園管理センター）（2024年1月31日、5名参加）
- ・「類似施設見学」（2024年2月27日、3名参加）
- ・兵庫県立考古博物館主催「古代体験研究フォーラム ミュージアムとボランティア」（オンライン／2024年3月17日、3名参加）

全館共通事業

- I 学芸員実習
- II 国際博物館の日
- III 移動展
- IV 改正博物館法による登録博物館の
登録原簿掲載について
- V 燻蒸・消毒処理
- VI 全体研修
- VII 刊行物
- VIII 展覧会一覧

I 学芸員実習

1 博物館実習

当館では、1969年（昭和44）に最初の実習生を受け入れてから、2006～2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学毎に個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年2回（6月、8月）に実施している。

しかし、2020～2022年度の3年間は新型コロナウイルス感染症防止のため、学芸員実習の実施方法を大幅に縮小せざる得なくなり、実習期間、実習生数ともに縮小し実施した。

2023年度は5月に新型コロナウイルスの取り扱いが5類に移行したため、4年振りに平常通り、前期（6月6日～6月19日）、後期（8月15日～8月28日）の年2回実施した。実習カリキュラムと実習生各自の課題研究のテーマは以下のとおりである。

（1）博物館学芸員実習カリキュラム

		実習内容（午前）	実習内容（午後）
1日目	火	開講式（博講座室）オリエンテーション	IPM研修 教育普及実習 常設展示見学
2日目	水	課題研究（班分け・役割分担）バックヤード見学	資料取扱実習①②（考古・民俗）
3日目	木	資料取扱実習③④（地学・歴史）	資料取扱実習⑤⑥（美術工芸）
4日目	金	資料取扱実習⑦⑧（人類・生物）	課題研究（資料調査、展示企画書作成）
5日目	月	課題研究（展示企画書提出）	課題研究（テーマ決定）展示ケース移動
6日目	火	課題研究（展示作業）	課題研究（展示作業）
7日目	水	課題研究（展示作業）	課題研究（展示作業）
8日目	木	課題研究（展示作業）	課題研究（展示作業）
9日目	金	課題研究（開会式/展示解説準備等）	課題研究（ミニ展示開会式/展示解説）
10日目	月	課題研究（展示撤収等・発表準備）	全体清掃、実習まとめ（発表）、閉講式

（2）実習生

前期 5名

	氏名	大学名	課題研究テーマ（◎は選出された代表テーマ）	指導
1	名護 恵美	琉球大学	集まれウチナーンチュ！美ら海再発見	大城
2	中地 華鈴		マジムン撃退！ うちなー魔除け展	大城
3	江口 陽菜		見つけて！化石展	新山
4	仲田 桜子		色いろ展	新山
5	仲村 芳晃		◎ 感じる化石展～海の世界～	新山

後期 7名

	氏名	大学名	課題研究テーマ（◎は選出された代表テーマ）	指導
1	伊佐 眞翔	琉球大学	石を顕微鏡で見る？	新山
2	花城 媛子		海と暮らしたウチナーンチュ	大城
3	荻堂 莉音	沖縄県立芸術大学	骨ってすごい！	澤浦
4	喜友名 萌	沖縄国際大学	人類からわかる過去の生活	澤浦
5	三浦 なちか		タイムスリップ 沖縄わらべ展	大城
6	高良 真由	龍谷大学	骨は口ほどにものを言う	澤浦
7	島袋 林敬	神奈川大学	◎戦後オキナワAMUSEMENT展～フェンスを飛び越えて～	宮城

2 美術館実習

美術館では、開館3年目の2009年から学芸員実習の受け入れを行っている。受け入れに当たっては、例年、学芸員資格養成課程を有する県内の大学を優先し、人員枠にゆとりがある場合、県外大学に在籍する県出身

の学生を優先的に受け入れ、定員は10名以内としている。時期は8月中旬から2週間で、美術館学芸員全員でそれぞれの専門分野の講義を行っている。前年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部内容の変更等もあったが、今年度は、沖縄県立芸術大学9名、神戸大学1名、合計10名の学生を受け入れ、予定通り2週間実施することができた。

【美術館学芸員実習カリキュラム】

	実習内容（午前）	実習内容（午後）
8月14日 月	開講式、オリエンテーション、美術館業務の考え方と実際	美術館の役割や仕事について、美術館施設案内等
15日 火	調査・研究の概要、資料収集事業の概要等	展覧会開催までの流れ、展示企画書等の作成演習
16日 水	教育普及事業Ⅰ、学校支援プログラム等	アートカード、対話による鑑賞の実践等
17日 木	「ニシムイ」について、博物館常設展の見学	「ニシムイ」フィールドワーク
18日 金	交流員の仕事体験（作品監視）＋資料整理体験	各自、調査・課題研究を行う。
21日 月	IPM講習、資料保存・修復の実際	展示作品の解説（修復した作品等を解説する。）
22日 火	各自、調査・課題研究を行う。	各自、調査・課題研究を行う。
23日 水	各自、調査・課題研究を行う。	各自、調査・課題研究を行う。
24日 木	各自、調査・課題研究を行う。	各自、調査・課題研究を行う。
25日 金	共通課題研究の発表、閉講式	実習のまとめ→実習記録簿等の提出



調査研究講座



保存修復講座



ニシムイ・フィールドワーク



課題研究発表の様子

【課題研究テーマ】

	大学名	課題研究テーマ
1	沖縄県立芸術大学	沖縄近代彫刻の源流 玉那覇 正吉
2	沖縄県立芸術大学	安谷屋 正義の制作について
3	沖縄県立芸術大学	大城 皓也 Oshiro koya 1911－1980
4	沖縄県立芸術大学	安谷屋 正義の抽象表現について
5	沖縄県立芸術大学	名渡山 愛順と沖縄
6	沖縄県立芸術大学	山元 恵一（作品とアトリエについて）
7	沖縄県立芸術大学	玉那覇 正吉の芸道
8	沖縄県立芸術大学	金城 安太郎について
9	沖縄県立芸術大学	美術家のかたわら教育者としても活躍した具志堅以徳について
10	神戸大学	大城 皓也の描く沖縄

（玉城 早苗）

3 職場体験

指定管理者が窓口となって、県内の中学校・高等学校などを対象に職場体験の受け入れを行っている。業務内容としては、団体鑑賞プログラムの対応や資料整理など、学芸員業務のサポート、また、もぎりや情報センター、ミュージアムショップでの接客など、来館者の対応にも挑戦する。さらに、当館が取り組んでいるIPM（総合的有害生物管理）について、文化財IPMコーディネーターの資格を有した職員が講義を行い、文化財保護の重要性を学ぶ機会を提供している。今年度は、高等学校2校7名、中学校1校4名、大学1校1名（留学生）を受け入れ、それぞれ3～10日の職場体験を行った。

（1）博物館体験内容

令和5年度は、小学校1校、高等学校2校の10名を受け入れた。学生たちは、博物館・美術館職員による学芸業務の紹介やバックヤード見学なども実施。博物館・美術館に関わる様々な職種を体験することができた。

体験内容は、展示会オープニングセレモニーの準備、企画展の展示補助、博物館のバックヤードおよび、学芸業務の見学など

受入校：3校10名（小学校1校 高等学校2校）

- | | | |
|---------------|---------|------------------------|
| ①沖縄県立沖縄水産高等学校 | 2学年（3名） | 7月11日（火）～7月13日（木）（3日間） |
| ②那覇市立松川小学校 | 6学年（3名） | 8月16日（水）（1日） |
| ③沖縄県立沖縄工業高等学校 | 2学年（4名） | 9月20日（水）～9月22日（金）（3日間） |

（2）美術館体験内容

職場体験とは、生徒が一般企業などで働く人たちとコミュニケーションを取りながら、実際に仕事を体験する学習活動である。当館では、団体鑑賞プログラムの対応、資料整理など学芸員のサポート業務と、展示会会場の交流員やもぎり、ミュージアムショップでの接客など、来館者の対応にも挑戦する。また、当館が取り組んでいるIPM（総合的有害生物管理）について、文化財IPMコーディネーターの資格を有した職員が講義を行い、文化財保護の重要性を学ぶ機会を提供している。今年度は、2校の高等学校、7名の生徒を受け入れ、それぞれ3日間の職場体験を行った。

受入校：2校7名（高等学校2校）※美術館は半日のみ

- | | | |
|---------------|---------|------------|
| ①沖縄県立沖縄水産高等学校 | 2学年（3名） | 7月13日（木）午後 |
| ②沖縄県立沖縄工業高等学校 | 2学年（4名） | 9月21日（木）午前 |



美術館について講話



バックヤードの見学



資料整理

（保久村・平川・玉城）

II 国際博物館の日

名称：「国際博物館の日 2023」

会期：2023年（令和5）5月9日（火）～6月4日（日）（24日間）

会場：パネル展／エントランスホールおよびパネル掲載情報の当館HP上での公開

【開催趣旨】

毎年5月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（通称ICOM：アイコム）によって「国際博物館の日」と定められている。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館・美術館活動を広く周知し、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行う。



【実施内容】

博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるために、エントランスホールにてパネル展を開催するとともに関連イベントを実施した。また無料入館日を設定し、常設展示を広く一般に開放した。



「国際博物館の日」展示の様子

○パネル展 2023年（令和5）5月9（火）～6月4日（日）

ICOM・「国際博物館の日」の説明、（一財）沖縄美ら島財団紹介、指定管理者自主企画催事の紹介、博物館の調査研究・教育普及・展覧会の紹介・美術館の活動紹介

○無料入館日 2023年5月18日（水）

※博物館常設展示室・美術館コレクション展のみ無料、企画展・特別展は有料

（山崎真治）

Ⅲ 移動展

名 称：第14回 沖縄県立博物館・美術館 移動展 in 国頭

会 期：2024年（令和6）1月26日（金）～1月28日（日）

開催時間：9：00～17：00（金曜日は11：00から）

開 催 地：国頭村（国頭村民ふれあいセンター）

対 象：一般

観 覧 料：無料

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館、（一財）沖縄美ら島財団、国頭村教育委員会

【開催趣旨】

沖縄県立博物館・美術館では、県民が本県の自然・歴史・文化や芸術を正しく認識できるよう、これまで収集された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収蔵資料の展示を見ていただくことによって、沖縄の自然・歴史・文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的として実施する。

（1）移動展の実施状況

①展示内容・参加人数・関連催事（■博物館関連／□美術館関連）

内容	期 日	内 訳			
展示内容	博物館展示	■「みんなの進化展mini」2023年の夏開催された進化展のminiバージョン。生物の標本を中心に化石を展示 ■「沖縄の自然、歴史、文化」沖縄の地学・生物・人類・歴史・民俗・考古・美術工芸に関する総合展示 ■国頭に関する資料映像資料（海邦国体関係） ■デジタルミュージアム動画コンテンツ上「ウチナーの民話上映」			
	美術館展示	□複製画「八重山風景（大嶺政寛）」「NOW・・・（川平恵造）」の展示 □「展覧会展示パネル」……………これまでの展覧会概要パネルの展示 □映画「吉屋チルー物語（金城哲夫）」上映			
来場人数		1月26日（金）	1月27日（土）	1月28日（日）	計
	70歳以上	0	0	0	0
	一 般	38	70	47	155
	高 大	0	0	0	0
	小 中	8	32	36	76
	未就学児	0	8	9	17
	計	46	110	92	331

内容	期 日	内 訳
上映会	1月26日(金) ～ 1月28日(金)	＊場 所：国頭村民ふれあいセンター □「吉屋チルー物語」(98分) ①参加者：24名(合計人数) ②時 間：10:00～11:38／14:00～15:38 ■デジタルミュージアム動画コンテンツ上「ウチナーの民話上映」
関連 催事	1月26日(金)	■移動展解説会 ①参加者：33名(定員なし) ②時 間：14:00～15:00 ③場 所：国頭村民ふれあいセンター ④講 師：宇佐美 賢(博物館班班長)、平川信幸(教育普及) ⑤対 象：来場者
		■館長トークイベント「地図を使って国頭についてゆんたくしよう!!」 ①参加者：15名(定員30名) ②時 間：19:00～21:00(18:30 開場) ③場 所：国頭村民ふれあいセンター 1 階 ④講 師：里井洋一(館長)
	1月27日(土)	■移動展解説会 ①参加者：20名(定員なし) ②時 間：9:00～11:00 ③場 所：国頭村民ふれあいセンター ④講 師：宇佐美 賢(博物館班班長)、平川信幸(教育普及) ⑤対 象：来場者
		■「みんなの進化論入門」-進化の舞台 琉球列島- ①参加者：17名(定員30名) ②日 程：13:30～15:30(13:00 受付) ③場 所：国頭村民ふれあいセンター 1 階 ④講 師：菊川 章(生物担当)
		□教育普及ワークショップ「ワイヤーアート」-針金で立体をつくろう- ①参加者：2名(定員10名) ②時 間：10:00～12:00 ③場 所：国頭村民ふれあいセンター 1 階 ④講 師：玉城早苗(美術館教育普及担当) ⑤内 容：当館学芸員によるワークショップ
	1月28日(日)	■フィールドツアー ①参加者：14名(定員20名) ②時 間：12:00～15:00(11:30集合) ③集合場所：国頭村・沖縄石の文化博物館 ④講 師：新山颯大(地質担当) ⑤参加費：100円(保険ほか)
		■「ふれたい博士のびんがたデザイン」 ①参加者：20名(合計人数) ②時 間：10:00～11:00／11:00～12:00／14:00～15:00 ③場 所：国頭村民ふれあいセンター 1 階 ④講 師：新垣麻乃(沖縄美ら島財団教育普及担当) ⑤参加費：各回600円 ⑥内 容：ワークショップ

【展示品リストー博物館班ー】

〔地 学〕※

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	タルボサウルス頭骨	1	資 料	4	アンモナイト類(ユーパキディスкас)	2	資 料
2	コエロフィシス	1	資 料	5	アンモナイト類(ユーパキディスкас)	1	資 料
3	イクチオサウルス	1	資 料	6	アンモナイト類(スカフィテス)	1	資 料

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
7	アンモナイト類（ハイファントセラス）	3	資 料	20	オパビニア	1	資 料
8	タルボサウルス頭骨	1	資 料	21	カルニオディスクス	1	資 料
9	アンモナイト類(アメリカ産複数種)	1	資 料	22	ナミネア	3	資 料
10	スミロドン（サーベルタイガー）	1	資 料	23	マウソナイト	1	資 料
11	ギベオン隕石	1	資 料	24	ストロマトライト	1	資 料
12	ディメトロドン頭骨	1	資 料	25	砂岩	6	資 料
13	ディプロカウルス頭骨	1	資 料	26	頁岩	1	資 料
14	シーラカンス	1	資 料	27	れき岩	1	資 料
15	グロッソプテリス	1	資 料	28	砂質片岩	1	資 料
16	ザクロ石片麻岩（南極）	1	資 料	29	黒色片岩	1	資 料
17	メソサウルス	1	資 料	30	ヘマタイト	1	資 料
18	ヤツメウナギの一種（スナヤツメ）	2	資 料	31	マンガン	1	資 料
19	ピカイア	1	資 料	32	黄鉄鉱	1	資 料

〔生 物〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	チンパンジー	1	資 料	7	ヤンバルクイナ	1	資 料
2	新人頭骨レプリカ	1	資 料	8	ハブ	2	資 料
3	オオコウモリ（親子）	1	資 料	9	大型昆虫 ナナフシ・ハチ	3	資 料
4	ワタセジネズミ	1	資 料	10	シャジクモ樹脂封入標本	3	資 料
5	ジャコウネズミ	1	資 料	11	進化展パネル	29	パネル
6	ワタセジネズミ	1	資 料				

〔人 類〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	チンパンジー	1	資 料	2	新人頭骨レプリカ	1	レプリカ

〔歴 史〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	琉球王国の成立と海外貿易	1	解説パネル	14	『わが祖国の海 北緯27度線海上大会』	1	資 料
2	首里城正殿〈鎌倉芳太郎氏撮影〉	1	写真パネル	15	復帰記念メダル	1	資 料
3	首里城開園	1	写真パネル	16	差額補償付き米国ドル紙幣	3	資 料
4	王統系図	1	写真パネル	17	『沖縄の林業』	1	資 料
5	海外交易図（15～16世紀）	1	写真パネル	18	『沖縄の林業（特集号）』	1	資 料
6	間切図（国頭間切 西）（複製）	1	資 料	19	海洋博絵葉書セット	2	資 料
7	旧首里城正殿鐘（万国津梁の鐘）（複製）	1	資 料	20	海洋博記念メダル	2	資 料
8	近代から現代へ	1	解説パネル	21	海洋博チューリップハット	1	資 料
9	B円軍票	3	資 料	22	730ステッカー	2	資 料
10	琉球切手・初日カバー	10	資 料	23	730人形	1	資 料
11	『沖縄デー 1963年4月28日 北緯27度線海上大会』	1	資 料	24	山原に友情の火が燃えた	1	資 料
12	『民族のさけび 1964年沖縄県解放行動月間の記録』	1	資 料	25	復帰記念メダル	1	資 料
13	『国際沖縄デー わが祖国の海 北緯二十七度線海上大会』	1	資 料	26	差額補償付き米国ドル紙幣	3	資 料

〔美術工芸〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	芭蕉布	1	資 料	5	玉陵石彫獅子	2	レプリカ
2	芭蕉布について	1	パネル	6	玉陵（写真）	2	パネル
3	芭蕉の糸づくりキット	1	資 料	7	沖縄の彫刻	1	パネル
4	苧麻の糸づくりキット	1	資 料				

〔民 俗〕

No.	名 称	数	種 別	No.	名 称	数	種 別
1	南瓜型花籠	1	資 料	7	マツタケ		資 料
2	ペナラ	1	資 料	8	チンチン馬グワ（張り子）	1	資 料
3	バーキ	1	資 料	9	虎グワ（張り子）	1	資 料
4	ウーバーラ	1	資 料	10	ウッチリクブサー（張り子）	3	資 料
5	ソーキ	1	資 料	11	ソクリ	1	資 料
6	風弾	1	資 料	12	民話の動画コンテンツ	1	映 像

【美術館展示内容】

沖縄県立博物館・美術館は過去から長い年月をかけて収集した多数の資料を収蔵している。移動展は、ふだん沖縄県立博物館・美術館に足を運ぶことが難しい離島の方々にも、県民の財産である当館の博物館資料や美術品を移動展の展示として見てもらう良い機会である。沖縄県の自然、歴史、文化の広域普及を図ると共に、美術作品を鑑賞したり、ワークショップで作品を制作したり等、美術に親しむ場を提供することを目的としている。昨年は、3年ぶりに渡嘉敷島での移動展が実現し、今年度（令和5年）は、初の沖縄本島北部、国頭村での開催となり、国頭地区の皆さんに喜んで頂くことができた。



展示会場会場の様子

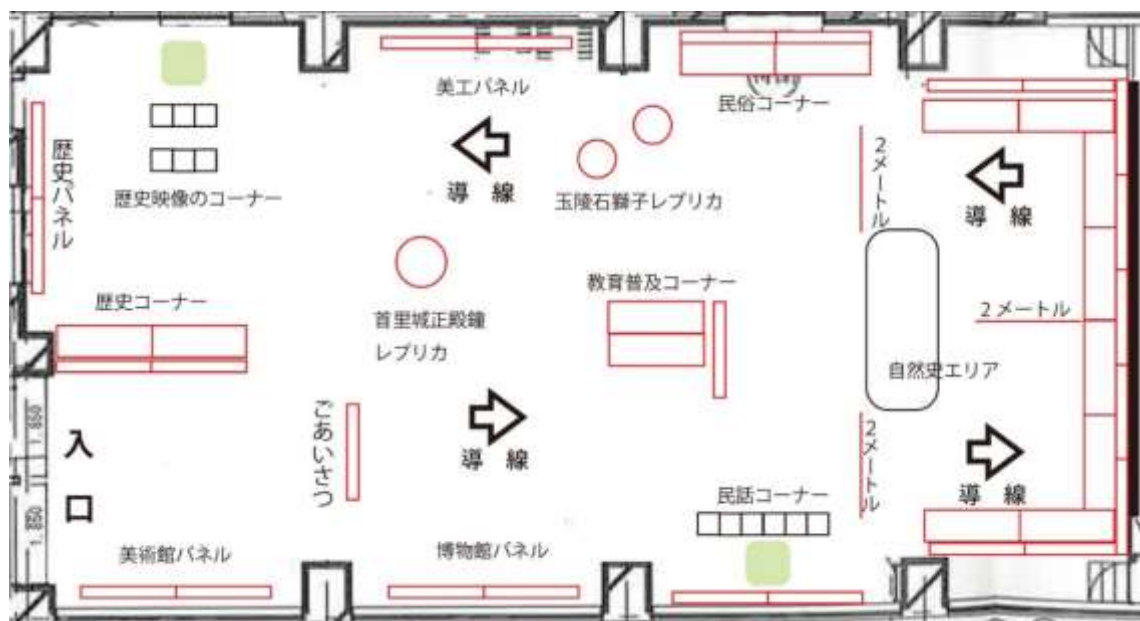


ワークショップの様子



映画上映会の様子

【展示平面図】



（平川 信幸・玉城 早苗）

IV 改正博物館法に基づく登録博物館の登録原簿掲載について

直近の改正博物館法（令和4年4月15日法律第24号/令和5年4月1日施行）に基づき、同法第11条の登録博物館申請の規定により沖縄県教育委員会規則第3号（昭和50年5月8日規則第5号、改正令和5年3月31日）の博物館の登録等に関する規則が改正された。昭和56年3月30日付けで沖縄県の第1号の登録博物館になった当館であるが、新規則に基づき再申請を行った。今回は、博物館管理全体に係わる実態を反映したもので、県の総務班、博物館班、美術館班に加え施設管理や教育普及を担う指定管理者も含めた書類を整備し、令和5年10月19日付けで登録窓口の沖縄県教育庁文化財課へ申請した。審査を経て令和6年1月23日付けで沖縄県第1号として博物館登録原簿に登録された。新登録博物館の審査基準では、体制に関する基準7項目、職員に関する基準3項目、施設及び設備に関する基準4項目に基づき、審査が行われた。審査の講評では、今後の改善点については収蔵品検索のより一層の整備・充実が求められるとの指摘がされた。今後、デジタル社会に対応した博物館づくりが求められる。

（園原 謙）

V 燻蒸・消毒処理

2023年度は、2007年度から実施している総合的有害生物管理（IPM）の運用を継続して行い、収蔵資料の適正な保存管理に努めた。主な活動は、年1回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理や、簡易燻蒸・消毒処理、IPMモニタリング等のほか、毎月1回のIPM全体会議にて連絡・報告などを行った。

（1）2023年度 全館燻蒸・消毒処理

○第1回 全館燻蒸・消毒

期 間：2023年6月28日（水）～7月6日（木）9日間

使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ブンガノン）

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

（2）簡易燻蒸・消毒処理

各トラックヤードに自動噴霧装置設置（博物館3か所、美術館2か所、県民ギャラリー搬入口1か所）を設置、毎日深夜にて散布（スミスリン乳剤）を行い、開閉する場所の害虫駆除を実施している。又、必要に応じて作品等の燻蒸・消毒を「ふくろうくん」（二酸化炭素）を実施している。

（宮里 宗彦）

VI 全体研修

沖縄県立博物館・美術館では、県組織（総務班、博物館班、美術館班）と指定管理者である（一財）沖縄美ら島財団、また博物館・美術館支援組織（友の会、happ）など、館の運営に関わる全ての職員に対して、年に数回全体研修を行っている。

（1）新職員向け消防設備説明会

日 時：2023年4月10日（月）14:00～15:10

場 所：講堂

講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：10名

（2）夜間消防訓練

日 時：2023年5月23日（火）19:30～20:30

場 所：全館

講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：10名

（3）消防総合訓練（火災）

日 時：2023年6月26日（月）9:30～11:30

場 所：全館

講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）

参 加 者：60名

(4) 夜間消防訓練

日 時：2023年8月22日（火）19:30～20:30
場 所：全館
講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）
参 加 者：10名程度

(5) 夜間消防訓練

日 時：2023年11月7日（月）19:30～20:30
場 所：全館
講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）
参 加 者：10名程度

(6) 地震訓練

日 時：2023年11月27日（月）9:00～12:00
場 所：全館
講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）
参 加 者：60名程度

(7) 夜間消防訓練

日 時：2024年2月27日（月）19:30～21:00
場 所：全館
講 師：具志堅春樹（沖縄美ら島財団）
参 加 者：10名程度

(8) 防犯接遇研修

日 時：2024年3月4日（月）19:30～20:30
場 所：講堂及び美術館企画ギャラリー
講 師：比嘉勝人（那覇警察署警備課）、白仁理恵子（沖縄美ら島財団）
参 加 者：100名

VII 刊行物

(全 体)

	刊 行 物 名	種類	部数	規格（頁）	内 容
1	沖縄県立博物館・美術館 年報（令和4年度実績報告）No. 16	定 期	250	A 4（192）	博物館・美術館の総括報告書

(博物館班)

	刊 行 物 名	種類	部数	規格（頁）	内 容
1	企画展「新収蔵品展— 令和3・4年度収蔵資料」	定期	300	A 4（22）	企画展図録
2	海を越える人々 琉球と倭寇もの語り	不定期	300	A 4（77）	企画展図録
3	旧石器時代の人類	不定期	500	B5ヨコ（95）	特別展図録
4	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要 第17号	定期	500	A 4（126）	博物館学芸員の調査研究報告書
5	令和5年度 博物館教育普及活動報告書	定期	オンライン公開	A 4（86）	博物館教育活動の総括報告書

(美術館班)

	刊 行 物 名	種類	部数	規格（頁）	内 容
1	YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP	不定期	700	B 5（144）	企画展図録
2	沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第12号	定期	500	A 4（55）	美術館学芸員の調査研究報告書
3	教育普及報告書	定期	300	A 4（41）	美術館教育普及活動の報告書

(指定管理者)

	刊 行 物 名	種 類	部 数	規 格 (頁)	内 容
1	2024年度展覧会年間スケジュールリーフレット	年 1 回	15,000	蛇腹折(8頁)	展覧会スケジュール
2	博物館常設展ワークシート 歴史①「銅鐘 DOUSHOコレクション」	不定期	100	A 4	ワークシート
3	「旧石器時代の人類」ワークシート (おとな版)	年 1 回	1,000	A 4	ワークシート
4	「旧石器時代の人類」ワークシート (こども版)	年 1 回	650	A 4	ワークシート
5	ジミー大西展チラシ	不定期	150,000	A 4	チラシ
6	ジミー大西展ポスター	不定期	1,000	B 2	ポスター
7	みんなの進化展割引チケット	不定期	8,000	B 6 変形	割引チケット
8	みんなの進化展チラシ	不定期	110,000	A 4	チラシ
9	みんなの進化展ポスター	不定期	1,200	B 2	ポスター
10	MINIATURE LIFE展 2 割引チケット	不定期	8,000	B 6 変形	割引チケット
11	MINIATURE LIFE展 2 チラシ	不定期	115,000	A 4	チラシ
12	MINIATURE LIFE展 2 ポスター	不定期	1,100	B 2	ポスター
13	キングダム展 - 信 - 事前告知チラシ	不定期	30,000	A 4	チラシ
14	キングダム展 - 信 - チラシ	不定期	20,000	A 3	チラシ
15	キングダム展 - 信 - チラシ	不定期	20,000	A 4	チラシ
16	キングダム展 - 信 - ポスター	不定期	1,000	B 2	ポスター
17	解体梵鐘抜刷英語パンフレット	不定期	2,300	蛇腹折(8頁)	万国津梁の鐘プロジェクト
18	万国津梁の鐘ゆらゆらオーナメント	不定期	8,000	A 4	万国津梁の鐘プロジェクト
19	日本語誘客パンフレット	不定期	46,000	観音折(8頁)	パンフレット
20	楽しくあそんでさわって学ぶ おきみゅー GW 2023	年 1 回	27,000	A 4	イベント告知チラシ
21	ココみて! ナイン 9	不定期	1,400	A 5	ワークシート
22	重ね押しスタンプラリー	不定期	48,000	A 6	ワークシート
23	おきみゅー誕生祭2023	年 1 回	27,000	A 4	イベント告知チラシ
24	おきみゅー誕生祭2023クイズラリー	年 1 回	1,000	A 5	ワークシート
25	旧正月はおきみゅーに行こう! 2024	年 1 回	5,000	A 4	イベント告知チラシ
26	琉球菓子と琉球古典音楽を楽しむ	不定期	500	A 4	イベント告知チラシ
27	博物館常設展誘客 こども向けチラシPart 4	不定期	23,000	A 3	チラシ (マンガ)
28	博物館常設展誘客 こども向けチラシPart 5	不定期	23,000	A 3	チラシ (マンガ)

VIII 展覧会一覧 (2023年度)

	展 示 会 名	場 所	主 催	期 間
1	博物館常設展 海と島に生きる ー豊かさ、美しさ、平和を求めてー	博物館常設展示室 総合部門展示室	沖縄県 (博物館班)	通年
2	博物館常設展部門展示 正月、清明、ユッカヌヒー、 旧盆、十五夜、ムーチー、冬至 (仏前供物替え)	博物館常設展示室・ 民俗部門展示室	沖縄県 (博物館班)	各時季
3	博物館常設展部門展示 「那覇港～往来 する人とモノ～」	博物館常設展示室・ 歴史部門展示室	沖縄県 (博物館班)	通年
4	ジミー大西 画業30年記念作品展「POP OUT」	美術館企画ギャラリー ー1、2	沖縄美ら島財団、 沖縄タイムス社	4/28～6/4
5	企画展「新収蔵品展ー令和3・4年度収 蔵資料」	博物館企画展示室、特 別展示室 1	沖縄県 (博物館班)	4/28～6/4

	展 示 会 名	場 所	主 催	期 間
6	身近なカタツムリ展	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	5/2～3/31
7	愛鳥週間ミニ展示『めざせ！鳴き声ハカセ～鳥の鳴き声クイズ～』	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	5/8～5/21
8	博物館常設展部門展示 第1期展示「アニマル！あつまる！！美の世界！Part2！」	博物館常設展示室・美術工芸部門展示室	沖縄県（博物館班）	5/23～8/13
9	生きものの進化をまねる展	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	6/6～8/6
10	みんなの進化展—命はつながっている—	企画展示室、特別展示室1、2	沖縄美ら島財団、沖縄タイムス社	6/21～9/3
11	シンカ・イ展～深海（トワイライトゾーン）で進化した生きものたち～	3Fホワイエ	沖縄美ら島財団	6/21～9/3
12	小さなエイリアン展	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	7/7～8/20
13	MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界	美術館企画ギャラリー1、2	沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送	7/12～9/3
14	コレクション展 2023年度「沖縄美術の流れ」【映像】	コレクションギャラリー1	沖縄県（美術館班）	7/14～10/15 10/17～1/14
15	コレクション展「大和コレクション展Vol.9：アートの楽しみ」	コレクションギャラリー2	沖縄県（美術館班）	7/14～6/30
16	コレクション展 2022年度「沖縄美術の流れ」【絵画・彫刻・写真・現代美術】	コレクションギャラリー3	沖縄県（美術館班）	7/14～6/30
17	さがそう！自由研究のタネ～あなたの好奇心の花を咲かせます～	県民ギャラリー1、2、3	沖縄美ら島財団	7/25～7/30
18	博物館常設展部門展示「返還された沖縄の文化財」	博物館常設展示室・歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	8/4～10/22 3/15～8/4
19	博物館常設展部門展示「重要文化財指定記念 銘苅家文書と琉球国王朱印状」	博物館常設展示室・歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	8/4～9/10
20	麒麟の骨格ミニ展示	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	8/10～8/20
21	博物館常設展部門展示 第2期展示「首里城を救った男たち 伊東忠太と鎌倉芳太郎 ～共同研究開始から100年～」	博物館常設展示室・美術工芸部門展示室	沖縄県（博物館班）	8/22～11/19
22	ロビー展「6月23日と9月7日」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	8/29～9/10
23	首里城を救った男、鎌倉芳太郎が見た沖縄～1972年開催の「50年前の沖縄」展～	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	9/12～10/1
24	ロビー展「琉球古刺繍の世界へようこそ」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	9/20～10/15
25	企画展「海を越える人々（前期）琉球と倭寇のものがたり」	企画展示室、特別展示室1	沖縄県（博物館班）	9/22～11/19
26	ロビー展「雄飛ふたたびー沖縄移民の歴史とウチナーンチュの絆ー」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	10/17～11/12
27	沖縄の染と織の至宝ー桃原用昇コレクションー	特別展示室2	沖縄美ら島財団	10/27～11/26
28	在りし日の首里城展（写真展）	3Fホワイエ	沖縄美ら島財団	10/24～11/26
29	博物館常設展部門展示 特集展「沖縄1935」	博物館常設展示室・歴史部門展示室	沖縄県（博物館班）	11/1～3/10
30	企画展「YUKEN TERUYA OKINAWA HEAVY POP（照屋勇賢 オキナワ・ヘヴィ・ポップ）」	美術館企画ギャラリー1、2	沖縄県（美術館班）	11/3～1/21
31	第556回 博物館講座11/18関連展示「沖縄の美ら星～豊かな星文化にふれる～」写真パネル展	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	11/14～12/3
32	博物館常設展部門展示 第3期展示「神山政良コレクション展」	博物館常設展示室・美術工芸部門展示室	沖縄県（博物館班）	11/28～3/24
33	特別展「海を越える人々（後期）旧石器時代の人々」	企画展示室、特別展示室1・2	沖縄県（博物館班）	12/12～2/12
34	コレクション展「大城皓也作品修復報告展」	美術館コレクションギャラリー1	沖縄県（美術館班）	1/23～6/30

	展 示 会 名	場 所	主 催	期 間
35	博物館ロビー展「沖縄にカムイサウルスがやってきた！」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	2/20～12月中旬
36	アートを身近に！プロジェクト 世界の名画に親しもうvol.3「学芸員がおすすめする“おもしろ絵画”展－西洋絵画と日本絵画」	美術館企画ギャラリー1	沖縄美ら島財団	2/23～3/14
37	ロビー展「首里城地下 第32軍司令部豪模型展示会」	エントランスホール	沖縄県（博物館班）	2/28～3/10
38	キングダム展 - 信 -	美術館企画ギャラリー1、2	沖縄美ら島財団、琉球新報社、宣伝	3/22～5/12

その他の活動

- I 沖縄県博物館協会
- II 全国組織との関わり
- III 沖縄県立博物館友の会

I 沖縄県博物館協会

【総会及び春の研修会】

期 日：2023年（令和5）6月1日（木）～2日（金）→総会開催中止、書面開催
研修会は7月28日（金）に宮古島よりオンライン配信

場 所：宮古島市役所

参 加 者：里井洋一（館長）、宇佐美賢、宮城修

内 容：議案第1号 令和4年度事業実施報告について
議案第2号 令和4年度収支決算報告について
議案第3号 令和5年度事業計画案について
議案第4号 令和5年度予算案について
議案第5号 役員の改選について
議案第6号 沖縄県博物館協会・春の研修会及び秋の研修会の割り当てについて
その他 新規加入について

【秋の研修会】

期 日：2023年12月21日（木）～22日（金）

場 所：名護市博物館 ※現地及びオンライン研修

参 加 者：里井洋一（館長）、宇佐美賢、大湾ゆかり、菊川章、新山颯大、大城沙織、宮城修

内 容：テーマ「新たな博物館活動の創造と連携の構築」

○12月21日（木）

・基調講演：「『博物館の可能性』を地域・世界の中で、みんなで持続的に模索する」
佐久間大輔氏（大阪市立自然史博物館学芸課長）

・報 告：「ぶりでいで繋がる名護博物館の博物館づくり」名護博物館：村田尚史氏

○12月22日（金）現地研修

A：くらしコース 津嘉山酒造所 ⇒ オリオンビール工場

B：自然コース 名護城入口 ⇒ 展望台⇒せせらぎ公園・幸地川

II 全国の組織との関わり

1 日本博物館協会

（1）令和5年度全国博物館長会議（第30回）

日 時：2023年7月5日（水）

場 所：文部科学省（講堂）

参 加 者：里井洋一（館長）

（2）第71回全国博物館大会

メインテーマ：「博物館法改正元年―つながり、交差する―」

日 時：2023年11月15日（水）～11月17日（木）

場 所：千葉県千葉市「千葉市文化センター」

参 加 者：山崎真治

2 九州博物館協議会

（1）九州博物館協議会理事会・総会・現地研修

日 時：2023年5月18日（木）～19日（金）

場 所：宮崎県宮崎市

参 加 者：宇佐美賢

3 全国歴史民俗系博物館協議会

（1）令和5年度総会・現地研修

日 時：2023年7月13日（木）～14日（金）

場 所：沖縄県（沖縄県立博物館・美術館）

参 加 者：宇佐美賢、篠原あかね、大城沙織、大湾ゆかり

4 全国科学博物館協議会

総会への参加はできず、決議事項については委任とした。

Ⅲ 沖縄県立博物館友の会

沖縄県立博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として1980年（昭和55年）に発足した。

本年度の会員の内訳は、一般会員290名、家族会員44家族（91名）、賛助会員3ヶ所。
博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文化講演会や会員を対象とした講座を開催し、博物館常設展示室への展示交流員事業を実施した。

2023年度（令和5年度）の事業内容は以下のとおり。

	事業名及び事業内容	
1	【後援】 「連続展示：海を越える人々」展 期 間：2023年4月1日（土）～2024年3月31日（日） 会 場：沖縄県立博物館・美術館特別展示室 主 催：沖縄県立博物館・美術館	
2	【おきみゅーのゴールデンウィーク！ワークショップ°】 ①世高通宝をつくろう 開催日：5月3日（水） 講 師：山本正昭（博物館班主任学芸員） 参加者：午前12名、午後12名 ②クバオージをつくろう 開催日：5月5日（金） 講 師：仲間孝蔵（友の会会長） 参加者：10名	
3	【文化講演会】 「朝鮮人万年さんがみた琉球中山王国」 開催日：8月26日（土） 講 師：里井洋一（沖縄県立博物館・美術館 館長） 会 場：3階講堂 聴講者：105名	
4	【地域文化散策】 「壺屋焼物博物館見学と壺屋散策・新垣家住宅」 開催日：9月15日（金） 講 師：比嘉立広（壺屋焼物博物館学芸員主査） 参加者：27名	
5	【学芸員文化講座】 「海を越えた神々～沖縄の土帝君を中心に～」 開催日：10月19日（木） 講 師：大城沙織（博物館班学芸員） 会 場：博物館講座室 聴講者：82名	

	事業名及び事業内容	
6	【海を越える人々(前期)琉球と倭寇のもの語り関連イベント】 開催日：10月22日（日） 場 所：博物館実習室 ①交易で使われた琉球の銭「世高通宝」をつくってみよう 講 師：山本正昭（博物館班主任学芸員） 参加者：12名 ②お香を体験しよう 講 師：伊禮拓郎（博物館班学芸員） 参加者：16名	 
7	【地域文化散策】 「歌碑巡り（山城正忠、折口信夫〔釈迢空〕等）」 開催日：12月4日（月） 講 師：真栄里泰山（沖縄現代史の会） 参加者：16名	
8	【後援】 「英雄 尚巴志 -はじまりの統一王-」巡回展 開催日：2024年1月20日（土）～2月21日（水） 会 場：城西大学水田美術館（埼玉県坂戸市） 主 催：城西大学水田美術館 協 力：沖縄県立博物館・美術館	
9	【展示交流員研修】 「博物館常設展示室交流員研修・懇親会」 開催日：1回目1月22日（月）、2回目1月29日（月） 内 容：首里城スタッフによる復元作業現場解説の後、 首里杜館で懇親会 参加者：1回目25名、2回目29名	
10	【学芸員文化講座 アンコール講座】 「首里城を救った男たち 伊東忠太と鎌倉芳太郎 -共同研究開始から100年-」 開催日：3月20日（水） 講 師：伊禮拓郎（博物館班主任） 聴講者：97名 場所：博物館講座室 共 催：沖縄県立博物館・美術館 一般財団法人沖縄美ら島財団	

（1）総会

2023年度（令和5年度）総会（開催日：2023年5月17日（水））

（2）会誌発行

年1回 博友（2023年度は休刊）

（3）会員への情報提供

①友の会通信「ちゃーびら」 年9回発行（1～6月、8月、10月、12月）・送付

②友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送

（4）サークル活動

・家譜サークル（コロナウィルス感染拡大のため開催なし）

・辺境&市場サークル

(5) 博物館サポート

- ①博物館常設展示室展示交流員の配置業務
- ②文化講演会および学芸員講座当日の受付支援
- ③「ボランティア通信」印刷・発送支援（毎月）
- ④博物館・美術館移動展支援

関係法規抄録

- 博物館法（抄）
- 博物館法施行令
- 博物館法施行規則（抄）
- 博物館の登録等に関する規則（抄）
- 沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（抄）
- 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則
- 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
- 沖縄県立博物館・美術館管理規則
- 沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領
- 沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領
- 沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱

関係法規抄録

○博物館法（抄）

昭和 26 年 12 月 1 日 法律第 285 号
〔最終改正〕 令和 4 年 4 月 15 日 法律第 24 号

第一章 総則

（目的）

第一条 この法律は、社会教育法（昭和 24 二十四年法律第二百七号）及び文化芸術基本法（平成十三年法律第四百四十八号）の精神に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

（定義）

第二条 この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法（昭和二十五年法律第百十八号）による図書館を除く。）のうち、次章の規定による登録を受けたものをいう。

2 この法律において「公立博物館」とは、地方公共団体又は地方独立行政法人（地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第二条第一項に規定する地方独立行政法人をいう。以下同じ。）の設置する博物館をいう。

3 この法律において「私立博物館」とは、博物館のうち、公立博物館以外のものをいう。

4 この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。次条第一項第三号において同じ。）を含む。）をいう。

（博物館の事業）

第三条 博物館は、前条第一項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- 一 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
- 三 博物館資料に係る電磁的記録を作成し、公開すること。
- 四 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
- 五 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 六 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- 七 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- 八 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- 九 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和二十五年法律第二百四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
- 十 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- 十一 学芸員その他の博物館の事業に従事する人材の養成及び研修を行うこと。
- 十二 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。

2 博物館は、前項各号に掲げる事業の充実を図るため、他の博物館、第三十一条第二項に規定する指定施設その他これらに類する施設との間において、資料の相互貸借、職員の交流、刊行物及び情報の交換その他の活動を通じ、相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。

3 博物館は、第一項各号に掲げる事業の成果を活用するとともに、地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力し、当該博物館が所在する地域における教育、学術及び文化の振興、文化観光（有形又は無形の文化的所産その他の文化に関する資源（以下この項において「文化資源」という。）の観覧、文化資源に関する体験活動その他の活動を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光をいう。）その他の活動の推進を図り、もつて地域の活力の向上に寄与するよう努めるものとする。

（館長、学芸員その他の職員）

第四条 博物館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
- 3 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
- 4 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
- 5 博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
- 6 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

（学芸員の資格）

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。

- 一 学士の学位（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第百四条第二項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものに限る。）を含む。）を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
- 二 次条各号のいずれかに該当する者で、三年以上学芸員補の職にあつたもの
- 三 文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めた者

2 前項第二号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。

（学芸員補の資格）

第六条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員補となる資格を有する。

- 一 短期大学士の学位（学校教育法第百四条第二項に規定する文部科学大臣の定める学位（専門職大学を卒業した者に対して授与されるものを除く。）及び同条第六項に規定する文部科学大臣の定める学位を含む。）を有する者で、前条第一項第一号の文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの
- 二 前号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者として文部科学省令で定める者

（館長、学芸員及び学芸員補等の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県教育委員会は、館長、学芸員及び学芸員補その他の職員に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第八条 文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第九条 博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第十条 博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

第二章 登録

（登録）

第十一条 博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県教育委員会（当該博物館（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市をいう。以下同じ。）の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市教育委員会。第三十一条第一項第二号を除き、以下同じ。）の登録を受けるものとする。

（登録の申請）

第十二条 前条の登録（以下「登録」という。）を受けようとする者は、都道府県教育委員会の定めるところにより、次に掲げる事項を記載した登録申請書を都道府県教育委員会に提出しなければならない。

- 一 登録を受けようとする博物館の設置者の名称及び住所
- 二 登録を受けようとする博物館の名称及び所在地
- 三 その他都道府県教育委員会の定める事項

2 前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

- 一 館則（博物館の規則のうち、目的、開館日、運営組織その他の博物館の運営上必要な事項を定めたものをいう。）の写し
- 二 次条第一項各号に掲げる基準に適合していることを証する書類
- 三 その他都道府県教育委員会の定める書類

（登録の審査）

第十三条 都道府県教育委員会は、登録の申請に係る博物館が次の各号のいずれにも該当すると認めるときは、当該博物館の登録をしなければならない。

- 一 当該申請に係る博物館の設置者が次のイ又はロに掲げる法人のいずれかに該当すること。
 - イ 地方公共団体又は地方独立行政法人
 - ロ 次に掲げる要件のいずれにも該当する法人（イに掲げる法人並びに国及び独立行政法人（独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三十三号）第二条第一項に規定する独立行政法人をいう。第三十一条第一項及び第六項において同じ。）を除く。）
 - （1）博物館を運営するために必要な経済的基礎を有すること。
 - （2）当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が博物館を運営するために必要な知識又は経験を有すること。
 - （3）当該申請に係る博物館の運営を担当する役員が社会的信望を有すること。
- 二 当該申請に係る博物館の設置者が、第十九条第一項の規定により登録を取り消され、その取消しの日から二年を経過しない者でないこと。
- 三 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県教育委員会の定める基準に適合するものであること。
- 四 学芸員その他の職員の配置が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県教育委員会の定める基準に適合するものであること。
- 五 施設及び設備が、第三条第一項各号に掲げる事業を行うために必要なものとして都道府県教育委員会の定める基準に適合するものであること。
- 六 一年を通じて百五十日以上開館すること。

2 都道府県教育委員会が前項第三号から第五号までの基準を定めるに当たっては、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

3 都道府県教育委員会は、登録を行うときは、あらかじめ、博物館に関し学識経験を有する者の意見を聴かなければならない。

(登録の実施等)

第十四条 登録は、都道府県の教育委員会が、次に掲げる事項を博物館登録原簿に記載してするものとする。

- 一 第十二条第一項第一号及び第二号に掲げる事項
- 二 登録の年月日

2 都道府県の教育委員会は、登録をしたときは、遅滞なく、その旨を当該登録の申請をした者に通知するとともに、前項各号に掲げる事項をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

(変更の届出)

第十五条 博物館の設置者は、第十二条第一項第一号又は第二号に掲げる事項を変更するときは、あらかじめ、その旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る登録事項の変更登録をするとともに、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

(都道府県の教育委員会への定期報告)

第十六条 博物館の設置者は、当該博物館の運営の状況について、都道府県の教育委員会の定めるところにより、定期的に、都道府県の教育委員会に報告しなければならない。

(報告又は資料の提出)

第十七条 都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館の適正な運営を確保するため必要があると認めるときは、当該博物館の設置者に対し、その運営の状況に関し報告又は資料の提出を求めることができる。

(勧告及び命令)

第十八条 都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館が第十三条第一項各号のいずれかに該当しなくなつたと認めるときは、当該博物館の設置者に対し、必要な措置をとるべきことを勧告することができる。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定による勧告を受けた博物館の設置者が、正当な理由がなくてその勧告に係る措置をとらなかつたときは、当該博物館の設置者に対し、期限を定めて、その勧告に係る措置をとるべきことを命ずることができる。

3 第十三条第三項の規定は、第一項の規定による勧告及び前項の規定による命令について準用する。

(登録の取消し)

第十九条 都道府県の教育委員会は、その登録に係る博物館の設置者が次の各号のいずれかに該当するときは、当該博物館の登録を取り消すことができる。

- 一 偽りその他不正の手段により登録を受けたとき。
- 二 第十五条第一項の規定による届出をせず、又は虚偽の届出をしたとき。
- 三 第十六条の規定に違反したとき。
- 四 第十七条の報告若しくは資料の提出をせず、又は虚偽の報告若しくは資料の提出をしたとき。
- 五 前条第二項の規定による命令に違反したとき。

2 第十三条第三項の規定は、前項の規定による登録の取消しについて準用する。

3 都道府県の教育委員会は、第一項の規定により登録の取消しをしたときは、速やかにその旨を、当該登録に係る博物館の設置者に対し通知するとともに、インターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

(博物館の廃止)

第二十条 博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、速やかにその旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る博物館の登録を抹消するとともに、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。

(都道府県又は指定都市の設置する博物館に関する特例)

第二十一条 第十五条第一項、第十六条から第十八条まで及び前条第一項の規定は、都道府県又は指定都市の設置する博物館については、適用しない。

2 都道府県又は指定都市の設置する博物館についての第十五条第二項、第十九条第一項及び第三項並びに前条第二項の規定の適用については、第十五条第二項中「前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る登録事項」とあるのは「その設置する博物館について第十二条第一項第一号又は第二号に掲げる事項に変更があるときは、当該事項」と、第十九条第一項中「登録に係る博物館の設置者が次の各号のいずれかに該当する」とあるのは「設置する博物館が第十三条第一項第三号から第六号までのいずれかに該当しなくなつたと認める」と、同条第三項中「その旨を、当該登録に係る博物館の設置者に対し通知するとともに、」とあるのは「その旨を」と、前条第二項中「前項の規定による届出があつたときは、当該届出に係る」とあるのは「その設置する博物館を廃止したときは、当該」とする。

(規則への委任)

第二十二条 この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県の教育委員会の規則で定める。

第三章 公立博物館

(博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十四条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあっては、当該地方公共団体の長）が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第二十五条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団

体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第二十六条 公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。ただし、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

(博物館の補助)

第二十七条 国は、博物館を設置する地方公共団体又は地方独立行政法人に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

(補助金の交付中止及び補助金の返還)

第二十八条 国は、博物館を設置する地方公共団体又は地方独立行政法人に対し前条の規定による補助金の交付をした場合において、次の各号のいずれかに該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第一号の場合の取消しが第十九条第一項第一号に該当することによるものである場合には、既に交付した補助金を、第三号又は第四号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

- 一 当該博物館について、第十九条第一項の規定による登録の取消しがあつたとき。
- 二 地方公共団体又は地方独立行政法人が当該博物館を廃止したとき。
- 三 地方公共団体又は地方独立行政法人が補助金の交付の条件に違反したとき。
- 四 地方公共団体又は地方独立行政法人が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第四章 私立博物館

(都道府県教育委員会との関係)

第二十九条 都道府県教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。

2 都道府県教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第三十条 国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

第五章 博物館に相当する施設

第三十一条 次の各号に掲げる者は、文部科学省令で定めるところにより、博物館の事業に類する事業を行う施設であつて当該各号に定めるものを、博物館に相当する施設として指定することができる。

- 一 文部科学大臣 国又は独立行政法人が設置するもの
 - 二 都道府県教育委員会 国及び独立行政法人以外の者が設置するもののうち、当該都道府県の区域内に所在するもの（指定都市の区域内に所在するもの（都道府県が設置するものを除く。）を除く。）
 - 三 指定都市教育委員会 国、独立行政法人及び都道府県以外の者が設置するもののうち、当該指定都市の区域内に所在するもの
- 2 前項の規定による指定をした者は、当該指定をした施設（以下この条において「指定施設」という。）が博物館の事業に類する事業を行う施設に該当しなくなつたと認めるときその他の文部科学省令で定める事由に該当するときは、文部科学省令で定めるところにより、当該指定施設についての前項の規定による指定を取り消すことができる。
- 3 第一項の規定による指定をした者は、当該指定をしたとき又は前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。
- 4 第一項の規定による指定をした者は、指定施設の設置者に対し、その求めに応じて、当該指定施設の運営に関して、専門的、技術的な指導又は助言を与えることができる。
- 5 指定施設は、その事業を行うに当たつては、第三条第二項及び第三項の規定の趣旨を踏まえ、博物館、他の指定施設、地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。
- 6 国又は独立行政法人が設置する指定施設は、博物館及び他の指定施設における公開の用に供するための資料の貸出し、職員の研修の実施その他の博物館及び他の指定施設の事業の充実のために必要な協力を行うよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から起算して三箇月を経過した日から施行する。

附 則 （昭和二十七年八月一四日法律第三〇五号） 抄

附 則 （令和四年四月一五日法律第二四号） 抄

(施行期日)

第一条 この法律は、令和五年四月一日から施行する。ただし、附則第三条の規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

第二条 この法律の施行の際現に学芸員となる資格を有する者は、この法律による改正後の博物館法（以下この条において「新博物館法」という。）第五条に規定する学芸員となる資格を有する者とみなす。

2 この法律の施行の際現に博物館において学芸員補の職にある者は、新博物館法第六条の規定にかかわらず、この法律の施行

- の日（次項及び第四項において「施行日」という。）以後も引き続き当該博物館において、学芸員補となる資格を有する者としてその職にあることができる。
- 3 施行日前にされたこの法律による改正前の博物館法（次項及び第六項において「旧博物館法」という。）第十一条の登録の申請であって、この法律の施行の際、まだその登録をするかどうかの処分がされていないものについての登録の処分については、なお従前の例による。
- 4 この法律の施行の際現に旧博物館法第十条の登録を受けている又は施行日以後に前項の規定によりなお従前の例によることとされる同条の登録を受ける博物館は、施行日から起算して五年を経過する日までの間は、新博物館法第十一条の登録を受けたものとみなす。当該博物館の設置者がその期間内に同条の登録の申請をした場合において、その期間を経過したときは、その申請について登録をするかどうかの処分がある日までの間も、同様とする。
- 5 前項の規定により新博物館法第十一条の登録を受けたものとみなされる博物館が同条の登録を受けるまでの間における当該博物館についての新博物館法第十八条第一項及び第二十一条第二項の規定の適用については、新博物館法第十八条第一項中「第十三条第一項各号」とあり、及び新博物館法第二十一条第二項中「第十三条第一項第三号から第六号まで」とあるのは、「博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号）による改正前の第十二条各号」とする。
- 6 この法律の施行の際現に旧博物館法第二十九条の指定を受けている施設は、新博物館法第三十一条第一項の指定を受けたものとみなす。

（政令への委任）

第三条 前条に定めるもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置は、政令で定める。

○博物館法施行令

昭和 27 年 3 月 20 日 政令第 47 号
〔最終改正〕令和 5 年 2 月 10 日 政令第 35 号

内閣は、博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十五条第二項の規定に基き、及び同条の規定を実施するため、この政令を制定する。

博物館法第二十七条第一項に規定する博物館の施設及び設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。

- 一 施設費 施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費
- 二 設備費 博物館に備え付ける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費

附 則

この政令は、公布の日から施行する。

附 則 （昭和三〇年八月二四日政令第一九二号） 抄

- 1 この政令は、公布の日から施行し、昭和三十年七月二十二日から適用する。

附 則 （昭和三十一年六月三〇日政令第二二二号） 抄
（施行期日）

- 1 この政令は、昭和三十一年十月一日から施行する。

附 則 （昭和三十四年四月三〇日政令第一五七号） 抄
（施行期日）

- 1 この政令は、公布の日から施行する。

附 則 （令和五年二月一〇日政令第三五号）

この政令は、令和五年四月一日から施行する。

○博物館法施行規則（抄）

昭和 30 年 10 月 4 日 文部省令第 24 号
〔最終改正〕令和 5 年 4 月 1 日 文部科学省令第 2 号

博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第五条及び第二十九条の規定に基き、博物館法施行規則（昭和二十七年文部省令第十一号）の全部を改正する省令を次のように定める。

目次

- 第一章 博物館に関する科目の単位（第一条・第二条）
- 第二章 学芸員及び学芸員補の資格（第三条―第十八条）
- 第三章 博物館の登録に係る基準を定めるに当たって参酌すべき基準（第十九条―第二十一条）
- 第四章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たって参酌すべき基準（第二十二条）
- 第五章 博物館に相当する施設の指定（第二十三条―第二十七条）

附則

第一章 博物館に関する科目の単位

（博物館に関する科目の単位）

第一条 博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号。以下「法」という。）第五条第一項第一号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	3

- 2 博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第六条第三項に規定する試験科目について合格点を得ている科目は、これをもつて、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

(博物館実習)

第二条 前条に掲げる博物館実習は、博物館（法第二条第一項に規定する博物館をいう。以下同じ。）又は法第三十一条第一項の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県若しくは指定都市（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市をいう。以下同じ。）の教育委員会が博物館に相当する施設として指定した施設（大学においてこれに準ずると認めた施設を含む。）における実習により修得するものとする。

2 博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

第二章 学芸員及び学芸員補の資格

(学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者)

第三条 法第五条第一項第三号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）第一百五十五条第一項各号のいずれかに該当する者であつて、大学において博物館に関する科目の単位を修得したもの
- 二 この章に定める試験認定又は審査認定（以下「資格認定」という。）の合格者

(資格認定の施行期日等)

第四条 資格認定は、少なくとも二年に一回、文部科学大臣が行う。

2 資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、インターネットの利用その他の適切な方法により公示する。

(試験認定の受験資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。

- 一 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第二条第一項本文の規定により大学院に入学することができる者
- 二 大学に二年以上在学して六十二単位以上を修得した者（学校教育法施行規則第一百五十五条第二項各号のいずれかに該当する者を含む。第九条第三号ロにおいて同じ。）であつて、二年以上博物館における博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業に関する実務（法第五条第二項に規定する職の実務を含む。以下「博物館資料関係実務」という。）を行つた経験を有するもの
- 三 学校教育法第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者であつて、四年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
- 四 教育職員免許法（昭和二十四年法律第百四十七号）第二条第一項に規定する教育職員の普通免許状を有し、二年以上教育職員の職にあつた者
- 五 その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

(試験認定の方法及び試験科目)

第六条 試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。

- 2 試験認定は、二回以上にわたり、それぞれ以上の試験科目について受けることができる。
- 3 試験科目は、次表に定めるとおりとする。

試験科目
生涯学習概論
博物館概論
博物館経営論
博物館資料論
博物館資料保存論
博物館展示論
博物館教育論
博物館情報・メディア論

(試験科目の免除)

第七条 大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願い出により、当該科目についての試験を免除する。

第八条 削除

(審査認定の受験資格)

第九条 次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。

- 一 次のいずれかに該当する者であつて、二年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
 - イ 学位規則（昭和二十八年文部省令第九号）による修士の学位又は専門職学位を有する者（学校教育法施行規則第一百五十六条各号のいずれかに該当する者を含む。）
 - ロ 学位規則による博士の学位を有する者（旧学位令（大正九年勅令第二百号）による博士の称号を有する者及び外国において博士の学位に相当する学位を授与された者を含む。）
- 二 大学において博物館に関する科目（生涯学習概論を除く。）に関し二年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあつた者であつて、二年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
- 三 次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦するもの
 - イ 学校教育法第二条第一項本文の規定により大学院に入学することができる者であつて、四年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
 - ロ 大学に二年以上在学し、六十二単位以上を修得した者であつて、六年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
 - ハ 学校教育法第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者であつて、八年以上博物館資料関係実務を行つた経験を有するもの
- 四 その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

(審査認定の方法)

第十条 審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

(受験の手続)

第十一条 資格認定を受けようとする者は、受験願書（別記第一号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法（昭和四十二年法律第八十一号）第三十条の九の規定により機密保存本人確認情報（同法第七条第八号の二に規定する個人番号を除く。）の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第三号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。

- 一 受験資格を証明する書類
 - 二 履歴書（別記第二号様式により作成したもの）
 - 三 戸籍抄本又は住民票の写し（いずれも出願前六月以内に交付を受けたもの）
 - 四 写真（出願前六月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの）
- 2 前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認めた場合においては、他の証明書をもって代えることができる。
- 3 第七条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願い出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。
- 4 審査認定を願い出る者については、第一項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。
- 一 第九条第一号又は同条第二号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等
 - 二 第九条第三号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する書類
 - 三 第九条第四号により出願する者にあつては、前二号に準ずる資料又は書類

（筆記試験及び試験認定合格者）

第十二条 試験科目（試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。）の全部について合格点を得た者（試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下「筆記試験合格者」という。）であつて、一年間博物館資料関係実務を行った後に文部科学大臣が認定したものを試験認定合格者とする。

- 2 筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書（別記第三号様式によるもの）を文部科学大臣に提出しなければならない。

（審査認定合格者）

第十三条 第十条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

（合格証書の授与等）

第十四条 試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書（別記第四号様式によるもの）を授与する。

- 2 筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書（別記第五号様式によるもの）を授与する。
- 3 合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願い出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

（合格証明書の交付等）

第十五条 試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願い出たときは、合格証明書（別記第六号様式によるもの）を交付する。

- 2 筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書（別記第七号様式によるもの）を交付する。
- 3 一以上の試験科目について合格点を得た者（筆記試験合格者を除く。次条及び第十七条において「筆記試験科目合格者」という。）がその科目合格の証明を願い出たときは、筆記試験科目合格証明書（別記第八号様式によるもの）を交付する。

（手数料）

第十六条 次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

上欄	下欄
一 試験認定を願い出る者	一科目につき 1,300 円
二 審査認定を願い出る者	3,800 円
三 試験認定の試験科目の全部について免除を願い出る者	800 円
四 合格証書の書換え又は再交付を願い出る者	700 円
五 合格証明書の交付を願い出る者	700 円
六 筆記試験合格証明書の交付を願い出る者	700 円
七 筆記試験科目合格証明書を願い出る者	700 円

- 2 前項の規定によつて納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書に貼るものとする。ただし、情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律（平成十四年法律第百五十一号）第六条第一項の規定に基づき申請等を行った場合は、当該申請等により得られた納付情報により手数料を納付しなければならない。
- 3 納付した手数料は、これを返還しない。

（不正の行為を行った者等に対する処分）

第十七条 虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行った者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

- 2 試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになったときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

（学芸員補となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者）

第十八条 法第六条第二号に規定する学芸員補となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者として文部科学省令で定める者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 大学に二年以上在学し、博物館に関する科目の単位を合せて六十二単位以上を修得した者
- 二 学校教育法施行規則第一百五十五条第二項各号のいずれかに該当する者であつて、大学において博物館に関する科目の単位を修得したもの

第三章 博物館の登録に係る基準を定めるに当たつて参酌すべき基準

（博物館の体制に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準）

第十九条 法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第三号に規定する博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

- 一 博物館資料の収集、保管及び展示（インターネットの利用その他の方法により博物館資料に係る電磁的記録を公開することを含む。第四号、第二十一条第一号及び第二十四条第一項第二号において同じ。）並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針を策定し当該方針を公表するとともに、当該方針に基づき、相当の公益性をもつて博物館を運営する体制を整備していること。
- 二 前号の基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。
- 三 前号に規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切

に管理し、及び活用する体制を整備していること。

四 一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。

五 単独で又は他の博物館若しくは法第三条第一項第十二号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。

六 博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。

七 法第七条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。

(博物館の職員に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準)

第二十条 法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第四号に規定する学芸員その他の職員の配置に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

一 前条第一号の基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。

二 学芸員が置かれていること。

三 同条第一号の基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。

(博物館の施設及び設備に関する基準を定めるに当たり参酌すべき基準)

第二十一条 法第十三条第二項の文部科学省令で定める基準であつて、同条第一項第五号に規定する施設及び設備に係るものは、次の各号に掲げる事項とする。

一 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。

二 防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。

三 博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。

四 高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。

第四章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準

第二十二条 法第二十五条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

第五章 博物館に相当する施設の指定

(申請の手続)

第二十三条 法第三十一条第一項の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の指定を受けようとする場合は、次に掲げる事項を記載した指定申請書（別記第九号様式により作成したもの）を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人（独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三十三号）第二条第一項に規定する独立行政法人をいう。第二十五条において同じ。）が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県又は指定都市が設置する施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、地方独立行政法人（地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第二条第一項に規定する地方独立行政法人をいう。第二十五条において同じ。）が設置する施設にあつては当該地方独立行政法人の長が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県（当該施設（都道府県が設置するものを除く。）が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会。第二十五条において同じ。）に、それぞれ提出しなければならない。

一 指定を受けようとする施設の設置者の氏名及び住所（法人にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

二 指定を受けようとする施設の名称及び所在地

三 その他指定を行う者が定める事項

2 前項の指定申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

一 当該施設の運営に関する規則のうち、目的、開館日、運営組織その他の施設の運営上必要な事項を定めたもの

二 次条第一項各号に掲げる基準に適合していることを証する書類

三 その他指定を行う者が定める書類

(指定の審査)

第二十四条 文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、前条第一項の指定申請書の提出があつたときは、申請に係る施設が、次の各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。

一 当該施設の設置者が、その設置する博物館について法第十九条第一項の規定により登録を取り消され、その取消しの日から二年を経過しない者でなく、かつ、その設置する施設について法第三十一条第二項の規定により指定を取り消され、その取消しの日から二年を経過しない者でないこと。

二 当該施設における資料の収集、保管及び展示並びに資料に関する調査研究を行う体制が、当該施設が博物館の事業に類する事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

三 当該施設における職員の配置が、当該施設が博物館の事業に類する事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

四 当該施設の施設及び設備が、当該施設が博物館の事業を行うために必要なものとして文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の定める基準に適合すること。

五 一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。

六 一年を通じて百日以上開館すること。

2 文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、前項第二号から第四号までに規定する基準を定めるに当たつては、第十九条から第二十一条までの規定を参酌して定めるものとする。この場合において、第十九条（第七号を除く。）中「博物館資料」とあるのは「資料」と、同条第一号中「博物館を運営する」とあるのは「法第三十一条第一項の規定による指定を受けた施設（次条及び第二十一条において「指定施設」という。）を運営する」と、第二十条第一号及び第三号中「博物館」とあるのは「指定施設」と、同条第二号中「学芸員」とあるのは「学芸員に相当する職員」と、第二十一条第一号中「博物館資料」とあるのは「資料」と、同条第三号及び第四号中「博物館」とあるのは「指定施設」とする。

3 前項に規定する指定の審査に当つては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。

(報告)

第二十五条 法第三十一条第一項の規定に基づき文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会が博物館に相当する施設として指定した施設（以下「指定施設」という。）が前条第一項に規定する要件を備えなくなつたときは、直ちにその旨を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県又は指定都市が設置する施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、地方独立行政法人が設置する施設にあつては当該地方独立行政法人の長が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。

第二十六条 文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会は、自ら法第三十一条第一項の規定により指定した指定施設に対し、第二十四条第一項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。

(指定の取消し)

第二十七条 法第三十一条第二項に規定する指定施設の指定を取り消すことができる事由は、次のとおりとする。

- 一 博物館の事業に類する事業を行う施設に該当しなくなつたと法第三十一条第一項の規定による指定をした者が認めるとき。
- 二 偽りその他不正の手段により法第三十一条第一項の規定による指定を受けたとき。
- 三 第二十五条の規定による報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。
- 四 前条の規定による文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の求めに対して報告をせず、又は虚偽の報告をしたとき。

附 則

- 1 この省令は、公布の日から施行する。
- 2 試験認定を受ける者のうち、博物館法の一部を改正する法律（昭和三十年法律第八十一号）附則第三項の規定により学芸員となる資格を有する者にあつては、第六条第二項の規定にかかわらず、選択科目の試験を免除する。

附 則（令和五年二月一〇日文部科学省令第二号） 抄

(施行期日)

第一条 この省令は、令和五年四月一日から施行する。

(経過措置)

第二条 博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号。以下この項において「改正法」という。）附則第二条第六項の規定により、改正法による改正前の博物館法第二十九条の指定を受けている施設で、改正法による改正後の博物館法第三十一条第一項の指定を受けているものとみなされるもの（文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会が、この省令による改正後の博物館法施行規則（以下この条において「新規則」という。）第二十四条第一項の要件を備えていると認めるものを除く。以下この条において「みなし指定施設」という。）についての新規則第二十五条の規定の適用については、同条中「前条第一項」とあるのは、「前条第一項（令和十年三月三十一日までの間は、博物館法施行規則の一部を改正する省令（令和五年文部科学省令第二号）による改正前の博物館法施行規則（次条において「旧規則」という。）第二十条）」とする。

- 2 みなし指定施設についての新規則第二十六条の規定の適用については、同条中「法第三十一条第一項」とあるのは「博物館法の一部を改正する法律（令和四年法律第二十四号）による改正前の法（次条において「旧法」という。）第二十九条」と、「第二十四条第一項」とあるのは「第二十四条第一項（令和十年三月三十一日までの間は、旧規則第二十条）」とする。
- 3 みなし指定施設についての新規則第二十七条の規定の適用については、同条第一号中「法第三十一条第一項」とあるのは、「旧法第二十九条」とする。
- 4 みなし指定施設は、令和十年三月三十一日までに、新規則第二十四条第一項の要件を備えている旨の文部科学大臣又は都道府県若しくは指定都市の教育委員会の確認を受けるよう努めなければならない。

○博物館の登録等に関する規則

昭和 50 年 5 月 8 日 教育委員会規則第 5 号
〔最終改正〕 令和 5 年 3 月 31 日 教育委員会規則第 3 号

博物館の登録に関する規則をここに公布する。

博物館の登録等に関する規則

第 1 章 総則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）に基づく博物館の登録及び博物館に相当する施設の指定に関し、博物館法施行規則（昭和 30 年文部省令第 24 号。以下「施行規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

第 2 章 博物館の登録

(登録の申請)

第 2 条 法第 12 条第 1 項の規定による登録申請書の提出は、博物館登録申請書（第 1 号様式）により行うものとする。

- 2 前項の博物館登録申請書には、法第 12 条第 2 項第 1 号及び第 2 号に掲げる書類のほか、次に掲げる書類を添付するものとする。
 - (1) 博物館資料目録（第 2 号様式）
 - (2) 職員名簿（第 3 号様式）
 - (3) 学芸員の資格を証する書類

(登録の審査)

第 3 条 沖縄県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、法第 13 条の規定による登録の審査に当たっては、必要に応じて登録の申請に係る博物館の実地について審査するものとする。

(博物館の体制に関する基準)

第 4 条 法第 13 条第 1 項第 3 号に規定する博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を行う体制に関する教育委員会の定める基準は、次のとおりとする。

- (1) 博物館資料の収集、保管及び展示（インターネットの利用その他の方法により博物館資料に係る電磁的記録を公開することを含む。第 4 号及び第 6 条第 1 号において同じ。）並びに博物館資料に関する調査研究の実施に関する基本的運営方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するとともに、基本的運営方針に基づき、相当の公益性をもって博物館を運営する体制を整備していること。

- (2) 基本的運営方針に基づく博物館資料の収集及び管理の方針を定め、当該方針に基づき、博物館資料を体系的に収集する体制を整備していること。
- (3) 前号に規定する博物館資料の収集及び管理の方針に基づき、所蔵する博物館資料の目録を作成し、当該博物館資料を適切に管理し、及び活用する体制を整備していること。
- (4) 一般公衆に対して、所蔵する博物館資料の展示を行い、又は特定の主題に基づき、所蔵する博物館資料若しくは借用した博物館資料による展示を行う体制を整備していること。
- (5) 単独で又は他の博物館若しくは法第3条第1項第12号に掲げる学術若しくは文化に関する諸施設と共同で、博物館資料に関する調査研究を行い、その成果を活用する体制を整備していること。
- (6) 博物館資料を用いた学習機会の提供、利用者に対する博物館資料の説明その他の教育活動を行う体制を整備していること。
- (7) 法第7条に規定する研修その他の研修に職員が参加する機会が確保されていること。

(博物館の職員に関する基準)

第5条 法第13条第1項第4号に規定する学芸員その他の職員の配置に関する教育委員会の定める基準は、次のとおりとする。

- (1) 基本的運営方針に基づいて博物館の管理運営を行うことができる館長が置かれていること。
- (2) 学芸員が置かれていること。
- (3) 基本的運営方針に基づく博物館の運営に必要な職員が置かれていること。

(博物館の施設及び設備に関する基準)

第6条 法第13条第1項第5号に規定する施設及び設備に関する教育委員会の定める基準は、次のとおりとする。

- (1) 博物館資料の収集、保管及び展示並びに博物館資料に関する調査研究を安定的かつ継続的に行うことができる施設及び設備が整備されていること。
- (2) 防災及び防犯のために必要な施設及び設備を有していること。
- (3) 博物館の規模及び展示内容に応じ、利用者の安全及び利便性の確保のために必要な配慮がなされていること。
- (4) 高齢者、障害者、妊娠中の者、日本語を理解できない者その他博物館の利用に困難を有する者が博物館を円滑に利用するための配慮がなされていること。

(博物館登録原簿の様式)

第7条 法第14条第1項の規定により教育委員会が記載する博物館登録原簿は、第4号様式とする。

(公表)

第8条 教育委員会は、法第14条第2項、法第15条第2項、法第19条第3項及び法第20条第2項の規定による公表をインターネットを利用する方法により行うものとする。

(登録事項の変更)

第9条 法第15条第1項の規定による変更の届出は、博物館登録事項変更届出書（第5号様式）により行うものとする。

(定期報告)

第10条 法第16条の規定による定期報告は、教育長が定めるところにより行うものとする。

(博物館の廃止)

第11条 法第20条第1項の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届（第6号様式）により行うものとする。

第3章 博物館に相当する施設の指定

(指定の申請の書類)

第12条 施行規則第23条第1項の規定により提出する指定申請書には、同条第2項第1号及び第2号に掲げる書類のほか、次に掲げる書類を添付するものとする。

- (1) 資料目録（第7号様式）
- (2) 職員名簿（第3号様式）

(博物館に相当する施設の体制等に関する基準)

第13条 施行規則第24条第1項第2号に規定する資料の収集、保管及び展示並びに資料に関する調査研究を行う体制に関する教育委員会の定める基準については第4条の規定を、同項第3号に規定する職員の配置に関する教育委員会の定める基準については第5条の規定を、同項第4号に規定する施設及び設備に関する教育委員会の定める基準については第6条の規定をそれぞれ準用する。この場合において、次の表の左欄に掲げる規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句に読み替えるものとする。

読み替える規定	読み替えられる字句	読み替える字句
第4条各号(第7号を除く。)及び第6条第1号	博物館資料	資料
第4条第1号	博物館を運営する	法第31条第1項の規定による指定を受けた施設（次条及び第6条において「指定施設」という。）を運営する
第5条第1号及び第3号並びに第6条第3号及び第4号	博物館	指定施設
第5条第2号	学芸員	学芸員に相当する職員

(公表)

第14条 教育委員会は、法第31条第3項の規定による公表をインターネットを利用する方法により行うものとする。

第4章 雑則

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の登録及び博物館に相当する施設の指定に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和50年4月1日から適用する。

附 則（令和5年3月31日教育委員会規則第3号）

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（抄）

平成 23 年 3 月 31 日 教育委員会規則第 2 号
改正 令和 5 年 3 月 31 日 教育委員会規則第 7 号

沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則をここに公布する。

沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則

（趣 旨）

第 1 条 この規則は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条の 7 の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。

（委 任）

第 2 条 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例（昭和 47 年沖縄県条例第 32 号）第 2 条第 9 号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長（以下「部長」という。）に委任する。ただし、沖縄県立博物館・美術館管理規則（平成 19 年沖縄県教育委員会規則第 1 号）第 2 条第 3 項ただし書の規定による認定に関する事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。

- （1） 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成 18 年沖縄県条例第 72 号）及び沖縄県立博物館・美術館管理規則（以下「条例等」という。）の改正及び廃止に関すること。
- （2） 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 24 条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第 13 条第 1 項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。
- （3） 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第 8 条第 4 講の規定による沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会の委員の任免に関すること

（合議等）

第 3 条 前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規程により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等（以下「合議等」という。）を要する定めのある事務については、合議等をしなければならない。

2 前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

（沖縄県教育庁組織規則の一部改正）

3 沖縄県教育庁組織規則（昭和 47 年沖縄県教育委員会規則第 1 号）の一部を次のように改正する。

第 11 条第 8 号を次のように改める。

（8） 博物館・美術館に関すること（沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成 23 年沖縄県教育委員会規則第 2 号）により委任される事務に関するものを除く。）。

（沖縄県立教育機関組織規則の一部改正）

4 沖縄県立教育機関組織規則（昭和 47 年沖縄県教育委員会規則第 2 号）の一部を次のように改正する。

第 1 条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成 18 年沖縄県条例第 72 号）」を削る。

第 4 条を削り、第 4 条の 2 を第 4 条とする。

第 6 条を次のように改める。

（職制等）

第 6 条 総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家（以下「教育機関」という。）に、所長又は館長（以下「所長等」という。）を置く。

2 所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。

第 7 条及び第 8 条を削り、第 9 条を第 7 条とする。

第 9 条の 2 の表中「総合教育センター（総務班を除く。） 博物館・美術館」を「総合教育センター（総務班を除く。）」に改め、同条を第 8 条とする。

第 10 条を第 9 条とし、第 11 条を第 10 条とし、第 11 条の 2 を第 11 条とする。

第 12 条第 1 項中「及び博物館・美術館」を削る。

第 21 条を第 23 条とし、第 20 条を第 22 条とし、第 19 条を第 21 条とする。

第 18 条中「第 7 条から第 16 条まで」を「第 6 条から第 18 条まで」に改め、同条の表中

「 | 学芸員 | 上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。 |」

及び

「 | 学芸員補 | 上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。 |」

を削り、同条を第 20 条とする。

第 17 条を第 19 条とする。

第 16 条中「第 7 条」を「第 6 条」に改め、同条を第 18 条とする。

第 15 条を第 17 条とし、第 14 条を第 16 条とし、第 13 条を削り、第 12 条の 4 を第 15 条とする。

第 12 条の 3 第 1 項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第 14 条とする。

第 12 条の 2 を第 13 条とする。

（沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正）

5 沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則（昭和 47 年沖縄県教育委員会規則第 22 号）の一部を次のように改正する。

第 4 条第 2 項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

附則（令和 5 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号）

この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

○沖縄県博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則

平成 23 年 3 月 31 日 規則第 8 号

〔一部改正〕令和 2 年 3 月 31 日 規則第 29 号

沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則をここに公布する。

沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成 23 年沖縄県教育委員会規則第 2 号。以下「教育委員会事務委任規則」という。）第 2 条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館（沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成 19 年沖縄県条例第 72 号）で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。）の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。

(博物館・美術館の管理に関する事務の所掌)

第 2 条 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第 2 条本文の規定により文化観光スポーツ部の長（以下「文化観光スポーツ部長」という。）に委任された事務は、沖縄県行政組織規則（昭和 49 年沖縄県規則第 18 号。以下「行政組織規則」という。）第 76 条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。

2 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。

(内部組織)

第 3 条 博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。

(所掌事務)

第 4 条 総務班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 予算、決算その他会計事務に関すること。
- (2) 公印の保管に関すること。
- (3) 職員の服務及び福利厚生に関すること。
- (4) 博物館・美術館協議会に関すること。
- (5) 指定管理者との連絡調整に関すること。
- (6) 他班の所掌に属さない事務に関すること。

2 博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の博物館施設に係る資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館施設及びその他施設の利用に関すること。
- (4) 博物館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。

3 美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の美術館施設に係る資料（以下「美術館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術館資料の利用に関すること。
- (3) 美術館施設の利用に関すること。
- (4) 美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。

(職の設置)

第 5 条 博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。

2 博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことができる。

(職の職務内容)

第 6 条 前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- (2) 副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
- (3) 班長は、班の事務を処理する。
- (4) 主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。
- (5) 主事は、一般的な事務を処理する。
- (6) 学芸員は、学芸業務に従事する。
- (7) 主任学芸員は、学芸業務を処理する。
- (8) 主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務を処理する。
- (9) 主任は、一般的な事務を分掌する。
- (10) 専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。

(その他組織に関する事項)

第 7 条 第 3 条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則第 5 条に規定する公の施設を管理する機関とみなして、同規則の規定を適用する。

(委任された事務に係る決裁等)

第 8 条 教育委員会事務委任規則第 2 条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規程（昭和 48 年沖縄県訓令第 89 号）の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。

2 教育委員会事務委任規則第 2 条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則（昭和 53 年沖縄県規則第 67 号）の規定（第 3 条、第 5 条及び第 13 条を除く。）を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるも

のとする。

3 前2項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第2条の規定により委任された事務の執行に関し重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。

4 館長は、前2項の規定又は教育委員会事務委任規則第3条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経由して同条に規定する手続きを講ずるものとする。

（委任された事務以外の事務の委任及び決裁）

第9条 博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第2条第1項第1号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義を生じたときは、知事に協議しなければならない。

（委 任）

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については館長がそれぞれ定める。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月31日規則第29号抄）

（施行期日）

1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。（後略）

○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例

平成18年12月27日 条例第72号
〔最終改正〕令和5年3月31日 条例第2号

沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例をここに公布する。

沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例

（設 置）

第1条 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料（以下「博物館・美術館資料」という。）を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）を設置する。

（位置及び施設）

第2条 博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち3丁目1番1号とする。

2 博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。

- （1）博物館施設
- （2）美術館施設
- （3）その他施設

（事 業）

第3条 博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。

- （1）博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- （2）博物館・美術館資料の利用に関すること。
- （3）博物館・美術館の施設の利用に関すること。
- （4）博物館・美術館資料の調査研究に関すること。
- （5）博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- （6）博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- （7）他の博物館等との相互協力に関すること。
- （8）教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。
- （9）前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

（博物館・美術館の管理）

第4条 博物館・美術館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者の業務）

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- （1）博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務
- （2）第12条の規定による観覧料の収受に関する業務、第13条の規定による観覧料の減免に関する業務、第14条ただし書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務
- （3）第15条の規定による利用の許可に関する業務、第18条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第19条第2項の規定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務
- （4）第20条及び同条第3項において準用する第12条第5項から第7項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第20条第3項において準用する第13条の規定による利用料金の減免に関する業務、第20条第3項において準用する第14条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務
- （5）博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- （6）前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

（指定管理者の指定の申請）

第6条 第4条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

（指定管理者の指定等）

第7条 教育委員会は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- （1）事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- （2）事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- （3）事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- （4）前3号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

と。

- 2 教育委員会は、前条の規定による選定をしようとするときは、あらかじめ、沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会の意見を聴かなければならない。
- 3 前項の規定は、地方自治法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消そうとする場合に準用する。

(沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会)

第8条 この条例の規定に基づく諮問に応じて調査審議を行わせるため、沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）を置く。

- 2 運用委員会は、この条例に定めるもののほか、博物館・美術館に係る指定管理者の選定及び指定管理者が行う博物館・美術館の管理に関する重要事項について、教育委員会の諮問に応じて答申し、または建議することができる。
- 3 運用委員会は委員5人いないで組織する。
- 4 委員は、学識経験のある者とその他教育委員会が適当と認める者のうちから、教育委員会が任命する。
- 5 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 8 前各項に定めるもののほか、運用委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者の指定等の告示)

第9条 教育委員会は、第7条第1項の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

- 2 前項の規定は、地方自治法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

(休館日)

第10条 博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 前項第1号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第11条 博物館・美術館の開館時間は、午前9時から午後6時（金曜日及び土曜日にあつては、午後8時）までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時に変更することができる。

(観覧料)

第12条 常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。

- 2 常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第1に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,150円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定めるものとする。
- 4 前2項の規定にかかわらず、1年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第2に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 5 指定管理者は、第2項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。
- 6 教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。
- 7 観覧料は、指定管理者の収入とする。

(観覧料の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除するものとする。

(観覧料の返還)

第14条 既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(利用の許可)

第15条 別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第1項の許可をしないことができる。
 - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
 - (2) 公益を害するおそれがあると認められるとき。
 - (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

(利用期間)

第16条 施設等を引き続いて利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。

(権利の譲渡等の禁止)

第17条 利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第18条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第15条第1項の許可を取り消し、又は施設

等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第15条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(原状回復の義務)

第19条 利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。

2 指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

(利用料金)

第20条 利用者は、施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 利用料金は、別表第3に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。

3 第12条第5項から第7項まで、第13条及び第14条の規定は、利用料金について準用する。

(事業報告書の提出)

第21条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(博物館・美術館協議会)

第22条 博物館・美術館に、博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

3 委員の定数は、15人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 第2項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(教育委員会規則への委任)

第23条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

（平成19年6月教育委員会規則第11号で、同19年11月1日から施行）

(準備行為)

2 第7条の規定による指定管理者の指定、第12条第5項の規定による観覧料の承認及び第20条第3項において準用する第12条第5項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第6条から第8条まで、第12条第2項から第6項まで並びに第20条第2項並びに同条第3項において準用する第12条第5項及び第6項の規定の例により行うことができる。

(沖縄県立教育機関設置条例の一部改正)

3 沖縄県立教育機関設置条例（昭和47年沖縄県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条」を削り、「必要な事項」を「、必要な事項」に改める。

第5条及び第6条を削り、第6条の2を第5条とし、第7条を第6条とし、第7条の2を第7条とする。

第8条中「、第5条及び第6条の2」を「及び第5条」に改める。

(沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正)

4 沖縄県立教育機関使用料徴収条例（昭和47年沖縄県条例第37号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「別表第1又は別表第2」を「別表」に改め、同条第2項を削る。

別表第1を削り、別表第2を別表とする。

附 則（平成24年3月30日条例第46号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月31日条例第11号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月29日条例第5号）

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後のそれぞれの条例規定は、この条例の施行の日以後に徴収し、又は納めるべき使用料、採取料、占用料、着陸料等及び駐車料について適用し、同日前に徴収し、又は納めるべき使用料、採取料、占用料、着陸料等及び駐車料については、なお従前の例による。

附 則（令和5年3月31日条例第2号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1（第12条関係）

区分		基準額（1人につき）	
		個人の場合	団体の場合
博物館施設	一般	420円	340円
	大学生及び高校生	270円	210円
	中学生及び小学生	150円 （県外の中学生及び小学生に限る。）	120円 （県外の中学生及び小学生に限る。）
美術館施設	一般	320円	260円
	大学生及び高校生	210円	170円

	中学生及び小学生	100 円 (県外の中学生及び小学生に限る。)	80 円 (県外の中学生及び小学生に限る。)
--	----------	----------------------------	---------------------------

備考

- 1 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。
- 2 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。
- 4 「団体の場合」とは、20 人以上の団体が観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

別表第 2（第 12 条関係）

区分		基準額（1 人につき）		
		一般	大学生及び高校生	中学生及び小学生
博物館施設	常設展	1,250 円	780 円	470 円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展、企画展及び特別展	4,400 円	2,720 円	1,680 円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,200 円）
美術館施設	常設展	950 円	630 円	320 円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展及び企画展	4,080 円	2,720 円	1,370 円（県内の中学生及び小学生にあっては、1,050 円）

備考

- 1 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。
- 2 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

別表第 3（第 15 条、第 20 条関係）

1 施設利用料金

(1) 博物館施設利用料金

区分		基準額（1 日につき）
企画展示室	入場料を徴収しない場合	30,480 円
	入場料を徴収する場合	91,450 円
特別展示室	入場料を徴収しない場合	39,920 円
	入場料を徴収する場合	119,750 円
実習室	入場料を徴収しない場合	9,430 円
	入場料を徴収する場合	28,280 円
講座室	入場料を徴収しない場合	16,650 円
	入場料を徴収する場合	49,970 円

(2) 美術館施設利用料金

区分		基準額（1 日につき）
県民ギャラリー 1		8,480 円
県民ギャラリー 2		7,850 円
県民ギャラリー 3		7,850 円
県民ギャラリースタジオ		8,590 円
県民アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,330 円
	入場料を徴収する場合	22,000 円
子供アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,850 円
	入場料を徴収する場合	23,570 円
企画展示室 1	入場料を徴収しない場合	34,370 円
	入場料を徴収する場合	103,080 円
企画展示室 2	入場料を徴収しない場合	42,640 円
	入場料を徴収する場合	127,920 円
講座室	入場料を徴収しない場合	9,530 円
	入場料を徴収する場合	28,600 円

(3) その他施設利用料金

区分		基準額（1 時間につき）
講堂	入場料を徴収しない場合	3,570 円
	入場料を徴収する場合	10,680 円

2 附属設備利用料金

種別	単位	基準額
舞台器具	1 回 1 点又は一式につき	10,000 円以内で教育委員会規則で定める額
音響器具	1 回 1 点又は一式につき	10,000 円以内で教育委員会規則で定める額
照明器具	1 回 1 点又は一式につき	10,000 円以内で教育委員会規則で定める額
冷房設備	1 時間につき	3,000 円以内で教育委員会規則で定める額
その他教育委員会規則で定める附属設備	1 回 1 点又は一式につき	10,000 円以内で教育委員会規則で定める額

備考

- 1 「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをいう。
- 2 利用料金の基準額が 1 時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。
 - (1) 午前 9 時から午後 6 時（金曜日及び土曜日にあっては、午後 8 時）までの間は、超過時間 30 分間（30 分間に満たない端数は、これを 30 分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の 2 分の 1 の額に 100 分の 120 を乗じて得た額

- (2) 午後6時(金曜日及び土曜日にあっては、午後8時)後は、超過時間30分間(30分間に満たない端数は、これを30分間とする。)につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の150を乗じて得た額

○沖縄県立博物館・美術館管理規則(抄)

平成19年3月16日 教育委員会規則第1号
〔最終改正〕令和5年3月31日 教育委員会規則第5号

沖縄県立博物館・美術館管理規則をここに公布する。

沖縄県立博物館・美術館管理規則

(趣旨)

第1条 この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例(平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。)の規定及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第21条第1号の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館(以下「博物館・美術館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(寄贈及び寄託)

第2条 博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書(第1号様式)又は博物館・美術館資料寄託申請書(第2号様式)を提出しなければならない。

2 受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈受諾書(第3号様式)又は博物館・美術館資料受託承認書(第4号様式)を交付するものとする。

3 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長(以下「館長」という。)が必要と認めた場合はこの限りでない。

4 第2項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。

5 第2項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

(寄贈資料及び寄託資料の管理等)

第3条 寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

2 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠償の責任を負わないものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第4条 条例第6条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書(第5号様式)によるものとする。

2 条例第6条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

(2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書(市区町村長が発行するものに限る。)

(3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

(4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類(申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録)

(5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

(6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

(沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会の組織等)

第5条 沖縄県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会(以下「運用委員会」という。)に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、運用委員会を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

4 運用委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

5 運用委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

6 運用委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 特定の事件につき特別の利害関係を有する委員は、運用委員会の決議があつたときは、当該事件に係る議決に参加することはできない。

8 運用委員会は、必要があると認めるときは、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

9 運用委員会の行う指定管理者の選定に係る調査審議の手続は、公開しない。

10 運用委員会の庶務は、沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則(平成23年沖縄県規則第8号)第2条第1項の規定により文化観光スポーツ部文化振興課において処理する。

11 その他運用委員会の運営に関し必要な事項は、会長が運用委員会に諮って定める。

(観覧券の交付)

第6条 指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

(観覧料の免除)

第7条 条例第13条第1項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書(第6号様式)を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

2 条例第13条第2項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合

(2) 県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合

(3) 70歳以上の者が常設展を観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

(入館の禁止等)

第8条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者

(2) その他指定管理者が適当でないと認める者

(施設利用の許可等)

第9条 条例別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書(第7号様式)を提出しなければならない。

(利用期間)

第10条 条例第16条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各号に定める日数とする。

(1) 博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室1及び企画展示室2並びにこれらの施設の冷房設備 6月

(2) 前号に掲げる施設等以外の施設 7日

2 条例第16条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願(第8号様式)を指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の免除)

第11条 条例第20条第3項において準用する条例第13条第2項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例第3条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。

2 条例第20条第3項において準用する条例第13条第2項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書(第9号様式)を指定管理者に提出しなければならない。

3 指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書(第10号様式)を利用者に交付するものとする。

(事業報告書の内容等)

第12条 条例第21条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

(1) 博物館・美術館の管理運営に関する業務(以下「業務」という。)の実施状況

(2) 業務に係る収支状況

(3) 博物館・美術館の利用状況

(4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

(博物館・美術館協議会の組織等)

第13条 博物館・美術館協議会(以下「協議会」という。)の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。

2 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

5 協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

6 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

7 協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

8 協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

9 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

10 協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。

11 その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(観覧料の割引)

第14条 条例別表第1備考4に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。

(附属設備の利用料金の基準額)

第15条 条例別表第3第2項の表に規定する教育委員会規則で定める額は、別表に掲げるとおりとする。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月1日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為として行う申請に必要な申請書等)

2 条例附則第2項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第4条の規定の例による。

(沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止)

3 次に掲げる規則は、廃止する。

(1) 沖縄県立博物館の管理に関する規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号)

(2) 沖縄県立博物館協議会規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号)

(沖縄県教育庁組織規則の一部改正)

4 沖縄県教育庁組織規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号)の一部を次のように改正する。

第31条第3号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。

第33条第4号中「沖縄県立博物館協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。

附 則(平成24年2月21日教育委員会規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年3月24日教育委員会規則第4号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月31日教育委員会規則第5号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第15条関係)

1 附属設備(冷房設備を除く。)の利用料金

種別	品名	単位	基準額
舞台器具	演台	1 台	320 円
	花台	1 台	100 円
	司会台	1 台	150 円
音響器具	メインスピーカー	1 式	1,050 円
	コンデンサーマイク	1 本	320 円
	ワイヤレスマイク	1 本	630 円
	ダイナミックマイク	1 本	210 円
	ビデオテープレコーダー	1 台	730 円
	DVDプレーヤー	1 台	1,310 円
	CD、MDプレーヤー	1 台	420 円
	HD/DVDレコーダー	1 台	1,310 円
照明器具	ボーダーライト	1 列	320 円
	サスペンションライト	1 列	520 円
	アップパーホリゾンライト	1 列	730 円
	シーリングライト	1 列	630 円
	センターピンスポットライト	1 台	420 円
その他	書画カメラ	1 台	840 円
	ビデオプロジェクター	1 台	1,470 円
	電動スクリーン	1 式	1,150 円
	35 ミリフィルム映写機	1 式	5,240 円

備考 附属設備利用料金の基準額は、1 ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、4 時間ごとに 1 ステージとみなす。

2 冷房設備の利用料金

	区分	単位	基準額
博物館施設	企画展示室	1 時間までごとに	660 円
	特別展示室	1 時間までごとに	870 円
	実習室	1 時間までごとに	200 円
	講座室	1 時間までごとに	360 円
美術館施設	県民ギャラリー 1	1 時間までごとに	180 円
	県民ギャラリー 2	1 時間までごとに	170 円
	県民ギャラリー 3	1 時間までごとに	170 円
	県民ギャラリースタジオ	1 時間までごとに	190 円
	県民アトリエ	1 時間までごとに	150 円
	子供アトリエ	1 時間までごとに	170 円
	企画展示室 1	1 時間までごとに	740 円
	企画展示室 2	1 時間までごとに	930 円
	講座室	1 時間までごとに	210 円
その他施設	講堂	1 時間までごとに	620 円

第1号様式（第2条関係）

博物館・美術館資料寄贈申込書	
年 月 日	
沖縄県立博物館・美術館長 殿	
申込者	
住 所	
氏 名	
私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。	
記	
1 種 別	
2 作者名	
3 作品名	
4 製作年月日	
5 附属品	
6 資料の所在地	
7 時価見積額	
8 寄贈の理由	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第2号様式（第2条関係）

博物館・美術館資料寄託申請書	
年 月 日	
沖縄県立博物館・美術館長 殿	
申請者	
住 所	
氏 名	
私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。	
記	
1 種 別	
2 作者名	
3 作品名	
4 製作年月日	
5 附属品	
6 資料の所在地	
7 寄託期間	年 月 日 から 年 月 日 まで

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第3号様式（第2条関係）

博物館・美術館資料受贈受諾書	
年 月 日	
殿	
沖縄県立博物館・美術館長 印	
年 月 日付け申込のあった博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第2条第4項の規定により返却されません。	
記	
1 種別	
2 作者名	
3 作品名	
4 製作年月日	
5 附属品	
6 資料の所在地	
7 時価見積額	
8 寄贈の理由	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第4号様式（第2条関係）

博物館・美術館資料受託承認書	
年 月 日	
殿	
沖縄県立博物館・美術館長 印	
年 月 日付け申請のあった博物館・美術館資料の寄託については下記により受託します。	
記	
1 種別	
2 作者名	
3 作品名	
4 製作年月日	
5 附属品	
6 受託期間	年 月 日 から 年 月 日 まで
7 備考	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第 5 号様式（第 4 条関係）

年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

申請者 所 在 地

団体の名称

代表者の氏名

指 定 管 理 者 指 定 申 請 書

沖縄県立博物館・美術館の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、
沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第 6 条の規定により申
請します。

添付書類

1 事業計画書

2 法人である団体にあっては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

3 法人でない団体にあっては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代
表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る）

4 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

5 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産
目録その他経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日に属す
る事業年度
に設立された法人にあっては、その設立時における財産目録）

6 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

7 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 判とする。

第 6 号様式（第 7 条関係）

観 覧 料 免 除 申 請 書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館

指定管理者 殿

申請者住所

氏名

電話

下記の理由により博物館・美術館観覧料の免除を受けたいので、沖縄県立
博物館・美術館管理規則第 6 条第 1 項の規定に基づき申請します。

記

- 1 観覧者 団体名

引率者名

2 観覧者数 人

3 観覧日時 年 月 日（ 曜日） 時～ 時

4 申請理由

承 認 証

殿

年 月 日付け申請の博物館・美術館の観覧料免除の件、申
請どおり承認します。

年 月 日 沖縄県立博物館・美術館
指定管理者 印

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 判とする。

第 7 号様式（第 9 条関係）

博物館・美術館施設利用許可申請書

沖縄県立博物館・美術館 年 月 日

指定管理者 殿

申請者氏名

電 話

下記により貴館施設を利用したいので、申請します。

記

1 利用者 団体名

代表者名 印 職業

()

住 所 電話

2 利用目的

3 利用する施設

4 利用する日時及び期間

自： 年 月 日 午 時 分

至： 年 月 日 午 時 分

() 日間

5 予定参加人数 人

許 可 証

月 日付け申請の () 使用の件、申請どおり許可します。

年 月 日 沖縄県立博物館・美術館
指定管理者 印

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 判とする。

第 8 号様式（第 10 条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館

指定管理者 殿

申 請 者

住 所

団 体 名

代表者氏名

電 話 番 号

沖縄県立博物館・美術館管理規則第 9 条第 2 項の規定により次のとおり利
用期間の変更を願います。

記

1 催物の名称

2 利用する日時及び期間

自： 年 月 日 午 時 分

至： 年 月 日 午 時 分

() 日間

3 利用期間の変更を願う理由

4 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 列 4 判とする。

第9号様式（第11条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書	
年 月 日	
沖縄県立博物館・美術館	
指定管理者 殿	
申 請 者	
住 所	
団 体 名	
代表者氏名	
電話番号	
次のとおり利用料金の免除を申請します。	
記	
1 催物の名称	
2 利用目的	
3 催物の内容	
4 利用する日時及び期間	
自： 年 月 日 午 時 分	} () 日間
至： 年 月 日 午 時 分	
5 減額・免除を申請する理由	
6 備考	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第10号様式（第11条関係）

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書	
年 月 日	
殿	
沖縄県立博物館・美術館	
指定管理者 印	
次のとおり利用料金の免除を承認します。	
記	
1 催物の名称	
2 利用目的	
3 催物の内容	
4 利用する日時及び期間	
自： 年 月 日 午 時 分	} () 日間
至： 年 月 日 午 時 分	
5 利用料金免除額	
6 備考	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

○沖縄県立博物館・美術館保管資料の利用に関する取扱要領

平成14年3月14日 教育長決裁

平成28年12月28日改正

(目 的)

第1条 この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料（以下「資料」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

(定 義)

第2条 この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。

- (1) 展示会等における原資料等の借用。
- (2) 同資料の撮影。
- (3) 原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。
- (4) 撮影等による複製品の製作。
- (5) 原資料等の閲覧。
- (6) 教育普及資料の借用。

(許可の基準)

第3条 博物館長（以下「館長」という。）は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項はこの限りでない。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。
- (2) 好ましくない用途に供されると認められる場合。
- (3) 館の事務処理に支障が生じると認められる場合。
- (4) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- (5) 過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。
- (6) その他、許可することが適当でないと認められる場合。

(許可申請の手続き)

第4条 資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書（以下「申請書」という。）に事業の趣旨や主体者、事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

- (1) 原資料等の借用（第1号様式）
- (2) 写真撮影、原板・印画の借用（第2号様式）
- (3) 複製品の製作（第3号様式）
- (4) 原資料等の閲覧（第4号様式）
- (5) 教育普及資料の借用（第5号様式）

(審査及び決定)

第5条 前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨及び内容。
- (2) 事業の主体者。
- (3) 事業計画。
- (4) その他必要な事項。

(許可書の交付)

第6条 資料利用を許可する決定を行つたときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおり条件を付した資料利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認めた軽微なものについては、その限りでない。

- (1) 原資料等の借用（第1－1号様式）
- (2) 写真撮影、原板・印画の借用（第2－1号様式）
- (3) 複製品の製作（第3－1号様式）
- (4) 原資料等の閲覧（第4－1号様式）
- (5) 教育普及資料の借用（第5－1号様式）

2 館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。

附 則

この要領は、平成14年4月1日から実施する。

附 則

この要領は、平成19年11月1日から実施する。

別表（第6条関係）各申請の資料利用の許可条件

利用申請の内容 (各申請様式)	資 料 利 用 の 許 可 条 件	
	共 通 条 件	個 別 条 件
原資料等の借用 (第1号様式)	①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。	①資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。 ④借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。
写真撮影、原板・ 印画の借用 (第2号様式)	③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 ④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。	①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ③写真原板の貸与期間は3週間以内とする。 ④郵送費は申請者が負担すること。 ⑤資料利用によって製作されたものは、登録商標等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
複製品の製作 (第3号様式)	⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。	①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 ②撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。 ③製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。 ④製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された作品は当館が展示等で自由に使うことができる。 ⑤写真原板の貸与期間は3週間以内とする。 ⑥資料利用によって製作されたものは、登録商標等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
原資料等の閲覧 (第4号様式)		①展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 ②閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。 ③閲覧によって得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。
教育普及資料の借用 (第5号様式)		①貸与期間は1週間以内とする。 ②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 ③資料の利用にあたっては、事故が生じないように取り扱いに十分留意すること。 ④万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。

第1号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(原資料等の借用)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印

申請者 団 体 名： 印

(担当者氏名)

住 所：〒

TEL：

FAX：

下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いします。

記

事業名		
借用希望期間	年 月 日 ～ 月 日	
目的		
展示等場所		
資料名	員 数	備 考
1.		
2.		
3.		
4.		

※留意事項

①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。

②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。

③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。

④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。

⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。

⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。

⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。

⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。

⑨借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第1－1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(原資料等の借用)

博 美 第 号

令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた資料の館外利用については、下記により許可します。

記

事業名		
借用期間	年 月 日 ～ 月 日	
目的		
展示等場所		
資料名	員 数	備 考
1.		
2.		
3.		
4.		

※許可条件

①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。

②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。

③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。

④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。

⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。

⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。

⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。

⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。

⑨借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第2号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(写真撮影、原板・印画の借用)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印
申請者 団 体 名：
(担当者氏名)
住 所：〒
TEL：
FAX：

下記により資料の写真撮影、原板・印画の利用を許可くださるようお願いします。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載 ※○で囲む		
希望日時・期間	年 月 日 ～ 月 日	時 ～ 時			
目的	事項	名称	部数	制作予定日	備考
	出版物				
	映画				
	テレビ				
	DVD				
C D					
その他					
資料名		数量	仕様	備考	
1.					
2.					
3.					

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑧写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
⑨郵送費は申請者が負担すること。
⑩資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第2-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(写真撮影、原板・印画の借用)

博 美 第 号
令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた資料の利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載 ※○で囲む		
日時・期間	年 月 日 ～ 月 日	時 ～ 時			
目的	事項	名称	部数	制作予定日	備考
	出版物				
	映画				
	テレビ				
	DVD				
C D					
その他					
資料名		数量	仕様	備考	
1.					
2.					
3.					

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑧写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
⑨郵送費は申請者が負担すること。
⑩資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第3号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(複製品の製作)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印
申請者 団 体 名：
(担当者氏名)
住 所：〒
TEL：
FAX：

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載 ※○で囲む		
希望日時・期間	年 月 日 ～ 月 日	時 ～ 時			
目的	事項	名称	部数	制作予定日	備考
	出版物				
	映画				
	テレビ				
	DVD				
C D					
その他					
資料名		数量	仕様	備考	
1.					
2.					
3.					

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
⑨製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
⑪資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第3-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(複製品の製作)

博 美 第 号
令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた特別利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載 ※○で囲む		
日時・期間	年 月 日 ～ 月 日	時 ～ 時			
目的	事項	名称	部数	制作予定日	備考
	出版物				
	映画				
	テレビ				
	DVD				
C D					
その他					
資料名		数量	仕様	備考	
1.					
2.					
3.					

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
⑦撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
⑨製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
⑪資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第4号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(原資料等の閲覧)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

申請者 代表者名： 印
団体名：
(担当者氏名)
住所：〒
TEL：
FAX：

下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いします。

記

目 的			
閲覧希望日時	令和 年 月 日 時～ 時	閲覧人員	
資料名	員数	備考	
1. 2. 3. 4. 5.			

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。
⑧閲覧によって得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第4-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(原資料等の閲覧)

博 美 第 号
令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた資料の閲覧については、下記により許可します。

記

目 的			
閲覧日時	令和 年 月 日 時～ 時	閲覧人員	
担当学芸員			
資料名	員数	備考	
1. 2. 3. 4. 5.			

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。
⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。
⑧閲覧によって得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第5号様式（第4条関係）

資料利用申請書
(教育普及資料の借用)

令和 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

申請者 代表者名： 印
団体名：
(担当者氏名)
住所：〒
TEL：
FAX：

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いします。

記

利用区分	1 学校（学年・学級）行事	2 地域・団体行事	3 その他
希望日時・期間	年 月 日（ 時）～ 年 月 日（ 時）		
行 事 名	参加人員		
目 的			
資料名	数量	備考	
1. 2. 3. 4.			

※留意事項
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥貸与期間は1週間以内とする。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第5-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書
(教育普及資料の借用)

博 美 第 号
令和 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

令和 年 月 日付けで申請のあつた資料利用については、下記により許可します。

記

利 用 区 分	1 学校（学年・学級）行事	2 地域・団体行事	3 その他
日 時 ・ 期 間	年 月 日（ 時）～ 年 月 日（ 時）		
行 事 名	参加人員		
目 的			
資料名	数量	備考	
1. 2. 3. 4.			

※許可条件
①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
④資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
⑥貸与期間は1週間以内とする。
⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
⑧資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。
前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領

平成 23 年 5 月 23 日 部長決裁
令和 3 年 12 月 28 日 一部改正

(目的)

第 1 条 この要領は、沖縄県立博物館・美術館が共催又は後援等を行う行催事について必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第 2 条 この要領において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 共催 行催事の企画、運営に参画し、また経費の一部を負担するなど、当該行催事について責任の一部を負担することをいう。
- (2) 後援等 後援、協力、協賛等で、行催事の趣旨に賛同し、当該行催事の実施について協力することをいう。

(名義)

第 3 条 この要領による共催又は後援等の名義は「沖縄県立博物館・美術館」とする。

(承認基準)

第 4 条 共催又は後援等の承認基準は別表 1 のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館・美術館活動の見地から館長が特に必要があると認めるものについては、共催又は後援等の承認をすることができるものとする。

(申請手続き)

第 5 条 共催又は後援等の承認を受けようとする者は、行催事の共催・後援等承認申請書（第 1 号様式）又は次の事項を記載した書面を、原則として行催事開催の 1 4 日前までに、沖縄県立博物館・美術館長に提出するものとする。

- (1) 主催者の住所・氏名・連絡先（団体の場合は代表者の役職・氏名及び事務局担当者氏名を併記）
- (2) 行催事の名称・趣旨・内容
- (3) 開催日程(日時・期間)及び場所
- (4) 主催者、共催者及び後援者等
- (5) 参加対象者・想定人数・入場料の有無等
- (6) 事業費及び経費の負担方法
- (7) 広報の方法・その他参考

(決定)

第 6 条 前条の規定による申請があった場合、沖縄県立博物館・美術館長はその内容を審査し、適当と認められるときは行催事の共催・後援等承認書（第 2 号様式）により、承認できないときはその旨を、それぞれ当該申請者に通知するものとする。

(事業計画の変更)

第 7 条 共催又は後援等を承認した行催事であっても、申請時の事業計画を変更し、又は中止しようとするときは、申請者は速やかに当該変更又は中止に係る内容について届け出なければならない。

(承認の取消)

第 8 条 共催又は後援等を承認した行催事であっても、その内容が第 4 条の承認基準に該当しなくなったときは、その承認を取り消すものとする。

2 前項の規定による承認の取消については、第 6 条の規定を準用する。

(行催事の実施結果報告)

第 9 条 共催又は後援等を承認した行催事のうち、必要があると認める場合は、行催事の実施結果報告書（第 3 号様式）もしくはそれに変わる書面で報告を求めることができる。

(雑則)

第 10 条 共催又は後援等の承認の手続きを経ずに、第 3 条に規定する名義を無断使用した場合(承認前に既に印刷し、公表した場合を含む。)は、警告書を出すとともに、以後の共催又は後援等の承認は認めないものとする。

附 則

- 1 この要領は、平成 23 年 5 月 23 日から施行する。
- 2 この要領は、令和 3 年 12 月 28 日から施行する。

別表 1（第 4 条関係）

共催又は後援等の承認基準

主催者についての承認基準	1 国、地方公共団体及びこれらの機関並びにその連合体 2 教育機関及び教育研究団体 3 新聞社、放送局等報道関係 4 公益法人その他教育、芸術、文化又はスポーツの向上普及に寄与する事業を行う団体(宗教団体又は政治団体を除く。)
事業内容についての承認基準	1 県及び県教育委員会の運営方針に反しないものであり、県及び県教育委員会の施策上からの効果が期待できるものであること。 2 博物館・美術館の所掌業務と関連するもので、高い公益性を有すると認められるもの。 3 政治的、宗教的又は商業的活動に関する宣伝、勧誘等を意図するものでないこと。 4 特定の団体の利益を目的とするものでないこと。 5 行催事内容及び規模からみて、営利を目的とするものでないと客観的に判断されるものであること。

備考

- 1 主催者については、主催者についての承認基準の 1 から 4 までのいずれかに該当するものでなければならない。
- 2 事業内容については、事業内容についての承認基準のすべての項目に該当するものでなければならない

第1号様式

沖縄県立博物館・美術館 館長 殿 申請者 住 所 団体等名称 代表者役職・氏名 (担当者名 / 連絡先) 開催事の共催・後援等承認申請書 下記のとおり開催事を開催することについて、沖縄県立博物館・美術館の（共催・後援・協力・協賛）の承認を受けたいので、申請します。 記 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20%;">1 開催事の名称</td><td></td></tr> <tr><td>2 開催事の趣旨・内容 (具体的に記入すること。)</td><td></td></tr> <tr><td>3 開催日程及び場所</td><td></td></tr> <tr><td>4 主催者、共催者及び後援者等</td><td></td></tr> <tr><td>5 参加対象者、想定人数、入場料の有無等</td><td></td></tr> <tr><td>6 事業費及び経費の負担方法</td><td></td></tr> <tr><td>7 広報の方法</td><td></td></tr> <tr><td>8 その他参考</td><td></td></tr> </table>	1 開催事の名称		2 開催事の趣旨・内容 (具体的に記入すること。)		3 開催日程及び場所		4 主催者、共催者及び後援者等		5 参加対象者、想定人数、入場料の有無等		6 事業費及び経費の負担方法		7 広報の方法		8 その他参考		第 号 年 月 日
1 開催事の名称																	
2 開催事の趣旨・内容 (具体的に記入すること。)																	
3 開催日程及び場所																	
4 主催者、共催者及び後援者等																	
5 参加対象者、想定人数、入場料の有無等																	
6 事業費及び経費の負担方法																	
7 広報の方法																	
8 その他参考																	

第2号様式

殿 沖縄県立博物館・美術館 館長 開催事の共催・後援等承認書 年 月 日付け 第 号で申請のあった標記の件については、下記の条件を付して承認します。 記 1 開催事名 2 名義使用の方法 3 名義使用の期間 4 経費 5 実施結果の報告の有無 6 その他	博美第 号 年 月 日
---	------------------------

第3号様式

沖縄県立博物館・美術館 館長 殿 申請者 住 所 団体等名称 代表者役職・氏名 (担当者名 / 連絡先) 開催事の実施結果報告書 年 月 日付博美第 号により承認のあった標記の開催事の結果について、下記のとおり報告します。 記 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20%;">1 開催事の名称</td><td></td></tr> <tr><td>2 実施内容</td><td></td></tr> <tr><td>3 開催日程及び場所</td><td></td></tr> <tr><td>4 参加人数</td><td></td></tr> <tr><td>5 収支決算の状況</td><td> <収入> 円 <支出> 円 収支差額 円 </td></tr> <tr><td>6 所見 (開催事の効果など)</td><td></td></tr> <tr><td>7 その他参考</td><td></td></tr> </table>	1 開催事の名称		2 実施内容		3 開催日程及び場所		4 参加人数		5 収支決算の状況	<収入> 円 <支出> 円 収支差額 円	6 所見 (開催事の効果など)		7 その他参考		第 号 年 月 日
1 開催事の名称															
2 実施内容															
3 開催日程及び場所															
4 参加人数															
5 収支決算の状況	<収入> 円 <支出> 円 収支差額 円														
6 所見 (開催事の効果など)															
7 その他参考															

○沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会設置要綱

平成 20 年 2 月 19 日 教育長決裁
改正 平成 24 年 2 月 27 日 文化観光スポーツ部長決裁

（設 置）

第1条 沖縄県立博物館・美術館が収集しようとする美術品等（以下「美術品等」という。）に関し、必要な事項を検討するため、沖縄県立博物館・美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）を設置する

（任 務）

第2条 委員は次の事項について意見を述べる。

- (1) 美術品等の評価に関すること。
- (2) その他美術品等の収集に関すること。

(組 織)

第3条 委員会は、委員7人以内で組織する。

2 委員は次の各号にそれぞれ該当する者のうちから、会議毎に文化観光スポーツ部長が選任する。

- (1) 美術品等について専門的な知識及び学識経験を有する者。
- (2) 美術品等と利害関係が無く、公正な判断ができる者。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によってこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故がある場合には、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 委員会は文化観光スポーツ部長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(守秘義務)

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(庶 務)

第7条 委員会の庶務は、沖縄県立博物館・美術館において処理する。

(雑 則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、沖縄県立博物館・美術館長が別に定める。

附 則

この要領は、平成24年1月14日から実施する。

沖縄県立博物館・美術館年報 No. 17 (令和5年度実績)

2025 年 (令和 7) 3 月 26 日

編集・発行：沖縄県立博物館・美術館

住 所：〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

T E L：098-941-8200 (代表)

F A X：098-941-2392 (代表)

ホームページ：<https://okimu.jp>

(沖縄県立博物館・美術館ホームページ)

印 刷：(有) ドリーム印刷

住 所：〒901-1117

沖縄県南風原町字津嘉山 1537-6